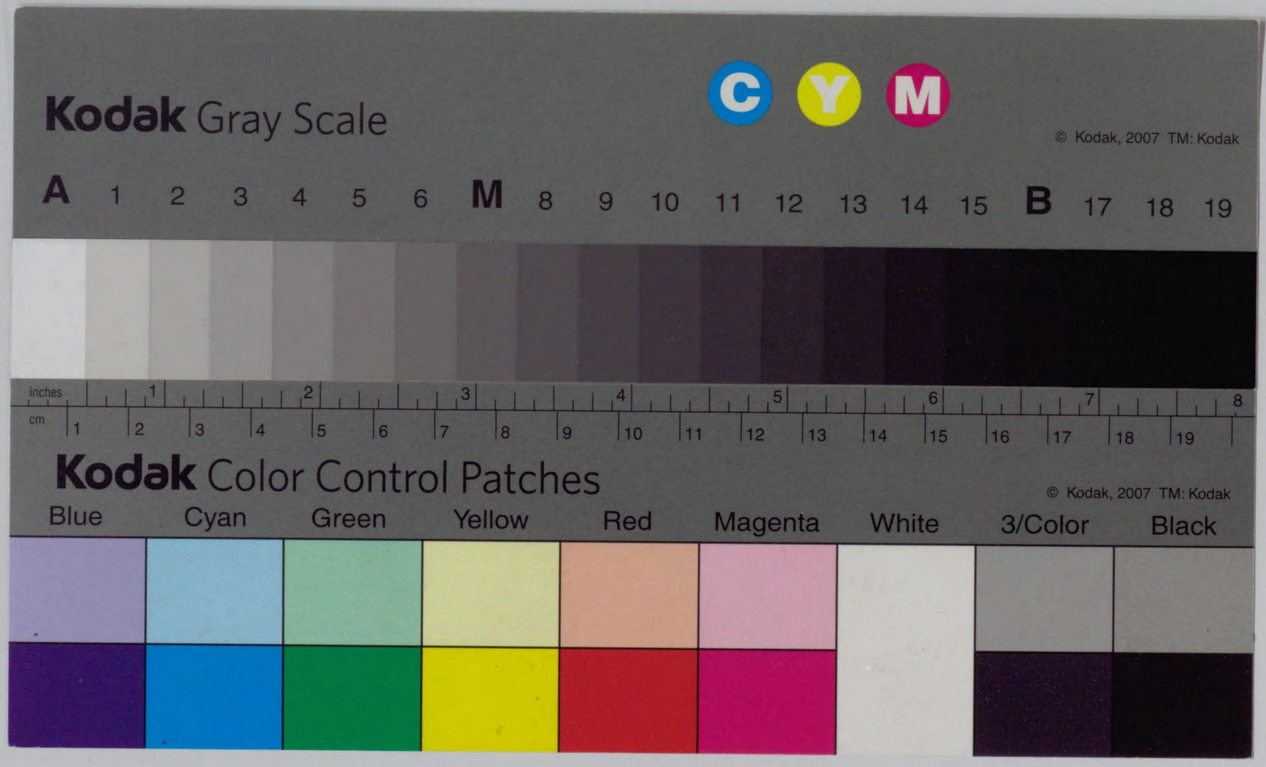
内外

植物原色大图谱


Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

638
81

村越三千男編並画

内外植物大圖鑑

第八巻

東京 内外植物大圖鑑刊行會 發行

638-8 特別

第八卷所載科名目次

ウマノアシガタ群 （其 二） *RANALES* 1

11. かつら（桂）科　Cercidiphyllaceæ 1
12. ふさざくら（雲葉）科　Eupteleaceæ 1
13. きんぎよも（金魚藻）科　Ceratophyllaceæ 2
14. ひつじぐさ（睡蓮）科　Nymphaeaceæ 2

中心子群 *CENTROSPERMAE* 8

1. なでしこ（石竹）科　Caryophyllaceæ 8
2. つるむらさき（落葵）科　Basellaceæ 28
3. すべりひゆ（馬齒見）科　Portulacaceæ 31
4. つるな（蕃杏）科　Aizoaceæ 32
5. やまごぼう（商陸）科　Phytolaccaceæ 35
6. やまとぐさ（大和草）科　Cynocrmbaceæ 36
7. おしろいばな（紫茉莉）科　Nyctaginaceæ 36
8. ひゆ（莧）科　Amarantaceæ 39
9. あかざ（藜）科　Chenopodiaceæ 44

タデ群 *POLYGONALES* 53

1. たで（蓼）科　Polygonaceæ 53

ウマノスズクサ群 *ARISTOLOCHIALES* 75

1. うまのすずくさ（馬兜鈴）科　Aristolochiaceæ 75

ビヤクダン群 *SANTALES* 77

1. びやくだん（白檀）科　Santalaceæ 77
2. ぼろぼろのき（幌々木）科　Olacaceæ 77
3. やどりぎ（槲寄生）科　Loranthaceæ 78
4. つちとりもち（蛇蔦）科　Balanophorceæ 81

ヤマモガシ群 *PROTEALES* 82

1. やまもがし（山茂樫）科　Proteaceæ 82

イラクサ群 *URTICALES* 85

1. いらくさ（蕁麻）科　Urticaceæ 85

2. くは（桑）科 Moraceæ …… 95
3. にれ（楡）科 Ulmaceæ …… 106
殻斗群 FAGALES …… 108
1. くり（殻斗）科 Fagaceæ …… 108
2. かばのき（樺木）科 Betulaceæ …… 118
クルミ群 JUGLANDALES …… 124
1. くるみ（胡桃）科 Juglandaceæ …… 124
ヤマモモ群 MYRICALES …… 127
1. やまもも（楊梅）科 Myricaceæ …… 127
ヤナギ群 SALICALES …… 128
1. やなぎ（楊柳）科 Salicaceæ …… 128
コセウ群 PIPERALES …… 134
1. こせう（胡椒）科 Piperaceæ …… 134
2. ちやらん（金粟蘭）科 Chloranthaceæ …… 135
3. はんげしやう（三白草）科 Saururaceæ …… 136
輪生群 VERTICILLATAE …… 139
1. もくまわう（木麻黄）科 Gnetaceæ …… 139

顯花植物部

裸子植物亞部

麻黄門 GNETALES …… 139
1. まわう（麻黄）科 Gnetaceæ …… 139
毬果門 CONIFERAE …… 140
1. まつ（松）科 Pinaceæ …… 140
2. いちゐ（一位）科 Taxaceæ …… 153
イテフ門 GINKGOALES …… 154
1. いてふ（公孫樹）科 Ginkgoaceæ …… 154
ソテツ門 CYCADALES …… 158
1. そてつ（蘇鐵）科 Cycadaceæ …… 158

內外植物原色大圖鑑卷之八

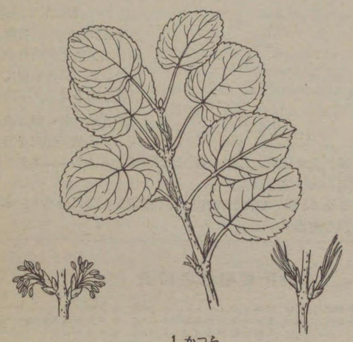
ウマノアシガタ群

（其 二）

11. かつら（桂）科 CERCIDIPHYLLACEÆ.

本科に屬する植物は凡て落葉喬木にして．葉は圓狀心臟形乃至腎圓形をなし，掌狀脈を有し，癒合せる托葉を具へ，對生す。花は單性にして，雌雄異株に生じ．花被は之を缺き，偏生なり。 雄花にありては，基部に於て癒合せる16-35條の雄蕊を具へ，短條に對生して螺旋狀に排列す。雌蕊は2-5箇の心皮を有し，多數の倒生胚子を含む。果實は莢葖をなし，種子は胚乳を含む。

本科は1屬．2種の植物より成り，何れも本邦に産出す。



1 かつら

1. カツラ屬 CERCIDIPHYLLUM.

5111. **かつら** 桂（白圖-1）……カツラ科
Cercidiphyllum japonicum, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）かもかつら・しろかつら 〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして，高さ12-15米（40-50尺），周圍3米（10尺）以上に達するものあり。樹皮は灰色を帶び，葉は對生稀に互生し，細き葉柄を有す。葉身は圓形或は廣心形を呈し，鈍頭にして基脚心臟形をなし，齒端腺質をなせる鈍齒牙緣を有す。長さ5-7.5糎（1.5-2.5寸）許に達し，約7條の掌狀脈を具へ，下面に粉白を裝ふ。托葉は披針形にして，早落性なり。 早春葉に先立ちて紅色にして花被を欠ける花を單生し，雌雄異株なり。雄花は稍無梗，苞は無色，雄蕊は多數ありて，花糸は細く，葯は線形にして紅色を呈し，雌花は花梗を具へ，苞は綠色にして，雌蕊は3-5箇を具へ，子房及花柱は淡綠色にして，柱頭は紅色を呈す。花後帶黑紫褐色にして，短柄を有し稍彎曲せる圓柱形の蓇葖を結び，10月頃に至り成熟す。〔花色〕紅色。〔花候〕5-6月。〔分布〕北海道・本州・四國。

人生との關係 本植物の材は淡褐色を呈し，其質柔軟にして工作を施し易きため，建築用及器具に供し重用せらる。又本植物の新芽は一種風致あるを以て，園藝用又は並木用として栽植せらる。

5112. しだれかつら……カツラ科
Cercidiphyllum japonicum, *Sieb.* et *Zucc.* var. pendula, *Miyoshi.*

〔形態〕 カツラの一變種にして，本種は枝條の懸垂するを異るところとす。〔分布〕本州北部。

5113. うちはかつら……カツラ科
Cercidiphyllum magnificum, *Nakai.*

（異名）ひろはかつら 〔形態〕本種の葉は濶大にして皺縮性を有し，長さ13-5糎（4-5寸）許に達す。 樹皮は概ね20餘年を經過せざれば缺裂せず。種子は其兩端に翼を有す。〔分布〕本州中部。

* * *

12. ふさざくら（雲葉）科 EUPTELEACEÆ.

本科の植物は喬木或は灌木なり。葉は托葉を缺き，單葉にして互生し，分裂せず。花は單生或は總狀花序に排列し，花被は之を缺き，兩性或は單性にして，雌雄同株なり。雄蕊は多數を有して螺旋狀に排列し，子房は周圍又は半位にして，5乃至多數の離生せる心皮より成り，1箇或は多數の倒生胚子を內縫線上に生ず。果實は蒴莢又は閉果にして，種子は多くの胚乳と，小形の胚とを含む。

本科は熱帶亞外の東部及中部亞細亞に産し，凡2屬，6種を含有すれども，本邦には2屬，2種を産するのみ。

1. フサザクラ屬 EUPTELEA.

5114. **ふさざくら** 雲葉（白圖-2）…… フサザクラ科
Euptelea polyandra, *Sieb.* et *Zucc.*

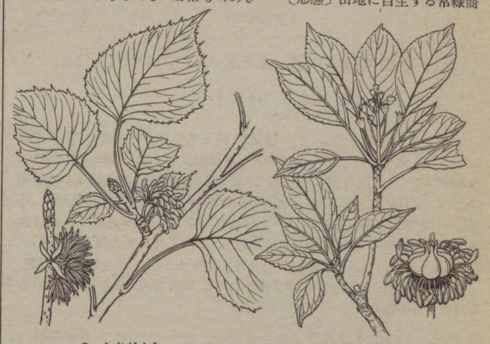
（異名）たにぐは・さはぐは・やまぐは・かうやまんさく 〔形態〕山地殊に濕地を好み，溪間の低地等に多く自生する落葉の亞喬木にして，高さ3-10米（10-30尺）に達す。葉は互生にして，長き葉柄を有し，葉身は廣卵形或は圓形にして，急漸鋭尖頭をなし，長き尾端を有し，絲邊に大小不同の鋭齒牙を具へ，長さ4-5-12糎（1-5-4寸）許に達し，初めは多毛なるも，既にして毛茸は兩面脈上並に脈腋のみに殘留するのみ。側脈は7-8對ありて，托葉は之を欠く。雌雄同株なり。3-4月頃葉に先立ちて，雌花，雄花共に短梗を短枝上に簇生し，花被を缺ける小花を攢簇す。雄花は雄蕊多數を有し，花絲は短く，葯は線形にして暗紅色を呈し，退化せる雌蕊を伴ふ。雌花は多數の雌蕊を有し，子房は有柄なり。花後長柄を具へ，1側に凹所を有する斜翼ある翅果を結び，9月頃成熟すれども裂開することなし。〔花色〕紅褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係 庭園樹として栽植するものあり。材は挽物細工の用に供し，樹皮よりは鳥黐を採取するを以つて有名なり。

2. ヤマグルマ屬 TROCHODENDRON.

5115. **やまぐるま** 山車（白圖-3）…… フサザクラ科
Trochodendron aralioides, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）とりもちのき・おほもちのき 〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして，葉は長き葉柄によりて稍輪生す。 葉身は革質・倒卵狀菱形をなし，先端尖り，基脚楔形或は鈍脚にして，鈍鋸齒緣を有し，上面滑澤なり。6月頃枝梢の上端に總狀花序を頂生し，花被を有せざる黃色の花を着生す。雄蕊は多數，花糸は纖細なり。心皮は6-10箇を有し，基脚合着す。花後肉質にして，花托中に包被せる6-10箇の蓇葖より成れる半球形の果實を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。



2 ふさざくら　　やまぐるま

人生との關係 樹皮より鳥黐及彈性「ゴム」を製す。

5116. ながばのやまぐるま…… フサザクラ科
Trochodeneron aralioides, *Sieb.* et *Zucc.* var. longifolium, *Maxim.*

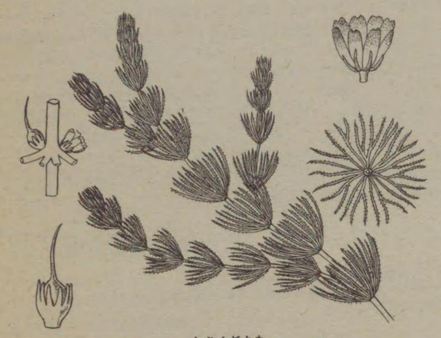
〔形態〕 本州各部に自生する常綠喬木なり。前種ヤマグルマの一變種にして只彼の倒卵狀菱形なるに比し，本種の葉は倒卵形或は披針形をなすを異りとす。

* * *

13. きんぎょも(金魚藻)科 CERATOPHYLLACEÆ.

本科の植物は淡水中に沈生する草本にして，莖は長圓柱形をなして，多くの枝を分つ。葉は輪生し葉柄及び托葉を缺き，2 回乃至數回叉狀に分裂して，線狀の裂片となり，先端尖り鋸齒緣をなす。花は微小なる整齊花にして單性をなし，雌雄同株に腋出する。花被は 8-12 箇の細き裂片に分離し，各裂片は全緣なるか，或は鋸齒を有する。雄花にありては，凡そ 12 箇の片より成れる花被と 12-16 箇の雄蕊とを有し，平面又は凸面をなせる花托上に簇生し，葯は無柄にして，線狀長橢圓形をなし，葯胞は線形をなせども，葯隔は肥厚して肉質となり，延長して 2 尖をなす。雌花にありては，凡そ 9-10 箇の片より成れる花被と，1 箇の直生胚子を含める 1 箇の心皮とを有す。子房は上位にして，長き花柱を具へ，花柱は永存性なり。果實は堅果又は瘦果にして，全面革質をなし，種子は下垂して着生し，薄き胚乳を有す。

本科は 1 屬 3 種の植物より成り，亞細亞，亞弗利加，歐羅巴，北亞米利加諸洲に廣く分布し，本邦には自生するもの 1 種を産す。



4 きんぎよも

1. キンギョモ屬 CERATOPHYLLUM.

5117. **きんぎょも** 金魚藻 (白圖-4) …… キンギョモ科
Ceratophyllum demersum, *L.*

(異名) まつも・さんちゃうも 〔形態〕到る處の淡水中に沈生する多年生草本にして，莖は極めて細く，葉は節々に多數輪生して，2-3 回叉狀に分裂し，各裂片は細くして尖り，微鋸齒を有し，長さ 2-4 糎 (8 分) 許に達す。雌雄同株なり。夏日葉腋より花梗を出し，帶紅白質を呈する單性の細花を開く。花被は 6-12 裂し，各裂片は鑿形をなし，雄蕊は多數，花絲は頗る短く，子房は無柄にして，廣卵形をなし，1 室を有す。花後卵形にして無刺の堅果を結ぶ。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係 金魚を飼養する器中に入れ，風致を添ふるを以て，本和名を得たるものなり。

5118. **よつばりきんぎょも** …… キンギョモ科
Ceratophyllum demersum, *L.* var. quadrispinum, *Makino.*

〔形態〕前種キンギョモの一變種にして，果實は 4 刺を有するを異れる所となし，又本和名を得たる所以なるべし。〔分布〕九州。

5119. **ごはりきんぎょも** …… キンギョモ科
Ceratophyllum pentacanthum, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦前種と同じく，果實は 5 箇の刺を有するを以て本和名を有するものなり。〔分布〕臺灣。

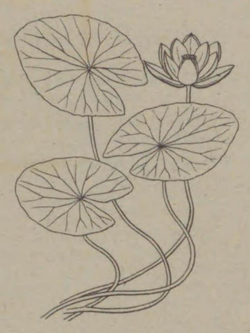
5120. **とげなしきんぎょも** …… キンギョモ科
Ceratophyllum submersum, *L.*

〔形態〕本種の果實は刺を有せざるものなり。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

14. ひつじぐさ(睡蓮)科 NYMPHAEACEÆ.

本科の植物は總べて水生の多年生草本にして，地下莖は直生或は横走す。葉は互生或は對生し，長き葉柄を具へ，浮水，沈水又は水上に挺出し，葉身は通常大きくして楯形又は基脚箭形或は心臟形をなせども，又水中にある葉は往々細裂するものあり。花は整齊にして通常兩性稀に單性をなし，通常腋出して 1 花を着く。花托は凸形杯狀をなし，杯狀なるときは子房と結合す。萼は 3-5 箇の萼片より成り，花瓣は 3 箇乃至多數ありて，子房より上位，下位或は周位なり。雄蕊は 6- 多數にして，心皮は 3 乃至多數を有し，分離或は結合し又は花托の孔中に陷沒す。卵子は各心皮に 1 箇乃至多數を生じ，子房室の側壁又は背壁に倒生或は直生し，2 枚の珠皮を有す。果實は漿果樣或は全面乾果にして，種子は假種皮を具ふるものあり。胚乳は之を含有するか或は之を缺く。



5 ひつじぐさ

本科には凡 8 屬，53 種の植物を含有し，廣く温帶及熱帶に分布す。本邦には 6 屬凡 8-9 種を產出す。

本科所載植物名目次

アカバナヒツジグサ……5124　ジュンサイ……5129　ヒツジグサ……5121
アフリカスイレン……5128　タイワンカハホネ……5137　ヒメカハホネ……5135
イバラバス……5131　ニホヒヒツジグサ……5125　ヒメスイレン……5123
エゾヒツジグサ……5122　ヌナハ……5129　ベニカハホネ……5136
オトコスイレン……5126　ネムロカハホネ……5134　ミヅブキ……5131
オニバス……5131　ハス……5130　レンゲエ……5130
オホオニバス……5132　ハチス……5130
カハホネ……5133　ビジンスイレン……5127

1. ヒツジグサ屬 NYMPHAEA.

5121. **ひつじぐさ** 睡蓮・午時蓮・子午蓮 …… ヒツジグサ科
Nymphaea tetragona, *Georgi.* var. angusta, *Casp.* subv. orientalis, *Casp.* (白圖-5)

(異名) するれん 〔形態〕池澤，沼澤中に自生する多年生水草にして根莖は水底を匍匐す。葉は長き葉柄によりて水面に浮び，廣卵形にして全緣，基脚深く缺刻し，脚端は稍鋭く，徑 7-5-10 糎 (2-5-3 寸) 許ありて，稍馬蹄形をなす。7-8 月頃大さ 3-10 糎 (1-3 寸) 許ある花を着生し，通常朝開きて午後閉花す。本花は長き花梗を有し，白色の花蓋より成り，萼片は 4 箇を有し，卵狀披針形にして鈍頭をなし，花瓣は 20-30 箇を具へ，披針形，鈍頭なり。雄蕊は多數，心皮も亦多數ありて相台生す。花後，花梗は漸次下曲して水中に入り，蓇葖をなせる漿果を結び，熟すれば，水中にて裂開すれども，種子は水面に浮び出でゝ，水の流れ，風のまにまに遠く輸送せらるゝものなり。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係 本植物は英名を「ウオーター・リリー」(Water lily) 又「ポンド・リリー」(Pond lily) と稱し，「ニンフエア」(Nymphaea) なる屬名は水中の女神と云ふ意より出でたるものなりとか。實に本植物が夏の眞中に清涼の水面に綠の傘を擴げ，凌蛻崇高の花を開く樣を聯想では，涼氣自ら腐に逼るの趣あり。蓋し盛夏絶好の園藝植物の一なるべし。以下其種類・栽培法の一般を略述すべし。

種　類

(1) **にほひひつじぐさ** 英名スウキート・センテッド・ウオーター・リリー (Sweet sented water lily) (本文參照)

(2) **ニンフェア・アルバ** (Nymphaeaea alba) 葉は圓形にして，徑 9-30糎(0・3-1 尺) 許に達し，全緣にして，嫩葉は赤色を呈す。花は白色にして，徑 9-12 糎 (3-4 寸) 許，殆んど終日開花を見る，耐冬性の品種なり。

(3) **ニンフェア・チュベローサ** (N. tuberosa) 本種は根莖短く，球根狀の分離し易き枝を有し，葉はニホヒヒツジグサに似て大きく，裏面は紫色又は赤色を呈せず。花は白色にして，徑 9-21 糎 (3-7 寸) 許に達す。概ね午前 7-8 時より晝過ぎ迄 3-4 日間開花し，往々僅かに香氣を有するものあり。花瓣は幅廣く先端凹み，萼は綠色を呈し，耐冬性の品種なり。

(4) **ニンフェア・カペンシス** (N. capensis) 葉は丸味ある卵圓形にして徑 30-40 糎 (1-1・3 尺) 許に達す。花は帶色にして底部白色を呈し，徑 15-18 糎 (5-6 寸) 許にして，概ね午後遲くまで開花す。花瓣は狹楕圓形にして 20-30 枚を有し，雄蕊は黄色にして約 150 箇の多數を具ふ。不耐冬性の品種なり。

(5) **ニンフェア・ザンジバリエンシス** (N. zanzibariensis) 又アフリカスイレン又ムラサキスイレン。(本文參照)。

(6) **あかばなひつじぐさ** (ニンフェア・ルブラ) (N. rubra) (本文參照)。

以上說明せる外，晝間咲，夜間咲，耐冬性，不耐冬性等，各品種の何れも栽培變種多數あるものなり。

栽培法

本植物の繁殖法には播種法と株分法との 2 種あれども，播種法は稍困難なるを以て，普通株分法によるを良とす。

播種法としては，前述の如く，本植物は花後花梗の水中に彎れ込みて結實するものなれば，種子の成熟，飛散せざる前に豫め袋を以て花の部分を包み置き，種子の成熟したる頃花梗より切り取りて，袋中の種子を取り出し，水盤用の成るべく淺き播種器に，粘土質の壤土を入れ，其の上に牛糞の腐熟したるものと，油粕とを肥料とし，其の上に砂を覆ひてよく均らしたる後種子を直播し，種子の動搖せざる樣に 6-9 粍 (2-3 分) の深さに水を入れ，箱の上より硝子板を覆ひ，日當りよき所に安置す。かくして 2-3 週間を經るときは，發芽するを以て，此際硝子板を取り去るなり。耐冬性の種類にありては冬季「フレーム」内に入れて，防寒せば差支なきも，不耐冬性の種類にありては，冬季温室内に於て保温するを要す。發芽後葉の徑 3 糎 (1 寸) 許の大さに生育したる時，素燒の鉢に 1 本づゝ移植を行ふ。勿論此際葉根共に絶對に損傷せざる樣に且つ手早く之を行ふこと肝要なり。移植を終りたれば，水面にユルユル葉の浮び出づる程度に池，又は水を盛りたる大鉢の中に安置し，後生長の狀況を察し 15 糎 (5 寸) 許の鉢に植へ替へ，再び同じ樣に水中に安置すべし。斯くするときは早きものにては年内に，遲きものにありても 3 年目より開花して觀賞することを得べきものなり。

株分法には 2 方法あり，1 つは多く耐冬性の種類に行ふ方法にして，此の方法は地下にある山葵の如き根莖を 6-9 糎 (2-3 寸) に切斷して植込むときは各單個の 1 株となるべく，他の方法は多く不耐冬性の種類に行ふ方法にして，親球の傍に出でたる子球を掻き取りて植込を行ふものなり。何れも株分の時季としては 5 月頃を適當なりとす。

池中栽培法

池中又水田等に於て栽培せんとするには，先づ水の深さ 21-24 糎 (7-8 寸) 位を保たざるべからざるを以て，築め其設備を要す。而して初めて苗の植込を行ふには，數週間以前より充分に排水し，池底をよく耕したる處へ，干鰯，油粕，人糞尿の如き肥料を切り突せ，植付けまでに乾燥に失せざる程度に日光に曝し置くべし。植込みは 60-90 糎 (2-3 尺) の距離を隔てゝ，根莖の頭部が稍地面に現はるゝ位の深さに植付け，植付けを終りたれば徐々に水を注ぎ，最初は 6-9 糎 (2-3 寸) 位の深とし，漸次葉莖の伸長につれて遂に 21-24 糎 (7-8 寸) 位の深さに達せしむるを可とす。

水鉢栽培法

水鉢又は水盤等に培養するには，總べて前述の要領に準じて可なれども，此栽培に當りて鉢に入るゝ養土は，池底の泥土を使用するをよしとす。即ち腐め池底の泥土を掘り出して日光に曝し，若し餘りに重きに過ぐるが如き場合等には砂を混ずべし。元來本植物は極めて肥沃なる土質を好むものなれば，魚之れに油粕，人糞尿，骨粉，牛糞，干鰯等を適宜に混加し，更に木灰，過燐酸石灰等の少量を混じ腐熟したるものを用ふれば一層の好成績を得らるべきものなり。

施肥及換水

睡蓮花は非常に肥料を要するものなるを以て，稍多量に施肥するも差支なきものなり。追肥として最も安全にして且つ效果あるものは，干鰯を水底の泥中所々に挿入するか，或は大豆の煮たるものを投入するか，又は油粕を土と煉り合せて團子狀になしたるものを所々に埋め置く等を最も有效なりとす。水は腐敗して惡臭を放たざる限りは，强いて換水の必要もなけれども，日々の蒸發によりて減ずる水の補足として時々注水するは肝要なるべく，又「ボーフラ」，「アナミドロ」等の發生を豫防する爲めに，水の面積に應じて，鯉，金魚，目高魚等を放養するは極めて有效なり。而して耐冬性の種類にありては，冬期結氷の甚だしき地方に限り「ヨシズ」の類を以て池面を覆ひ置けば可なれども，不耐冬性の種類にありては晩秋に至り，池中より根莖を掘り出し，水盤の類に取り上げ，温室内に於て通常華氏 50 度以上に保温し，5-6 月に至りて再び池中に植込を行ふものとす。

5122. **えぞひつじぐさ** …… ヒツジグサ科
Nymphaea tetragona, *Georgi.* var. lata, *Casp.*

〔形態〕前種ヒツジグサの一變種にして，概形彼に似たれども，本種の葉は彼の深心脚にして馬蹄形をなせるに比し，葉脚の缺刻，葉面の半に及ばず，且つ萼片，花瓣共に彼の卵狀披針形或は披針形なるに比し本種は廣濶にして，短形をなすを異る所とす。〔分布〕樺太・北海道。

人生との關係 總べてヒツジグサに同じ。

5123. **ヒメスイレン** (1 圖版-1) …… ヒツジグサ科
Nymphaea tetragona, Georgi. var. *helvola*, Hort.

(英名) ピグミー・ウオーターリリー (Pigmy Water-lily) 〔形態〕本種は本邦各地に自生するヒツジグサに近似せる一種にして佛國に於て作り出されたる有名なるものなり。即ち多くの栽培品種中最も形小さく，小形の水盤栽培に適す。葉は廣卵形にして葉面は黄綠色を呈し，之れに褐色の斑點を有し，葉裏は赤色なるを普通とす。この葉は直徑 3-5 糎 (1-1・5 寸)，花は直徑 5 糎 (1・6 寸) 許，花色淡黄色を呈し，水面に浮び咲き出でたる樣愛らしきものなり。〔花色〕淡黄色。〔花候〕夏。

人生との關係 他種と同樣觀賞用として栽培するものなれども，本種は特に矮性なれば徑 18-21 糎 (6-7 寸) の水盤にても栽培し得られ頗る觀賞に値するものなり。

5124. **アカバナヒツジグサ** (1 圖版-2) …… ヒツジグサ科
Nymphaea rubra, Roxb.

〔形態〕葉は長き葉柄を有し，葉身は圓心形にして赤褐色を呈し，徑 30-45 糎 (1-1・5 尺) 許に達し，下面に毛を有す。花は長梗を具へ，濃紫赤色にして，徑 15-24 糎 (5-8 寸) 許あり。萼片は暗紫赤色を呈し，7 脈を具へ，花瓣は 12-20 箇ありて狹橢圓形，圓頭をなし，雄蕊は約 55 箇を有し，赤色なり。本花は概ね 3-4 日間咲き續け，每日午後 8 時頃開花し，翌朝 11 時に閉花する所謂夜間咲の種類にして，變種亦多く，不耐冬性なり。〔花色〕濃紫赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

人生との關係 總べてヒツジグサに同じ。

5125. **ニホヒヒツジグサ** …… ヒツジグサ科
Nymphaea odorata, Soland.

(異名) シハイスイレン (英名) スキート・センテッド・ウオーターリリー (Sweet sented water-lily) 〔形態〕葉は稍革質の圓形乃至長橢圓形，全緣にして，深心脚をなし，表面は鈍綠色，裏面は濃赤色を呈し，徑 12-24 糎 (4-8 寸) 許に達す。花は白色にして徑 7-5-12 糎 (2-5-4 寸) 許，芳香を有す。萼片は綠色にして赤褐色斑を伴ひ，花瓣は多數にして，卵形乃至披針狀卵形をなし，雄蕊は多數を有して黄色を呈し，外側の花糸は白色にして廣濶なり。本花は概ね午前中約 3 日間内外開花し，耐冬性の種類なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係 總べてヒツジグサに同じ。

5126. **ヲトコスイレン** (1 圖版-3) …… ヒツジグサ科
Nymphaea Marliacea, Hort. var. *chromatella*, Casp.

(英名) カナリー・ウオーターリリー (Canary Water-lily) 〔形態〕本種の葉は直徑 15 糎 (5 寸) 内外に達し，暗綠色にして赤褐色の斑點を有し，殊に若葉にはこの斑點明瞭なれども，成葉となれば淡色となり，裏面にも赤斑を有す。花は直徑 3-6 糎 (1-2 寸) 位を普通とし，花色鮮黄色を呈し，殊に花心に至るに從ひ濃色となる。〔花色〕鮮黄色。〔花候〕6-10 月。(栽培種)

人生との關係 本邦に於ては最も普通に栽培せらるゝ一種にして，性頗る强く繁殖力旺盛，且つ耐冬性强きものなれば栽培法又簡易なるものなり。繁殖は春 4 月頃株分を行ひ，日當り良き池中に栽植し，又は水盤栽培にも適す。植土は池上又は園土，肥料は魚肥，骨粉等を佳とす。切花としても愛玩に適す。

5127. **ビジンスイレン** (1 圖版-4) …… ヒツジグサ科
Nymphaea Attraction, Casp.

〔形態〕近年切花として盛に栽培せらるゝ園藝品種にして，葉は美麗なる綠色を呈し，成葉は接合部少しく重り合ひ，水面にモチ上る氣味あり。花は鮮紅色にして瓣裏に白斑を有すれども，後には濃色に變ず。本花の有する萼は白色なれども多少の朱色を帶ぶるの觀あり。性强健にして且つ早生種なり。本種は花型正しく，花色濃紅，加ふるに，花軸强堅なると，連續的に開花するとにより，切花としての價値充分なるものなり。〔花色〕濃紅色。〔花候〕4-9 月。(栽培種)

人生との關係 切花として最も多く栽培せらるれども，又觀賞用として栽培に適す。切花用として栽培せんとするには粘土質の池中を佳とし，池水は深さ 60 糎 (2 尺) とし，混濁せざる所を選定すべし。3 年目には 1 回移植を行ふ必要あるものなり。

5128. **アフリカスイレン** (1 圖版-5) …… ヒツジグサ科
Nymphaea capensis, Thunb. var. *zanzibariensis*, Casp.

(異名) ムラサキヒツジグサ 〔形態〕葉は楯狀圓形或は心形を呈し，波樣齒牙緣をなし，脚垂鈍頭にして，下面稍紫采を伴ひ，徑 12-36 糎 (0・4-1・2 尺)

許に達し．花は紫藍色にして徑 12-21 糎（4-7 寸）位に達する大形種なり。概ね午前 10 時頃より午後 5 時頃迄 4-5 日間開花し，萼片は内面紫藍色を呈す。花瓣は 18-24 箇を有し，長楕圓形，鈍頭をなし，雄蕊は 136-242 箇の多數を有す。不耐冬性の品種なり。〔花色〕紫藍色。〔花候〕夏。

〔原産地〕亞弗利加？

人生との關係　觀賞用として池中に栽培し，又切り花として愛玩せらる。本種は栽培容易なるものなれども，元來熱帶性のものなれば 7-8 月頃の溫度を適度とし 5 月頃に至りて肥沃の池土に植付け日光の照射充分なる樣にし，冬季は攝氏 60 度の溫水中に貯ふる樣にすべきものなり。

2. ジュンサイ 屬　BRASENIA.

5129. **じゅんさい**　蓴　（1 圖版-6）…… ヒツジグサ科
Brasenia Schreberi, *Gmel.*

（異名）ぬなわ　〔形態〕古き池沼内に自生する多年生の浮上草本にして，泥中に根を生じ，莖は細長く水中に生育す。葉は楕圓狀楯形の全緣葉にして，長さ 4-5-9 糎（1-5-3 寸）許に達し，長柄によりて水面に浮ぶ。莖及葉の背面には寒天樣の粘液を分泌し，新葉は殊に粘液質に富む。夏日葉腋に長き花梗を出だし，紫紅色の小花を通常日中のみ水面上に開く。萼片は 3 箇を有し，短毛を布き，花瓣も亦 3 箇にして線形をなす。雄蕊は 12-18 箇を具へ，心皮は 6-18 箇を有し，殼は革質にして裂開せず。〔花色〕紫紅色。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部・臺灣。

人生との關係　若き葉は蓴菜の砂糖がけ又は湯野豆腐等と共に三杯酢として食用に供す。莖葉を揉み碎き癤疔に塗布すれば特效あり。

3. ハス 屬　NELUMBO.

5130. **ハス**　蓮　（1 圖版-7）…… ヒツジグサ科
Nelumbo nucifera, Gaertn.

（異名）ハチス・レンゲエ　〔形態〕亞熱帶亞細亞原産の多年生草本にして，本邦にては池沼又は水田等の淺水中に栽培せらる。地下に肥厚せる長大なる根莖を有し，節間には多數の縱行せる管狀の空隙あり。葉は長柄を有し，高く水上に抽出し，葉身は圓楯形，全緣にして，大なるものは直徑 60 糎（2 尺）餘に達す。夏日長大なる花梗を抽き，白色或は淡紅色にして美麗なる 1 箇の大形花を點頭し，花後花托發育して倒漏斗狀をなし，中にシヒの實に似たる堅果を藏す。萼片は 4-5 箇を有し，花瓣は多數ありて倒卵形をなし，雄蕊亦多數にして，花絲は短く，葯隔は斗出して，棍棒狀をなす。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕亞細亞。

人生との關係　蓮には其品種極めて多く，單瓣あり，重瓣あり，花色に爪紅底紅，普通紅色，極紅，白色等又金絲蓮，銀絲蓮とて花瓣に筋の入りたるもの，其の他天竺蓮と稱して極めて美紅色を呈し，花瓣は細長くして內方に反卷するもの等あり。又其の地下莖及種子及嫩葉は食用に供せらるゝを以て或は觀賞用に或は莖實の採收用に廣く池沼，水田等に栽培せらる。

調 理 法

（1）**サタウヅケ**（砂糖漬）　蓮根の外皮を去り，厚さ 1 糎（3 分）許に輪切りとなし，之を 30 分間程煖でゝ煮に揚げ，よく冷却したる後，再び糖汁を加へて煮詰めたる後，器に取り揚げ一々廣げて，糖汁を適下せしめたる後貯藏するものなり。

（2）**スレンコン**（酢蓮根）　酢に砂糖と食鹽とを加へて煮立てたる中へ，蓮根の皮を去りて 1-1•2 粍（3-4 分）の厚さに稍斜に輪切りとしたるものを入れて煮付くるなり。但し長く煮るべからず。

（3）**レンコンノゴマアヘ**（蓮根の胡麻和）　蓮根を細く切り酢を少しく入れて煖でたるものを，胡麻を炒り，味噌少量と味醂，砂糖とを加へよく摺り合せたるものと和へるものなり。

（4）**レンコンノノリマキ**（蓮根の海苔卷）　蓮漬を酢にて煮たる後，縱に細長く切り，海苔の上に蓮根，香蕈，干瓢等の味を付けたるものを並べて，スヾの樣に卷きたるものなり。

（5）**ハスノハメシ**（蓮葉飯）　嫩葉を細かく切りて鍋に適き程の水を入れ，暫らく煮出したる後，葉を取り出し，其汁にて飯を焚き，蒸し上りたるときに前の葉をよく飯に搖き交ぜて飯器に移し，食するものなり。但し葉を煖でるとき少量の食鹽を加ふるときは更に風味あり。

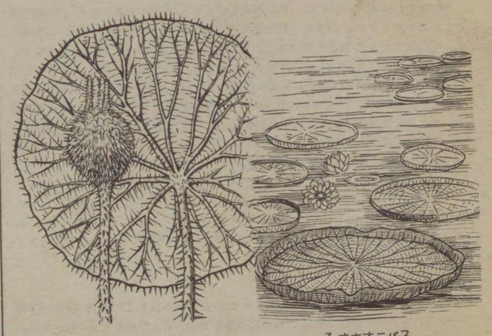
（6）**ハスチヤ**（蓮茶）　新らしき蓮の葉を取り，傷みたる所は少しにても注意して之を取り去りたる後，牛切桶に水を入れて 2 晝夜程此の中に漬け置き，（其間屢ば換水す）後繩の如きものに通して，陰干となしよく乾きたるとき粗く刻みて袋に入れ，陰所に吊し置き，通常の茶の如く煎用す。

其の他蓮の葉，子實等は古來諸種の藥用に供せらる。主なるものを擧ぐれば（1）葉を乾燥して之を煎服するか，或は葉を搗きて之に水を加へたるものを服用するときは，面類の中毒並に一般解毒に效あり。（2）葉を黑燒として白濁にて飮用すれば，婦人乳房の疼痛を治し，飯粒と煉り合せて塗布すれば齒痛を治するによろしく，又一般的の腫物に之を雜用するも效あり。（3）漆瘡には蓮葉の煎汁にて洗滌すれば効あり。　其他子實を攝食すれば氣力增進，除熱，腰痛を治すべく，雄蕊を開花中に採取煎用すれば精力增進，血液促進等に效あり。　花瓣を陰干となし，腫物に貼用せば膿汁を吸ひ出し，疼痛を治するに效あるものなり。

蓮の栽培法

蓮の繁殖は蓮根の節毎に藕を生ずるに依る。　田に植うるには肥め充分に耕作したる後，大なる蓮根（俗に種蓮）を埋め，1 日位後に人糞尿を施すべし。　鉢栽培せんとするには，初め田土と油粕の如き肥料とを混合したるものへ種蓮を下ろし，發芽後 1-2 回乾鹽を埋め置くときは充分に開花を見るを得べし。

盆栽用として栽培せんには，秋期よく熟したる子實を採り，砥石にて子實の心に達する迄磨ぎ，粘土を以て 2-3 顆づゝ包みたるものを，鉢へ泥土を半分程と清水を適宜に入れたる中へ埋め置くときは，翌春に至り發芽し，3 年目には開花を見るに至る。又前法の如く地下莖を植ゑ込むも可なり。施肥としては，植込みの際及發芽前並に花蕾を發する際の 3 回に干鰯，〆粕，骨粉，動物肥料等を施し，水は絕へず供給せざるべからず。又寒氣烈しき頃に至れば鉢のまゝ土中に埋め置くを可とす。鉢植用の鉢は口徑 45-48 糎（1•5-1•6 尺）深さ 21-24 糎（7-8 寸）以上の磁器を最も適當とす。



6 オニバス　　7 オホオニバス

4. オニバス 屬　EURYALE.

5131. **おにばす**　芡實　（白圖-6）…… ヒツジグサ科
Euryale ferox, *Salisb.*

（異名）いばらばす・みづぶき　〔形態〕暖地の池沼等に自生する一年生の水草にして，全株刺を被る。葉は圓形或は楕圓形にして，蓮と同じく楯狀をなし，下面は赤色或は紫色を呈し，葉脈は凸起し，且つ皺を生じ，徑 0-3-1 米（1-3 尺）許に達す。夏日地下の根莖より長梗を出し，紫色にして長さ 3-4-5 糎（1-1-5 寸）許ある花を點頭す。萼片は 4 箇を直生し，花瓣は多數ありて 3-5 列して萼片より短く，雄蕊は多數にして 8 束せられ，子房は 8 室を有し，隆起せる花托中に沈在す。花後海綿質より成れる徑 4-5-9 糎（1-5-3 寸）許ある漿果を結び，宿存萼を冠す。〔花色〕紫色，〔花候〕夏。〔分布〕本州各部。

人生との關係　本種は時に栽培し，其奇異なる形態を觀賞する夏の水中植物なり。又種子及地下莖は食用に供し，全植物を採取陰干にしたるものを藥用に供す。

5. オホオニバス 屬　VICTORIA.

5132. **オホオニバス**　（白圖-7）…… ヒツジグサ科
Victoria regia, L.

〔形態〕南米「アマゾン」河に產する水草にして，英名を「ローヤル・ウーター・リリー」(Royal water-lily) と稱し，本邦には未だ栽培せられざる世界第一の大形種なり。概形稍オニバスに似たり。莖葉共に强剛なる毛を密生し，葉は直徑實に 6 米（20 尺）に及び，緣邊は 21-24 糎（7-8 寸）許，直角に上方に曲り，恰も馬盥の如き形をなして水面に浮ぶ。　質は堅固にして 5-6 歲の兒童は 2-3 人を載せて平氣なりと云ふ。花は直徑 18-21 糎（6-7 寸）許，重瓣にして暗紫色を呈す。萼片は 4 箇を有し，花瓣は 60-70 箇，雄蕊は 150-200 箇の多きに達し，花柱は 45 糎（1•5 尺）に及ぶ。〔花色〕帶「クリーム」白色。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

PL. 1.

1 ヒメス井レン　　2 アカバナヒツジグサ　　3 オトコス井レン

4 ビジンス井レン　　5 アフリカス井レン　　6 じゆんさい

7 ハ ス　　8 かはほね　　9 ねむろかはほね

6. カハホネ屬 NUPHAR.

5133. **かはほね** 萍蓬草 (1圖版-8) …… ヒツジグサ科
Nuphar japonica, *DC.*

(異名) かうほね 〔形態〕沼澤等に多く自生する多年生草本なり。根莖は肉質にして甚だ太く,横走す。葉は長き葉柄を具へ,水上葉は卵狀長楕圓形箭脚をなし,一見里芋の葉に似て細長く,長さ6-9糎(2-3寸)より30糎(1尺)許に達し,其質稍厚く,沈水葉は薄質にして柔く,鋸緣を有し,色亦淺し。7-8月頃太き花莖を水上に抽出し,徑4-5糎(1-5寸)許ある黃色の花を點頭す。萼片は花瓣狀をなして大きく,倒卵形,凹頭にして5箇を有し,花瓣は長方形を呈し小形なり。雄蕊は多數ありて短く,子房は廣卵形を呈し,柱頭は盤形にして12箇の鈍齒牙緣を有す。花後9-10月頃卵狀球形にして,長さ4-5糎(1-5寸)許ある綠色の蒴果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。
〔分布〕邦內各地。
人生との關係 觀賞用として栽培することあれども,亦生花用として珍重せらる。

5134. **ねむろかはほね** (1圖版-9) …… ヒツジグサ科
Nuphar pumilum, *Smith.*

(異名) えぞかはほね 〔形態〕北地の淺き淡水中に自生する多年生草本にして,概形前種に似たれども,其の葉は前種に比し,廣潤にして淡綠色を帶び,上面稍皺縮にして黑紋を裝ひ,下面細毛を密布す。基脚深心脚をなし,兩脚垂は擴開し,葉柄は稍長にして稍扁壓せらる。8月頃1花莖を水面上に抽出し,徑2-1-2-4糎(7-8分)を有する黃色の1花を點頭す。萼片は5箇を有し,花瓣は9-12箇ありて,柱頭は8-12分裂をなす。〔花色〕黃色。
〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州。

5135. ひめかはほね …… ヒツジグサ科
Nuphar subintegerrimum, *Makino.*

〔形態〕本種も亦カハホネに似たる多年生水草にして,彼に比して全株小形なり。根莖は匍匐生にして頗る肥厚し。水上葉は厚革質の廣橢圓狀卵形にして基脚箭形を呈し,脚片は三角狀卵形鈍頭をなし,長さ4-5-11糎(1-5-3-5寸)許に達す。沈下葉は薄膜質にして,鋸縮面を有し,卵狀或は長橢圓狀披針形にして,心脚或は箭脚をなす。夏日水上葉より超出せる長き花莖を抽出し,徑3糎(1寸)許ある黃色の1花を點頭す。萼片は外片背面往々綠色を呈する5箇を有し,圓形,橢圓形或は倒卵形にして,花瓣は廣線狀方形を呈し,長さ6粍(2分)許,密槽を有す。雄蕊は多數,子房は圓錐狀卵形をなし,柱頭は8-9箇の星狀を現はし,花後球形にして,短嘴を有する蒴果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州中部及南部。

5136. べにかはほね …… ヒツジグサ科
Nuphar subintegerrimum, *Makino.* forma rubrotinctum, *Makino.*

〔形態〕本種は前種ヒメカハホネの一品種にして,彼に比するに花は初め黃色なれども,旣にして赤色に變ずるものなり。〔分布〕邦內各地。

5137. たいわんかはほね …… ヒツジグサ科
Nuphar Shimadai, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生水草にして,根莖は肥厚し,匍匐生なり。葉は長き葉柄を有し,圓頭をなせる長橢圓形或は卵形にして,基脚箭狀心形をなし,長さ7-5-9糎(2-5-3寸)許に達す。脚片は稍三角形,銳頭をなし,下面に粗毛を密生す。花は根莖より,長さ24-40糎(8-1-3尺)許を有する花莖を抽出し,黃色の1花を頂生點頭す。萼片は5箇にして,倒卵形或は筐狀倒卵形をなし,花瓣は頗る多くして雄蕊狀を呈し,長さ6粍(2分)許。雄蕊も亦頗る多數を有す。花後廣球形にして長さ1-5糎(5分)以上を有する蒴果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕周年。〔分布〕臺灣。

* * * * *

中心子群

1. なでしこ(石竹)科　CARYOPHYLLACEÆ.

本科の植物は草本又は半灌木なり。葉は概ね狭き單葉にして，通常對生稀に互生し，托葉を有するか或は之を缺く。花は通常兩性の整齊花にして概ね擬繖花序をなし，更に圓錐狀花序に總合し，又稀に單生す。花の諸器官は輪狀排列をなし，萼と花冠との區別明瞭なれども，稀に花瓣は之を缺くことあり。5 稀に 4 數性にして，萼は下生。萼片と花瓣とは同數なり。雄蕊は通常花瓣の 2 倍ありて重輪に排列するか，或は稀に花瓣と同數，或は夫れより少數なり。雌蕊は 5-2 箇の結合せる心皮より成り，上位又は半下位の 1 箇の子房を有し，子房は多くは 1 室又稀に 2-5 室を具へ，多數乃至 1 箇の彎生或は倒生卵子を含む。花柱は 2-5 箇を有し，果實は蒴果或は稀に全面乾果(瘦果)にして，種子には胚乳と彎曲胚とを含む。

9 かはらなでしこ

本科には凡 70 屬 1450 種の植物を含有し，主として溫帶地方に產し，本邦には自生品或は栽培品を合して，凡 20 屬 125 種內外を產出す。

本科所載植物名目次

アヲハコベ……5194　カンナデシコ……5144　タカネマンテマ……5209
アヲバナツメクサ……5200　ガンピ……5220　タカネミミナグサ……5173
アシナシハコベ……5186　キクザキハコベ……5184　タカノツメ……5248
アミノメ……5161　クシロワチガヒサウ……5207　タチハコベ……5232
アメリカセンノウ……5211　クモキナデシコ……5141　チシマイハツメクサ……5182
アメリカナデシコ……5143　クルマガンピ……5221　チシマツメクサ……5250
アンジヤベル……5145　ケエンビセンノウ……5214　チシママンテマ……5246
イセナデシコ……5147　ケフシグロ……5227　チヤボヒロハマンテマ5244
イトナデシコ……5157　コゴメナデシコ……5158　ツシマハコベ……5186
イトハコベ……5181　コハコベ……5177　ツメクサ……5248
イハツメクサ……5183　コバノツメクサ……5235　ツルセンノウ……5199
ウシハコベ……5178　コバノミミナグサ……5168　ツルハコベ……5180
ウシホツメクサ……5253　コバノミヤマハコベ……5185　テウカイフスマ……5163
ウスベニツメクサ……5251　コムギセンノウ……5213　テバコマンテマ……5230
エゾオホヤマハコベ……5191　コモチナデシコ……5154　トコナツ……5148
エゾカハラナデシコ……5138　ザクロガンピ……5217　トコナデシコ……5149
エゾセンノウ……5214　サツマナデシコ……5147　ナガバナビランヂ……5236
エゾノミヤマハコベ……5189　サツマミュンジン……5226　ナギハコベ……5193
エゾハコベ……5187　サハハコベ……5179　ナデシコ……5130
エゾフスマ……5197　サボンサウ……5223　ナンバンハコベ……5190
エゾフスマ……5222　シコタンハコベ……5193　ニヒタカセキチク……5156
エゾマンテマ……5242　シナノナデシコ……5155　ニヒタカツメクサ……5251
エゾミヤマツメクサ……5254　シバツメクサ……5201　ヌプリボツメクサ……5166
エンビセン……5218　シホツメクサ……5249　ネチガヒサウ……5202
エンビセンノウ……5218　シマノミノツヅリ……5102　ネバリハコベ……5201
ヲグラセンノウ……5215　シマビランヂ……5236　ノナデシコ……5139
ヲノヘナデシコ……5141　シママンテマ……5226　ノミノツヅリ……5161
オホサカサウ……5216　ジヤカウナデシコ……5145　ノミノフスマ……5196
オホシラタマサウ……5223　シラオヒハコベ……5197　ハコベラ……5176
オホツメクサ……5257　シラタマサウ……5237　ハコベラ……5176
オホバツメクサ……5183　シラネガンピ……5224　ハチヂヤウナデシコ……5151
オホバツメクサ……5253　シロバナマンテマ……5240　ハチヂヤウナデシコ……5155
オホバナミミナグサ……5174　シロミミナグサ……5169　ハナイトナデシコ……5159
オホビランヂ……5225　スキセンノウ……5209　ハヘトリナデシコ……5239
オホマンテマ……5243　ススクサ……5225　ハマタカノツメ……5249
オホヤマハコベ……5190　スズメグサ……5238　ハマツメクサ……5249
オホヤマフスマ……5231　スズメノアヒ……5161　ハマナデシコ……5152
オホヤマフスマ……5231　セイヤウミミナグサ……5170　ハマハコベ……5200
オランダセキチク……5145　セキチク……5146　ハリナデシコ……5160
オランダナデシコ……5145　センジュガンピ……5224　ヒゲナデシコ……5143
カサクサ……5225　センノウ……5208　ヒゲネワチガヒ……5206
カトウハコベ……5194　センノウザ……5208　ヒナワチガヒ……5203
カーネーシヨン……5145　タイリンミミナグサ……5171　ヒメケフシグロ……5228
カハラケシ……5226　タイリンノミノツヅリ5102　ヒメタガツヅ……5231
カハラザマ……5226　ダウクワンサウ……5225　ヒメナデシコ……5150
カハラナデシコ……5139　タガソデサウ……5175　ヒメナデシコ……5153
カラナデシコ……5146　タカネツメクサ……5252　ヒメハコベ……5188
カラフトツメクサ……5105　タカネナデシコ……5142　ヒメフデナデシコ……5153
カラフトマンテマ……5245　タカネナンバンハコベ5198　ヒメワダサウ……5205
ビランヂ……5234　ベニバナナキセンノウ5223　ミヤマナデシコ……5155
ヒロハエゾオホヤマハコベ……5192　ヘルトカールス……5239　ミヤマハコベ……5184
ヒロハカハラナデシコ5140　ホソバツメクサ……5256　ミヤマミミナグサ……5172
ヒロハノマンテマ……5219　ホソバワチガヒサウ……5207　ムギセンノウ……5212
フクロナデシコ……5243　マツモト……5222　ムギナデシコ……5212
フシグロ……5210　マツモトセンノウ……5222　ムシトリナデシコ……5239
フシグロ……5226　マツヨヒセンノウ……5210　ムシトリビランヂ……5247
フシグロセンノウ……5210　マルバハコベ……5180　ムレナデシコ……5159
フジワチガヒ……5205　マルバハコベ……5184　メアカンフスマ……5163
フタマタコゴメナデシコ……5159　マンテマ……5241　ヤマナデシコ……5139
フデナデシコ……5152　ミクサ……5201　ヤマハコベ……5195
フラネルサウ……5209　ミミナグサ……5167　ヤンバルハコベ……5201
　　ミヤマツメクサ……5253　ワダサウ……5204

1. カハラナデシコ屬　DIANTHUS.

5138. **えぞかはらなでしこ**　(白圖-8)　…… ナデシコ科
Dianthus superbus, *L.*

〔形態〕カハラナデシコの原種に屬し，概形彼と同樣なれども，本種の莟筒は狹細にして，長さ 1-8 糎(6 分)內外を有するものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道。

8 ねぞかはらなでしこ

10 たかねなでしこ

5139. **かはらなでしこ**　瞿麥(白圖-9)…… ナデシコ科
Dianthus superbus, *L.* var. longicalycina, *Williams.*

(異名) なでしこ·やまなでしこ·のなでしこ　〔形態〕山野に多く自生する多年生草本にして，秋の七草の一なり。莖高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し，莖葉共に毛を有せず。葉は線狀披針形にして，銳尖頭をなし，基脚合生し膨起せる節を擁して對生す。9 月頃莖上小枝を分ち，花瓣の緣邊複輳に細深裂をなせる徑 4-5 糎(1-5 寸)許ある淡紅色又稀に白色の愛らしき花を，2 岐せる聚繖花序に排列す。小苞は卵形にして數片を具へ，微凸頭をなし，花は稍小形にして，香氣を有す。萼は長圓筒形をなして長さ 3 糎(1寸)許を有し披針形，銳尖頭をなせる 5 裂片を具へ，花瓣は 5 箇にして深く細裂し，鉤部の基脚には鬚毛を生ず。雄蕊は 10 箇にて挺出し，子房は 1 室，花柱は 2 箇を具へ，花後 4 裂を有する蒴果を生ず。〔花色〕淡紅色又稀に白色。〔花候〕秋。〔分布〕日本全土。

人生との關係　カラナデシコに對しヤマトナデシコとも稱し，初秋の候山野，河邊等に喨き出でたる樣實に愛らしく赤可憐なるものなり。往々庭園等に栽植せらる。

(備考)　瞿麥と石竹とは殆んど同一種の如き觀ありて，其區別に困難なれば次に識別の要點を摘記し參考に供す。

	(石　竹)	(瞿　麥)
(1)	花瓣 5 枚にして互に離生せず	花瓣は 5 枚なれども離生す。
(2)	花瓣の先端粗淺裂す	花瓣の先端深く細裂す。
(3)	苞は長し	苞は短し。

5140. ひろはかはらなでしこ…… ナデシコ科
Dianthus superbus, *L.* var. lathfolium, *Nakai.*

〔形態〕北地に自生する多年生草本にして，本種も赤カハラナデシコの一種なり。莖は簇生し，葉は線狀倒披針形或は倒披針形にして，徑 6-9 粍(2-3 分)許，萼は長さ 2-4-2-7 糎(8-9 分)許あり，花瓣は比較的大形なり。〔分布〕樺太·北海道。

5141. くもねなでしこ…… ナデシコ科
Dianthus superbus, *L.* var. alpestris, *Nakai.*

〔形態〕高山草本帶に自生するカハラナデシコの一種なり。全株粉白を裝ひ，莖は矮小にして簇生す。〔分布〕本州中部。

5142. **たかねなでしこ**　(白圖-10)　…… ナデシコ科
Dianthus superbus, *L.* var. speciosus, *Reichb.*

(異名) をのへなでしこ　〔形態〕本州中部以北の高山草本帶に自生する多年生草本にして，莖高さ 21-24 糎(7-8 寸)に達し，葉は披針形をなし，通常粉白を布きて對生す。7-8 月の候，莖頂に紫紅色にして芳香を有する花を開き，形カハラナデシコに似たれども，苞の先端延長す。萼筒は長さ 1-8-2-4 糎(6-8 分)を有し，花瓣は稍大形なり。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

5143. **アメリカナデシコ**　(2 圖版-10)　…… ナデシコ科
Dianthus barbatus, L.

(異名) ヒゲナデシコ　(英名) スキート·ウイリアム (Sweet William)　〔形態〕外來の多年生草本にして，莖高さ 30-45 糎(1-1-5 尺)許に達し，4 稜をなし，葉は長楕圓狀披針形にして 5 行脈を有す。花は短き花梗により圓頭の聚繖花序に數箇乃至多數を密生すれども，香氣を有せず。花瓣は連續して緣邊に齒牙を有し，鬚毛を生ず。小苞は 4 箇ありて卵狀鑿形をなし，萼筒と稍同長なり。〔花色〕赤，薔薇，紫，白色等種々。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　庭園，鉢植等として栽培し愛玩に供せらる。

5144. かんなでしこ…… ナデシコ科
Dianthus Buergeri, *Mig.*

〔形態〕葉は橢圓狀披針形或は披針形にして，單行脈を有し，緣邊は稍鐮澁なり。小苞は乾皮質にして，披針形を呈し，萼筒より短く，花瓣は狹小なる箆形をなす。(栽植種)

5145. **オランダナデシコ**　和蘭撫子·麝香撫子 …… ナデシコ科
Dianthus Caryophyllus, L.　(2 圖版-11)

(異名) アンジ,ベル·カーネーション·オランダセキチク·ジ,カウナデシコ　(英名) カーネーション(Carnation)·グローヴ·ピンク(Glove pink)　〔形態〕本種は最初和蘭より輸入せられたる多年生草本にして，莖高さ 30-90 糎(1-3 尺)許に達し，分岐性に富み，下方は殆んど木質を呈し，莖葉共に平滑にして粉白を裝ひ，本料通有性の結莖は顯著なり。葉は肥厚して長線形をなし，先端鈍くして且つ硬く，龍骨狀を呈し 5 行脈を有す。花は長梗を有し，通常單生にして，芳香を放つ。花瓣は接合して先端淺く剪裂し，毛を有せず。小苞は卵形にして 4 箇を有し，急凖銳尖頭をなす。萼片は筒狀をなし先端圓尖にして反捲す。〔花色〕薔薇色，白色，緋色，紫色等種々。〔花候〕夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　本種は前種カハラナデシコの如き淡雅高尙の容姿には稍乏しきも，華麗艷美の點に於ては優に之を凌駕し，且つ一種得も云はれざる芳香を伴ふものなるを以て，現代園藝品中最流行の花卉類の一種にして花壇に，鉢植に，はた切り花に其需要は益々多きを加ふるものなり。以下種類栽培法の大要につき記述すべし。

カーネーションの品種及栽培法

種　類

本種は其長き栽培の歷史と，各國戰爭的に栽培し，改良に改良を加へたる結果又は各國の風土，淘汰の方法等により，其品種實に千差萬別の狀態なれども，現今專ら英·佛の園藝家中に於て盛に揣摸せられつゝある優良種數種につき，以下略記すべし。

(1) **セルフ·カーネーション** (Self Carnation)　1 箇の花が必ず 1 色を表はし，他色を混ぜざる品種なり。

(2) **フレーク·カーネーション** (Flake. C.)　白色又は黃色等の單色なる地色に，紫色又は赤色とかの如き單色を以て疵狀を彩れるもの卽ち單色に單色の疵狀を有する品種なり。

(3) **ビザーレ·カーネーション** (Bizarre C.)　單色に他の 2-3 色の疵狀を彩りたる品種なり。

(4) **ピコチー·カーネーション** (Picotee C.)　單色の地に單色を以て鮮明に緣取りをなせるもの，卽ち覆輪をなせるものにして，通常薄き地色に濃き同色を以て彩りたるもの多し。(以上英國式分類法)

(5) **グレナディン·カーネーション** (Grenadin C.)　花は一重或は八重の中輪にして，花瓣に鋸齒を有し，花色は單色にして，芳香の特に強き品種なり。

栽培法

播種法　本種も亦人を驚嘆せしむべき珍變種を得んとするには，播種法によらざるべからず。播種は通常春秋の二期に行ひ，秋蒔も稍早目に播種するときは春蒔と同じく翌年 11 月頃開花すれども，秋蒔のものは稍草勢よく，從て花多く春蒔のものは漸く 1 本立位にして，1 花を着くる程度なり。然れども何れにせよ實生による最初の花は見るに足らず，凡そかゝる花を開くと云ふ程度の標準となるに止まるものなれば，寧ろ秋蒔にして，纖弱なる苗を越冬せしむるが如き手數をかくるより，春蒔にして苗の强健になりたるものを越冬せしむる方，手數を省きて安全なり。併し「フレーム」上溫室の設備あれば，何れにするも可なるべし。

溫室內に於て播種せんとするには，1-2 月頃 60 度內外の溫室內に於て，淺き箱又は鉢へ腐葉土に砂を混じたる輕土を盛り，其上に薄く播種し，細土を篩ひかけ，適度に灌水して日陰に安置す。7-8 日を經過すれば發芽するを以て，其後 4-5 葉を生じたる頃 2 寸鉢へ 1 本づゝ移植し，移植後 2-3 日經過したれば漸次風通しのよき處に移し，溫度も 5 度位下げ且つ日當りをよくして，勉めて苗を强健に仕立つる樣に留意し，以て本植の準備をなすものなり。

挿芽法　挿芽に用ふる芽は，莖の中間部に生じたる側芽を用ふるも，又 1 度切返をなし，其處より生じたる芽を用ふるも可なり。何れにしても，挿芽用にせんとする芽の 6-9 糎(2-3 寸)に伸長したる頃，主枝の基部を固く押へ，右手にて芽の基部を持ち，主枝の皮の幾分付く位の心持を以て橫に引裂き，皮內の着きたるまゝ挿芽するか，或は節の下より剃刀を以て切り放ちて挿芽するもよけれども，第一の方法結果よきものゝ如し。時期は早春に行へば通常年內に開花す。

挿芽をなさんとするには，鉢或は箱へ土塊，瓦片等を入れて排水の裝置をなしその上に川砂又は「ピート」に腐葉土を等分に混じたるものを充たし，之れに 1-2-1-5 糎(4-5 分)位の深さに挿芽して水を注ぎ，硝子板を覆ひ，50-60 度の溫度內の日陰に安置す。

挿芽後約 2 週間位經過すれば，根を生じ活着するを以て，硝子板を取除き，徐々に空氣の流通を計り，徒長·軟化を防ぐ。爾後 10 日位も經過すれば，根は 1-2-1-5 糎(4-5 分)に伸長するを以て，其程度を見計らひ，1 本づゝ 2 寸鉢に植込みをなすものなり。

「カーネーション」の培養土は，苗の間は輕き排水よき肥土を用ひ，生育後は稍重き排水よき肥土を用ふるときは，好結果を得らるゝものなり。故に理想としては 2 種の培養土を準備するの必要あり。卽ち(イ)苗用のものは，油粕を混じたる砂がゝりたる眞土 4 分と腐葉土及馬糞 3 分，砂 3 分の割合に混じたるものへ少量の木灰を加へたるものを最上とし，(ロ)定植用のものは油粕等を混じたる砂がゝりたる眞土 5 分に腐葉土及馬糞 3 分，砂 1 分並に骨粉と木灰とを混じたるもの 1 分の割合に混合したるものを最良とす。

以下「ツーリー·カーネーション」種を代表として，其溫室栽培法につきて記述すべし。

鉢植法　前項に於て說明したる播種法によりしものにても，又挿芽によりしものにても最初は苗用の培養土を用ひて，2 寸鉢に 1 本づゝ植込み，3-4 週間經過して，根の充分に張りし頃を見計らひ 3 寸鉢に移し，更に 1 ケ月乃至 1-5 ケ月經過したる後，愈々 5-6 寸鉢に本植込をなす。本植の時は定植用の培養土を用ひ，植込みは餘り深くなく，根の出たる處より漸く 6-9 粍(2-3 分)位土を被ふ程度にし，深植は避けざるべからず。而して苗の內は根の餘り緊らざる樣に輕く植込み，定植は可成緊めて植込み，太根の發生を防ぎ細根の十分に行き渡る樣にすること肝要なり。次に移植したる當時は可成日光の直射を避け，漸次多量の日光と空氣の流通を計り，且つ室內の溫度は 50-50 度內外を適度とし，水は餘り多きを好まざるものなれば，乾燥に失せざる程度に灌水すること肝要なり。

摘　心　3 寸鉢に移植したる後，芽の 9-12 糎(3-4 寸)に伸びたる頃，第一回の摘心を行ひて分枝を促す。新芽の 7 節位出でたる頃 5-6 節を殘して第二回の摘心を行ひ，其後も同じ程度にて最後の摘心を行ふものなれども，この最後の摘心は 7 月の初めより遲くも下旬頃迄に終る樣にせざれば，1 月に花を見ること能はざるべし。次に最後の摘心後は 1-2 ケ月も間は特に急激の發育をなさゞる樣に留意すること肝要なり。愈々雷の出で初めたれば，1 番頂に出でたるものを 1 箇殘して，他のものは殘らず切り捨つべし。此際側芽を出して盛に雷を着くるを以て，油斷なく摘み取る樣にならすべく，開花中は日光の直射を避くるを良とす。

支　柱　最後の摘心を終り，6-9 糎(2-3 寸)に伸長したれば，虛弱なるもの及餘りに混雜せる莖葉等は適宜に切り捨て，各莖に 1 本づゝの支柱を施し，葱の篠作りの如く結束す。支柱は設又は篠竹にて可なり。

施　肥　發育を停止せる時，或は移植後未だ根の充分に張らざる時は決して施肥すべからず。燐酸質と加里質の肥料は植土を作るとき前以て加へ置き，窒素肥料としては根の充分に鉢內に行き渡り，旺盛なる活動をなせるとき及開花の時期に至りたるときに約 10 日目位に充分に腐熟したる油粕汁を 3-4 倍に薄くしたるものを施せば可なり。時期を選ばず施肥するは效果なきのみならず，反つて害あるものなれば注意せざるべからず。

露地栽培法

「ボーダー·カーネーション」に屬する種類を秋期播種し，日陸に置くときは 7-8 日にして發芽す。發芽後 4-5 枚の本葉を出したれば，1 回移植を行ひ，越冬せしむ。勿論冬季霜除を施し，翌年霜害のなき 4 月下旬頃に至り，目的の土地へ定植すれば可なり。特に大形花を見んとするにあらざれば，播心するの必要なく花後に至り，根元より切り去りて新芽を出さしむれば，翌年再び開花すれども，3 年植に至らば，寧ろ新苗を作りて花を見るを得策とす。

5146. **カラナデシコ**　(2 圖版-12)　…… ナデシコ科
Dianthus chinensis, L.

(異名) セキチク　〔形態〕圓圃，花壇等に培養し愛玩する多年生草本

にして,莖は叢生し,有稜にして短毛を布き,高さ 30 糎(1 尺)許に達す。葉は披針形にして,綠白色を呈し,3-5 行脈を具へ,膨起せる莖節に對生す。4-5 月頃莖頂 2-3 分岐し,先端齒牙狀に細裂する 5 瓣花より成る盆狀花を單立又は稍簇生す。本花の有する萼は短圓筒形をなし,先端尖銳なる 4 箇の小苞を有し,萼と同長或は其半長許なり。〔花色〕紅色。淡紅色。白色。

〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として庭園又は鉢植となし愛玩せらる。花色淡紅色を普通とすれども,栽培變種多く一樣ならず,又花形にも單,重瓣等あり。

5147. **イセナデシコ**　伊勢撫子·薩摩撫子…… ナデシコ科
Dianthus chinensis, L. var. *laciniatus*, Koern.

(異名) サツマナデシコ　〔形態〕本邦には野生品なき點より觀察するときは,恐らく支那より渡來せしものなるべし。早くより薩摩國地方に於て栽培せられ,奇花を出したる關係上本異名ありと。カハラナデシコの一變種にして,概形彼に酷似すれども,本種の莖は長大にして,强直ならず。花は殆んど四季を通じて開き,花形大きく且つ花瓣の分裂も深く,各裂片は長形にして其美なること,蓋し本類中第一位なるべし。(栽培種)

5148. **トコナツ**　常夏　(2 圖版-14)…… ナデシコ科
Dianthus chinensis, L. var. *semperflorens*, Makino.

〔形態〕本種も亦カハラナデシコの一種にして,人によりてはカハラナデシコを鉢栽培の結果矮性種となしたるものを稱せり。又花戸は本種が四季咲性なるを以て,常夏の字を慣用すれども,本種とは全く異れる種類なり。莖は伏臥生にして,葉は披針形をなし,帶綠紫色を呈するもの多く,四時開花するの特徵を有す。莖高さ 30 糎(1 尺)許に達し,單一或は稍上分岐して 2-3 箇の美しく,且つ芳香を有する花を開く。花は薔薇色にして花瓣は 5 箇を有し,各片共に 1/4-1/5 位迄深裂して鋸齒狀をなし,基部は互に連續せず,內側に毛茸を生じ,10 雄蕊と 2 箇の花柱及 1 子房を具ふ。他種との雜種により變種多く,從つて又花色等頗る多樣なり。〔花色〕薔薇色。

〔花候〕周年。(栽培種)

人生との關係　フヂナデシコ·アメリカナデシコの類は庭園·花壇等に栽培して觀賞に供せらるれども,本種は主に鉢植として觀賞に供し,愛玩せらる。尙繁殖は實生及挿芽により,用土は鹿沼土に水苔を用ふ。栽培法等カーネーションに準ず。

5149. **トコナデシコ**　(2 圖版-13)…… ナデシコ科
Dianthus plumarius, L.

〔形態〕我國古くより栽培せらるゝ多年生草本にして,性寒氣に堪へ,强健なり。莖は單生或は双岐し,古莖は越年して木質狀となり,每年新梢を出して,高さ 30 糎(1 尺)內外に達し,莖葉共に粉白を裝ふ。葉は狹披針形にして肥厚し,縮澁なる緣邊を有し,1 行脈を具ふ。5-6 月頃より中等大にして淡紅色をなせる花を開き,殆んど周年花を見ることを得べし。蓋しトコナデシコなる和名は常に開花する所より命名せられたるものなり。花瓣は先端剪裂し,小苞は卵形にして微凸端をなす。本種は花戸の稱するトコナツにあらずして別種のものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕周年。

〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　鉢仕立又は花壇植として觀賞するに適す。本種は宿根性にして且つ寒氣に耐へ,强健なるを以て栽培は容易なれども,改良種にありては,相當注意を要す。株分,實生に依りて繁殖し,株分は秋季を適期となす。

5150. **ヒメナデシコ**　(2 圖版-15)…… ナデシコ科
Dianthus deltoides, L.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして,莖は多くの枝を岐ち斜上生なり。葉は長楕圓形若しくは線狀披針形にして,銳頭或は鈍頭をなし,長さ 2-4 糎(8 分)許に達す。花は赤色にして濃紅心を具へ芳香を有す。花瓣の基部には轉倒せる鱗狀の附屬物を有し,小苞は卵形にして凸頭をなし,萼筒の約半長なり。〔花色〕赤色。〔花候〕夏。

〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　本種も亦觀賞用として,庭園或は鉢植となし愛玩せらる。

5151. **はちぢゃうなでしこ**…… ナデシコ科
Dianthus hachijoensis, *Nakai.*

〔形態〕八丈島等に自生する多年生草本にして,莖高さ 18 糎(6 寸)許に達す。葉は宿根より叢生し,長さ 6 糎(2 寸)許,堅形にして毛緣を有す。花は徑 3 糎(1 寸)許ありて,枝梢每に 1 乃至 3 箇を着生し,苞は披針形をなして瓦列す。萼は長さ 1·8 糎(6 分)許,各裂片は芒尖銳頭をなし,花瓣は倒卵形にして不齊なる齒緣を有し,緋紅色を呈す。〔花色〕緋紅色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州(八丈島)。

5152. **ふぢなでしこ**　(2 圖版-16)…… ナデシコ科
Dianthus japonicus, *Thunb.*

(異名) はまなでしこ　〔形態〕暖地の海邊に自生する多年生草本にして,莖高さ 30-60 糎(1-2 尺)許に達し,圓柱形をなし節を具へ,全株滑澤なり。葉は長橢圓形にして肥厚し,對生す。7-8 月頃,莖頂に石竹に似たる花を聚繖花序をなして密簇す。花は長筒形の先端より 5 枚の橢圓形をなせる花瓣を出し,各片銳齒牙緣を有す。雄蕊は 10 箇,花柱は 2 箇を有し,小苞は卵狀鑿形にして萼筒の半長なり。本種は又ハマナデシコと稱すれども,ハマナデシコ (D. nipponicus, Makino.) と稱する植物他にあるを以て,牧野博士はフヂナデシコの和名を主張せらる。〔花色〕紫色,紅色,白色等種々。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

人生との關係　觀賞用或は切花用として各地に栽培せらる。

5153. **ひめはまなでしこ**…… ナデシコ科
Dianthus kiusiana, *Makino.*

(異名) ひめふぢなでしこ　〔形態〕海邊の岩上等に自生する多年生草本にして,全株無毛種に屬す。莖は宿根より簇出直生すれども,基脚屢ば伏臥生をなし,高さ 6-45 糎(0·2-1·5 尺)許に達す。葉は通常密生し,倒披針形或は長橢圓形をなし,先端銳く,毛緣を有す。聚繖花序は 1 箇乃至多數を着生し,苞は鑿形をなして小なり。花は概ね紫色なれども,緣邊は白色或は混色にして,花喉は濃紫色を呈し更に同色の 3 點を有す。小苞は 4 箇ありて基脚稍合生し,萼は筒形にして 5 裂す。花瓣は 5 箇を具へ,廣楔形にして長爪を有し,不齊細齒牙緣をなす。雄蕊は 10 箇ありて稍挺出し,花柱は 2 箇を有して亦挺出す。花後圓柱形にして長さ 1·8 糎(6 分)許ある蒴果を結ぶ。

〔花色〕紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕九州。

5154. **コモチナデシコ**…… ナデシコ科
Dianthus prolifer, L.

〔形態〕歐洲原産の一年生草本にして,葉は線形をなし,細鋸齒緣を有す。花は頭狀に簇生し,苞は乾皮質にして橢圓形をなし,微凸頭を有し,花圍を被覆す。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　花壇,庭園等に栽培し觀賞に供せらる。

5155. **みやまなでしこ**　(2 圖版-17)…… ナデシコ科
Dianthus shinanensis, *Makino.*

(異名) しなのなでしこ·はちぢゃうなでしこ　〔形態〕山地殊に信州·甲州·北海道等に多く自生する多年生草本なり。莖は梢部稍糙澁にして,高さ 60-90 糎(2-3 尺)に達するものあり。葉は線狀披針形,銳尖頭にして糙澁緣を有し,3-5 箇の行脈を具へて對生す。夏日紅紫色をなせる美麗なる 5 瓣花を,短梗によりて聚繖花序に排列す。萼は狹圓筒形をなし,花瓣は 5 箇を具へ,稍菱狀圓形にして,不齊なる細齒牙緣を有す。小苞は 4 箇を有し,長橢圓形,銳尖頭をなし,毛緣にして萼より短し。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。

〔分布〕北海道·本州北部及中部。

人生との關係　本種は其花頗る美麗なるを以て,培養宜しきを得ば必ず觀賞用植物としての價値あるべきものなり。

5156. **にひたかせきちく**…… ナデシコ科
Dianthus pygmaeus, *Hayata.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。莖は直生單一にして,高さ 6 糎(2 寸)許に達す。根葉は宿根より[illegible]し,莖葉と共に線形にして銳頭,長狹脚をなし,稍葉は細小なり。花は淡紅紫色或は淡紅色を呈し,稍無梗にして直生す。苞は 2 列に排列し,萼は圓柱形にして 5 裂し,裂片は三角狀卵形にして內面に毛茸を布き,毛緣をなす。花瓣は 5 箇を有し,倒卵形にして長き爪を有し,先端剪裂す。雄蕊は 10 箇を具へ,花後圓柱形にして柄を有する蒴果を結ぶ。〔花色〕淡紅色或は淡紅紫色。〔分布〕臺灣。

2. イトナデシコ屬　GYPSOPHILA.

5157. **いとなでしこ**　(2 圖版-18)…… ナデシコ科
Gypsophila perfoliata, *L.*

〔形態〕南部歐羅巴原産の園藝用多年生草本にして,莖葉共に概ね無毛なり。葉は卵狀披針形にして,基脚合生し,5 箇の行脈を有す。花は紫色を呈し,圓錐花序に排列し,萼片は瓣片より稍短かし。(栽培種)

5158. **コゴメナデシコ**　(白圖-11)…… ナデシコ科
Gypsophila paniculata, L.

(英名) ベビース·ブリース (Baby's-Breath)　〔形態〕本種は主に切花用として多量に用ひらるゝ外來の多年生草本にして,全株無毛種に屬す。莖高さ 60-90 糎(2-3 尺)に達し,頗る分枝性に富み,多くの細小枝を岐ち,且つ上方に高く伸長するより,地面に沿ひて橫に擴がるの性質を有す。葉は線狀披針形にして,稍鑿縮性を帶びて對生す。夏秋の候,白色にして,多くの花を萼より長き小梗によりて圓錐花序に排列す。萼は 5 裂し,裂片は鈍頭に

PL. 2.

して.花瓣は5箇を有し.爪を生ず。雄蕊は10箇.花柱は2箇を具へ.蒴は4殻を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕歐羅巴。

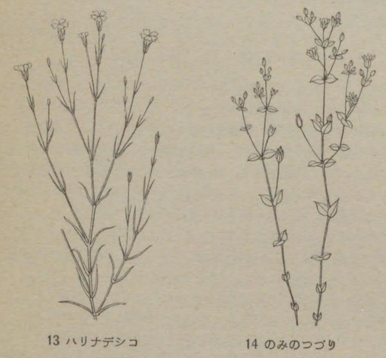
人生との關係　主に切花用として栽植せられ.又觀賞用に供せらる。本種は宿根草本なるを以て.株分によりて普通繁殖せしむ。時季としては秋季を適期とすべし。小刀を以て株分を行ひしものを.30糎(1尺)內外の間隔に定植し置くときは.冬季霜除等の必要もなく越冬し.5-6月頃に至りて開花す。土質は壤土を好み.肥料は堆肥.油粕.過燐酸石灰等を可とす。

11 コゴメナデシコ　12 ハナイトナデシコ

5159. **ハナイトナデシコ**（白圖-12）…… ナデシコ科
Gypsophila elegans, Bilb.

（異名）フタマタコゴメナデシコ・ムレナデシコ　（英名）コンモン・ギプソフィラ (Common Gypsophila)　〔形態〕本種は近時切花として.盛に栽培せらるゝ外來の一年生草本にして.花戸は之をカスミサウと稱す。莖高さ30糎(1尺)內外に達し.分岐性に富み.全株無毛なり。葉は長楕圓形.披形或は線形をなし.花は白色を普通とすれども亦往々桃色の濃淡もあり。花瓣は截頭をなし.萼より遙かに長し。〔花色〕白色.往々淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕西部亞細亞。

人生との關係　切花用として栽培せられ.又觀賞に供せらる。繁殖法としては.普通秋蒔の實生による。9月下旬頃.手箱又は鉢に1分目の土篩にかけたる腐植質壤土に下種す。性强健にして.發芽も亦容易なり。幼苗は數回移植を行ひ「フレーム」或は霜除內に越冬せしめ.初春の候に至り.露地に定植して切花を採取す。春蒔も亦可なり。



13 ハリナデシコ　14 のみのつづり

3. ハリナデシコ屬　TUNICA.

5160. **ハリナデシコ**（白圖-13）…… ナデシコ科
Tunica Saxifraga, Scop.

〔形態〕獨逸の南部に自生品を見る多年生草本にして.莖高さ15-24糎(5-8寸)內外に達す。莖は甚だ細瘠にして.且つ小枝を分ち.枝條は撒開生なり。葉は線狀鑿形にして對生す。夏日.紅白色或は濃紫色を呈する5瓣花を着生し.長梗によりて圓錐狀の聚繖花序に疎生す。萼は倒圓錐形をなして5齒緣を有し.花瓣は長楕圓狀楔形にして先端2裂す。雄蕊は10箇を有し.子房は1室.蒴は4殻を有す。〔花色〕紅白色又は濃紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　本邦にては觀賞用として栽培するに過ぎず。

4. ノミノツヅリ屬　ARENARIA.

5161. **のみのつづり**（白圖-14）…… ナデシコ科
Arenaria serpyllifolia, *L.* var. leptoclados, *Hausskn.*

（異名）あみのめ・すずめのあみ　〔形態〕田間.路傍等に自生する一年生の小草本にして.莖高さ漸く15-18糎(5-6寸)許に達し.通常分岐して叢生し.撒開生にして莖葉共に細毛を布く。葉は銳頭をなせる卵形にして.葉柄を缺く。春夏の候.白色にして小形なる5瓣花を聚繖花序に疎生す。萼片は披針形にして.花瓣は卵形をなし.萼片は稍長く.花後宿存萼と略同長なる廣卵形をなせる蒴果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太·本州·琉球·臺灣。

5162. **たいわんのみのつづり**…… ナデシコ科
Arenaria petiolata, *Hayata.*

（異名）しまのみのつづり　〔形態〕臺灣に自生する草本にして.莖は匍匐生をなし.稍軟弱にして長さ9-18糎(3-6寸)許に達し.往々逆毛を布くか又は無毛なり。葉は鈍頭をなせる卵狀篦形にして基脚狹まり.長さ1-2糎(4分)許ありて.兩面に毛茸を散生し.毛緣なり。萼片は長楕圓形或は披針形にして.花瓣は5箇を具へ.長楕圓形.鈍頭にして長さ9-12粍(3-4厘)許.雄蕊は10箇を具へ.花柱は3箇.花後長楕圓形の蒴果を生ず。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

5163. **めあかんふすま**（3圖版-19）…… ナデシコ科
Arenaria merckioides, *Maxim.* (*A. chokaiensis, Yatabe.*)

（異名）てうかいふすま　〔形態〕本邦中部より北部の高山草本帶に自生する多年生草本なれども.初め北海道雌阿寒岳の山頂に於て採集せられたるを以て名づけらる。莖は比較的太けれども.高さ漸く4-5-12糎(1-5-4寸)許に達し.莖葉共に短毛を密布す。莖は節間短く.枝を分ちて叢生す。葉は稍肥厚し.廣楕圓形或は披針形にして.1條の縱脈を具へ.下部のものは小さくして卵形の鱗片狀を呈し.何れも無柄にして對生す。7-8月頃.白色の花を腋出或は頂生す。萼片は5箇を有し.披針形にして銳頭をなし.花瓣は卵狀披針形.鈍頭にして甚だ短き爪を有し.萼片と稍同じく.雄蕊は10箇.雌蕊は1箇を具へ.子房は卵形にして3箇の花柱を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部。

5164. **かとうはこべ**…… ナデシコ科
Arenaria Katoana, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.莖は斜上生をなし.細毛を布く。葉は廣卵形或は楕圓狀卵形にして.長さ6粍(2分)許を有す。花は白色5瓣にして.1-3箇を枝端に頂生す。萼片は5箇.長楕圓狀披針形をなし.花瓣は5箇にして卵狀或は三角狀披針形をなし.萼片より長く.雄蕊は花瓣と稍同長にして10箇を有す。花盤は5起して5腺質を有し.花後生ずる蒴果は宿存萼より超出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

5165. **からふとつめくさ**…… ナデシコ科
Arenaria capillaris, *Poir.* var. glabra, *Fenzl.*

〔形態〕樺太の山地.岩壁等に自生する草本にして.花序及萼等何れも無毛なり。〔分布〕樺太。

5166. **ぬぶりほつめくさ**…… ナデシコ科
Arenaria capillaris, *Poir.* var. glandulosa, *Fenzl.*

〔形態〕本種も亦樺太の山地.岩壁等に自生する多年生草本にして.高さ9糎(3寸)許に達す。莖は宿根より叢生し.上部には毛茸を密布し.葉は線形をなす。花は白色にして1箇乃至數箇を枝端に頂生し.萼片は長楕圓形にして基脚に腺毛を生じ.花瓣も亦長楕圓形にして萼より長し。〔花色〕白色。〔分布〕樺太。

5. ミミナグサ屬　CERASTIUM.

5167. **みみなぐさ**　卷耳（3圖版-20）…… ナデシコ科
Cerastium vulgatum, *L.* var. glandulosum, *Regel.* (*C. triviale* var. *glandulosum, Koch.*)

〔形態〕各地の路傍·園圃等に最も多き一乃至二年生草本にして.莖葉共に腺毛を有し.莖高さ15-30糎(0·5-1尺)許に達す。葉は卵形或は長卵形鈍頭にして.葉柄を缺き對生す。春より夏に亙りて白色5瓣の花を聚繖花序

に排列す。萼片及花瓣は共に5箇を有し．披針形にして．花瓣は先端2深裂し．正開する時は10瓣花の觀あり。雄蕊は10箇．花柱は5箇或は3箇を有し．蒴は圓柱形にして宿存萼より超出し．口端に10歯を有す。〔花色〕白色。〔花候〕春—夏。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州·臺灣。

人生との關係　嫩葉を食用に供す。

5168. こばのみみなぐさ…… ナデシコ科
Cerastium vulgatum, L. var. *alpinum, Fenzl.*

〔形態〕前種ミミナグサの一種にして．彼の一乃至二年生草本なるに比し．本種は多年生にして．花亦彼に比して大形なり。〔花色〕白色。〔花候〕春—夏。〔分布〕本州中部。

15 シロミミナグサ

16 セイヤウミミナグサ

17 おほばなみみなぐさ

18 たがそでさう

5169. **シロミミナグサ**（白圖-15）…… ナデシコ科
Cerastium tomentosum, L.

〔形態〕本種も亦外來の園藝用多年生草本にして．莖は匍匐狀をなし．莖葉共に白色綿毛を密布す。葉は長橢圓形乃至披針形をなし．花は白色にして花瓣の先端2岐す。花後圓柱形の蒴果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　庭園又は鉢植として栽培し觀賞に供せらる。

5170. **セイヤウミミナグサ**（白圖-16）…… ナデシコ科
Cerastium arvense, L.

〔形態〕外來の多年生草本にして．莖高さ30糎（1尺）許に達し．莖葉共に絹毛を密布す。莖は多くの枝を分ち．葉は長橢圓形或は披針形にして．長さ1-2-3-6糎（0·4-1·2寸）許に達す。花は白色にして．花瓣の先端2深裂せる5瓣花より成り．聚繖花序をなして多花を着生す。花後生ずる蒴果は萼の倍長なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。（栽植種）

人生との關係　庭園或は鉢栽培として觀賞に供す。

5171. **タイリンミミナグサ**（3圖版-21）…… ナデシコ科
Cerastium arvense, L. var. *latifolium,* Fenzl.
(C. grandiflorum, Waldst. et Kit.)

〔形態〕外來の多年生草本にして．春先の鉢花等として一般に見受けらるゝ種類なり。タイリンミミナグサの和名は古くより命名せられたるものなれども．殆り用ひられずして．學名のセラスチウム（Cerastium）にて廣く通用す。莖は伏臥狀をなし．枝葉は稍大形にして廣卵形．長橢圓形或は披針形を呈し．兩面に白色短毛を密布す。花はミミナグサに似て純白色を呈し．花瓣は廣卵形をなす。〔花色〕純白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として．鉢栽培又は庭園等に栽培愛玩せらる。

5172. **みやまみみなぐさ**（3圖版-22）…… ナデシコ科
Cerastium schizopetalum, *Maxim.*

〔形態〕深山草本帶に自生する多年生草本にして．莖は叢生して撒開をなし．2縱列をなせる粘毛を具へ．葉は線狀披針形にして稍纖弱なり。花は聚繖花序をなして少數花を着生す。萼片は披針形にして粘毛を有し．花瓣は先端4深裂をなし．萼の稍倍長に達す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5173. たかねみみなぐさ…… ナデシコ科
Cerastium alpinum, *L.* var. beeringianum, *Regel.*

〔形態〕高山の草本帶に自生する草本にして．全株粗毛を密布す。莖は稍部に於て稍腺質をなし．葉は長橢圓形なり。花は聚繖花序をなして少數花を着生す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部

5174. **おほばなみみなぐさ**（白圖-17）…… ナデシコ科
Cerastium alpinum, *L.* var. Fischerialum, *Regel.*

〔形態〕北地の高山に自生する多年生草本にして．概形ミミナグサより稍大形なり。莖高さ30糎（1尺）以上に達し．下部には逆毛を生ずれども．上部には腺毛を混ずる細毛を布き．葉身は卵形或は披針形をなす。夏日叉狀に分岐せる聚繖花序を頂生し．白色大形の多花を着生す。萼片は長橢圓狀披針形にして．長さ6·6粍（2·2分）許．花瓣は5箇を有し．倒卵狀楔形にして上端深く2裂し．萼片の倍長なり。花後圓錐狀をなせる圓柱形の蒴果を生ず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部。

5175. **たがそでさう**（白圖-18）…… ナデシコ科
Cerastium Oxalidiflorum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖高さ30-45糎（1-1·5尺）許に達し．莖は斜上生にして簇出し．枝部には稍腺毛を布く。葉は披針形にして．沿んど葉柄を欠き．全緣にして鋭尖頭をなし．長さ7·5糎（2·5寸）許に達し．兩面短毛を密生す。夏日稍上分岐して比較的大形なる白色の5瓣花を多數聚繖花序に排列す。萼は鐘形にして外面に腺毛を布き、萼片は卵狀披針形をなす。花瓣は5箇を有し．稍窟狀長橢圓形にして．萼片より2乃至3倍長く．殊にナデシコ科に屬する花瓣は其の先端分岐するを常とすれども．本種の花瓣は分岐することなきを特徴とす。花後圓柱形にして宿存萼の2·5乃至3倍の長さを有する蒴果を生ず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

6. ハコベ屬 STELLARIA.

5176. **はこべ** 繁縷（3圖版-23）…… ナデシコ科
Stellaria media, *Cyr.*

（異名）はこべら　〔形態〕到る處に多く自生する一年生草本にして．春の七草の一なり。莖は斜上生にして．一條の毛線を有し．長さ15-60糎（0·5-2尺）に達し．地に伏して蔓狀をなす。葉は廣卵形にして對生し．下葉は葉柄を具ふれども．枝葉は稍無柄なり。春日莖端屈起して白色5瓣の花を聚繖花序に腋出或は頂生す。萼片は5箇あり卵形をなし．稍鋭頭にして外面小梗と共に腺毛を密布す。花瓣は5深裂し．各裂片は2裂し．萼片より短或は稍長く．雄蕊は6箇．花柱は3箇を有し．花後卵形にして6裂を有する蒴果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕日本全土。

人生との關係　本植物の莖葉は「カナリヤ」「ヒバリ」等の食餌として與ふることは普く人の知る處なれども．本植物が盲腸炎の一大奇藥なることは未知の人多きことならん。卽ち莖葉を煤でゝ浸物或は汁の實等として食するときは如何に頑固なる盲腸炎も日一日と病苦薄らぎ．2-3週間も繼續食用するときは．根治すること確實なり。其他産後．乳汁の分泌少量なるときは本植物の莖葉を食用或は煎服すれば分泌を旺盛ならしめ．又脚氣を治するに效あり。莖葉の煎汁又は鹽と共に揉むか或は酢に交へ．或は黒燒として胡麻油にて煉りたるものを．瘡·腫物の患部に塗布すれば何れも效あり。其他齒痛·打撲傷·子宮病·白帶下·心臟病·腸加答兒·心悸亢進等に效能あり。

5177. コハコベ…… ナデシコ科
Stellaria media, Cyr. var. *minor,* Makino.

〔形態〕多年生の歸化植物なり。莖は疎に双岐し．撒開生にして．往々暗

紫采を伴ひ．各節交互に毛線を有す。葉は橢圓狀卵形或は卵形にして．鋭頭鈍脚或は鋭脚をなし．長さ4·5-22粍（1·5-7·5分）許に達す。花は白色にして葉狀の苞を伴ひ．徑6粍（2分）許．萼片は5箇ありて長橢圓狀披針形をなし．背面有毛なり。花瓣は萼片より稍短くして2深裂をなし．雄蕊は瓣片より短く．花柱は白色短形にして3箇を具ふ。花後生ずる蒴は挺出し．中に多瘤にして腎狀圓形をなせる種子を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

5178. **うしはこべ**（3圖版-24）…… ナデシコ科
Stellaria aquatica, *Scop.*

〔形態〕田野．路傍等到る處に多く自生する多年生草本なり。莖は軟弱にして匍臥し．上部に線毛を生じ．高さ30-60糎（1-2尺）に達す。葉は卵形或は卵狀披針形にして．先端稍尖り．下葉は葉柄を有すれども．上葉は無柄なり。春夏の候白色5瓣花を枝端に頂生し．聚繖花序に排列す。萼片は卵形にして先端尖り．花瓣は2裂し．萼片より長く．花柱は5箇を有す。花後生ずる蒴果は卵形を呈して下向す。〔花色〕白色。〔花候〕春—夏。〔分布〕北海道·本州·九州·臺灣。

5179. さはこべ…… ナデシコ科
Stellaria diversiflora, *Maxim.*

〔形態〕山中．路地等の水濕地を好んで自生する草本にして．高さ15-45糎（0·5-1·5尺）內外に達す。莖は稍肉質にして軟く．基部は傾臥して根を生じ．分枝猛なり。葉は葉柄を具へ．葉身は卵形にして先端尖り對生す。7-8月頃葉腋に葉より短き花梗を抽出し．淡綠色を呈する1-2花を着生す。花瓣は小さく2裂するを以て恰も10瓣花の觀あり。萼片は披針形．鋭尖頭をなして無毛なり。花瓣は萼より長く或は短し。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州。

5180. **つるはこべ**（3圖版-25）…… ナデシコ科
Stellaria diversiflora, *Maxim.* var. diandra, *Maxim.*

（異名）まるはこべ　〔形態〕山地に自生する一年生草本にして．莖は疳長·平滑·纖弱にして傾臥し．多くの枝を分つ。葉は葉柄を具へ．小三角狀心臟形をなし．多少の毛茸を有して對生す。7-8月頃葉腋又は莖上に花梗を抽出し．白色にして5瓣の花を着生す。花瓣は5箇を有し．內に5箇の雄蕊と3-4箇の花柱とを具ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國九州。

5181. いとはこべ…… ナデシコ科
Stellaria filicaulis, *Makino.*

〔形態〕本州中部地方に自生する草本なり。莖は簇生し．絲狀をなして鋭4稜を有し．直生或は斜上生にして．高さ75糎（2·5尺）內外に達す。葉は狹線形にして．先端鋭く尖り．基脚狹形を呈し．長さ1-4·5糎（0·3-1·5寸）許あり。春夏の候絲狀にして長さ3-6糎（1-2寸）許ある小梗を出して．白色の5瓣花を頂生單立す。萼片は5箇を有し．蟇狀披針形をなし．花瓣は2裂して萼片より長し。花後生ずる蒴果は長圓柱形にして．宿存萼より超出す。〔花色〕白色。〔花候〕春—夏。〔分布〕本州中部。

5182. ちしまはこべ…… ナデシコ科
Stellaria florida, *Fisch.*

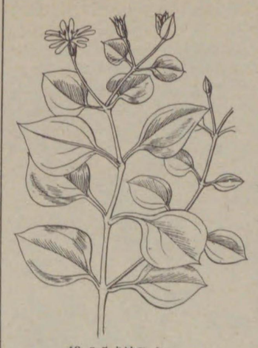
〔形態〕莖は單一にして．葉は卵狀長橢圓形或は披針形或は線形をなし．先端鋭尖なり。花は莖頂に1-3箇を着生し．萼の裂片は卵狀披針形．鋭頭をなす。花瓣は2中裂して萼より長く．各裂片は長橢圓狀線形を呈す。花後萼より稍長き長橢圓形の蒴果を生ず。〔分布〕千島。

5183. **いはつめくさ**（3圖版-26）…… ナデシコ科
Stellaria florida, *Fisch.* var. angustifolia, *Maxim.*

（異名）おゝばつめくさ　〔形態〕本邦中部高山の頂に自生する多年生の平滑なる草本にして．高さ12-15糎（4-5寸）許に達し常に叢生す。葉は線形或は線狀披針形にして．先端鋭く尖り．長さ1·5-3糎（0·5-1寸）許を有し．無柄にして對生す。7-8月頃莖頂又は枝上葉腋に長き花梗を抽出し．白色にして深く2裂せる5瓣の花を開き．中に雄蕊10箇及1雌蕊とを藏す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5184. **みやまはこべ**（白圖-19）…… ナデシコ科
Stellaria Francheti, *Honda.*

（異名）まるばはこべ·きくざきはこべ　〔形態〕深山陰地等の稍水濕の地を好んで自生する多年生草本にして．莖は初め直生すれども．花後延長して伏臥生となり．高さ30糎（1尺）許に達す。葉は葉柄を具へ．廣卵形にして短鋭尖頭をなし．大なるものは3糎（1寸）許に達す。5-6月の候通常葉腋に通常葉より長き小梗を抽出し．稍大形をなせる5瓣花を1箇づゝ着生す。萼片は披針形．鋭尖頭をなし．外面に絨毛を密布す。花瓣は深く2裂し．花柱は3箇を有し．果實は反捲す。〔花候〕春—夏。〔分布〕北海道·本州



19 みやまはこべ

20 えぞはこべ

各部·四國·九州。

5185. こばのみやまはこべ…… ナデシコ科
Stellaria Francheti, *Honda.* var. pygmaea, *Honda.*

〔形態〕本州南部の高山草本帶に自生する前種ミヤマハコベの一變種にして．概形彼に酷似すれども．全形稍小形なるを其異る所なりとす。

5186. あしなしはこべ…… ナデシコ科
Stellaria Francheti, *Honda.* var. sessiliflora, *Honda.*

（異名）つしまはこべ　〔形態〕九州對馬地方の高山草本帶に自生する草本にして．ミヤマハコベの一變種なり。概形彼に酷似すれども．只本種の花は彼の長き小梗を有するに比し．稍無梗なるを其異る所なりとす。

〔分布〕九州（對馬）。

5187. **えぞはこべ**（白圖-20）…… ナデシコ科
Stellaria humifusa, *Rottb.*

〔形態〕寒地を好みて自生する平滑なる草本にして．ミヤマハコベに比し稍小さく．莖高さ漸く12-15糎（4-5寸）に達するのみ。葉は葉柄を欠き．肉質にして卵形若しくは長橢圓形をなし．先端尖り．全緣にして對生す。6-7月の候．莖頂及葉腋に長き花梗を分ち．白色の小花を單立或は少數花を聚繖花序に綴る。花瓣は5箇を有し．各瓣片は深く2裂して萼と同長或は稍超出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道。

5188. ひめはこべ…… ナデシコ科
Stellaria micrantha, *Hayata.*

〔形態〕臺灣等の暖地に自生する草本なり。莖は匍匐生にして．節々より根を生ず。葉は葉柄を欠き．葉身は廣卵形にして．先端尖りて芒端をなし．基脚狹形にして．長さ9粍（3分）許を有す。花は莖頂及葉腋に小梗を出して聚繖花序に排列す。萼片は5箇を有し．長橢圓狀卵形．鋭頭をなし．花瓣も亦5箇ありて頗る小さく．各2深裂をなし．裂片は披針形を呈す。雄蕊は5箇花柱は3箇にして．花後卵形をなせる蒴果を結ぶ。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

5189. えぞのみやまはこべ…… ナデシコ科
Stellalia nemorum, *L.* var. Bungeana, *Regel.*

（異名）おゝはこべ　〔形態〕北地を好んで自生する草本なり。莖は纖弱にして毛茸を布き．葉は卵形或は卵狀心臟形をなして先端鋭く．緣邊に密毛を生ず。萼片は卵形をなし．花瓣は各2深裂して萼より1·5乃至2倍長きを特徴とす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道。

5190. **おほやまはこべ**（3圖版-27）…… ナデシコ科
Stellaria paniculigera, *Makino.*

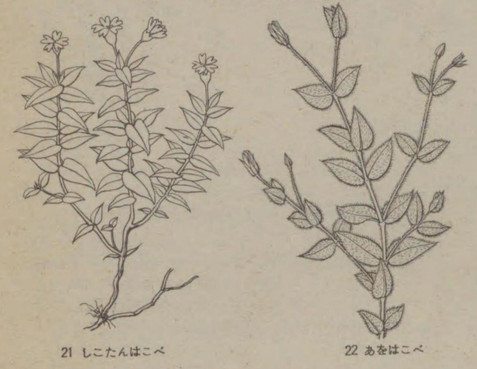
〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は直生或は撒開生にして．高さ60-90糎（2-3尺）許に達し．2條の毛線を具へ．其質纖弱なり。葉は無柄なるか或は短柄を有し．葉身は膜質．披針形或は倒披針形にして．長鋭尖頭．鋭脚或は楔脚をなし．長さ9-12糎（3-4寸）許に達し．全緣にして往々皺縮せることあり。7-8月の候．莖頂及葉腋に小梗を抽き．帶綠白色の5瓣花を圓錐狀をなせる聚繖花序に綴る。萼片は狹披針形．花瓣は2裂して萼片より短く．花柱は3箇を有す。〔花色〕帶綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

5191. **えぞおほやまはこべ**（3圖版-28）…… ナデシコ科
Stellaria radians, *L.*

〔形態〕寒地に自生する草本にして、オホヤマハコベに比するに稍大形種なり。莖葉共に細毛を密布し、莖は叉狀に分岐す。葉は葉柄を缺き、廣披針形にして、先端銳く全緣なり。7-8月の候、葉腋及梢上に長き花梗を抽出し白色5瓣の花を聚繖花序に排列す。蒴片は廣橢圓形或は卵形をなし、花瓣は5箇にして緣邊不齊に5深裂し一見ナデシコの花の如き觀あり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5192. **ひろはえぞおほやまはこべ** …… ナデシコ科
Stellaria radians, *L.* var. ovato-lanceolata, *Koidz.*

〔形態〕樺太に自生し、エゾオホヤマハコベの一變種にして、葉は卵狀披針形、銳尖頭、又稀に披針狀長橢圓形をなす。〔分布〕樺太。



21 しこたんはこべ　　22 あをはこべ

23 ねぞふすま　　24 なんばんはこべ

5193. **しこたんはこべ**（白圖-21）…… ナデシコ科
Stellaria ruscifolia, *Willd.*

（異名）なぎはこべ　〔形態〕各地の高山に自生する多年生草本にして全株無毛種に屬す。莖は斜上生にして、高さ15-18糎（5-6寸）許に過ぎず。葉は葉柄を缺き、葉身は心臟狀卵形にして先端銳頭をなし、有毛にして其質剛硬なり。7-8月頃長梗を有する白色5瓣の花を頂生或は腋出す。蒴片は卵狀披針形にして、花瓣は2裂し、各裂片は長橢圓狀線形、鈍頭にして蒴片と略同長なるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州北部及中部。

5194. **あをはこべ**（白圖-22）…… ナデシコ科
Stellaria tomentosa, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖葉共に星毛を密布す。莖高さ30糎（1尺）餘に達し、基部は傾臥し、所々に根を生ず。　葉は無柄或は短柄を有し、葉身は廣卵形、全緣にして毛茸を有す。　夏日葉腋上に花梗を分ち、綠色の小花を1-2箇單生す。本花は5箇の蒴片と10箇の雄蕊及1箇の雌蕊とを有するのみにして、花冠は概ね之を缺如す。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5195. **やまはこべ**…… ナデシコ科
Stellaria Uchiyamana, *Makino.*

〔形態〕暖地の山原、砂地等に自生する多年生草本なり。莖は基脚匍匐生にして、上部は斜上生をなし、白色星毛を布く。葉は短き葉柄を有し、卵形或は圓卵形にして、微凸頭、圓脚をなし、下面に白色星毛を密布す。花は葉より稍長き絲狀の小梗によりて單生、腋出或は頂生し、長さ9-12粍（3-4分）許を有す。蒴は宿存生にして、各片は卵狀披針形或は狹披針形をなし有毛なり。花瓣は2深裂し、裂片は稍匙狀披針形を呈し、蒴片より長し。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5196. **のみのふすま**　雀舌草（3圖版-29）…… ナデシコ科
Stellaria uliginosa, *Murr.*

〔形態〕路傍・田圃等に自生する一年生草本にして、全株無毛種に屬す。莖は撒開生にして高さ18-21糎（6-7寸）に達し、葉は對生にして葉柄を缺き葉身は長橢圓形にして、長さ1·2-1·5糎（4-5分）許あり。春夏の候白色5瓣の花を聚繖花序に頂生或は腋出す。蒴片は長橢圓狀披針形にして、銳尖頭をなし、白膜緣を有す。花瓣は2深裂をなし、裂片は長橢圓狀披針形にして蒴片と略同長なり。蒴果も亦蒴片と稍同長にして、卵形を呈するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕日本全土。

5197 **えぞふすま**（白圖-23）…… ナデシコ科
Stellaria yezoensis, *Maxim.*

（異名）しらおひはこべ　〔形態〕山地に自生する多年生の平滑なる軟弱草本にして高さ30糎（1尺）内外に達し、莖葉共に粉白を裝ふ。葉は葉柄を缺き、葉身は稍硬質にして長橢圓狀披針形をなし、先端銳く基脚は圓形或は稍心臟形をなして對生す。6-7月頃、莖頂に疎なる聚繖花序をなして、白色の多花を頂生す。小梗は糸狀をなし、苞は葉質にして細小なり。蒴片は披針形をなし、花瓣は5箇、2深裂して小さく、雄蕊は10箇、雌蕊は1箇を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

7. ナンバンハコベ屬　CUCUBALUS.

5198. **たかねなんばんはこべ**…… ナデシコ科
Cucubalus baccifer, *L.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の蔓性草本にして、莖葉共に細毛を密布す。葉は膜質にして短き葉柄を具へ、葉身は銳尖頭をなせる卵狀披針形にして、長さ3-4·5糎（1-1·5寸）許に達す。花は單一にして綠白色を呈し、枝端に頂生點頭し、頂生花を有する叉分枝を伴ふ。蒴は廣鐘形にして5中裂をなし、各裂片は卵狀披針形にして毛緣を有す。花瓣は5箇ありて狹小なる爪を有し、副冠は細裂、牝部は2分裂す。雄蕊は10箇、子房は1室、花柱は3箇を具へ、花後生ずる漿果は、巨大なる宿存萼の上に生じて黑熟す。〔花色〕綠白色。〔分布〕臺灣。

5199. **なんばんはこべ**（白圖-24）…… ナデシコ科
Cucubalus baccifer, *L.* var. japonicus, *Miq.*

（異名）つるせんのう　〔形態〕タカネナンバンハコベの一變種にして各地の山野に多く自生し、概形彼に似たり。本種は花を枝端に頂生し、頂生花を有する叉分枝を伴はず。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

8. ハマハコベ屬　AMMODENIA.

5200. **はまはこべ**…… ナデシコ科
Ammodenia oblongifolia, *Rydberg.* var. maxima, *Nakai.*

〔形態〕海岸に自生する多年生草本なれども、本邦にては北海道に多く之を見る。莖葉共に肉質、軟弱にして、枝條を分岐すること少なく、高さ30糎（1尺）内外に達す。葉は葉柄を欠き、長橢圓形或は披針形にして先端尖り、全緣にして對生す。5-6月の候、莖頂及葉腋に長き花梗を抽出し、白色5瓣の小花を着生す。蒴は5裂し、各裂片は卵狀披針形にして銳頭をなし、花瓣は5箇ありて、蒴片と同長なるか、或は短く、雄蕊は10箇を有し、子房は1室にして花柱は3箇なり。　花後肉質にして稍球形をなせる蒴果を生ず。〔花色〕白色。〔花候〕春-初夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

9. ヤンバルハコベ屬　DRYMARIA.

5201. **やんばるはこべ**（白圖-25）…… ナデシコ科
Drymaria cordata, *Willd.*

PL. 3.

19 めあかんふすま　　20 みみなぐさ　　21 タイリン ミミナグサ　　22 みやま みみなぐさ

23 はこべ　　24 うしはこべ　　25 つるはこべ

26 いはつめくさ　　27 おほやまはこべ　　28 ねぞおほやまはこべ　　29 のみのふすま

（異名）ねばりはこべ・みづくさ　〔形態〕山野に自生する一年生草本にして,莖は多くの枝を岐ち散開生なり。葉は葉柄を有し,葉身は卵圓形にして微凸頭,稍心脚をなし,托葉は剛毛狀を呈す。春日或は秋日莖頂及葉腋より細長なる小梗を抽き,白色5瓣花を聚繖花序に綴る。苞は細小にして膜緣を有し,萼は倒圓錐形にして萼片は5箇を有し,長楕圓形なり。花瓣は2裂し萼片より短く,雄蕊は3-5箇,子房は1室にして,花柱は3岐し,花後生ずる蒴果は3瓣を具ふ。〔花色〕白色。〔花候〕春及秋。〔分布〕九州（大島）・琉球・臺灣。

10. ワチガヒサウ屬 KRASCHENINIKOVIA.

5202. **わちがひさう**（3圖版-30）…… ナデシコ科
Krascheninikovia heterantha, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,蘿蔔形の塊根を有し,莖高さ12-15糎（4-5寸）に達す。葉は對生し,脚葉は箆形をなし鋭頭をなせども其他は披針形,鋭尖頭にして長さ3糎（1寸）餘に達す。4-5月頃,莖頂に概ね葉の2倍ある花梗を抽出し,白色5瓣の花を着生す。花瓣は倒披針形にして鋭尖頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部四國・九洲。

5203. ひなわちがひ…… ナデシコ科
Krascheninikovia heterantha, *Maxim.* var. linearifolia, *Takeda.*

〔形態〕本州中部に自生する多年生草本にして,前種ワチガヒサウの一變種なり。概形彼に酷似すれども,本種の葉は彼に比して,狹長なるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

25 やんばるはこべ　26 わださう

5204. **わださう** 和田草（白圖-26）……ナデシコ科
Krascheninikovia heterophylla, *Miq.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,高さ9-12糎（3-4寸）乃至15-18糎（5-6寸）許に達し,地下に長蕪菁根狀の塊根を有し,莖は稍軟弱なり。葉は2形を有し,下葉は箆形をなし,上葉は狹卵形或は卵形をなして對生すれども,2節の葉は相接近して恰も輪生葉の觀を呈す。4-5月の候,莖頂に細梗を抽き,白色5瓣花を長き花梗により1-3箇を聚繖花序に排列す。萼は5裂し,各裂片は卵形を呈し,花瓣も亦5箇を有し,倒卵形にして2裂す。雄蕊は10箇を有し,子房は1室なり。本種の花柱は前種ワチガヒサウの2裂柱なるに比して3裂柱を有し,尙彼の種子の平滑なるに反し,本種の種子には長毛を伴ふ。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

5205. ふじわちがひ…… ナデシコ科
Krascheninikovia Maximowicziana, *Franch.* et *Sav.* (*K. rupestris, Turcz.*)

（異名）ひめわださう　〔形態〕本州中部に自生する草本にして,葉は稍長き葉柄を有し,葉身は披針形或は卵狀披針形をなす。花瓣は倒卵形にして截頭をなし,萼より長く,種子には點狀の隆起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5206. ひげねわちがひ…… ナデシコ科
Krascheninikovia Palibiniana, *Takeda.*

〔形態〕本州中部地方に自生する多年生草本にして,地下に鬚毛狀をなせる數條の塊根を有す。花梗は葉と稍同長或は稍長く,花瓣は倒披針形にして鋭尖頭をなす。〔分布〕本州中部。

27 ほそばわちがひさう　28 マツヨヒセンノウ

5207. **ほそばわちがひさう**（白圖-27）…… ナデシコ科
Krascheninikovia sylvatica, *Maxim.*

（異名）くしろわちがひさう　〔形態〕多年生草本にして,地下に蕪菁形の塊根を有す。葉は何れも同形にして,線狀披針形をなし,花瓣は倒卵形にして先端2叉す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

11. センノウ屬 LYCHNIS.

5208. **センノウ**（4圖版-31）…… ナデシコ科
Lychnis Sennо, Sieb. et Zucc.

（異名）センノウゲ　〔形態〕古來庭園に栽植せられ,又近時切花として花戸に見ることある多年生草本にして,莖高さ30糎（1尺）內外に達す。葉は廣披針形にして對生し,莖葉共に毛茸を被る。夏より秋に亙りて眞紅色の5瓣花を次々と開花す。萼は筒狀をなし,花瓣の先端は不齊に剪裂し,中に10箇の雄蕊と雌蕊とを具へ,子房は上位にして凋花後結實す。元來本種は支那原產にして,我國內地には未だ發見せられざるも,一說に山城國八瀨に仙翁寺と稱する寺ありて,最初其寺より出でたるものなりと傳へらるれども確證なく稍疑はし。〔花色〕眞紅色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕支那。

人生との關係　古くより庭園等に栽培せられ,觀賞に供せらる。又近時切花として用ひらる。草質强健なるを以て栽培容易なり。繁殖法は株分,實生による。多期戶外に越冬せしめて可なり。

5209. **スキセンノウ**（4圖版-32）…… ナデシコ科
Lychnis coronaria, Desr.

（異名）フラネルサウ　（英名）ローズ・キャンピオン（Rose Campion）〔形態〕古くより栽培せられ,スキセンノウの和名により邦產草花の觀ある二年生或は多年生草本なり。莖高さ90糎（3尺）內外に達し,莖葉共に白毛を密布せるは本種の特徵なり。6-7月の候,通常眞紅色稀に白色の花を着生す。〔花色〕眞紅色稀に白色。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴及亞細亞。

人生との關係　花壇用又切花用としても水揚よきを以て,廣く觀賞愛玩せらる。尙本種は二年生或は多年生なるを以て,實生法により仕立つる場合は秋蒔の苗は二年目の春に開花を見ることを得べく,株分は普通秋季を適期とす。寒氣に耐へ,戶外に越冬し,又大抵の土質に成育すべければ,栽培亦容易なり。

5210. **マツヨヒセンノウ**（白圖-28）…… ナデシコ科
Lychnis alba, Mill.

〔形態〕本種は二年生の歸化植物にして,高さ30-60糎（1-2尺）に達し,莖葉共に粘毛を密布す。下葉は有翼柄を具へ,上葉は無柄にして,葉身は共に卵狀長楕圓形或は披針形をなし,長さ4-5-6糎（1-5-2寸）許を有す。花は白色にして,少數を圓錐狀聚繖花序に排列す。萼は花後膨大して卵形をなし萼片は短披針形,花瓣は倒卵形にして,先端2裂す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。

5211. **アメリカセンノウ**（白圖-29）…… ナデシコ科
Lychnis chalcedonica, L.

（異名）ヤグルマセンノウ　〔形態〕本種は外來の多年生草本にして,高さ60-90糎（2-3尺）に達し,莖葉共に鬚毛を散生す。葉は長楕圓形或は心臟狀披針形にして,先端銳く,基脚莖を抱く。花は濃紅色を呈し,長さ2-4糎

29 アメリカセンノウ

30 をぐらせんのう

31 ふしぐろせんのう

32 クルマガンピ

(8分)許ありて.多數攅簇し.平頭をなす。萼は棍棒狀をなし.花瓣は倒心臟形をなす。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴.亞細亞北部。

人生との關係　觀賞用として栽培し.愛玩せらる。

5212. **ムギセンノウ**（4圖版-33）…… ナデシコ科
Lychnis Githago, Scop.

（異名）ムギナデシコ　〔形態〕外來の一年生草本にして.莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。莖葉共に粗毛を密布し.葉は稍線形をなす。5-6 月の候.長き花梗により淡紅紫色の花を着生す。萼は圓柱狀鐘形にして 5 裂し.裂片は長線形をなして瓣片より超出し.花瓣は 5 箇を具へ.倒卵形にして全緣なり。雄蕊は 5 箇.花後生ずる蒴果は堅硬にして.單室を有す。〔花色〕淡紫紅色。〔花候〕5-6 月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　園藝上としてあまり價値あるものにはあらざるも.ムギセンノウの和名により廣く知られ.切花として用ひらる。歐洲地方にありては.雜草なるを以て.栽培最も容易なり。

5213. **コムギセンノウ**（4圖版-34）…… ナデシコ科
Lychnis coeli-rosa, Desr. var. *oculata*, Hort.
(*Viscaria oculata, Lindl.*)

（英名）ローズ・オブ・ヘブン（Rose-of-Heaven）　〔形態〕本種は 4-5 月頃.鉢植草花として極めて普通に見らるゝ外來の一年生草本にして.高さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許に達し.全株鮮綠色を呈して.毛を有せず。莖は多數に分枝して擴開生を有し.且つ苞を伴ふ。葉も亦多く叢生し.線形にして.長銳尖頭をなす。花は長き花梗により朱紅色或は淡紅色或は青藍色等種々の色彩を有す。萼は棍棒形をなし.花瓣は稍圓頭をなして副冠を具ふ。〔花色〕朱紅色.淡紅色.青藍色等種々。〔花候〕春。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　本植物は園藝上にては.一般にヴィスカリヤ（Viscaria）として知らる。一年生なるを以て.一般に秋蒔として取扱はる。卽ち鉢仕立には 12-15 糎（4-5 寸）鉢を適當とし.普通一般的草花の栽培法に準じて可なり。觀賞用として愛玩せらる。

5214. **えぞせんのう**（4圖版-35）…… ナデシコ科
Lychnis fulgens, *Fisch.*

（異名）けえんぴせんのう　〔形態〕北海道に自生する多年生草本にして.莖葉共に白毛を布く。葉は卵形或は卵狀長橢圓形にして.花は鮮赤色を呈し.2-3 箇を着生す。萼は棍棒狀をなせる圓筒形にして稍綿毛を布く。花瓣は 4 裂し.外裂片は稍鑿形をなし.內裂片は長橢圓形なり。〔花色〕鮮赤色又は白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

5215. **をぐらせんのう**（白圖-30）…… ナデシコ科
Lychnis kiusiana, *Makino.*

〔形態〕本州南部殊に九州地方に自生する多年生草本にして.莖高さ 60糎（2 尺）以上に達し.全株糙澁なり。莖は稍疳長.葉は披針形.銳尖頭をなし.殆んど無柄にして微に反卷す。5 月頃センノウに似て小形なる赤黃色花を疎生せる聚繖花序に 1-2 花を着生す。萼は棍棒狀圓柱形をなし.10 脈を具へ各裂片は三角形.毛緣をなす。花瓣は 5 箇.倒卵狀楔形にして 4 裂し.內裂片は更に 3-4 細裂し.外裂片は鑿狀線形にして.鱗形の 2 副冠を有す。〔花色〕赤黃色稀に白色。〔花候〕春。〔分布〕九州。

5216. **ふしぐろせんのう**（白圖-31）…… ナデシコ科
Lychnis Miqueliana, *Rohrb.*

（異名）おゝさかさう・ふしぐろ　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖は直生し.稍單一にして高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し.結節は膨大して紫黑色を呈し.無毛なるか或は脚部に粗毛を密布す。葉は對生にして.葉身は卵形或は卵狀披針形.銳尖頭.狹脚をなし.細齒牙緣を有し.緣邊に細毛を生ず。花は 2 出生にして.夏秋の候.稍頭に赤褐色の大花を少數或は多數に着生す。萼は稍革質をなし.長棍棒形にして無毛なり。花瓣は倒卵狀圓形にして.長爪を有し.花喉に鱗片を伴ふ。雄蕊は 10 箇.花柱は 5 箇を有し.花後生ずる蒴果は長橢圓形にして果柄と同長なり。〔花色〕赤褐色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部·四國·九州。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽培し又鉢植として愛玩せらる。

5217. **ざくろがんぴ**…… ナデシコ科
Lychnis Miqueliana, *Rohrb.* var. plena, *Makino.*

〔形態〕本種は前種フシグロセンノウの一變種にして.花は牛重瓣なり。〔分布〕邦內各地。

5218. **えんぴせんのう**（4圖版-36）…… ナデシコ科
Lychnis Wilfordi, *Maxim.*

（異名）ほうてんくゎえんぴせん　〔形態〕本州中部以北の山地に自生する多年生草本にして.樣形ヲダラセンノウに似たれども.本種は莖葉共に稍無毛.平滑にして彼の如く糙澁ならず。葉は披針形にして.聚繖花序は房狀をなし.花は稍瘦小なるのみならず.裂片深く概ね 4 深裂し.頗る燕の尾に似たるを以て此名あり。〔花色〕深紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道.本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として栽培し.愛玩の價値あり。

5219. **ヒロハノマンテマ**（4圖版-37）…… ナデシコ科
Lychnis dioica, L.

〔形態〕庭園等に栽培し觀賞用に供する多年生草本にして.高さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達し.全株概ね粘質にして且つ糙澁なり。葉は葉柄を欠き.葉身は卵狀披針形或は長橢圓形にして對生し.莖葉は莖を抱く。雌雄異株なり。5 月頃稍大形なる赤色又は白色の花を 2 出圓錐花序に排列す。萼筒は膨大して稍球形をなし.帶赤色を呈し.花瓣は先端稍 2 裂す。〔花色〕赤色又は白色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として栽培し.愛玩せらる。

5220. **ガンピ**　剪夏羅（4圖版-38）…… ナデシコ科
Lychnis coronata, Thunb.

（異名）ガンピセンノウ　〔形態〕庭園又は鉢植等として栽培せらるゝ多年生草本にして.莖は每春宿根より叢生し.高さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許に達し.莖葉共に毛を有せず。葉は廣橢圓形或は卵狀披針形にして.先端銳く糙澁緣を有し.膨大せる節に對生す。6-7 月の候.黃赤色にして徑 4·5 糎（1·5 寸）許ある 5 瓣花を莖頂及上部の葉腋に着生す。小苞及苞は濶大にして.萼は稍棍棒狀をなし.花瓣は絲邊鋸齒狀に細裂す。〔花色〕黃赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として庭園又は鉢植となし.愛玩に供せらる。

5221. **クルマガンピ**（白圖-32）…… ナデシコ科
Lychnis coronata, Thunb. var. *verticillata*, Makino.

（異名）クルマバガンピ　〔形態〕各地に栽培せらるゝ多年生草本にして.形態略ガンピに似たるものなれども稍大きく.彼の葉の對生なるに比し.本種の葉は輪生し.葉腋上に小枝を抽くこと亦彼より長く.且つ花形も彼に似たれども.本種は花瓣に殆んど裂痕を有せざるを以て.容易に之を識別

PL. 4.

するを得べし。〔花色〕赤黄色を普通とすれども又白色,或は濃淡紫色等種々あり。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　前種と同じく庭園又は鉢植として觀賞に供せらる。

5222. **マツモト**　剪春羅（4圖版-39）…… ナデシコ科
Lychnis coronata, Thunb. var. *Sieboldii*, Bailey.

（異名）マツモトセンノウ　〔形態〕本種も亦支那原産の多年生草本にして,往々山野に自生品を見ることあれども,多く庭園等に培養せらる。莖葉共にセンノウに類似し,莖高さ30糎（1尺）許に達し,性極めて強健にして,よく株を分ちて繁茂す。葉は葉柄を欠き,葉身は卵狀披針形にして微毛を有し基脚莖を抱きて對生す。4月頃莖上に小梗を抽き,花徑3糎（1寸）許ある花を叢生す。花瓣は剪裂なきも凹凸を有し,朱紅色を普通とすれども,變種として種々あり。〔花色〕朱紅色,白色,赤白色,赤白絞等種々。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として,庭園に栽培し愛玩せらる。本種は性狀ガンピ・センノウと同じく,性强健にして,冬期は戸外に越冬し,繁殖力旺盛なり。繁殖は春季株分により,土質,肥料を撰ばざれば栽培極めて容易なり。

5223. ベニバナアキセンノウ…… ナデシコ科
Lychnis coronata, Thunb. var. *speciosa*, Bailey.

〔形態〕本種も亦ガンピの一變種にして,全株稍低小なり。莖は多くの枝を分ちて撒開生をなし,葉は狹長にして,先端鋭く,花は濃赤色を呈して大形なり。花瓣は齒片少なく,不明なる凹頭を有す。（栽培種）

人生との關係　前種と同じく觀賞に供せらる。

33 せんじゅがんぴ　34 けふしぐろ

5224. **せんじゅがんぴ**（白圖-33）…… ナデシコ科
Lychnis gracillima, *Makino.* (*L. stellarioides, Maxim.*)

（異名）しらねがんぴ　〔形態〕本邦中部の深山喬木帶に自生する多年生草本にして,莖高さ30-60糎（1-2尺）に達し,莖葉共に毛茸を散生す。葉は楕圓形にして先端尖り,上葉は披針形なり。夏日梢上葉腋に花梗を抽出し,白色5瓣の細花3箇許を聚繖花序に綴る。蒴は圓錐形にして5裂し,裂片は三角形をなし,花瓣は不齊なる齒緣をなす。雄蕊は10箇,子房は1室を有し,花柱は5箇を具へ,花後卵形をなせる蒴果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

12. ダウクヮンサウ屬　VACCARIA.

5225. **ダウクヮンサウ**（5圖版-40）…… ナデシコ科
Vaccaria vulgaris, Host.

（異名）ススクサ・カサクサ　〔形態〕本種も亦支那原産の一乃至二年生草本にして,莖高さ60-90糎（2-3尺）に達し,莖葉共に毛を有せず。葉は葉柄を缺き,葉身は卵狀披針形,全緣にして先端尖り,對生にして基脚莖を抱く。5-6月の候梢上分岐して,淡紅色を呈する5瓣花を圓錐狀聚繖花序に排列す。萼は膜質にして銳頭をなし,蒴は尖塔形にして5稜を具へ,5齒緣を有す。花瓣は5箇にして細齒緣をなし,雄蕊は10箇,子房は1室,花柱は2箇を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春-夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

13. フシグロ屬　MELANDRIUM.

5226. **ふしぐろ**　女婁菜（5圖版-41）…… ナデシコ科
Melandrium firmum, *Rohrb.*

（異名）かはらけし・さつまにんじん・かはらごま　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして,莖高さ60-90糎（2-3尺）に達し,質硬くして直立し莖葉共に稍平滑なり。葉は長橢圓狀線形にして對生し,各枝も莖と同じく殆んど直立す。夏日梢上に花梗を稍輪生狀に腋出或は頂生し,白色にして小形なる花を着生す。蒴は卵狀圓筒形にして5齒緣を有し,齒片は三角形鋭尖頭をなして反捲す。花瓣は倒披針形にして先端2裂し,蒴と略同長なり。花柱は3箇を具へ,蒴は卵形にして6齒緣を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5227. **けふしぐろ**（白圖-34）…… ナデシコ科
Melandrium firmum, *Rohrb*, forma pubescens, *Makino.*

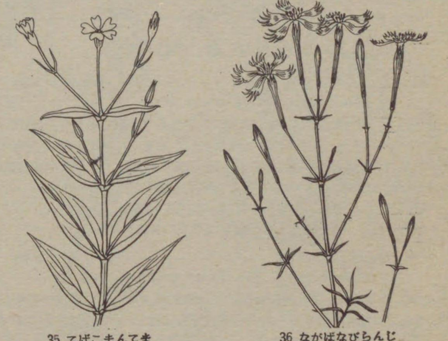
〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,莖は直立生を有し,分枝することなく,高さ60-90糎（2-3尺）に達し,莖葉共に帶紅紫色を呈し,且つ多くの細毛を密布す。葉は披針形全緣にして對生し,葉身は漸次葉柄に流る。夏日梢上葉腋に筒狀の蒴を有する白色5瓣の小花を着生す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州・琉球。

5228. ひめけふしぐろ…… ナデシコ科
Melandrium apricum, *Rohrb.*

〔形態〕九州地方に自生する多年生草本にして,全株稍縐疵なり。葉は狹披針形にして,花は梢上葉腋に腋出或は頂生す。蒴は卵狀圓筒形をなして5齒緣を有し,各齒片は三角形,銳尖頭をなして反捲す。花瓣は倒披針形にして先端2裂し,蒴と略同長なり。花柱は3箇を具へ,蒴は卵形にして,6齒緣を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

5229. たかねまんてま…… ナデシコ科
Melandrium apetalum, *Fenzl.* forma Okadai, *Makino.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして,高さ12-20糎（4-6·5寸）許に達し,莖は單一なり。葉は細き葉柄を有し,葉身は長橢圓狀線形或は線形にして,稍毛緣をなす。花は淡紫色を呈し,梢頭に1花を點頭す。蒴は圓筒形にして後膨大し,10筋を具へ,背線暗紫色を呈して5裂す。各裂片は低三角形をなし,先端鋭く,白毛緣を有す。花瓣は5箇ありて蒴より稍長く,雄蕊は10箇にして瓣片より稍短く,花柱は5箇を具へ,花後廣卵狀圓錐形をなせる蒴果を生ず。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。



35 てばこまんてま　36 ながばなびらんじ

5230. **てばこまんてま**（白圖-35）…… ナデシコ科
Melandrium Yanoei, *Will.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,高さ24-36糎（0·8-1·2尺）許に達し,莖葉共に縐疵なり。莖は稍長にして,直生或は斜上生をなし,葉は短き葉柄を具へ,葉身は膜質,卵形にして先端鋭く,長さ1·8-4糎（0·6-1·3寸）許に達す。8月頃,白色の小花を2-3箇聚繖花序に排列す。蒴は鐘形にして5裂し,各裂片は三角狀披針形をなし,花瓣は5箇,倒卵形にして狹爪を具へ,先端2裂し,2箇の舌形をなせる副冠を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國。

14. オホヤマフスマ屬　MOEHRINGIA.

5231. **おほやまふすま**（5圖版-42）…… ナデシコ科
Moehringia lateriflora, *Fenzl.*

（異名）おゝやまはこべ・ひめたがそで　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,莖高さ 12-24 糎 (4-8 寸) 許に達し,纖弱にして莖葉共に軟澁なり。葉は葉柄を缺き,葉身は廣橢圓形或は披針狀線形をなし,先端鈍頭にして毛緣を有し,長さ 0·9-3 糎 (0·3-1 寸) 許を有し對生す。春より夏に亙り葉腋及莖頂に長き花梗を出して 1-5 箇の小花を聚繖花序に排列す。本花の萼片は 5 箇を有して卵形をなし,花瓣も亦 5 箇にして倒卵狀或は筮狀長橢圓形をなし長く萼片の 2 倍に達する特徵を有す。花絲の基部は有毛にして花後生ずる蒴果は卵形をなし,宿存萼の倍長を有す。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州。

5232. **たちはこべ**…… ナデシコ科
Moehringia platysperma, *Maxim.*

（異名）えぞふすま　〔形態〕各地に自生する一年生草本なり。莖は直生或は斜上生にして枝を分ち,莖葉共に毛茸を生ず。葉は葉柄を有し,葉身は腎圓にして卵形或は卵狀長橢圓形,銳頭毛緣を有し,3 行脈を具ふ。花は長梗によりて單生し,萼片は楕形にして膜緣を有し,花瓣は之を缺如す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

15. サボンサウ屬　SAPONARIA.

5233. **サボンサウ**（5圖版-43）…… ナデシコ科
Saponaria officinalis, L.

（英名）ボンシング・ベツト (Bouncing Bet)　〔形態〕觀賞に供する外來の多年生草本にして,莖高さ 60 糎 (2 尺) 以上に達し,莖葉共に毛を有せず。葉は卵狀或は長橢圓狀披針形にして,先端銳頭或は鈍頭をなし,膨大せる節に對して 3-5 箇の行脈を具へ,長さ 4·5-9 糎 (1·5-3 寸) 許を有す。6-7 月頃,梢上に數梗を抽出し,白色又は淡紅色の密花を着生す。萼は長圓柱形にして,5 齒緣を有し,花瓣は 5 箇,倒卵形にして先端に缺刻を有し且つ有爪なり。雄蕊は 10 箇,蒴は 1 室を有す。本植物の莖葉を水に浸出するときは,泡立つこと石鹼水に似たるを以て本和名を得たり。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　本植物は莖立ちと花容との調和最もよく,初夏の花壇用として好適なるのみならず,切花として亦頗る適するを以て,古くより栽培せらる。尙本植物は宿根草にして,寒氣にも强く耐冬性なると土質を選ばざるとにより,其の栽培容易なり。繁殖は主に株分による園藝變種多し。

16. ビランヂ屬　SILENE.

5234. **びらんぢ**（5圖版-44）…… ナデシコ科
Silene Keiskei, *Miq.* forma minor, *Takeda.*

〔形態〕日光華嚴瀧附近其他深山等に自生する多年生草本なり。莖高さ漸く 12-15 糎 (4-5 寸) 許に達する矮本にして,莖葉共に細毛を生じ,纖澁なり。葉は披針形或は線狀披針形にして,先端銳く對生なり。夏日梢頭,葉腋に花莖を抽き紅色にして,先端 2 裂せる美麗なる花を着生し少數なり。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

人生との關係　觀賞用として移植栽培するの價値あるものなり。

5235. **おほびらんぢ**…… ナデシコ科
Silene Keiskei, *Miq.* forma major, *Takeda.*

〔形態〕前種ビランヂに酷似すれども,本種は稍大形にして,前種の莖葉は纖澁なるに比して平滑なると,彼の少數花なるに比し,本種は多花を着生するを異りとす。〔分布〕本州中部。

5236. **ながばなびらんぢ**（白圖-36）…… ナデシコ科
Silene Fortunei, *Vis.*

（異名）しままんてま・しまびらんぢ　〔形態〕多く海濱に自生する多年生草本にして,莖は直生し高さ 45-90 糎 (1·5-3 尺) に達し,全株纖澁なり。葉は革質をなし,葉身は線狀披針形にして先端尖り,基脚狹く,長さ 1·5-4·5 糎 (0·5-1·5 寸) 許を有し,葉柄に緣毛を有す。花は淡紅色或は白色を呈し,花徑 4 糎 (1·2 寸) 許ありて總狀花序に排列す。本花の有する萼は長筒形をなし,齒片は卵形にして廣白緣を有す。瓣片は 2 裂して各裂片は深く缺刻し,副冠は 2 耳形をなす。〔花色〕淡紅色或は白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

5237. **シラタマサウ**（5圖版-45）…… ナデシコ科
Silene Cucubalus, Wibel.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして,莖高さ 30-90 糎 (1-3 尺) 內外に達し,全株平滑にして粉白を裝ふ。莖は斜上生を有し,葉は對生し,葉身は橢圓形或は披針形をなして先端尖り,基脚狹形にして,雌雄雜株なり。夏日梢上に花梗を分ち,白色或は淡紅色の愛らしき花を點頭し,房狀樣聚繖花序或は圓錐花序をなす。本花の有する花瓣は先端 2 深裂し,萼は鐘形或は球形にして著しく膨大し,凡 20 脈を具ふ。花後卵狀にして球形をなせる蒴果を結ぶ。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　專ら觀賞用として,庭園又は鉢植となし,愛玩に供せらる。

5238. **おほしらたまさう**…… ナデシコ科
Silene conoidea, *L.*

〔形態〕邦內各地に自生する一年生草本にして,莖には腺毛を布き,上部は分枝す。葉は狹長橢圓形にして先端銳く,花は頂生又は腋出す。萼は圓筒狀錐形にして 30 脈を有し,花瓣は倒心臟形にして先端分裂せず,細齒緣をなし,蒴は壜形を呈す。〔分布〕邦內各地。

5239. **ムシトリナデシコ**（5圖版-46）…… ナデシコ科
Silene Armeria, L.

（異名）ハヘトリナデシコ・ヘルトカールス　〔形態〕本種も亦觀賞用として栽培せらるゝ外來の一乃至二年生草本にして,莖高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達し,莖葉共に平滑にして粉白を裝ひ,梢上結節下より粘液を分泌し,小虫の花枝に昇るを防ぐを以て,ムシトリナデシコの和名あり。葉は卵狀披針形或は筮形にして,先端銳頭或は鈍頭をなし,淡綠色を呈して對生す。5 月頃,淡紅色を呈する小花を群生し,聚繖花序をなして頂生す。萼は圓柱狀棍棒形にして 10 脈を具へ,花瓣は 5 箇を有し,倒卵狀楔形をなす。雄蕊は 10 箇,花柱は 3 箇を具へ,花後生ずる蒴果は長橢圓形なり。〔花色〕淡紅色時に白色。〔花候〕春。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　專ら觀賞用として庭園に栽植し,又切花として利用せらる。性極めて强健なるを以て,秋播にするときは雜草同樣に成育す。

5240. **しろばなまんてま**…… ナデシコ科
Silene gallica, *L.*

〔形態〕濕地に生ずる一年生草本にして,莖葉共に粗毛を密布す。葉は筮形或は披針形にして鈍頭なり。花は白色を呈し,偏側生にして穗狀花序をなす。萼は圓筒形にして膨大し,10 脈を具へ,花瓣は倒卵形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州。

人生との關係　觀賞用として栽培するに適す。

5241. **マンテマ**（5圖版-47）…… ナデシコ科
Silene gallica, L. var. *quinquevulnera*, Rohrb.

〔形態〕庭園に栽培する外來の一年生草本にして,莖高さ 30 糎 (1 尺) 許に達し,質は纖弱にして,稍傾臥するの特性を有す。葉は線狀長橢圓形にして對生し,莖と共に粗毛を有す。6 月頃梢頭葉腋に 1 箇づゝ 1 方に偏して小花を開き,花瓣の基部に紅色の斑紋を有す。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

5242. **えぞまんてま**（5圖版-48）…… ナデシコ科
Silene foliosa, *Maxim.*

〔形態〕海濱に自生する多年生草本にして,莖高さ 30 糎 (1 尺) 許に達し上部の各節には粘質を分泌するの特徵を有す。葉は披針形或は倒披針形にして先端銳尖なり。夏日白色にして 2 深裂し,恰も線形の 2 片をなせる 5 瓣花を稍輪生せる圓錐花序に排列す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

5243. **オホマンテマ**（6圖版-49）…… ナデシコ科
Silene pendula, L.

（異名）フクレナデシコ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の一年生草本にして,高さ 30 糎 (1 尺) 許に達し,全株粗毛を密布す。莖は基部伏臥生なるも,上部は分岐し,葉は對生し,葉身は橢圓形或は廣披針形,全緣なり。春夏の候梢上葉腋に肉紅色をなせる花を 1-2 箇疎總狀花序をなして着生し,點頭す。萼は帶赤色を呈し,10 箇の縱脈を具へ,粗毛を伴ひ,花後稍膨大す。花冠は 5 花瓣よりなり,各花瓣は先端 2 分裂す。花後生ずる蒴は卵形なり。〔花色〕肉紅色,白色等。〔花候〕春-夏。〔原産地〕南部歐羅巴

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。

5244. **チャボヒロハマンテマ**（6圖版-50）…… ナデシコ科
Silene pendula, L. var. *compacta*, Hort.

〔形態〕前種オホマンテマの一矮性品種にして,花壇或は鉢植として普通

PL. 5.

に見る一年生草本なり。前種オホマンテマにありては、高さ30糎(1尺)に達し、且つ分岐して花を着生すれども、本種の莖は伏臥生にして、高さ20糎(6寸)以内に過ぎず。地表に接して花梗を密生し開花するを以て、春時の毛氈花壇用として好適す。葉は對生にして橢圓形或は廣披針形をなし、全緣にして、莖葉共に短柔毛を被る。花は櫻花に似て5箇の花瓣より成り、肉紅色を呈し、各花瓣の先端は2裂す。萼は袋狀に膨大し、帶赤色にして粗毛を有せり。〔花色〕肉紅色。〔花候〕春。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として花壇及鉢植となし、愛玩せらる。殖繁殖は秋毒とし、冬季は「フレーム」内若しくは霜除下に保護し、春に至りて花壇に定植すべし。栽培法は一般草花に準じて可なり。

5245. からふとまんてま…… ナデシコ科
Silene repens, *Patr.*

〔形態〕樺太に自生する草本にして、葉は狹細なり。〔分布〕樺太。

5246. ちしままんてま …… ナデシコ科
Silene repens, *Patr.* var. latifolia, *Turcz.*

〔形態〕千島に自生する多年生草本にして、全株細毛を密布す。葉は狹長橢圓形にして、先端鋭頭なり。花は白色にして、總狀圓錐花序に排列し、萼は圓筒狀棍棒形をなして膨大す。花瓣は先端2裂し、裂片は長橢圓形にして鈍頭なり。〔分布〕千島。

17. ムシトリビランヂ屬　VISCARIA.

5247. **ムシトリビランヂ**　(6圖版-51) …… ナデシコ科
Viscaria vulgaria, Roehl. (*Lychnis Viscaria, L.*)

(英名) ヂャーマン・キャッチ・フライ (German Catchfly)　〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本にして、近時盛に切花用として珍重せらる。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し、葉は細長きことナデシコの如くにして、對生す。本種は前揭ムシトリナデシコの如く、花穗の部に粘液を分泌することにより、本和名を有するものなり。〔花色〕紅色。〔花候〕5-6月。

〔原産地〕歐羅巴及亞細亞。

人生との關係　花壇用及切花用として栽培せらるゝものなり。

18. ツメクサ屬　SAGINA.

5248. **つめくさ**　漆姑草　(6圖版-52) …… ナデシコ科
Sagina maxima, *A. Gray.*

(異名) たかのつめ・すすめぐさ　〔形態〕到る處の庭園、路傍、畠地等に最も普通なる一年生草本なり。莖は撒開生にして叢生し、高さ6-18糎(2-6寸)許に達し、葉は線形をなす。春より夏に亙り莖頂、葉腋に長梗を出して白色5瓣の小花を着生す。萼片は5箇、長橢圓形をなし、小梗と共に外面腺毛を布く。花瓣は卵圓形にして萼片より短く、子房は球形にして1室を有し、花柱は5箇ありて短し。花後卵形にして、宿存萼より長き蒴を結び、微細なる突起を有する種子を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕日本全土。

5249. **はまつめくさ**　(6圖版-53) …… ナデシコ科
Sagina crassicaulis, *S. Wats.*

(異名) しほつめくさ・はまたかのつめ　〔形態〕海濱の乾燥地に自生する一年生草本にして、莖は多數に分岐し、高さ21-24糎(7-8寸)許に達す。葉は對生し、線形にして、前種ツメクサに比するに滑澤にして肥厚し、脚葉は長形をなして簇生す。7-8月の候梢上、葉腋に白色5瓣花を多數着生す。種子には微細なる横紋を具ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部、九州。

5250. ちしまつめくさ …… ナデシコ科
Sagina Linnaei, *Presl.*

〔形態〕窓地に自生する矮性の多年生草本にして、全株無毛種に屬す。葉は披針形にして、鋭頭或は微凸頭をなし、花は梢上、葉腋に花梗を抽きて2-3箇の白色小花を着生す。萼片は廣橢圓形圓頭をなして膜緣を有し、花瓣は廣橢圓狀篦形をなし、萼片と略同長なり。花後廣卵形にして、萼片より長き蒴果を生ず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太、千島。

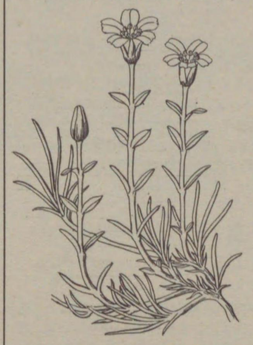
5251. にひたかつめくさ…… ナデシコ科
Sagina echinosperma. *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する矮性草本にして、莖葉共に毛を有せず。葉は線狀糸形にして、緣邊に毛茸を有し、基脚稍合生す。花は梢上に單生し、聚繖花序をなす。萼片は5箇、廣橢圓形にして鈍頭をなし、外面腺毛を布く。花瓣も亦5箇を有し、長橢圓形にして短き爪を有す。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

19. タカネツメクサ屬　MINUARTIA.

5252. **たかねつめくさ**　(白圖-37) …… ナデシコ科
Minuartia arctica, *Aschers.* et *Graebn.* var. minor, *Nakai.* (*Alsine arctica, Fenzl.*)

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、毎春宿根より莖を叢生し、高さ3糎(1寸)許に達す。葉は線狀鑿形をなし、鈍頭にして、直生或は鎌形をなして瓦列し、無毛なるか或は又稍腺質をなす。夏日梢上に比較的大形なる花を着生す。本花の有する萼片は線狀長橢圓形、鈍頭にして、3行脈を有し、花瓣は白色をなし、廣倒卵形にして、萼より長く、蕚は無毛にして、萼の半ば超出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。



37 たかねつめくさ

38 みやまつめくさ

5253. **みやまつめくさ**　(白圖-38) …… ナデシコ科
Minuartia Joi, *Nakai.*

(異名) おほばつめくさ　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして毎春宿根より短形の莖を密簇す。葉は小形なる長卵形をなし、先端尖り、剛硬にして、3行脈を具へ、且つ剛毛緣を有し對生す。8月頃、梢上に萼より短きか或は稍同長なる花梗を抽き、白色の1花を開く。萼片は長橢圓形、鈍頭にして、背面毛緣を有し、花瓣は萼の倍長にして、線形を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5254. **えぞみやまつめくさ** …… ナデシコ科
Minuartia subfalcata, *Nakai.*

〔形態〕北海道に自生する多年生草本なり。莖は稍無毛にして、射出匍匐生なり。葉は鑓形或は内捲し、鋭頭をなして3行脈を有し、剛毛緣をなす。花梗は枝端に頂生して腺毛を布き、中央部にある2苞は相對生す。萼片は披針形、鈍頭にして、3脈を有し、中部以下腺毛緣をなす。花瓣は白色、長橢圓形或は倒卵狀長橢圓形にして、長さ3粍(1分)許、雄蕊は10箇ありて、萼片と稍同じく、花柱は3箇を具ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

5255. **こばのつめくさ**　(6圖版-54) …… ナデシコ科
Minuartia verna, *Hiern.* var. alpestris, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、莖は簇生し、高さ6-12糎(2-4寸)許に達し、葉は殆んど無毛なれども、上葉の基脚のみ有毛なり。夏日莖上方分枝し、2-7花を着生す。本花は瓣片と萼と同長なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5256. **ほそばつめくさ**　(6圖版-55) …… ナデシコ科
Minuartia verna, *Hiern.* var. pulchella, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦前種と同樣山野に自生し、莖は簇生して、葉亦無毛なれども前種と同じく、上葉の基脚にのみ毛を有す。本種の花梗には腺毛緣を有し、前種より着花少く普通1-2花を有するに過ぎざるものなり。瓣片は萼と略同長なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州中部。

20. オホツメクサ屬　SPERGULA.

5257. **オホツメクサ**　(6圖版-56) …… ナデシコ科
Spergula arvensis, L.

〔形態〕本種は一年生の歸化植物にして、莖高さ15-50糎(0·5-1·5尺)許に達し、撒開生なり。葉は線形にして多少肉質を呈し、同屬の他の種類と異り

て輪生し．各束6-8片對生す。4-5月の候梢上に長梗を分岐し．白色5瓣より成れる小形花を圓錐花序に排列す。　萼片は花瓣と共に5箇を有し．何れも卵形全緣にして同長なり。　雄蕊は10箇．子房は1室を有し．花柱は5箇にして．蒴は5殼より成る。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

21. ウシホツメクサ屬　TISSA.

5258. **うしほつめくさ**（6圖版-57）…… ナデシコ科
Tissa salina, Britt.

〔形態〕北海道に自生する二年生或は多年生草本にして．莖は伏臥生なり。葉は絲狀をなし．花は稍總狀をなせる聚繖花序に排列す。萼片は廣卵形或は卵狀長橢圓形にして．長さ4-5粍（1-5分）許を有す。雄蕊は3-5箇を具へ．蒴は廣卵形或は廣卵狀長橢圓形にして．萼片より長し。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

5259. ウスベニツメクサ…… ナデシコ科
Tissa rubra, Britt. et Br.

〔形態〕本種は一乃至二年生の歸化草本なり。莖は伏臥生にして粗毛を密布す。葉は線狀糸形にして無毛なるか或は腺毛を生じ．托葉は銳尖形にして．全裂若しくは2分裂す。花は稍總狀をなせる聚繖花序に排列し．萼片は廣橢圓形或は長橢圓形をなし先端尖る。雄蕊は10箇乃至5箇を具へ．蒴は廣卵形或は廣卵狀橢圓形にして．萼と同長或は稍挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

22. アヲバナツメクサ屬　SCLERANTHUS.

5260. アヲバナツメクサ…… ナデシコ科
Sclerantlus perennis, L.

外來の多年生草本にして．莖葉共に粉白を裝ふ。莖は伏臥生にして．葉は鑿狀糸形を呈す。　聚繖花序は頂生して多くの花を排列し．萼は壺形をなして5裂し．各裂片は長橢圓形．鈍頭にして廣白緣を有し．花冠を欠如す。雄蕊は5箇を具へて花喉に着生し．花柱は2箇．蒴は薄にして．硬質の萼筒に被包せらる。〔花色〕淡綠黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽培せらる。

5261. シバツメクサ…… ナデシコ科
Sclerantlus annuus, L.

本種も亦外來の植物にして園地に栽植せらるゝものなれども．前種と異り一年生草本に屬し．花は銳頭．無緣の萼筒を有し．稍開出し．花瓣は筒部と同長なるものなり。〔栽培種〕〔原産地〕歐羅巴。

* * * * * *

2. つるむらさき（落葵）科
BASELLACEÆ.

本科の植物は纏繞性草本にして．右卷の莖を有し．葉は互生．單葉にして．托葉を缺如し．概ね肉質なり。花は螺旋狀に排列せる部分を有し．兩性の整齊花にして．穗狀に排列するか或は單生なり。萼は2箇の萼片より成り．花瓣は5箇にして互に結合し．芽中に於ては覆瓦狀に排列す。雄蕊も亦5箇を具へ．花瓣と對生し．雌蕊は3箇の結合せる心皮より成り．子房は上位にして1室を有し．1箇の倒生卵子を含む。果實は堅果にして．花被によりて被はれ種子は胚乳を有す。

本科には凡5屬．15種の植物を含有すれども．多くは「アメリカ」に產し．本邦には1屬．1種を產するに過ぎず。

1. ツルムラサキ屬　BASELLA.

5262. **ツルムラサキ**　落葵（7圖版-58）‥ ツルムラサキ科
Basella rubra, L.

〔形態〕熱帶地方に產する一年生草本なれども．本邦にては專ら庭園に栽培せらる。莖は液質．莖性にして葉と共に柔軟なり。葉は互生し．葉身は卵形或は圓狀卵形にして．長さ7-5糎（2-5寸）許を有し．葉柄を具ふ。夏秋の候．葉腋に長梗を抽き．帶紫色の小花を短穗狀花序に排列す。小苞は凋落生にして數片を有し．萼片は2箇を具へ．花冠の基部に著生す。花冠は肉質にして5裂し．雄蕊は5箇を具へ短絲によりて花喉に着生す。子房は3箇の心皮の合生より成り．花柱は3箇を具へ．假果は濃紫色を呈し．豆大．肉質にして花被に包れたる胞果なり。〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱帶。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽培せらる。

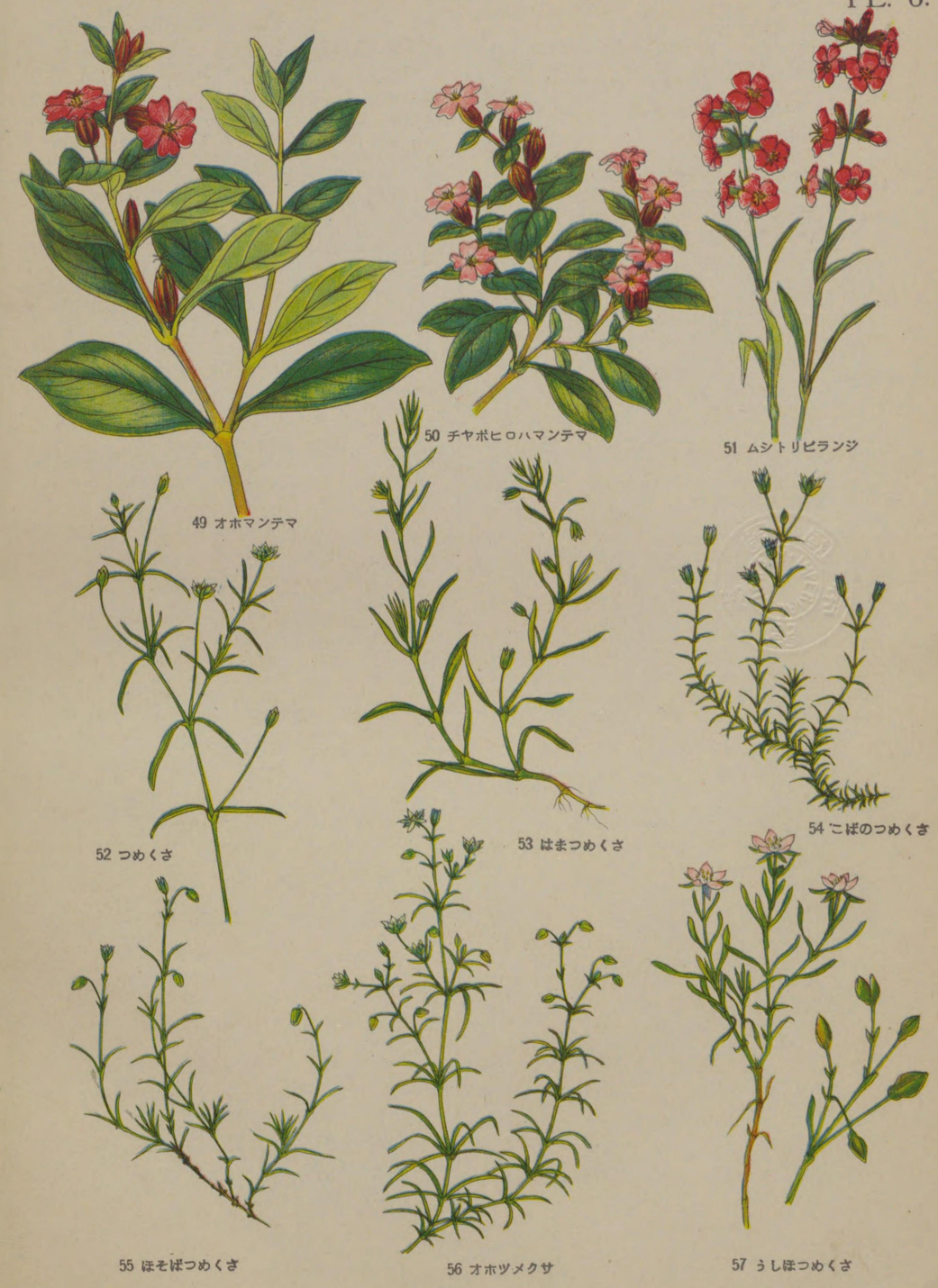
2. アカザカツラ屬　BOUSSINGAULTIA.

5263. **アカザカツラ**（7圖版-59）…… ツルムラサキ科
Boussingaultia baselloides, H. B. et K.

（異名）マデイラカツラ　〔形態〕本種も亦外來の多年生蔓性草本にして．莖は帶赤色を呈し．葉は肥厚して心臟形をなし．全緣なり。花は白色．小形にして．稍頭・葉腋に着生し．總狀花序をなす。萼片は2箇．花冠は短き筒形をなして5深裂し．各裂片は長橢圓形．鈍頭なり。雄蕊は5箇を具へ．花冠の基部に着生し．柱頭は3分岐す。果實は稍肉質にして．球形を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶。

* * * * * *

PL. 6.



3. すべりひゆ(馬齒莧)科
PORTULACACEÆ.

本科に屬する植物は主に草本にして、肉質又は多漿質をなし、稀に半灌木又は灌木にして稍木質をなす。葉は互生或は對生し、通常單葉・全緣にして肉質を呈し、托葉は薄膜質又は毛狀に變じ、稀に缺如す。花は兩性、整齊にして、圓錐花序、頭狀花序、若しくは靡木狀に排列するか或は稀に單生す。萼は通常2箇稀に5箇を有し、花冠に於ては覆瓦狀に排列す。花瓣は4-5箇稀に夫れより多數を有し、互に相分離するか或は基脚合着し、全緣又は凹頭にして、早落性なり。雄蕊は花瓣と同數又稀に多數ありて對生するか、或は分離し又は基部合着す。花絲は絲狀にして、葯は2胞をなし、縱裂す。雌蕊は3-5箇の結合せる心皮より成り、子房は上位又は下位にして1室を有し、2箇乃至多數の彎生胚子を含む。花盤は小形なるか或は之を缺く。果實は蒴にして、膜質又は硬殼質をなし、熟すれば橫裂し又は2-3箇の瓣片をなして縱裂し、種子は胚乳を含む。

本科には凡18屬、150種の植物を含有し、主に「アメリカ」に產し、本邦には5屬、8種を產出す。

本科所載植物索引目次

ヴァジニア・クライトニア……5271
オホスベリヒユ……5265
カランドニア・ウンベラタ……5272
ケツメグサ……5266
スベリヒユ……5264
タチスベリヒユ……5265
トンボグサ……5264
ハゼラン……5270
ハナマツナ……5267
ヒメマツバボタン……5269
ヒロハマツバボタン……5268
マツバボタン……5267
ミンブトキ……5264

1. スベリヒユ屬　PORTULACA.

5264. **すべりひゆ**　馬齒莧　(7圖版-60)　‥‥ スベリヒユ科
Portulaca oleracea, *L.*

(異名) とんぼさう・みんぶとき　〔形態〕各地の田園、路傍等に自生する一年生の伏臥生草本にして、莖葉共に液質、多肉なり。莖は多くの枝を岐ち、葉は短柄を有し、長橢圓狀楔形、全緣にして對生す。8月頃、黃色無梗の花を頂生簇出或は腋出單生し、朝開き晝頃閉づるを常とす。萼片は2箇、廣橢圓形にして基脚合生す。花瓣は5箇、長橢圓形、凹頭をなして萼片より稍は長く、雄蕊は12箇を具へ、子房は半下位にして、花柱は1箇を有し、柱頭5分岐す。花後蓋果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・琉球・臺灣。

人生との關係　本植物の莖葉を採りて煎服すれば、馬の咬傷・腫痛を治するに效あり。又嫩莖は葉と共に煮食又は燦でゝ和へ物又時に醋味噌にて食用せらる。多食すべからず。

5265. **たちすべりひゆ**　(7圖版-61)　‥‥‥‥ スベリヒユ科
Portulaca oleacea, *L.* var. sativa, *DC.*

(異名) おほすべりひゆ　〔形態〕前種スベリヒユと同じく田園、路傍等に自生する一年生草本にして、前種の一變種なり。莖高さ30糎(1尺)餘に達し、莖葉共に多肉にして、彼に似たれども、全形稍大きく又彼の伏臥生なると異り、枝條は撒開生にして稍直生するの特徵あり。葉は長倒卵形にして對生す。8月頃、枝梢葉腋に黃色5瓣の小花を開くこと赤スベリヒユに同じ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。(栽培種)

5266. **けつめくさ**　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ スベリヒユ科
Portulaca pilosa, *L.*

〔形態〕暖地の原野に自生する一年生或は二年生草本なり。莖は撒開生にして、粗毛を布き、結節には長毛を束生し、葉は線形なり。春より秋に亙りて赤色の花を枝端に簇生し、長毛によりて圍まる。〔花色〕赤色。〔花候〕春-秋。〔分布〕臺灣。

5267. **マツバボタン**　松葉牡丹　(7圖版-62)　‥スベリヒユ科
Portulaca grandiflora, Hook.

(異名) ハナマツナ　〔形態〕元來南亞米利加原產の一年生伏臥生草本なれども、古來本邦にも移植し、庭園等に培養する小形の品種なり。莖は開出して枝多く、高さ12-15糎(4-5寸)に達し、葉は線形にして肥厚し、基部結節には長毛を束生し何れも肉質なり。夏日、莖頂に大形の無梗花を日中開花し、午後閉花す。花瓣は5箇を有し、數葉片を伴ふ。〔花色〕紅・黃・白・紫・絞等種々。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　庭園に栽植して觀賞に供せらる。

5268. **ヒロハマツバボタン**　‥‥‥‥‥‥ スベリヒユ科
Portulaca marginata, H. B. et K.

〔形態〕本種も亦南米原產の一年生觀賞用植物にして、莖は稍双岐生を有し、結節には長毛を束生すること前種マツバボタンに相似たり。葉は稍輪生し、匙狀楔形、圓頭にして赤緣をなす。夏日、5-7箇の花を頭狀花序に綴る。〔花色〕種々。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係　前種と同じく庭園に栽培して觀賞用に供せらる。

5269. **ヒメマツバボタン**　‥‥‥‥‥‥‥‥ スベリヒユ科
Portulaca villosa, Cham.

〔形態〕本種も亦外來の草本にして、概形ツメクサに似たれども、全形大にして莖は直生し、葉は楔形にして長きを異る所なりとす。〔原產地〕サントキッチ。

2. ハゼラン屬　TALINUM.

5270. **ハゼラン**　(7圖版-63)　‥‥‥‥‥‥‥‥ スベリヒユ科
Talinum crassifolium, Willd. (*T. triangulare*, var. *crassifolium*, *Hort.*)

〔形態〕觀賞用として園養せらるゝ肉質の多年生草本にして、莖高さ60糎(2尺)許に達し、下部は稍木質を呈す。葉も亦肉質、長橢圓形にして、基脚漸く細まり葉柄をなす。夏日、紅色小形の花を腋出或は頂生して、長梗を有する圓錐花序に排列す。萼片は2箇、花瓣は5箇を有し、雄蕊は數箇を具へ、花後生ずる蒴は紙質、球形にして3瓣より成る。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　觀賞用として栽培し、愛玩せらる。

3. クライトニア屬　CLAYTONIA.

5271. **ヴァージニア・クライトニア**　‥‥‥‥ スベリヒユ科
Claytonia virginiana, L.　(7圖版-64)

〔形態〕北米原產の肉質、多年生草本にして、莖高さ15-18糎(5-6寸)許に達し、葉は狹披針形にして、漸次葉柄に流れて細くなるの特性を有す。花はマツバボタンの如く大形の5瓣花にして、總狀花序に排列し、淡紅色を呈す。〔花色〕淡紅色。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

4. カランドリニア屬　CALANDRINIA.

5272. **カランドリニア・ウンベラタ**　‥‥‥‥スベリヒユ科
Calandrinia umbellata, DC.　(7圖版-65)

〔形態〕本種も亦外來の肉質、多年生草本にして、莖高さ12-15糎(4-5寸)に達し、下部は灌木狀を呈す。葉は肉質にして、狹長披針形をなし、毛茸を生ず。莖葉共によく繁茂し、鉢植になすときは稍下垂するの性あり。花は離瓣にして、聚繖花序に排列す。〔花色〕鮮紅色。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係　前種と同じく觀賞用として栽培せらる。

*　*　*　*　*

4. つるな(蕃杏)科　AIZOACEÆ.

本科の植物は主に草本又時に半灌木にして、葉は對生或は互生し、時に輪生し、單葉にして、通常肉質なり。この葉は托葉を有するものと有せざるものとあり。花は兩性の整齊花にして、稀に單性なり。花序は通常有限にして、蒴は4-5箇の分離或は結合せる蒴片より成り、花瓣は多數或は少數或は全く之を缺如し、雄蕊は3-5箇或は少數若しくは多數(甚だ多き時は外層のもの花瓣狀を呈す)を具へ、雌蕊は2乃至多數の結合せる心皮より成り子房は上位或は下位にして通常2箇以上の室を有し或は稀に1室を有す。果實は蒴果時に堅果或は核果にして種子は胚乳を含む。

39 つるな

本科には凡18屬、600種の植物を含有すれども、主に亞弗利加に產出し、本邦には自生品、栽培品を合せて4屬、凡10餘種を產するに過ぎず。

本科所載植物名目次

イソミヅナ……5283　サンシキマツバギク…5277　ハマナ……5273
キクボタン……5274　ツルナ……5273　ハマミヅナ……5283
キクレンゲ……5280　ハコベモドキ……5282　ヒメマツバギク……5275
ザクロサウ……5281　ハナヅルサウ……5279　マツバギク……5274
サボテンギク……5274　ハマスベリヒユ……5283　ミルスベリヒユ……5283
サボテンマツバギク…5278　ハマヂシャ……5273　ムラサキマツバギク…5276

1. ツルナ屬　TETRAGONIA.

5273. つるな 蕃杏 (白圖-39) …… ツルナ科
Tetragonia expansa, *Murr.*

(異名) はまな・はまぢしゃ　〔形態〕海邊に自生する伏臥生の多年生草本なれども、亦畑地に栽培せらる。莖高さ30-60糎(1-2尺)に達し、稍蔓性を呈し、莖葉共に腺點を密布し、多肉性なり。葉は葉柄を具へ、葉身は卵狀菱形にして互生し、長さ6-9糎(2-3寸)を有す。夏秋の候、葉腋に黃色5瓣の小花を1-2箇着生し、稍無梗なり。蒴は上位、鐘形にして4裂し、各裂片は廣卵形をなして反捲し、內面黃色を呈す。花瓣は之を缺き、雄蕊は12-16箇を具へ、子房は下位、花柱は4-5岐し、花後生ずる核果には肩部に4-5箇の突起を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　葉及嫩莖を食用に供す。又莖葉をよく乾燥したるものを約19瓦許を水0·54立(3合)にて30分間程煮じ出して、飲用するときは腸加答兒に特效あり。朝晝2回飲用し、夜間は飲用せざるを可とす。

2. マツバギク屬　MESEMBRYANTHEMUM.

5274. マツバギク (8圖版-66) …… ツルナ科
Mesembryanthemum spectabile, Haw.

(異名) サボテンギク・キクボタン　〔形態〕本種は常綠の多年生亞灌木にして、我國には古くより栽培せられ、今や我國在來の草花の如く一般的に普及せる種類なり。莖は叢生して伏臥生をなし、暖地にありては高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達す。葉は三角形をなして先端尖り、粉白を布く。夏日莖頂に紫紅色を呈する花を頂生す。此花は日射を受けて開花し、日蔭にては閉花するの特性を有す。蒴は5深裂し、各裂片は不同にして葉狀をなし、花瓣は多數ありて基脚稍合生す。雄蕊は多數を具へ、花後、漿質の蒴果を結び5室を有す。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部阿弗利加。

人生との關係　暖地にありては庭先等に植込むも、多尚開花す。鉢栽培をなさんとするには、秋季に挿芽して苗を仕立て、冬季は「フレーム」內に保護し、春に至りて12-15糎(4-5寸)鉢に移して開花せしむ。栽培容易なり。

5275. ヒメマツバギク (8圖版-67) …… ツルナ科
Mesembryanthemum tenuifolium, L.

〔形態〕本種も亦前種マツバギクと同じく、南部阿弗利加原產の多年生草本なり。莖葉は彼に比し頗る纖細にして且つ彼は深綠色を呈すれども、本種の葉は帶白綠色を呈し、莖は高さ30糎(1尺)以上に達すれども、尙彼に及ばず。花は通常赤紅色或は橙黃色をなし何れも日射を受けて開花し、日沒に閉花する樣マツバギクによく似たり。〔花色〕赤紅色・橙黃色。

〔花候〕夏。〔原產地〕南部阿弗利加。

人生との關係　前種と同じく庭園に栽培して、觀賞に供せらる。尙性狀、耐寒性等概ねマツバギクに酷似し、繁殖、栽培法共に前種に準じ、新莖の部分を挿芽に用ふ。挿土は普通壤土にて可なり。9-10月頃、戶外に挿芽するときは、短時日に發根し、栽培容易なり。

5276. ムラサキマツバギク (8圖版-68) …… ツルナ科
Mesembryanthemum violaceum, DC.

〔形態〕前種と同じく近時の船載に係る觀賞用植物にして、南阿地方原產の多年生、肉質の草本なり。概形前種マツバギクに似たれども、葉は狹細にして莖は稍紫色を帶び、高さ30-60糎(1-2尺)に達す。花は紫色或は肉色にして多數の細き花瓣より成り、長梗によりて多數を3出圓錐狀花序に排列す。〔花色〕紫色又は肉色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部阿弗利加。

5277. サンシキマツバギク (8圖版-69) …… ツルナ科
Mesembryanthemum lineare, Thunb.

〔形態〕本種も亦近時船來せる阿弗利加原產の一年生草本にして、莖高さ9-12糎(3-4寸)許に達し、性比較的脆弱なり。莖は矮小にしてよく枝を分岐し、先端に蕾を着生す。葉は多汁質にして軟かく、葉上に水滴の小粒を有し、莖葉共に黃綠色を呈し、且つ地に接して橫に繁茂するの特性あり。花は淡紅色或は白色を普通とすれども、稀に紫紅色をなすものあり。凋花後、子房著しく肥大して結實す。本種は他のマツバギク類の結實することなく、種子によりて繁殖せざるに反し、一年生なるを以て種子によりて繁殖するものとす。〔花色〕淡紅色・白色・紫紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕阿弗利加。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。尙播種は9月下旬頃を適期とし、冬季は「フレーム」內にて保護するを要す。

5278. サボテンマツバギク (8圖版-70) …… ツルナ科
Mesembryanthemum stellatum, Mill.

〔形態〕概形よくサボテンに似たるを以て、本和名を有す。近時の船來にかゝる草本にして、高さ6-9糎(2-3寸)許に達し、莖は肉質、塊狀をなす。葉は簇生し、半圓柱形を呈し、粉白を裝ひ、糙澁にして頂端は花梗と共に多くの毛茸を密生す。花は赤紫色を呈し、蒴は鐘形にして、長さ6粍(2分)許を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部阿弗利加(喜望峯地方)

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。

5279. ハナヅルサウ ……ツルナ科
Mesembryanthemum cordifolium, L. f.

〔形態〕南米原產の常綠多年生草本なり。莖は伏臥生をなし、葉は葉柄を有し、稍肉質にして心臟狀卵形をなし、全緣なり。夏日、梢頭葉腋に紅紫色にして小形なる花を單生す。蒴は倒圓錐形にして4裂し、2裂片は大きく、他の2裂片は小形なり。花瓣は短線形をなし、多數を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。

5280. キクレンゲ ……ツルナ科
Mesembryanthemum linguaeforme, Ham.

〔形態〕本種も亦南米原產の栽培植物にして、莖は之を缺く。葉は不齊なる舌形をなし、先端銳く尖る。花は黃色にして短梗により着生す。

〔花色〕黃色。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。

3. ザクロサウ屬　MOLLUGO.

5281. ざくろさう 粟米草 (白圖-40) …… ツルナ科
Mollugo stricta, *L.*

〔形態〕田圃、路傍等に普く自生する一年生草本にして、莖高さ9-12糎(3-4寸)許に達す。葉は倒卵形或は披針形、全緣にして3-5葉づゝ輪生し、托葉は纖細なり。夏日、枝梢上に暗赤色を呈する無瓣の細花を2-3岐せる側出の聚繖花序に排列す。苞は細小にして脫落、卵狀線形をなし、小梗は絲狀

PL. 7.

を呈す。花被片は5箇を有し，長橢圓形にして凹面をなし，雄蕊は3-5箇を具へ，花柱は3箇ありて線形なり。花後生ずる蒴は膜質，球形にして3室を有し，萼と略同長なり。〔花色〕暗赤色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

40 ザクロサウ　41 はこべもどき

5282. **はこべもどき**（白圖-41）……ツルナ科
Mollugo Spergula, *L.*

〔形態〕原野に自生する一年生草本にして，莖葉共に稍無毛種に屬す。莖は多くの枝を岐ち，撒開生にして，葉は概ね輪生をなし，葉身は竪狀披針形或は橢圓形にして，長さ1·2-2·4糎（4-8分）許あり。花は有梗にして，萼片は長橢圓形をなし，雄蕊は5-10箇を具へ，柱頭は3箇ありて，花後生ずる蒴果は橢圓形にして，萼片より稍短形なり。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

4. ハマミヅナ屬　SESUVIUM.

5283. **はまみづな**……ツルナ科
Sesuvium Portulacastrum, *L.*

（異名）はますべりひゆ・みるすべりひゆ・いそみづな　〔形態〕海岸の砂地等に自生する多年生草本にして，全株無毛種に屬し，液質なり。葉は乾皮質にして，葉身は線形或は披針狀長橢圓形，鈍頭をなし，長さ6-12糎（2-4寸）許に達し，基脚擴大せり。春日，若しくは秋日，花梗を腋出し，無瓣花を單生す。萼筒は短形にして5裂し，各裂片は三角狀披針形をなし，內面鮮紅色を呈す。雄蕊は15-40箇を具へ，花柱は3箇あり。蒴は卵狀長橢圓形をなし，長さ4·5糎（1·5分）許を有す。〔花候〕春-秋。〔分布〕琉球・臺灣。

* * * * *

5. やまごばう（商陸）科
PHYTOLACCACEÆ.

本科に屬する植物は通常平滑なる草本にして，（熱帶地方には灌木又は喬木をなすものあり）葉は單葉にして互生し，全緣にして，葉柄を有するか，或は之を缺き，托葉は小形又は缺如す。花は兩性又は單性にして整齊をなし，總狀花序或は聚繖花序に排列す。微細なる苞と小苞とを有す。萼は4-5深裂或は4-5箇の分離せる萼片より成り，裂片又は萼片は，花蕾に在りては覆瓦樣に排列す。花瓣は通常之を缺く。雄蕊は萼裂片又は萼片と同數にして之れと互生し，或は多數なり。花絲は概ね宿存性にして，相分離し或は基部に於て合生す。葯は2胞を有して縱裂し，時に殆んど相分離す。心皮は1箇或は多數ありて，分離するか或は結合し，子房は上位又稀に下位にして，數室を有し又數多の分離せる心皮より成る。花柱は心皮と同數にして，柱頭は線形或は絲狀となり，各心皮は1箇の半倒生或は彎生の卵子を生ず。果實は概ね漿果なれども，稀に蒴果又は翅果を生ずるものあり。種子は稍球形をなし，粉質又は肉質の胚乳を含む。

本科には凡23屬，115種の植物を有すれども，主に熱帶地方に產し，本邦には2屬，凡4種を產するに過ぎず。

1. ヤマゴバウ屬　PHYTOLACCA.

5284. **やまごばう**　商陸（8圖版-71）……ヤマゴバウ科
Phytolacca esculenta, *Hautt.* (*P. acinosa*, var. *Kaempferi*, *Makino.*)

（異名）いねごばう・たうごばう　〔形態〕山林，陰地等に自生するものありと雖も，通常栽培せらるゝ多年生草本にして，莖高さ1-1·2米（3-4尺）許に達し，莖葉共に稍無毛種に屬す。葉は葉柄を有し，稍タバコの葉に似て小さく，膜質にして橢圓狀卵形或は廣披針形をなし，長さ12-18糎（4-6寸）許に達す。夏日梢上葉腋に花梗を抽くこと15-18糎（5-6寸）にして，有梗無瓣の小花を總狀に綴る。萼片は5箇ありて白色を呈し，雄蕊は8箇を具へ，心皮も亦8箇を有し，離生・並列す。果穗は直生にして，花後紫黑色をなせる漿果を結ぶ。有毒植物なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

人生との關係　本植物はシャウリクと稱し，古來漢藥として，重用せられたるものなり。即ち根莖を適宜煎用するときは，水腫を治するに效ありとして，專ら利尿劑に供せられ，其他脚氣・腫物等に應用せらる。

5285. **まるみのやまごばう**……ヤマゴバウ科
Phytolacca japonica, *Makino.*

〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして，花は總狀花序をなして頂生す。心皮は7-10箇より成り相合着す。果穗は直生し，果實は扁球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5286. **ヤウシュヤマゴバウ**（8圖版-72）……ヤマゴバウ科
Phytolacca decandra, L. (*P. americana*, *L.*)

（異名）アメリカヤマゴバウ　〔形態〕北米原產の歸化植物にして，庭園畑地等に自生品を見る多年生草本なり。花は夏秋の候，側出せる總狀花序に排列し，心皮は約10箇より成りて合生す。果穗は下方に垂れ，果實は扁球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

2. ジュズサンゴ屬　RIVINIA.

5287. **ジュズサンゴ**（8圖版-73）……ヤマゴバウ科
Rivinia laevis, L. (*R. humilis*, var. *glabra*, *L.*)

〔形態〕南北亞米利加熱帶地方原產の多年生草本にして，莖高さ15-60糎（0·5-2尺）餘に達し，全株無毛なり。葉は葉柄を有し，莖に互生す。葉身は長卵形にして先端尖り，托葉は細小なり。花は小形にして花冠樣の白色或は白紅色をなせる4箇の萼片を有し，腋出稀に頂生せる總狀花序に排列す。花序は概ね瘠長にして懸垂し，葉と同長なり。雄蕊は4箇を具へ，花後生ずる漿果は紅紫色の汁液を含む。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　觀賞用として栽培し，果實は紅色染料の原料に供せらる。

6. やまとぐさ(大和草)科
CYNOCRAMBACEÆ.

本科の植物は概ね一年生草本にして、葉は單葉、全邊をなし、托葉を具へ、肉質なり。花は單性にして花冠を缺き、雌雄同株なり。雄花は 2-5 裂せる花被と、10-30 箇の雄蕊とを有し、雌花は 3-4 裂せる花被と、1 箇の彎生卵子を含める 1 箇の心皮とを有し、通常 3 箇づゝ聚繖花序をなして、葉腋上に着生し、花柱を有する花被は子房の不平等なる成長によりて、1 側部に位し、恰も子房の基部の 1 側部より生じたるが如き觀を呈す。果實は核果にして、種子は胚乳を含む。

本科には 1 屬 3 種の植物を含有すれども、本邦には唯 1 種を產するのみ。

1. ヤマトグサ屬　CYNOCRAMBE.

5288. **やまとぐさ**　大和草　(8 圖版-74) ···· ヤマトグサ科
Cynocrambe japonica, *Makino.*

〔形態〕山中、樹下等に自生し、近時の發見に係り、概形ハシカグサに似たる多年生草本にして、莖高さ 12-15 糎 (4-5 寸) 乃至 30 糎 (1 尺) 許に達し、莖葉共に毛茸を密布す。葉は卵形或は狹卵形、短銳尖頭、圓脚をなし、全緣なり。膜質にして葉柄を有し、莖の下部にあるものは對生し、上部のものは互生す。托葉も亦膜質にして、葉柄の間に着生し、三角形をなして、基脚合生す。雌雄同株なり。雄花は葉狀苞に對生し、膜質にして狹長橢圓形、鈍頭をなせる 3 片の花被より成り、雄蕊は多數を具へて下垂し、雌花は小形にして、微細なる小苞を伴ふ。子房は單生し、花柱は短形にして側出す。小堅果は密、倒卵狀長橢圓形にして短毛を有する宿存花被に包藏せらる。

〔花色〕綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

7. おしろいばな(紫茉莉)科
NYCTAGINACEÆ.

本科の植物は草本、灌木又稀に喬木なり。葉は通常單葉にして對生稀に互生し、全緣にして托葉を缺く。花序は種々ありて往々繖形をなし、頂生又は腋生なり。花は兩性或は單性をなし、整齊にして總苞を具へ、總苞は分離或は結合して往々 1 花乃至數花を包み、又變じて萼様をなす。萼は結合し、美麗にして花冠狀をなし、鐘形・管形又は高盆形をなして 4-5 裂或は鋸齒を有す。雄蕊は 1-30 箇を具へ、花絲は絲狀にして、長短同じからず、基部は相合着して子房を抱き、葯は 2 胞ありて縱裂す。雌蕊は 1 箇の心皮より成り、子房は上位にして 1 室を有し、內に倒生或は彎生卵子を藏す。花柱は長く或は短く、柱頭は單一又は數箇に分裂す。果實は痩果にして、花被の管狀部に被はれ、種子は胚乳を含む。

42 オシロイバナ

本科には凡 19 屬、160 種の植物を含有し、熱帶地方殊に南北亞米利加に多く產し、本邦には 4 屬、凡 9 種許を栽培す。

本科所載植物名目次

イカダカヅラ……5291　ココノヘカヅラ……5291　ブーゲンカヅラ……5292
ウドキ……5295　タイトウカノコサウ…5297　ブーゲンブイレヤ……5291
ウドノキ……5294　ナガハオシロイバナ…5290　ベニブーゲンカヅラ…5293
オシロイバナ……5289　ナハカノコサウ……5296

1. オシロイバナ屬　MIRABILIS.

5289. **オシロイバナ**　紫茉莉・白粉花 ·····オシロイバナ科
Mirabilis Jalapa, L. (9 圖版-75)

(英名) フォアー・オクロック (Four o'clock)　〔形態〕本邦にては多く夏季の庭園に栽培せらる。根部は塊根狀となりて越年し、毎年發芽成育する多年生草本なれども、一般には春播として一年生草本として取扱はる。莖高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達し、多くの枝を分ちて繁茂す。葉は對生にして、葉柄を有し、葉身は卵狀披針形、銳尖頭をなし、全緣にして濃綠色を呈し、基脚心臟形をなす。夏秋の候、聚繖花序は頂生し、花被は花瓣様の合片萼より成りて盆形をなし、白・黃・紅色を呈し、邊緣僅に 5 裂す。夕刻開花し、翌朝に至りて凋落す。花下の苞は卵形・全緣にして、紫紅色を呈して美麗なり。果實は球形にして、黑色を呈し、皺面をなし、皺曲せる萼の 1 部に包まれ、果皮を破れば白粉をなせる胚乳を出す。〔花色〕白・淡紅・黃・赤・紫・絞等種々。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽培す。尙本植物の生葉を揉みたる汁は疥癬・小瘡に塗布すれば好く之を治すと云ふ。

5290. ナガバオシロイバナ ····· オシロイバナ科
Mirabilis longiflora, L.

〔形態〕外來の一年生草本にして、莖高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達し、莖葉共に腺毛を密布す。葉は短き葉柄を有し、葉身は心臟形にして、先端銳尖なり。夏日、オシロイバナと同じく多數の小枝を分ち、彼に比して、花筒の一層長く、白色・淡紫色或は紫色にして、芳香を有する盆狀花を着生し、萼部は小形なり。〔花色〕白色・淡紫色・紫色等。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕北米「メキシコ」。

人生との關係　前種と同じく、庭園に栽培し、觀賞に供せらる。

2. イカダカヅラ屬　BOUGAINVILLAEA.

5291. **イカダカヅラ** (9 圖版-76) ·····オシロイバナ科
Bougainvillaea spectabilis, Willd.

(異名) ココノヘカヅラ・ブーゲンヴキレヤ　〔形態〕本種も亦外來の觀賞用灌木にして、莖高さ 1·5-1·8 米 (5-6 尺) 以上に達し、葉腋上に刺を有

PL. 8.

66 マツバギク

67 ヒメマツバギク

68 ムラサキマツバギク

69 サンシキマツバギク

70 ハナヅルサウ

71 まるみのやまごぼう

72 ヤウシユヤマゴバウ

73 ジユズサンゴ

74 ヤマトグサ

す。葉は互生にして葉柄を具へ．葉身は卵形・全縁にして鋭尖頭・圓脚をなし．長さ6糎（2寸）許を有して有毛なり。夏日．梢上に3小梗を出しナガバナノオシロイバナに似たる．合片萼の先端5裂せる長筒狀花を着生して．大形の圓錐花序をなす。花被は筒部帶紫色を呈し．上部は帶黃白色の內面と紫紅色の外面とを有し．花下の苞は大形にして心臟形をなし．淡紫色を呈して美麗なり。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽培せらる。

5292. **ブーゲンカヅラ**（9圖版-77）……オシロイバナ科
Bougainvillaea glabra, Choisy. var. *Sanderiana*, Hort.

〔形態〕本種は近時最も普通に栽培せらるゝ園藝種にして．次種よりは葉も小さく栽培法によりては矮小に仕立て得るを以つて．鉢植として愛觀せらるゝものなり。〔花色〕紅色。〔原產地〕南米「ブラジル」。

（附記）　本種の和名は最近牧野博士が園藝圖譜上に發表せられたるものにして．一般園藝家は未だブーゲンヴキレヤ・グラブラ・サンデリアナと呼稱するものなり。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。水揚不良なるを以つて切花としては不適當なり。繁殖は挿芽による。一般に性强健なれば栽培頗る容易なれども．冬季は溫室內にて越冬せしむるを佳とす。

5293. **ベニブーゲンカヅラ**（9圖版-78）‥オシロイバナ科
Bougainvillaea glabra, Choisy. var. *Mrs. Butt*, Hort.

〔形態〕本種も亦前種と同樣牧野博士の新命名にして．一般にはブーゲンヴキレヤ・グラブラ・ミセスバツトと稱するものなり。前種と同樣栽培し觀賞に供せらるゝものなり。

3. ウドノキ屬　PISONIA.

5294. うどのき ……オシロイバナ科
Pisonia excelsa, *Blume*.

（異名）おほくさぼく・おきなはあをき　〔形態〕暖國に自生する喬木にして．葉は葉柄を具へ．對生又は3葉づゝ輪生し．葉身は紙質にして橢圓形をなし．長さ30糎（1尺）許に達す。花は聚繖花序に排列し．概ね頂生にして．雌雄異株なり。花被は5箇の齒緣を有し．稍無毛にして．雄花は漏斗形をなし．雌花は筒形をなす。雄蕊は花被より長く挺出し．子房は無柄にして斜形をなす。果實は長橢圓狀線形にして五角を有し．無毛なり。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

5295. うどき ……オシロイバナ科
Pisonia Nishimurae, *Koids*.

〔形態〕小笠原島に自生する喬木にして．全株無毛種に屬し．且つ刺を有せず。葉は葉柄を具へ．葉身は膜質・線狀長橢圓形にして先端圓く．基脚楔形をなし．長さ12-15糎（4-5寸）に達す。花は頂生せる房狀繖形花序に排列し．花被は鐘狀壺形にして長さ6粍（2分）許を有し5裂す。裂片は三角狀卵形をなし．雄蕊は不同にして11箇を具へ．閉在生なり。柱頭は筆毛狀を呈し．花被より稍超出す。果實は長橢圓形或は球形にして粉毛を被り。端花被片を冠す。〔分布〕小笠原島。

4. ナハカノコサウ屬　BOERHAAVIA.

5296. なはかのこさう ……オシロイバナ科
Boerhaavia repens, *L.* var. diffusa, *Hook. f.*

〔形態〕暖國の山野に自生する多年生草本にして．枝條は撒開生をなし．高さ0·9-1·2米（3-4尺）許に達す。葉は葉柄を具へ．葉身は卵形にして鈍頭或は銳頭・圓脚或は心脚をなし．長さ1·2-4·5糎（0·4-1·5寸）許を有す。夏秋の候．梢頭．葉腋に長梗を抽出し．淡黃色にして細小なる花を圓錐狀に綴る。花被は漏斗形をなして5裂し．雄蕊は花被より挺出す。子房は有柄．斜形にして．柱頭は楯形なり。果實は棍棒形にして5肋を有し．腺質をなす。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕九州（大島・喜界島）・琉球・臺灣。

5297. **たいとうかのこさう**（9圖版-79）‥オシロイバナ科
Boerhaavia crispa, *Heyne*.

〔形態〕臺灣に自生する草本にして．莖葉共に繞澁．莖は剛硬にして直生し．稍單一なり。葉は短き葉柄を有し．革質の長橢圓形或は卵狀長橢圓形にして．先端圓く基脚亦圓形なり。頭花は疎圓錐花序に排列し．果實は棍棒形にして5肋を有し．腺質なり。〔分布〕臺灣。

*　　*　　*

8. ひゆ（莧）科　AMARANTACEÆ.

本科の植物は通常草本又は灌木にして．稀に喬木なり。葉は對生或は互生し．單葉にして托葉を具へず．通常全緣なり。花は螺旋狀に排列せる部分を有し．小形・整齊にして．通常兩性．稀に單生なり。花序は通常穗狀花序．頭狀花序．總狀花序或は圓錐狀をなし．花下の苞は膜質にして乾燥し．側位にあるものは葉狀をなさず．花被は1種にして．通常3-5箇の片より成り．多くは膜質にして乾燥し．苞と共に往々美麗なる色を呈す。雄蕊は1-5箇ありて花被片と對生し．基脚結合するか．或は分離す。雌蕊は2-3箇の結合せる心皮より成り．子房は上位にして1室を有し．多數乃至1箇の彎生卵子を含む。果實は胞果・堅果或は稀に漿果にして．種子は胚乳を藏す。

ヒユ

本科は凡40屬．500種の植物を含み．多く熱帶・溫帶地方に產す。本邦には自生し．栽培せらるゝもの11屬．凡24種を有す。

本科所載植物名目次

アヲバモヤウビユ……5311　シマキノコヅチ……5324　ハリビユ……5305
アヲビユ……5302　シロキノコヅチ……5324　ヒメニシキゲイトウ…5309
アカバナモヤウビユ…5309　シロビユ……5301　ヒモゲイトウ……5306
アカビユ……5299　スギモリケイトウ……5308　ヒ　ユ……5298
アメリカセンニチサウ5319　センニチコウ……5318　ヒヨウナ……5298
イヌビユ……5303　センニチサウ……5318　フシダカ……5320
キノコヅチ……5320　センニンコク……5306　フジゲイトウ……5308
キノコヅチモドキ…5326　ツルノゲイトウ……5316　ホシノゲイトウ…5316
オキナハキノコヅチ…5323　ナガバキノコヅチ…5321　ホソバノツルノゲイトウ……5317
カマツカノハナ……5307　ナガバノシマキノコヅチ……5313　マルバビユ……5312
カラキ……5325　ガライコウ……5307　ナンテンキノコヅチ…5322　ムラサキイヌビユ…5304
カルクサ……5307　ニシキゲイトウ……5307　ムラサキビユ……5304
キイバモヤウビユ……5310　ノゲイトウ……5314　モヤウビユ……5309
ケイトウ……5313　ノビユ……5303　モンバキノコヅチ…5325
ケキノコヅチ……5324　ハゲイトウ……5307　ヤナギキノコヅチ…5321
ケシヤウビユ……5312　ハナビユ……5300　ヤリゲイトウ……5315
コビユ……5298　ハヒキノコヅチ……5322

1. ヒユ屬　AMARANTUS.

5298. **ヒユ** 莧（9圖版-80）……ヒユ科
Amarantus inamoenus, Willd. forma *viridis*, Makino.

（異名）ヒヨウナ・コビユ　〔形態〕印度原產の植物にして．本邦にては多く畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖葉共に綠色にして．高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達し．莖は直生す。葉は長き葉柄を有し．略三角狀卵形或は卵狀橢圓形にして銳尖頭・凹端をなす。夏秋の候．梢上葉腋に綠色の穗狀花序を腋出し．黃綠色の細花を綴る。苞は鏃形．芒端をなし．萼片は3箇を有して果實より稍長く．雄蕊は3箇を具ふ。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕印度。

人生との關係　畑地に栽培し．其葉を食用に供す。便通をよくし．姙婦の食養に適す。又其穗は豚の飼料に供せらる。藥效としては眼疾を治するに效あり。

5299. アカビユ ……ヒユ科
Amarantus inamoenus, Willd. forma *ruber*, Makino.

〔形態〕前種と同じく畑地に栽培せらるゝヒユの一品種にして．莖葉共に紅色を呈するものなり。（栽植種）

5300. ハナビユ ……ヒユ科
Amarantus inamoenus, Willd. forma *versicolor*, Makino.

〔形態〕本種も亦畑地に栽培せらるゝヒユの一品種にして．莖葉共に數色雜駁せるものなり。（栽植種）

5301. シロビユ ……ヒユ科
Amarantus albus, L.

〔形態〕熱帶亞米利加原産の歸化一年生の平滑なる草本なり。莖は帶白色にして、多くの枝を分ち地上に擴開す。葉は長き葉柄を具へ、葉身は倒卵形或は篦狀長楕圓形にして、鈍頭或は微凹頭をなし、雌雄雜殊なり。夏日、梢上葉腋に花梗を腋出し、帶綠色をなせる極めて小形なる花を攢簇す。萼片は微凸頭をなし、果實の約半長を有し、果實は皺質にして、剛硬銳尖形の苞を伴ふ。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

5302. **アヲビユ**（9圖版-81）……ヒユ科
Amarantus retroflexus, L.

〔形態〕本種も亦熱帶地方の原産にして、畑地に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖は直生して毛茸を布く。葉は長き葉柄を有し、葉身は卵形或は菱狀卵形・波緣をなし、縐疱にして、稍粉白を裝ふ。圓錐狀様の穗狀花序は綠色を呈して頂生し、苞は先端銳く、萼は果實より稍長形なり。（栽培種）

5303. **いぬびゆ** 野莧（9圖版-82）……ヒユ科
Amarantus Blitum, *L.* var. oleraceus, *Hook. f.*

（異名）のびゆ　〔形態〕路傍、田圃等に自生する一年生草本にして、莖高さ30糎（1尺）許に達す。葉は長き葉柄によりて互生し、葉身は卵形或は長楕圓形にして、往々凹頭を有す。夏日、梢上葉腋に穗狀花序をなし、黃綠色を呈する多數の細小花を綴る。本種は雌雄異花にして同株に生ず。苞は短形にして、萼片は3箇を有し、綠狀長楕圓形、銳頭或は鈍頭をなして果實より短く、果實は不齊なる裂開をなす。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。

5304. **むらさきびゆ** ……ヒユ科
Amarantus viridis, *L.* var. sanguineus, *Makino.*

（異名）むらさきいぬびゆ　〔形態〕本州中部に自生する草本にして、ヒユに似たれども、本種は莖葉共に紫色を帶ぶるものなり。〔分布〕本州中部。

5305. **ハリビユ** 刺莧（9圖版-83）……ヒユ科
Amarantus spinosus, L.

（異名）ヒユナ　〔形態〕元來熱帶地方原産なるも、本邦暖地に自生品を見る一年生の歸化草本にして、莖高さ1·2-1·5米（4-5尺）に達し、全株平滑なり。莖は赤色を呈し、多くの枝を分ち且つ5刺を腋出す。葉は卵形或は長卵形の全緣葉にして、長柄によりて互生す。夏日、梢上葉腋毎に穗狀をなし、黃綠色小形の單性花を着生す。苞は剛毛狀をなし、萼片と稍同長或は超出し、雄蕊は5箇を有す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

5306. **センニンコク** 老鸛綬（10圖版-84）……ヒユ科
Amarantus caudatus, L.

（異名）ヒモゲイトウ・コウボウアハ　〔形態〕觀賞用として庭園、園圃等に培養する外來の一年生草本にして、高さ60-90糎（2-3尺）に達す。莖は撒開生にして、葉は卵形或は卵狀披針形、鈍頭をなせる全緣葉にして、長柄によりて互生す。夏日、梢上小枝を岐ち、其の頂に細長なる穗狀をなして無數の紅色或は帶紅色を呈する小花を密生し、下垂するを常とす。苞は剛毛狀をなし、萼片は5箇を有し、倒卵形、微凸頭をなす。雄蕊も亦5箇を具へ、胞果は壓扁せらる。〔花色〕紅色又は帶紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕波斯。

人生との關係　通常觀賞用として庭園等に栽培せられ、種子は食用に供せらる。本植物の種子は罌粟子に似て、其色淡紅色を呈し、炊きて飯となし又搗きて餅を製し、頗る佳味なり。尙本植物は、土地の肥瘠を擇ばず、隨地其栽植をなし得るものなり。

5307. **ハゲイトウ** 雁來紅（10圖版-85）……ヒユ科
Amarantus gangeticus, L. (*A. tricolor, L.*)

（異名）ガンライコウ・ニシキゲイトウ・カルクサ・カマツカノハナ
〔形態〕觀賞用として庭園等に培養せらるゝ外來の一年生草本にして、高さ60-90糎（2-3尺）より1·5-1·8米（5-6尺）に達するものあり。莖は直生し、葉は概形ケイトウに似たれども、尋常葉と異り、梢葉には黃・紅・紫等の諸色斑紋ありて頗る美觀を呈す。花は葉の美麗なるに反し、極めて微小にして色彩を缺き、梢上葉腋に穗狀花序をなして腋出す。苞は鑿形、芒端をなし、萼片は3箇ありて披針形、長芒を有し、雄蕊亦3箇を有す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕印度。

人生との關係　庭園の植込等に栽植し美觀を呈す。本種には葉色の種々に變化せるもの、形態の大なるもの又小なるもの等變種多し。尙本植物は軟弱なる畑地を好まず、路傍の如き堅き地によく生育し、其葉の美觀を場末の寺院等の踏み堅めたる庭園等に見受くるものなり。

5308. **スギモリゲイトウ**（10圖版-86）……ヒユ科
Amarantus paniculatus, L.

（異名）フヂゲイトウ　〔形態〕本種も亦觀賞用として庭園等に栽培する外來の一年生草本にして、莖は直生し、其色淡黃綠色にして紅紫色の線條を有し、概ね毛茸を布く。葉は長楕圓狀卵形或は卵狀披針形にして、先端尖り、葉面に暗紫色の斑紋を有す。夏秋の候、梢上多くの枝を分ち、多數の花穗を着くれども、下垂するに至らず、且つ花の着生する様疎にして、恰もセンニンコクの如くなれども、彼の花の鮮紅色なるに反し、本種は暗紫色にして、綠色を帶ぶるを異りとす。苞は銳尖頭をなし、果實は2-3箇の齒端を有し、萼より長し。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　庭園に栽培し觀賞するに適す。

2. モヤウビユ屬 TELANTHERA.

5309. **アカバモヤウビユ**（10圖版-87）……ヒユ科
Telanthera Bettzichiana, Regel.

（異名）モヤウビユ・ヒメニシキゲイトウ　〔形態〕本種も亦外來の觀賞に供せらるゝ亞灌木にして、葉は長き葉柄を具へ、葉身は篦形をなし、先端銳尖にして、基脚狹まり、諸色の斑紋を有す。夏秋の候、梢上葉腋に無梗の細花を着生す。苞は卵狀披針形にして銳尖頭をなし、花被片は5箇、雄蕊も亦5箇を具へ、5箇の假雄蕊を伴ひ、筒狀に合生す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。本種類は夏季より花壇に植込みて觀賞に供し、又は秋の紅葉を賞するもの等あり。繁殖は挿芽による。挿芽は極めてよく活着し、性又强健なれど、寒氣に弱きを以て越冬溫度は攝氏50度内外を要す。

5310. **キイバモヤウビユ**（10圖版-88）……ヒユ科
Telanthera Bettzickiana, Regel. var. *aurea*, Hort. f.

（英名）アルターナンセラ（Alternanthera）　〔形態〕熱帶亞米利加原産の多年生草本にして、莖高さ10糎（3寸）許に達し、基部に於て枝を分つ。葉は狹篦形にして、基部に從ひ細く葉梗に流れ、先端尖銳なり。夏季より秋に亙りて花壇用植物として用ひられ、花戸はアキランサスの俗名により呼稱すれども、アキランサスは全くの誤稱にして、テランセラ又はアルターナンセラと稱すべきなり。我國にて栽培せらるゝ本種には黃葉種と赤紅色に紅葉するものとの2種ありて、矮小種に屬し、葉は稍皺縮するを以て、容易に區別することを得べきなり。

人生との關係　アカバモヤウビユに同じ。

5311. **アヲバモヤウビユ**（10圖版-89）……ヒユ科
Telanthera amoena, Regel.

〔形態〕本種も亦熱帶亞米利加原産の多年生矮小なる草本にして、葉は短き葉柄を具へ、葉身は長披針形或は橢圓形をなし、先端尖り、下面は概ね綠色にして赤色或は橙黃色の斑紋を有す。頭花は無梗にして頂生し、單生或は2-3箇を着生す。〔原産地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　アカバモヤウビユと同じ。

3. マルバビユ屬 IRESINE.

5312. **マルバビユ**（10圖版-90）……ヒユ科
Iresine Herbstii, Hook. f.

（異名）ケシャウビユ　〔形態〕本種も亦南米「ブラジル」原産の觀葉用多年生草本にして、高さ75糎（2·5尺）許に達す。葉は對生にして葉柄を有し、葉身は廣卵形或は圓形、鈍頭にして、紫赤色或は綠色若しくは綠赤色を呈し、透き通るが如き鮮かなる黃脈を交ゆ。花は圓錐花序に綴り、頂生或は腋出し、苞を有す。花被は圓柱形にして5裂し、果實は脆果なり。（栽培種）

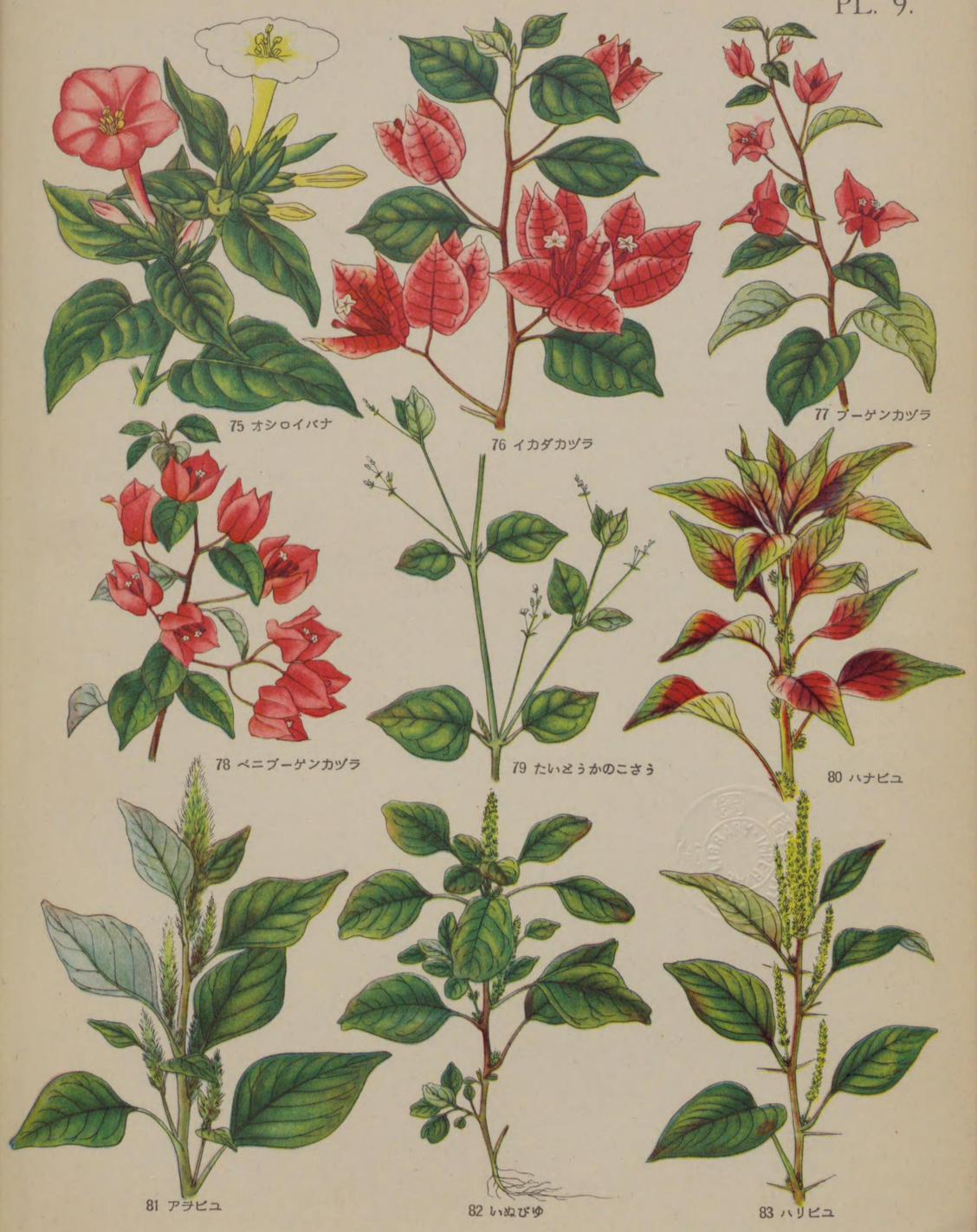
人生との關係　夏より秋に亙り、花壇用として重要なるものなり。性霜に弱けれども、春先より戸外にてよく生育す。冬季は溫室或は「フレーム」内に保護し、春より花壇又は鉢仕立となす。挿芽は發根する迄日覆を要す。

4. ケイトウ屬 CELOSIA.

5313. **ケイトウ** 鷄冠・雞頭（10圖版-91）……ヒユ科
Celosia cristata, L. (*C. argentea, L.* var. *cristata, Kuntze.*)

（異名）カラキ　〔形態〕主として庭園に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖葉共に平滑にして、高さ60-90糎（2-3尺）に達す。葉は葉柄を有し、長楕

PL. 9.



圓形，銳尖頭をなし，基脚狹まり．無毛にして長さ4·5–7·5糎（1·5–2·5寸）許に達し，五生なり。秋日，花軸の上端雞冠狀を呈し，中部以下の面に赤黃·紫紅·白色を呈する奇形花を多數に着生す。苞片は5箇にして，雄蕊も亦5箇を具へ，雌蕊は1箇を有し，花後生ずる蓋果は宿存萼を伴ひ，成熟すれば蓋を開きて種子を飛散す。〔花色〕赤·黃·白色等。〔花候〕秋。（栽培種）

人生との關係　花色美麗なるを以て庭園に栽培し觀賞に供せらる。尙古くはこの花を陰干となし，餅搗の際に餅に紅色を付くるに用ひたり。藥效としては赤色花を咲く種類の葉を煎服すれば，赤痢に又莖葉を煎服すれば痔疾を治し，腸通を良くすと云ふ。

5314. ノゲイトウ　青箱（10圖版–92）……ヒユ科
Celosia argentea, L.

〔形態〕元來印度原產の歸化植物にして，田野に自生する一年生草本なり。概形ケイトウに似て，莖高さ30–90糎（1–3尺）に達し，莖葉共に無毛種に屬し稍紅色を帶びて平滑なり。葉は葉柄を有し，葉身は卵形或は披針形にして互生し，長さ3–15糎（1–5寸）許に達す。夏日，梢上に淡紅色をなせる小花を長梗を有し圓柱形をなせる穗狀花序に頂生或は腋出し，1箇の苞と2箇の小苞とを有す。本花の花序は稍筆頭に似たるを以て一名フデゲイトウとも稱せらる。苞片は乾皮質にして，披針形をなし，雄蕊は5箇を具へ基脚合生す。花後生ずる胞果は成熟すれば蓋裂して種子を飛散す。〔花色〕淡紅色後白色。〔花候〕夏。〔原產地〕印度。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。又嫩葉は茹食に供し，種子は「青箱子」と稱して，よく眼疾を治し，又强壯劑に供せらる。

5315. ヤリゲイトウ（11圖版–93）……ヒユ科
Celosia argentea, L. var. *childsii*, Hort.

（異名）スギナリゲイトウ　〔形態〕本種はケイトウの一變種にして同じく觀賞用として栽植せらるゝ一年生草本なり。高性種と矮性種とあれども，通常15–50糎（0·5–1·8尺）許に達し，概形ケイトウに酷似す。花穗は形狀，色彩等に種々の變化あると共に，莖葉亦黃綠色を呈するもの或は帶紅綠色を呈するもの等種々あり。其他花季，性狀等亦ケイトウに同じ。

〔花色〕紅色·淡紅色·白色等。〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。繁殖は種子により，播種は通常春蒔とし，1–2回移植の後花園又は鉢に定植す。種皮固きを以て發芽には充分の濕氣を要するものなり。

5. ツルノゲイトウ屬 ALTERNANTHERA.

5316. つるのげいとう（11圖版–94）……ヒユ科
Alternanthera sessilis, *R. Br.*

（異名）ほしのげいとう　〔形態〕暖地の田野，路傍等に自生する伏臥生の一年生草本にして，高さ7·5–45糎（0·25–1·5尺）許に達し，莖稍部には2列の毛茸を有す。葉は線狀長橢圓形或は橢圓形の全緣葉にして，鈍頭或は稍銳頭をなし，長き葉柄によりて對生し，紅色·紫色·黃赤色又は綠色を帶びて美麗なり。花は極めて小形にして黃綠色を呈し，頭狀をなして葉腋に腋出す。苞片は披針形にして長短不同，雄蕊は合生して花絲は短く，胞果は倒心形にして壓扁せらる。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州（大島）·琉球·臺灣。

人生との關係　專ら觀賞用として庭園に栽培せらる。

5317. ほそばつるのげいとう（11圖版–95）……ヒユ科
Alternanthera nodiflora, *R. Br.*

〔形態〕前種ツルノゲイトウの一種にして，本種の葉は彼に比するに狹小にして，苞片は非薄，銳尖形をなし，果實は小にして廣濶ならざるものなり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州·琉球·臺灣。

6. センニチサウ屬 GOMPHRENA.

5318. センニチサウ　千日紅（11圖版–96）……ヒユ科
Gomphrena globosa, L.

（異名）センニチコウ　〔形態〕印度原產の觀賞用一年生草本にして，莖高さ60糎（2尺）餘に達し，莖葉共に粗毛を生ず。莖は稍不明なる四角形をなし，節部膨大し，葉柄の莖部と共に珊瑚色を帶ぶ。葉は短き葉柄を有し，對生にして，葉身は長橢圓形或は倒卵形，微凸頭，楔脚をなし，兩面に帶白色の毛茸を生ず。6月頃，莖上多くの小枝を分岐し，降霜時に至るまで通常淡紫色·濃紅色·白色等を呈する球形の頭花を頂生す。頭花下には卵圓形にして，葉狀をなせる2苞を有し，每花下には1箇の苞を具ふ。小苞は2箇を有し，紅紫色にして背面に縱翼を有す。苞片は5箇，線狀披針形をなし，背面に掩縮毛を布く。雄蕊も亦5箇を具へ，花絲は筒狀に合生す。子房は倒卵形をなし，花柱は1箇，柱頭は2岐す。花後生ずる胞果は卵形にして，宿存萼に包まれ裂開せず。通常本球狀花の色彩を有する部分は，花瓣にあらずして苞なり。〔花色〕濃紅紫色·淡紫色·白色等種々。〔花候〕夏–秋。

〔原產地〕印度。

人生との關係　庭園に栽培し觀賞に供せらる。繁殖は一年生なるを以て實生法による。1–2回移植したる後花園に定植す。一般花卉類の栽培法に準じて可なり。

5319. アメリカセンニチサウ（11圖版–97）……ヒユ科
Gomphrena Haenkeana, Mart.

〔形態〕南米「ペルー」原產の觀賞用草本なり。葉は長橢圓形にして，頭花下に2苞を具へ，卵狀披針形をなす。〔原產地〕「ペルー」。（栽培種）

人生との關係　庭園に栽植して觀賞に供せらる。

7. キノコヅチ屬 ACHYRANTHES.

5320. ゐのこづち（11圖版–98）……ヒユ科
Achyranthes japonica, *Nakai*.

（異名）ふしだか　〔形態〕到る處の原野に自生する多年生草本にして莖高さ60–90糎（2–3尺）許に達し，莖葉共に稍毛茸を生ず。莖は方形にして膨大せる節を有し，葉は對生にして，葉身は橢圓形，銳尖頭，銳脚をなし，全緣にして，葉柄を具ふ。夏日，綠色の小花を圓柱形をなせる穗狀花序に頂生或は側出す。苞は鏨形にして刺端をなし，小苞は針形にして2箇を有し，共に宿存生なり。苞片は5箇，線狀披針形にして3行脈を有し，少なくとも3片は鉤狀をなし，苞片の刺毛は苞片より短し。雄蕊は5箇を具へ，花絲は基脚合生す。花後10月頃，成果結實する胞果は橢圓形にして，宿存萼內にあり。刺毛により人の衣服等に着き種子を撒布す。〔花色〕綠色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道·本州·琉球·臺灣。

5321. やなぎゐのこづち（11圖版–99）……ヒユ科
Achyranthes longifolia, *Makino*.

（異名）ながばゐのこづち　〔形態〕山林の陰地等に自生する多年生草本にして，莖高さ60糎（2尺）許に達す。莖及枝條は延長して擴がり，葉と共に毛茸を散生す。葉はヤナギの葉に似て細長く，先端尖り，葉面には白色の細點散在し，キノコヅチに比して平滑なり。夏日，梢上葉腋に細小なる綠色花を細長き穗狀花序に排列す。花は初め地平なるも，既にして反捲し，花後，橢圓形の蓋果を結ぶ。苞は卵形にして，長さ3粍（1分）許，小苞は2箇を有して刺狀をなし，苞片は5箇，綠色にして鞣形，披針形をなす。雄蕊も亦5箇を具へ，閉在生にして基脚合生す。假雄蕊は方形，不齊齒緣をなし，子房は倒卵狀球形にして，花柱は有毛なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣。

5322. なんてんゐのこづち（11圖版–100）……ヒユ科
Achyranthes Ogatai, *Yamamoto*.

（異名）はひゐのこづち　〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして，莖は綠色を呈して細長く，高さ50糎（1·7尺）許に達し，基部は伏臥生，上部は稍蔓狀をなす。葉は葉柄を有し，葉身は披針形或は稀に卵形にして先端，基脚共に銳く，上面には毛茸を生じ，下面は稍無毛なり。花は細長なる穗狀花序に排列し，花序は頂生，單一にして絹毛を密布す。花被は膜質にして5深裂し，各裂片は鏨狀披針形，銳尖頭をなし，爪を有す。果實は乾皮質にして線狀披針形をなせる苞及2箇の小苞とを具へ，苞には芒を有す。

〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

5323. おきなはゐのこづち……ヒユ科
Achyranthes mollicula, *Nakai*.

〔形態〕琉球に自生する多年生草本なり。莖は稍4稜形にして，氈毛を布く。葉は長橢圓形にして先端銳く，下面に絹毛を生じ，有柄なり。花は穗狀花序に排列し，花序は延長して，下部には疎花を着け氈毛を布く。苞は卵狀長橢圓形にして刺端を有し，小苞は苞片より短く，2齒緣を具へ齒片は毛緣なり。苞片は滑澤にして綠色を呈し，假雄蕊は截頭形をなし，毛を有せず。

〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

5324. しろゐのこづち……ヒユ科
Achyranthes obtusifolia, *Lam*.

（異名）けゐのこづち·しまゐのこづち　〔形態〕小笠原島·琉球·臺灣等に自生し，キノコヅチの一種にして，彼に比するに毛茸多く，果實の刺毛は剛直なるを以て，よく之を識別することを得べし。〔花色〕綠色。

〔花候〕夏。〔分布〕小笠原諸島·琉球·臺灣。

5325. ながばのしまぬのこづち …… ヒユ科
Achyranthes aspera, *L.*

（異名）もんばぬのこづち　〔形態〕琉球に産する多年生草本にして、莖は直生し、枝條は稍不明瞭なる4稜を呈し、共に毛茸を布く。葉は短き葉柄を具へ、葉身は倒卵狀圓形にして急鋭鋭尖脚をなし、短毛を生ず。花は帶綠色を呈し、細長なる花穗に稍疎に着生す。苞は芒を有し、萼は苞の約倍長にして萼片は不明なる3脈を具へ、毛を有せず。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

8. キノコヅチモドキ屬　CYATHULA.

5326. ぬのこづちもどき（11圖版-101）……ヒユ科
Cyathula prostrata, *Blume.*

〔形態〕臺灣に自生する一年生の伏臥生草本にして、莖高さ30-60糎（1-2尺）許に達し、莖葉共に粗毛を密布す。葉は菱狀長橢圓形或は稍提琴形にして鈍頭をなし、葉柄を缺く。花は碧色を呈して穗狀花序に排列し、花序は有梗にして細長く頂生す。萼片は5箇を有し、長橢圓形にして鉤芒端をなし、外面に短毛を密布す。雄蕊は5箇を有して基脚合生し、花柱は絲狀をなし、柱頭は頭狀をなす。花後、裂開せざる倒卵形の胞果を結ぶ。〔花色〕帶色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

9. あかざ（藜）科
CHENOPODIACEÆ.

本科の植物は通常草本又は灌木なれども、甚だ稀に喬木なることあり。葉は通常互生なれども稀に對生し、總べて單葉にして托葉を缺く。花は螺旋狀に排列せる部分を有し兩性或は單性にして何れも細小形をなし、色彩は綠色なるか或は淡色にして整齊又往々2形なることあり。花序は通常聚繖花序或は1箇の花より成り、苞下の苞は膜質ならず、又乾燥せず或は之を缺く。萼は下位、萼片は3-5箇にして、分離又は連合し、蕾の際は覆瓦樣に排列し、花瓣は之を缺く。雄蕊は花被の數と同數或は少數ありて、萼片と相對し、周圍又は下位なり。葯は2室より成る。雌蕊は通常2箇稀に3-5箇の結合せる心皮より成り、子房は上位にして卵形、球形又は扁壓せられ1室を有し、1箇の彎生卵子を含む。果實は堅果、胞果或は稀に漿果にして、肥大せるか肉質となれる萼を以て之を被ふ。種子は扁圓にして、內に胚乳を有するか、或は之を有せず。

43 あかざ

本科は凡73屬、520種餘の植物を含有し、主として熱帶外の海岸或は食塩を含有する土地に產出し、本邦には自生品、栽培品を合せて凡8屬、21種の植物を產す。

本科所載植物索引目次

アカザ……5327　アツゲシサウ……5340　アリタサウ……5336　イソハハキギ……5345　イヌハマアカザ……5340　イハアカザ……5330　キンゲンナ……5341　ウヴダイコン……5341　ウラジロアカザ……5333　エゾハマアカザ……5328　ヲカヒジキ……5347　ヲカミル……5347　カハラアカザ……5331　コアカザ……5332　コハマアカザ……5338　サトウダイコン……5343　サルソラ・カリ……5348　サンゴジュマツナ……5352　シチメンサウ……5352　シマハママツナ……5353　シヤムロダイコン……5341　タウヂヲ……5341　ナンバンルウダサウ……5336　ニハクサ……5344　ハウレン……5340　ハウレンサウ……5340　ハハキギ……5344　ハハキグサ……5344　ハマアカザ……5337　ハマハハキギ……5345　ハマフダンサウ……5342　ハママツナ……5351　ハリセンボン……5335　ヒジキアカザ……5354　ヒメアカザ……5330　ヒメアカザ……5335　フダンサウ……5341　ホソバアカザ……5334　ホソバノハマアカザ……5339　マキクサ……5344　マツナ……5350　マルバアカザ……5329　ミルナ……5347　ミルマツナ……5352　ムラサキアカザ……5328　ム　レ……5352　リウキウマツナ……5353　ルウダサウ……5336

1. アカザ屬　CHENOPODIUM.

5327. あかざ　藜（白圖-43）……アカザ科
Chenopodium album, *L.* var. centrorbrum, *Makino.*

〔形態〕各地の田野に自生する一年生草本にして、莖高さ1·5-1·8米（5-6尺）に達し、木幹狀を呈す。葉は三角狀卵形にして、稍菱脚或は楔脚をなし、全緣或は波樣に分裂し、其質柔軟にして嫩葉と共に帶白色の粉狀物を附着し、互生葉なり。夏秋の候、梢上に黃綠色の細花を攢簇し、總狀樣房狀或は圓錐狀をなせる穗狀花序に排列す。本花は花瓣を缺如し、5箇の萼片を有し、萼は5深裂して裂片は卵形をなす。雄蕊は5箇を具へて萼より挺出し、雌蕊は1箇にして、花後生ずる胞果は扁球形をなす。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕日本全土·臺灣。

人生との關係　嫩葉は茹でゝ食用に供し、老大の莖は杖となすことあり。尙本植物の莖葉を乾燥したるものゝ煎汁を口中に含めば、齲齒の痛みを止むるに效あり。生葉の搾汁を塗布すれば毒蟲の螫傷·「ナマズ」に效あり。果實を黑燒として、胡麻油にて煉り之を塗布すれば、小兒の頭瘡を治するに效ありと云ふ。

5328. むらさきあかざ ……アカザ科
Chenopodium album, *L.* var. purpurascens, *Makino.*

〔形態〕前種アカザの一變種にして栽培種に屬し、莖葉共に紫色を帶ぶる

PL. 10.

84 センニンコク

85 ハゲイトウ

86 スギモリゲイトウ

87 アカバモヤウビユ

88 キイバモヤウビユ

89 アヲバモヤウビユ

90 マルバビユ

91 ケイトウ

92 ノゲイトウ

PL. 11.

93 ヤリゲイトウ

94 つるのげいとう

95 ほそば
つるのげいとう

96 センニチサウ

97 アメリカセンニチサウ

98 ゐのこづち

99 やなぎゐのこづち

100 なんてんゐのこづち

101 ゐのこづちもどき

種類なり。（栽培種）

5329. **まるばあかざ**（白圖-44）……アカザ科
Chenopodium acuminatum, *Willd.* var. japonicum, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕海邊に自生する一年生草本にして．莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し．概形アカザに酷似せる品種なれども．本種の葉は厚紙質の圓形或は倒卵形をなし．圓頭．圓脚にして．長．徑共に 6-12 粍（2-4 分）許を有す。花は小形にして淡綠色を呈し．多數攅簇して圓錐狀穗狀花序を綴る。花瓣は之を缺く。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

44 まるばあかざ　45 かはらあかざ

5330. **ひめあかざ**……アカザ科
Chenopodium acuminatum, *Willd.* var. ovatum, *Fenzl.*

（異名）いはあかざ　〔形態〕九州に自生する一年生草本にして．莖葉共に粉白を裝ふ。葉は葉柄を具へ．下葉は卵形或は菱狀卵形を呈し．上葉は披針形をなす。花は穗狀花序をなして腋出或は枝端に複穗狀花序を形成す。花瓣は之を缺き．萼片は宿存生にして長橢圓形をなし．果實を包被す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州（對馬）。

5331. **かはらあかざ**（白圖-45）……アカザ科
Chenopodium acuminatum, *Willd.* var. virgatum, *Miq.*

〔形態〕到る處の河岸．砂地等に自生する一年生草本にして．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は長卵形或は廣披針形にして銳頭．銳尖脚をなし．葉柄を具へて互生す。夏日．黃綠色にして．花冠を缺ける小花を梢上葉腋に攅簇し．穗狀花序に排列す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・琉球・臺灣。

5332. **こあかざ**（白圖-46）……アカザ科
Chenopodium ficifolium, *Sm.*

〔形態〕田野．廢地等に普通なる一年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）內外に達す。葉は長き葉柄を有し．葉身は通常狹長なる卵形にして緣邊に波狀の鋸齒を有し．共質柔軟にして淡綠色を呈す。初夏．梢上に花軸を出し．黃綠色の細花を圓錐狀總狀花序に綴る。萼は宿存生にして銳頭をなす。〔花色〕黃綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

5333. **うらじろあかざ**……アカザ科
Chenopodium glaucum, *L.*

〔形態〕マルバアカザの種類に屬し．莖は伏臥生をなす一年生草本なり。葉は長橢圓形或は卵狀長橢圓形にして．波狀齒牙緣を有し．下面には特に多くの粉白を布き白色を呈す。穗狀花序は腋出して短形なり。萼片は龍骨を有し．稍果實を被包す。〔分布〕樺太・本州各部。

5334. **ほそばあかざ**……アカザ科
Chenopodium stenophyllum, *Koidz.*（*C. album*, var. *stenophyllum*, *Makino.*）

〔形態〕本種も亦マルバアカザと同種にして．葉は線形或は狹披針形をなし．全邊なるか或は稍齒牙緣を有するものなり。〔分布〕邦內各地。

5335. **はりせんぼん**……アカザ科
Chenopodium aristatum, *L.*

（異名）ひめあかざ　〔形態〕本州中部に自生する一年生草本にして．莖は多くの枝を分ち．葉は短き葉柄を有し．葉身は線狀披針形或は線形をなし鈍頭或は銳頭にして基脚狹まり．全緣なり。花枝は 2 出して房狀或は芒狀小枝を伴ひ．花は細小にして腋出或は單生し稍無梗なり。萼は 5 深裂し．裂片は倒卵形にして鈍頭．胞果は壓扁せらる。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5336. **アリタサウ**（白圖-47）……アカザ科．
Chenopodium ambrosioides, L.

（異名）ルウダサウ・ナンバンルウダ　〔形態〕外來の一年生歸化草本にして．莖葉共に芳香を有し．且つ毛茸を密布す。葉は披針形乃至長橢圓形鈍頭にして．緣邊には波狀齒牙を有し．梢葉は全緣なり。花は穗狀花序に排列し．雌雄同株に生ず。花序は圓錐狀をなして頂生或は腋出し．萼は 3-5 裂す。雄蕊は 5 箇を有して萼より挺出し．花柱は 3 箇を具ふ。花後宿存萼に被包せられたる胞果を生ず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」。

46 こあかざ　47 ありたさう

2. ハマアカザ屬 ATRIPLEX.

5337. **はまあかざ**（12 圖版-102）……アカザ科
Atriplex tatarica, *L.*

〔形態〕海邊に自生する一年生草本にして．莖高さ 60 糎（2 尺）餘に達し．枝條は直生して開出生なり。葉は下部にあるものは．長卵形にしてアカザの葉に類すれども．梢部にあるものは．披針形．全緣にして基脚葉柄に流れ．莖に互生す。夏秋の候．淡綠色をなせる小形の單性花を開き．花後．小形の胞果を結ぶ。雄花は無苞にして．萼片は長橢圓形．鈍頭をなし．雌花は花被を缺き．宿存生の 2 苞を具へ．卵狀菱形．全緣にして基脚 2 裂す。果穗は穗にして點頭す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5338. **こはまあかざ**……アカザ科
Atriplex patula, *L.*

（異名）えぞはまあかざ　〔形態〕概形前種ハマアカザに酷似せる一年生草本にして．彼に比するに稍小形なり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

5339. **ほそばのはまあかざ**（12 版圖-103）‥アカザ科
Atriplex littoralis, *L.* var. japonica, *Koidz.*

〔形態〕ハマアカザと同じく．潮海地に自生する一年生草本にして．莖高さ 60 糎（2 尺）內外に達す。葉は肉質の狹長橢圓形をなし．緣邊に不齊の大鋸齒を有するか或は全緣にして．脚葉は基脚往々稍齒牙緣をなす。花は小形にして穗狀に排列し．花冠は之を缺く。苞は稍全緣にして．小苞は廣銳頭をなし．硬突起を有せず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕秋。〔分布〕樺太・北海道・本州各部。

5340. **いはまあかざ**……アカザ科
Atriplex arenaria, *Nutt.*

〔形態〕臺灣に自生する一年生草本にして．莖は帶赤色をなし．葉は長橢圓狀卵形或は卵狀披針形にして．下面は銀白色を呈す。雌雄異花にして．雄花は頂生して隔離生穗狀花序を綴り．雌花は腋出して簇生す。〔分布〕臺灣。

3. タウヂサ屬 BETA.

5341. **タウヂサ** 唐苣・不斷草・菾菜……アカザ科
Beta vulgaris, L.（12 圖版-104）

（異名）フダンサウ・ウヅダイコン・シャムロダイコン・キンゲンナ・イツモナ・フダンナ・トキハナ・オゥバコヂサ・テウセンナ　〔形態〕歐洲原産の一年生或は多年生草本にして，廣く園圃に栽培せらる。莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）以上に達し，莖葉共に無毛にして平滑なり。葉は葉柄を具へ，卵形，菱狀卵形或は披針形，鈍頭或は鋭頭をなし，基脚楔形或は心臟形をなして，長さ 3-24 糎（1-8 寸）許に達し，厚質なり。初夏，穗狀花序をなして淡綠色の細花を撒裝し，花序は狹長にして往々圓錐狀をなし，隔離生なり。苞は披針形，鋭頭をなし，花被は壺形にして 5 裂し，裂片は長楕圓形，鈍頭，膜緣をなす。雄蕊は 5 箇，子房は壓扁形にして，花柱は短く，花後胞果を生ず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕初夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　嫩葉を採りて煮付け，浸物となし，又「サラダ」に混じて食用に供し美味なり。春秋に下種せば通常四時共に順次其葉を缺きとりて食用とすることを得べし。不斷草又イツモナの名を有する所以なり。

5342. はまふだんさう …… アカザ科
Beta vulgaris, *L.* var. maritina, *C. Koch.*

〔形態〕前種タウヂサの一變種にして，主に本州中部地方の海邊に自生する草本なり。概形彼に比するに全株稍小にして，莖面赤色を帶ぶ。
〔分布〕本州中部。

5343. **サトウダイコン**（12 版圖-105）…… アカザ科
Beta vulgaris, L. var. *Rapacea*, C. Koch.

（異名）サタウヂサ　〔形態〕地中海沿岸原産の二年生或は多年生の栽培草本にして，莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）餘に達す。莖は地下に，肥大して紡錘形の肉質にして多量の糖分を含有する根を有し，葉は長卵形平滑にして，緣邊に波狀疎鋸齒を有す。夏日，梢上に長穗狀花序をなして黃綠色の細花を多數に撒簇す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　本植物はフダンサウの一變種にして，明治 5 年頃，亞米利加より渡來し，本邦にては特に北海道にのみよく發育す。根に 12-14 % の糖分を含有するにより，主として砂糖の製造に供せらる。甜菜糖之れなり。又蔬菜となし，或は家畜の飼料に供し，佛蘭西にては酒精の醸造に使用せらると云ふ。

（附記）　一變種に根及葉の紅紫色を呈するものあり。サンゴジュナと稱し，根を食用に供す。

4. ハハキギ屬　KOCHIA.

5344. **ハハキギ**　地膚（12 圖版-106）…… アカザ科
Kochia scoparia, Schrad.

（異名）ハハキグサ・マキクサ・ニハクサ　〔形態〕外來の通常園圃に栽培せらるゝ一年生草本にして，莖高さ 1-1·5 米（3-5 尺）許に達し，多くの小枝を分ち，莖葉共に無毛なるか或は細毛を散生す。葉は全緣にして先端尖り，線狀披針形を呈し，雌雄株を異にす。夏日，葉腋に帶綠色の細花を少數に着生す。花被は，稍球形にして 5 裂し，裂片は內曲して，花後果實を被包し，背部は翼狀に擴張す。雄蕊は 5 箇を有し，花柱は 2 箇，胞果は膜質にして壓扁せらる。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　本植物は莖枝を乾して，草箒を作るを以て名あり。其他葉及果實は食用に供せらる。

5345. いそははきぎ …… アカザ科
Kochia littorea, *Makino*. (*K. scoparia*. var. *littorea*, *Makino*.)

（異名）はまははきぎ　〔形態〕海濱に自生する一年生草本にして，概形前種ハハキギに似たれども，本種の莖は直生或は斜上生にして，稍雁木狀に多くの枝を分つ。枝條は平開し，柔毛を密布す。葉は披針形にして往々稍頭枝端に簇生す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

5. アツゲシサウ屬　SALICORNIA.

5346. あつげしさう …… アカザ科
Salicornia herbacea, *L.*

〔形態〕潮海地に自生する一年生草本にして，莖高さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達す。莖は多くの節を有し，1-2 回分枝す。枝葉は對生して葉を有せず，穗狀花序は枝端に頂生し，花は細小にして通常 3 箇を着生し，結節上相對する凹窩中に潛在す。蒴は肉質，倒圓錐形にして，花後，狹き翼を頂生す。雄蕊は 1-2 箇，花柱も亦 2 箇にして超出す。花後生ずる胞果は壓扁形にして宿存萼內に藏す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道·四國。

6. ヲカヒジキ屬　SALSOLA.

5347. **をかひじき**（12 圖版-107）…… アカザ科
Salsola Soda, *L.*

（異名）みるな・をかみる　〔形態〕海濱，砂場等に自生する一年生草本にして，莖高さ 30 糎（1 尺）餘に達す。葉は肉質にして細長く，先端尖り刺端をなす。夏日，葉腋に淡黃綠色の小花を單生す。小苞は 2 箇を有し，卵狀披針形をなし，蒴片は 5 箇にして披針形を呈し，白色に淡黃綠采を伴ふ。雄蕊も亦 5 箇を有し，花柱は 2 箇を具へ，花後生ずる胞果は膜質或は多肉にして宿存萼に包被せらる。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國。

人生との關係　田圃に栽培し，嫩葉を食用に供す。

4348. **サルソラ・カリ**（12 圖版-108）…… アカザ科
Salsola Kali, L.

〔形態〕往時本植物の莖葉を燒きたる灰より，曹達を採取したるにより著名なる植物にして，歐羅巴·亞細亞·北亞米利加等の海邊に自生する一年生草本なり。莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し，葉は肉質，針狀にして莖に互生す。夏日，梢上葉腋に淡綠色を呈する小花を着生す。〔花色〕淡綠色。
〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴·亞細亞·亞米利加。

7. ハウレンサウ屬　SPINACIA.

5349. **ハウレンサウ**　菠薐草（12 圖版-109）‥ アカザ科
Spinacia oleracea, L.

（異名）ハウレン　〔形態〕蔬菜として廣く栽培せらるゝ外來の一年生或は二年生草本にして，成長せるものは高さ 60-90 糎（2-3 尺）許に達す。葉は長き葉柄を有し，三角狀卵形，銳尖頭にして不齊中裂をなし，基部の兩側には 1 箇乃至數箇の尖部を有す。雌雄株を異にし，雄花は隔離生穗狀花序に排列し，花被片は淡綠色にして 4 箇を有し，卵形，凹面なり。雄蕊は 4 箇を具へ，花絲は絲狀にして挺出す。雌花は脫出して簇生し，花被は杯形をなして 2 齒緣を有し，花柱は 4 箇にして，宿存生の花被は胞果を包み，2 刺をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕中央亞細亞。

人生との關係　莖葉は煠でゝ浸物とし或は煮食，味噌汁の實，酢に浸して食用に供す，味軟美なり。又日に乾して蓄へ他日之を食することを得べし。

8. マツナ屬　SUAEDA.

5350. **まつな**　鹹蓬（12 圖版-110）…… アカザ科
Suaeda glauca, *Bunge.*

〔形態〕海濱に自生する一年生草本なれども，又作物として園圃に栽培せらるゝことあり。莖高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）に達し，葉は狹長にして線形をなし，長さ 30 糎（1 尺）餘ありて密に互生す。夏日，枝梢上に小花を穗狀に排列し，苞及小苞を伴ふ。花は花梗を有し，花冠は黃綠色を呈し，鐘形にして 5 裂す。雄蕊は 5 箇を具へ，花柱は 2 箇にして超出す。花後生ずる胞果は壓扁形にして，背面に稜を有する宿存萼を伴ふ。〔花色〕綠黃色。
〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國。

人生との關係　嫩葉を食用に供す。

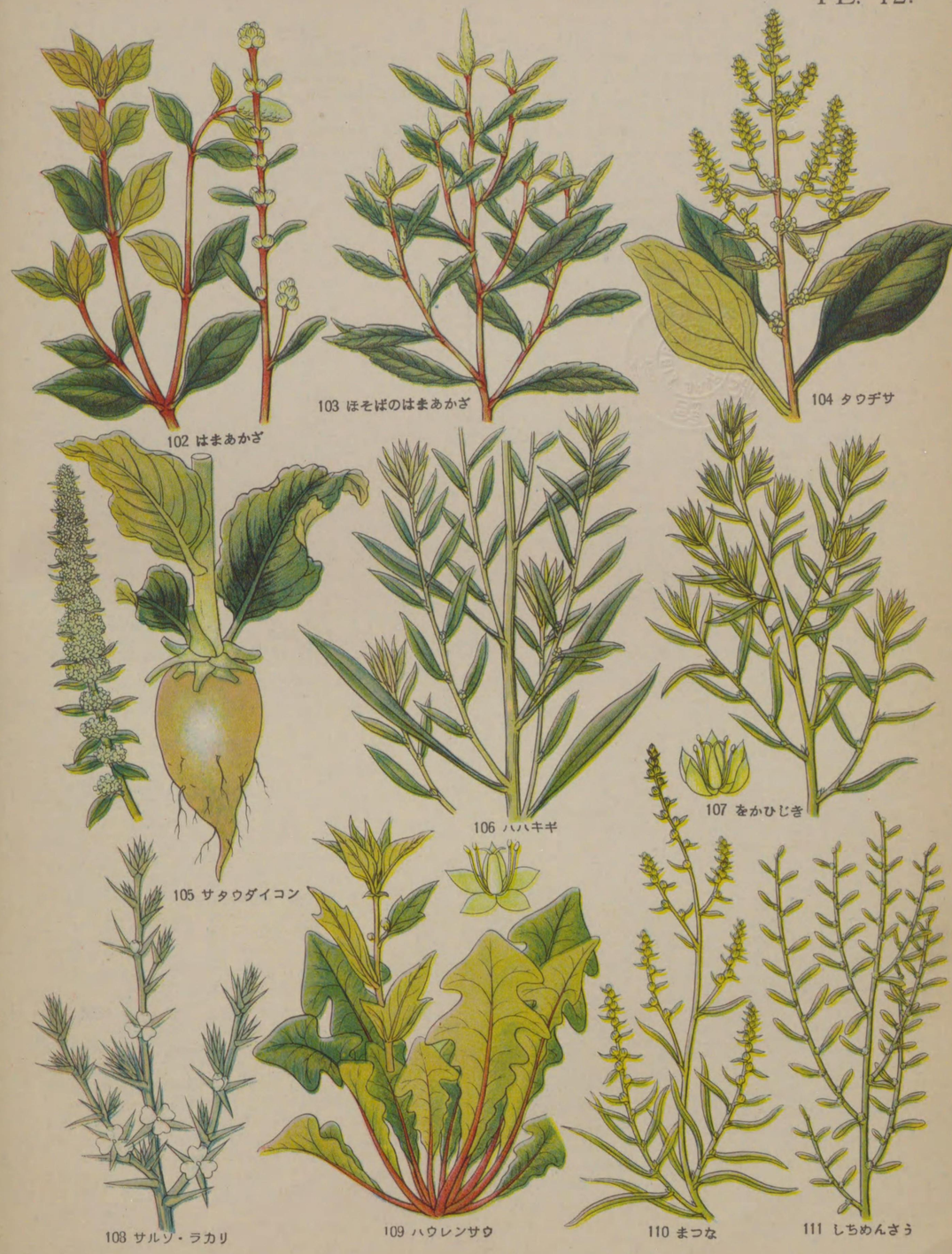
5351. はまつな …… アカザ科
Suaeda maritima, *Dum.* (*S. maritima*. var. *angustifolia*, *Ledeb.*)

〔形態〕本種も亦海濱に自生する一年生草本にして，前種マツナに酷似すれども，彼は花梗を有するに反し，本種は之を缺き，2-3 花を簇生して腋出し，花柱は閉在生なり。〔分布〕本州中部及南部·九州（對馬）·琉球。

5352. **しちめんさう**（12 圖版-111）…… アカザ科
Suaeda japonica, *Makino.*

（異名）むれ・さんごじゅ・まつな・みるまつな　〔形態〕河濱に自生する一年生草本にして，莖高さ 24-45 糎（0·8-1·5 尺）許に達し，莖葉共に毛を有せず。莖は多くの枝を分ち，葉は紫色を呈し，肉質，全緣にして，圓柱形長楕圓形或は倒卵狀長楕圓形，鈍頭をなし，無梗にして互生す。秋日に至り葉腋より無莖にして淡綠色をなせる無柄の花叢を抽出し，花は雌雄混生なり。蒴は肉質，紫色を呈して 5 裂し，裂片は圓卵形にして宿存生なり。雄蕊は閉在し，花柱は 2 箇を有す。花後生ずる胞果は球形にして壓扁せらる。
〔花色〕淡綠色。〔花候〕秋。〔分布〕九州。

5353. しまはまつな …… アカザ科
Suaeda australis, *Miq.*



（異名）りうきうまつな　〔形態〕琉球に自生する一年生草本にして，莖葉共に粉粒を布く。莖は下部灌木狀をなして多くの枝を分ち，枝條は直生す。葉は圓柱形にして先端鋭く，花は腋出し，3-5 箇を簇生し，花梗は之を缺く。萼は綠色にして裂片は鈍頭をなし，花後稍膨大す。〔分布〕琉球。

5354. ひじきあかざ ……アカザ科
Suaeda nudiflora, *Miq.*

〔形態〕海濱に自生する一年生草本なり。莖は多くの枝を分ち，撒開生にして，高さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達す。葉は肉質の半圓柱形或は楕圓形若しくは線形にして，長さ 1·5-1·8 糎（5-6 分）許を有す。夏日，黃綠色にして球形をなせる花を穗狀花序に攅簇す。花被は宿存生にして倒卵形をなし，花柱は 3 箇を具ふ。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

* * * * *

タ　デ　群

1. た　て(蓼)科　POLYGONACEÆ.

本植物は通常草本稀に灌木或は喬木なり。葉は通常互生し甚だ稀に對生或は輪生し，總べて單葉にして，通常鞘狀に結合せる托葉を有す。花は通常小形·整齊にして，各種の花序をなし，或は輪狀に排列し，或は螺旋狀に排列せる部分より成り，兩性或は單性なり。萼は 3-6 箇の片よりなり綠色或は他の色彩をなし，花冠樣をなすか，或は內外 2 樣の部分より成る。外部は萼樣をなし，內部は花冠樣をなし，花瓣は缺如す。雄蕊は通常 6 箇乃至 9 箇を有し，稀には夫れより少數或は多數あり。雌蕊は通常 2-3 箇稀には 4 箇の結合せる心皮より成り，花柱は心皮と同數に分裂す。子房は上位，1 室にして，1 箇の直生稀に倒生卵子を含む。果實は通常瘦果にして，通常宿存せる萼によりて被はれ，種子は粉狀の胚乳を含む。

48 いぬたで

本科には凡 30 屬，750 種の植物を含み，地球上各地に產すれ共，最も多く北半球の溫帶地方に自生するものにして，本邦には 7 屬，凡 70 餘種を產す。

本科所載植物名目次

アキ……5447
アキタデ……5393
アツタデ……5393
アツナツタデ……5423
アカブラ……5362
アカノママ……5355
アキノウナギヅカミ…5426
アキノウナギヅル…5426
アキノミチヤナギ…5372
アサヒカブラ……5448
アザブタデ……5390
アレチギシギシ……5459
イシミカハ……5422
イセタデ……5404
イタドリ……5431
イトタデ……5391
イヌタデ……5355
イハタデ……5385
イブキトラノヲ……5374
イロハサウ……5440
インドソバ……5450
ウヅタデ……5357
ウナギヅカミ……5425
ウナギヅル……5425
ウマノスカナ……5450
ウラジロイタドリ…5438
ウラジロサナヘタデ…5406
ウラジロタデ……5438
エゾイヌタデ……5406
エゾタデ……5386
エゾノギシギシ……5460
エゾノミヅタデ……5395
エボウチニハヤナギ…5368
エドタデ……5390
ヲノヘイタドリ……5433
オホイタドリ……5435
オホイヌタデ……5358
オホケタデ……5421
オホシ……5452
オホタデ……5421
オホツルイタドリ…5436
オホニハヤナギ……5369
オホネバリタデ……5417
オホバスイバ……5404
オホミゾソバ……5360
オホミチヤナギ……5369
オヤマソバ……5424
オンタデ……5395
カシウ……5446
カハタデ……5397
カラスノアブラ……5405
カラダイワウ……5452
カンキチク……5451
カンメイチク……5451
ギシギシ……5456
キヌタデ……5372
キビサクラタデ……5409
クリンユキフデ……5439
クロムギ……5440
ケイハタデ……5438
ケタデ……5405
コイハタデ……5424
コウトウシヨサクラタデ……5383
コギシギシ……5457
コゴメギシギシ……5413
コサクラタデ……5413
コバノイハタデ……5386
コモチトラノヲ……5442
コヤナギタデ……5401
サイコクヌカボ……5420
サイタツマ……5431
サクラタデ……5408
サツマタデ……5394
サデクサ……5415
サナヘタデ……5405
シブクサ……5456
シマヒメタデ……5389
シロイヌタデ……5407
シロタデ……5373
シロバナサクラタデ…5407
シロヤノネグサ……5376
ジンエフスイバ……5477
シンミヅヒキ……5445
スイバ……5401
スカンボ……5401
ソバ……5449
ソバカブラ……5384
ソバタデ……5362
ソバムギ……5449
ダイワウ……5453
タイワンツルソバ……5381
タカネスイバ……5404
タソバ……5359
タチニハヤナギ……5367
タチヌカボ……5403
タヂビ……5431
ダツタンソバ……5450
タデアキ……5447
タニソバ……5362
ダヤス……5401
チヂミスイバ……5458
ツルイタドリ……5387
ツルソバ……5382
ツルタデ……5377
ツルドクダミ……5446
トダソバ……5430
ドングイ……5435
ドンコ……5415
ナガバギシギシ……5453
ナガバノウナギヅカミ…5427
ナガバノウナギヅル…5427
ナガバヤノネグサ……5377
ナツタデ……5405
ナツノウナギヅカミ…5428
ナツノウナギヅル……5428
ナンブトラノヲ……5443
ニガソバ……5450
ニシキイタドリ……5434
ニトベカブラ……5448
ニハヤナギ……5366
ニホヒタデ……5418
ヌカボタデ……5419
ネバリタデ……5416
ネバリタニソバ……5393
ノコギリスイバ……5473
ノダイワウ……5406
ノミノフネ……5456
ハシヤボ……5451
ハチヂヤウイタドリ…5437
ハナサクラタデ……5410
ハナタデ……5378
ハマタデ……5407
ハマニハヤナギ……5369
ハマハハキギ……5369
ハマミチヤナギ……5370
ハリタデ……5380
ハルカハタデ……5399
ハルタデ……5423
ハルトラノヲ……5440
ヒゲタデ……5430
ヒメサクラタデ……5411
ヒメサクラタデ……5414
ヒメスイバ……5402
ヒメタデ……5388
ヒメミチヤナギ……5371
ヒロハギシギシ……5460

フイリイタドリ……5436
ホソバイヌタデ……5402
ホソバニドタデ……5391
ホソバオンタデ……5386
ホソバタデ……5394
ホソバノウナギヅカミ5429
ホソバノウナギヅル…5429
ホソバハナタデ……5370
ホソバハルトラノヲ…5441
ホソバヤナギタデ……5400
ボントクタデ……5392
マダイワウ……5405
ママコノシリヌグヒ…5430
マルバイヌタデ……5356
マルバギシギシ……5407
マルバダイワウ……5454
ミゾソバ……5359
ミチヤナギ……5306
ミヅタデ……5397
ミブヒキ……5444
ミブヒキグサ……5444
ミヤマイヌドリ……5385
ミヤマギシギシ……5407
ミヤマスイバ……5407
ミヤマタデ……5424
ミヤマタニソバ……5304
ミヤマミゾソバ……5304
ムカデトラノヲ……5442
ムラサキアキタデ…5395
ムラサキタデ……5398
メイゲツサウ……5432
モミヂバダイワウ…5455
ヤヲセンタデ……5391
ヤナギイヌタデ……5400
ヤナギヤクラタデ…5412
ヤナギタデ……5396
ヤナギヌカボ……5401
ヤノネグサ……5375
ヤノネグル……5375
ヤマミゾソバ……5301
ヤンバルミチヤナギ…5371

1. タ デ 屬 POLYGONUM.

5355. いぬたで 馬蓼（白圖-48）……タ デ 科
Polygonum Blumei, *Meisn.*

（異名）あかのまま　〔形態〕到る處の原野．路傍等に最も普通なる一年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）許に達し．全株無毛にして．稍平滑なり。葉は互生し．葉身は披針形をなし．葉柄の基部には托葉の變形せる鞘狀物ありて莖を包み．此の葉鞘は蓼科植物に通有なるものなり。而して此鞘部の上緣には時に緣毛を有するもの と．有せざるものとあれども．本種は有毛の種類に屬し．通常緣毛は葉鞘と同長なり。初夏より梢上に花穗を出し．淡紅色の花を穗狀花序に排列す。花序は長さ 1·5-6 糎（0·5-2 寸）許ある狹圓柱形にして．基脚斷續性なり。花被は深裂し．雄蕊は 8 箇．花柱は 3 箇を具へ．花後 3 稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。

〔分布〕北海道・本州・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　莖葉を乾燥したるものを煎服すれば．解毒劑となり．又小兒の蛔虫驅除に効あり。尙胃潰瘍患者が服用して不思議に全治したる實例あれば．同患者は實驗せらるゝも可なり。

49 まるばいぬたで

50 うづたで

5356. まるばいぬたで（白圖-49）……タ デ 科
Polygonum Blumei, *Meisn.* var. brevifolium, *Makino.*

〔形態〕前種イヌタデの一變種にして．概形稍彼に似たれども．共異る所は．本種の葉は卵形或は楕圓形をなし．花穗は彼に比して短く．花は紫色を呈するにあり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5357. うづたで（白圖-50）……タ デ 科
Polygonum Blumei, *Neisn.* var. contractum, *Makino*

〔形態〕本種もホイヌタデの一變種にして．莖は短縮し高さ 30 糎（1 尺）許に達し．枝葉は密生し．花穗は彼に比して短形なるものなり。（栽培種）

5358. おほいぬたで（13 圖版-112）……タ デ 科
Polygonum nodosum, *Pers.*

〔形態〕路傍．畦畔等に多く自生する一年生草本にして．莖高さ 1·2-1·8 米（4-6 尺）許に達す。莖は直生して帶紅色を呈し．結節高く．小枝を分岐す。葉は葉柄を有し．長楕圓狀披針形にして．銳尖頭．楔脚をなして頗る大きく．緣邊中肋に粗毛を散生し．中央には黑色の斑紋を有し．側脈は顯著なり。夏日密攢せる紫紅色花を穗狀花序に排列す。花序は圓柱形にして下垂し．長さ 3-9 糎（1-3 寸）許を有す。雄蕊は 6 箇を具へ．花柱は 2 箇にして．花後生ずる瘦果は栗子形を呈す。〔花色〕紫紅色往々白色。〔花候〕夏-秋。

〔分布〕日本全土。

5359. みぞそば　苦蕎麥（13 圖版-113）……タ デ 科
Polygonum Thunbergii, *Sieb.* et *Zucc.* var. typicum, *Franch.* et *Sav.*

（異名）たそば　〔形態〕各地の水邊・濕地等に自生する一年生草本にして．莖は多くの稜を有し．斜上生なり。稜角．葉の下面及葉柄には共に小逆刺を列生す。葉は葉柄を有し．葉身は戟形．中片は楕圓形にして先端尖り．側片は中片の ½ 長なり。葉鞘には概ね圓形をなせる葉狀附屬體を伴ふ。秋日淡紅色の頭花を頂生或は腋出し．頭花は有梗にして約 10 箇の花を着生す。花被は長さ 4·5-6 粍（1·5-2 分）許．花後生ずる瘦果は球形にして 3 稜を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕秋。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州（對馬）・臺灣。

人生との關係　莖葉を煎服すれば「リウマチス」に．又血止めに葉を揉みて塗布するときは何れも効あり。

5360. おほみぞそば……タ デ 科
Polygonum Thunbergii, *Sieb.* et *Zucc.* var. stoloniferum, *Makino.*

〔形態〕各地の田野・水邊等に生ずる草本にして．莖は匍枝を出し．閉花を着生す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕邦內各地。

5361. やまみそそば……タ デ 科
Polygonum Thunbergii, *Sieb.* et *Zucc.* var. oreophilum, *Makino.*

〔形態〕縊形前種に酷似せるものなれども．本種の莖は莖だしく延長して四方に撒開する特徵あり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部の丘陵・籔地等。

5362. たにそば（白圖-51）……タ デ 科
Polygonum alatum, *Ham.* var. nepalense, *Hook. f.*

（異名）そばたで・あかづら　〔形態〕時に原野に自生することあれども．多く溪間の濕地等に自生するを以て此名あり。一年生草本にして．莖葉共に稍無毛なり。莖は初め地に伏し．後漸く斜上す。高さ凡そ 30 糎（1 尺）許に達し．多くの枝を分ち．淡綠色にして後紅色を帶ぶ。葉は本圓く末尖れる卵狀三角形をなし．下面に腺點散在す。基脚は漸次葉柄に流れて．境界判明せず。葉柄は基部耳形をなし．莖の一部を摧す。夏秋の候．帶紅白色の頭花を頂生或は腋出して撒簇し．總苞葉を伴ふ。苞は卵形にして．鈍頭或は稍銳頭をなす。花被は 4 裂し．白色にして紅暈を伴ひ．花後兩凸面をなせる瘦果を生ず。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

51 たにそば

52 ねぞのみづたで

5363. ねばりたにそば……タ デ 科
Polygonum alatum, *Ham.* var. adenothrix, *Nakai.*

〔形態〕本種は前種タニソバの一種にして．節間及花梗には著しく腺毛を布き．苞は長卵形にして銳頭なり。〔分布〕本州中部。

5364. みやまたにそば……タ デ 科
Polygonum debile, *Meisn.* var. triangulare, *Meisn.*

（異名）みやまみぞそば　〔形態〕山地に自生する一年生草本にして．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し．質は柔軟にして．稍傾臥生なり。葉は長き葉柄を有し．殆んど正三角形狀を呈し．銳尖頭．戟脚をなし．上面に細毛を散生す。葉鞘は稍圓筒形をなし．緣邊に往々葉狀片を伴ふ。夏日．梢上葉腋に花梗を分岐し．小形なる頭花を疎に着生す。頭花は細梗を有し．帶白色にして．

雄蕊は 5-8 箇．花柱は 3 箇を具へ．花後 3 稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕帶白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5365. えぞのみづたで（白圖-52）……タ デ 科
Polygonum amphibium, *L.*

〔形態〕東北並に北海道地方の水中或は水邊に自生する多年生の匍匐生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）內外に達し．莖葉共に毛なく．滑澤なり。葉は長楕圓形にして．圓頭或は稍銳頭をなし．基脚心臟形にして．長き葉柄を有す。葉鞘は 3 糎（1 寸）許にして．緣毛を有せざれども．基部に黑褐色の根狀毛を有す。6-7 月頃．梢上葉腋に 9 糎（3 寸）許の花軸を抽き．上部に淡紅色の花を穗狀花序に攢簇す。花序は長さ 3 糎（1 寸）許ありて．長梗を具へ．花被は長さ 3 粍（1 分）餘を有す。雄蕊は 5 箇．花柱は 2 箇を具へ．花後圓倒卵形にして兩凸面をなせる瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部。

5366. にはやなぎ　高蓄（13 圖版-114）……タ デ 科
Polygonum aviculare, *L.* (*P. aviculare*, var. *buxifolium. Ledeb.*)

（異名）みちやなぎ　〔形態〕到る處の田野．路傍殊に乾燥せる土地に自生多き一年生或は多年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）許に達し．脊長にして．稍伏臥生なり。葉は厚質にして深綠色を呈し．短梗によりて互生す。葉身は楕圓形．披針形或は線形にして鈍頭をなし．葉鞘は白色にして 2 裂し．各裂片は更に細裂し．節間より短し。5-6 月の候．葉腋に短梗を出し．帶紅白色の小花を單生或は 3-5 花簇生すれども顯著ならず。花被片は綠色船圓形にして．白緣或は紅緣を有す。雄蕊は 6-8 箇．雌蕊は 1 箇を有し．花柱は 3 箇にして．花後 3 稜形をなせる瘦果を結ぶ。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕日本全土。

人生との關係　苗葉は茹でて食用に供すべく．根部は藥用に供せらる。專ら利尿劑とし．其他霍亂・黃疸・女子の陰癖・痔・小兒の虫下しに用ひて効ありと云ふ。

5367. たちにはやなぎ……タ デ 科
Polygonum aviculare, *L.* var. erectum, *Ledeb.*

〔形態〕前種ニハヤナギの一變種にして．莖は直生し．枝を分つこと少なく．高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は廣楕圓形にして．花後結ぶ果實は宿存萼より超出す。〔分布〕四國。

5368. えだうちにはやなぎ……タ デ 科
Polygonum aviculare, *L.* var. laxum, *Ledeb.*

〔形態〕北海道に自生する前種ニハヤナギの一變種にして．本種は彼に比し．莖は節間長く．葉は披針形にして銳頭なり。〔分布〕北海道。

5369. はまははきぎ（白圖-53）……タ デ 科
Polygonum aviculare, *L.* var. vegetum, *Meisn.*

〔異名〕はまにはやなぎ・おほにはやなぎ・おほみちやなぎ　〔形態〕本邦各地の海岸に自生する一年生草本にして．莖は直生し．高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は長楕圓形．稍銳頭．全緣にして短き葉柄によりて莖に互生し．基脚葉鞘を伴ふ。夏日小形にして淡紅綠色を帶べる花を梢上葉腋に着生す。〔花色〕淡紅綠色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・本州・四國・九州。

5370. はまみちやなぎ……タ デ 科
Polygonum littorale, *Link.* var. buxifolium, *Meisn.*

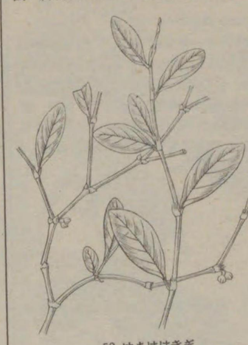
〔形態〕樺太に自生する一年生或は多年生草本にして．莖は伏臥生をなし．粉白を製ふ。葉は短き葉柄を具へ．葉身は長楕圓形或は線狀長楕圓形．鈍頭或は圓頭をなし．基脚銳尖なり。葉鞘は先端細裂し．6 脈を具ふ。花は 1-2 箇を腋出し．花被は綠色にして白緣を有し．5 深裂す。雄蕊は 8 箇．花柱は 3 箇を具へ．花後廣卵形をなせる瘦果を結び．細點を密布す。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

5371. やんばるみちやなぎ……タ デ 科
Polygonum plebeium, *R. Br.*

（異名）ひめみちやなぎ　〔形態〕畧地の原野に自生する一年生草本にして．莖は多くの枝を分ち．撒開生なり。葉は線狀篦形をなし．長さ 9 粍（3 分）許を有し．膜質にして．短剪裂をなせる葉鞘を伴ふ。花は稍無梗にして．1-3 箇を簇出し．花被は長さ 2·4 粍（8 厘）許を有し．花後菱狀三角形の瘦果を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕琉球・臺灣。

5372. あきのみちやなぎ……タ デ 科
Polygonum propinquum, *Ledeb.*

〔形態〕本州中部以南に自生する一年生草本なり．莖は直生或は伏臥生にして枝を分ち．高さ 60 糎（2 尺）許に達し．細縱線を有す。葉は長楕圓形．銳頭或は鈍頭をなし．基脚俠立り．短形にして分裂せる葉鞘を伴ふ。秋日に至り葉腋より 2-3 箇の花を腋出し．小梗は花より稍長く．瘦果は 3 稜を有し．花被の約倍長なり。〔花色〕綠白色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部・臺灣。



53 はまははきぎ

54 しろたで

5373. しろたで（白圖-54）……タ デ 科
Polygonum bioritsuense, *Ohki.*

（異名）きぬたで　〔形態〕原野に自生する一年生草本にして．全株に白綿毛を密布し．一見白色の觀あり。莖は多くの枝を分ち．高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）に達す。葉は卵狀披針形或は披針形・銳尖頭或は鈍頭をなし．基脚銳脚或は銳尖脚をなし．長さ 18-21 糎（6-7 寸）に達す。葉鞘は圓筒形にして先端圓く．葉の兩面と共に白綿毛を布く。穗狀花序は多數の花を密簇し．長さ 1-4·5 糎（0·3-1·5 寸）許を有し．苞は卵形にして銳尖頭をなす。花被片は 4 箇．雄蕊は 6 箇を具へ．閉在生なり。子房は 3 稜を有し．花柱は 2 箇にして閉在す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

5374. いぶきとらのを　笨參（13 圖版-115）……タ デ 科
Polygonum Bistorta, *L.*

〔形態〕深山に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し．全株無毛種に屬す。莖は根部肥厚し．根葉は長き葉柄を有すれども．莖葉は概ね無柄なり。葉身は廣披針形をなし．先端銳尖にして．基脚心臟形を呈し．長さ 10-30 糎（0·3-1 尺）許．葉柄は膜質にして．緣澁なり。夏日淡紅色の花を穗狀花序に排列し．花序は圓柱形にして密生す。花被は長さ 3 粍（1 分）餘ありて 5 深裂し．裂片は倒卵狀長楕圓形をなし．雄蕊は 8 箇．花柱は 3 箇を有し．共に花被より挺出す。花後 3 稜形の瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5375. やのねぐさ（13 圖版-116）……タ デ 科
Polygonum nipponicum, *Makino.*

（異名）やのねづる　〔形態〕稍水濕の原野等に自生する多年生草本なり。莖は細くして弱く．匍匐斜上生して．刺毛により他物にかゝる。葉は葉柄を有し．基脚は淺き心臟形又は截形をなし．葉身は卵形或は長楕圓形にして．稍矢の根石に似たり。7-8 月の候．梢上分岐し共の頂に小球形の小花を穗狀花序に綴り．花序は頭形或は楕圓形にして疎圓錐狀をなし．花梗には腺毛を布く。花は淡綠色に紅紫暈を伴ひ．花被は 5 分裂す。苞は卵狀鞘形にして．毛緣を有す。雄蕊は 7-9 箇を具へ．花後廣卵形にして銳 3 稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕淡綠色にして紅紫暈を伴ふ。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5376. しろばなやのねぐさ……タ デ 科
Polygonum nipponicum, *Makino.* forma albiflorum, *Makino.*

〔形態〕前種ヤノネグサの一品種にして．花は白色なるものなり。〔分布〕邦內各地。

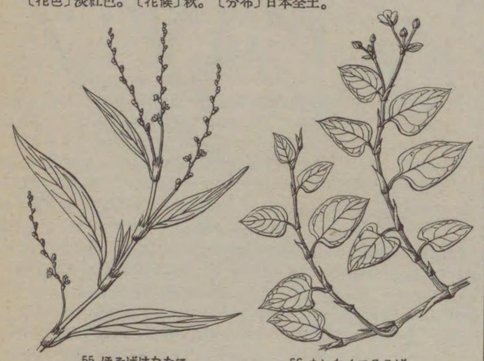
5377. ながばのやのねぐさ……タ デ 科
Polygonum breviochreatum, *Makino.*

（異名）ほそばのやのねぐさ　〔形態〕畧地に自生する一年生草本にして．莖は斜上生をなし．疳長にして．葉に對する 1 側に逆毛を散生す。葉は短き葉柄を有し．長楕圓狀披針形或は披針形にして．先端銳く稍箭狀截脚或は心脚をなし．上面及下面の中肋に沿ひて細毛を布き．邊緣縮澁なり。葉鞘は短形にして外面に粗毛を布き．緣邊に毛茸を生ず。花梗は頂生或は腋出し．腺質の粗毛を布き．花は淡紅色を呈し．穗狀花序に排列す。花序は短形にして．疎花を着生し．花被は 5 分裂す。雄蕊は 7 箇を有して閉在生なり。花

柱は3箇を具へ．花後卵狀球形にして銳三角端を有する瘦果を結ぶ。
〔花色〕淡紅色。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

5378. はなたで …… タデ科
Polygonum Yokusaianum, *Makino.*

〔形態〕山麓原野等の稍水濕地に自生多き一年生草本にして．莖高さ0·6–1·2米(2–4尺)に達し．概形イヌタデに似たり。莖は綠色を呈し．葉は彼に比するに稍濶く．且つ短くして先端尖り．彼の無毛なるに比し兩面に毛茸を散生す。葉鞘は長さ6–9粍(2–3分)許を有し．稍同長なる緣毛を生ず。穗狀花序は疳長にして．疎花を着生す。花は淡紅色を顯し．花被は長さ1·5–1·8粍(5–6厘)を有す。雄蕊は7–8箇を具へ．花後3稜を有する瘦果を結ぶ。
〔花色〕淡紅色。〔花候〕秋。〔分布〕日本全土。



55 ほそばはなたで　　56 たいわんつるそば

5379. **ほそばはなたで** (白圖-55)……タデ科
Polygonum buisanense, *Ohki.*

〔形態〕本種は前種ヘナタデと同種にして．只葉狀線形或は披針形をなして狹長なるものなり。〔分布〕四國。

5380. ハリタデ …… タデ科
Polygonum Bungeanum, Turcz.

〔形態〕支那原產の歸化草本にして．莖は直生し．脚部に赤色の刺毛を生ず。葉は卵狀披針形にして粗毛を布き．花梗は腺質をなし．花は圓錐狀をなせる穗狀花序に排列す。〔原產地〕支那。

5381. **たいわんつるそば** (白圖-56)……タデ科
Polygonum chinense, *L.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．莖は直生して多くの枝を岐ち．葉は葉柄を具へ．卵形或は長橢圓形をなす。花梗は2出或は3岐して毛を有し．花序は房狀にして單一或は圓錐狀をなす。苞は葉狀を呈して心臟形をなし．花被は5裂す。雄蕊は8箇．花柱は3箇を具へ．瘦果は3稜を有す。〔分布〕臺灣。

5382. **つるそば** 赤地利 (13圖版-117) …… タデ科
Polygonum chinense, *L.* var. Thumbergianum, *Meisn.*

〔形態〕暖地の海濱に自生する多年生草本にして．莖葉共に無毛種に屬し平滑なり。莖は地上に蔓延し．葉は葉柄を具へ．廣卵形或は卵狀橢圓形．全緣にして銳頭．截脚をなし．基部に膜質の鞘狀托葉を伴ふ。夏秋の候．白色或は淡黃色にして微に紅暈を帶べる頭花を聚繖狀に頂生或は腋出す。花被は長さ3粍(1分)許を有し．花後肉質に變ず。雄蕊は8箇．花柱は3箇を有し．花後3稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕白色乃至淡黃色 〔花候〕夏–秋。〔分布〕本州·琉球·臺灣。

5383. **こうとうしょさくらたで** (白圖-57)……タデ科
Polygonum kotoshoense, *Ohki.*

〔形態〕臺灣に自生する草本にして．莖は枝を分ち．緣毛を生ず。葉は披針形或は線形にして先端．基脚共に銳く．長さ1·5–15粍(0·5–5寸)許に達し．基部に鞘狀をなせる圓筒形の托葉を伴ひ．葉の兩面と共に毛茸を布き．且つ毛緣を有す。穗狀花序は圓柱形をなし．單生或は双生し．頂生或は腋出す。苞は圓筒形をなして毛を有せざれども．緣邊に長毛を生ず。雄蕊は閉在生にして8箇を具へ．子房は3稜又は2–3岐す。〔分布〕臺灣。

5384. **ソバカヅラ** (白圖-58)……タデ科
Polygonum Convolvulus, L.

57 こうとうしょさくらたで　　58 ソバカヅラ

〔形態〕山野に自生する多年生の歸化草本にして．纏繞莖を有して上昇し．全株毛を有せず。葉は心臟形をなし．殆んど全緣にして．先端尖り．長き葉柄を有す。8月頃．梢上葉腋に淡紅色を呈する細花を總狀花序をなして疎に着生し．花は點頭す。花被は花後に至りて長さ3粍(1分)餘に達し．外3片は背面銳角をなすも翼狀をなさず。瘦果は黑色にして3稜形を呈す。
〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

5385. **おんたで** (13圖版-118) …… タデ科
Polygonum Savatieri, *Nakai.*

(異名) いはたで·みやまいたどり 〔形態〕高山殊に富士帶の草本帶に多く自生する多年生草本にして．ウラジロタデに比するに．莖葉共に初めより毛茸少く．旣にして無毛となる。莖は翠質にして．高さ21–60糎(0·7–2尺)餘に達す。葉は大形の廣卵形銳尖頭．全緣にして．質厚く且つ硬く．全面に毛茸を有して粗糙なり。7–8月頃梢上葉腋に多數の小梗を分岐し．白色の小花を長穗狀に綴る。〔花色〕淡紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·本州北部及中部。

5386. **ほそばおんたで** (13圖版-119) ……タデ科
Polygonum divaricatum, *L.* var. glabrum, *Ledeb.*

(異名) こばのいはたで·えぞたで 〔形態〕北海道の山地に自生する多年生草本にして．全株稍無毛種に屬し．高さ6–9糎(2–3寸)許に過ぎず。莖は双出して分岐し．枝條は擴開す。葉は互生して稍葉柄を缺き．葉身は細き長卵形或は披針形·銳頭或は鈍頭·狹脚·全緣にして毛緣或は無毛緣をなし．基脚に鞘狀をなせる托葉を伴ふ。夏日．小形にして花冠を有せざる白色の疎花を總狀花序に排列す。花被は長さ3粍(1分)許を有し．雄蕊は8箇．花柱は3箇を具へ．花後3稜を有する瘦果を生ず。〔花色〕白色。
〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

5387. ツルタデ …… タデ科
Polygonum dumetorum, L.

(異名) ツルイタドリ 〔形態〕本種は歐洲原產の多年生蔓草にして．歸化植物の一なり。莖高さ0·6–3·6米(2–12尺)許に達し．莖葉共に無毛種に屬す。葉は長き葉柄を具へ．葉身は卵形或は戟形·銳尖頭·心脚をなし．枘葉は小形にして葉柄を缺き．葉鞘は斜形を呈し無毛なり。花は黃綠色にして下垂し．總狀花序に排列す。花序は概ね腋出し．長さ4·5–12糎(1·5–4寸)許に達し．葉狀苞を伴ふ。萼は5深裂し．外3裂片は翼を有し．花後膨大す。雄蕊は8箇．花柱は短く3深裂し．翼は稍扁平にして稍全緣なり。瘦果は長橢圓形にして3稜を有し．黑色．滑澤なり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。
〔原產地〕歐羅巴。

5388. ヒメタデ …… タデ科
Polygonum erecto-minus, Makino.

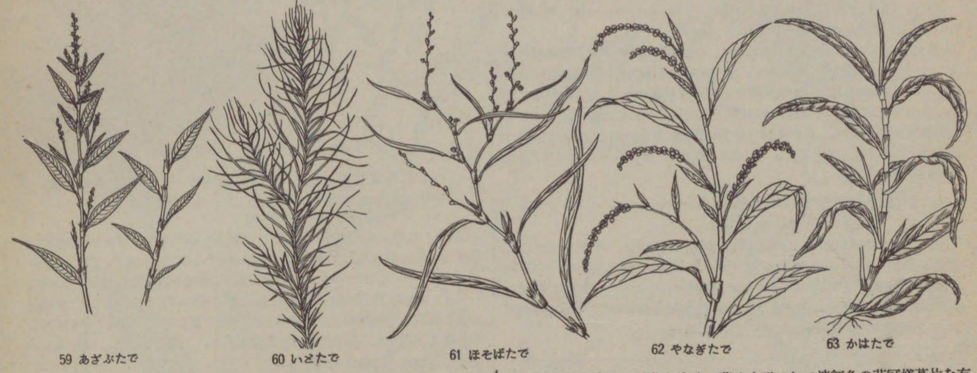
〔形態〕暖地に自生する一年生草本にして．高さ18–45糎(0·6–1·5尺)許に達し．莖は直生す。葉は短き葉柄を有し．葉身は廣線形或は披針形．銳頭·銳脚或は圓脚をなし．毛緣にして．下面中肋に沿ひて細毛を散生し．細隆起點を滿布す。葉鞘は膜質．筒形にして．毛緣をなし．外面に偃毛を散生す。5–7月頃枝梢葉腋に花梗を出し．紫色を呈する花を 狹圓柱形の穗狀花序に排列す。花被は5深裂し．雄蕊は5–7箇を具へ．花柱は3箇にして 花後3鈍稜を有し．廣卵形の瘦果を結ぶ。〔花色〕紫色。〔花候〕春–夏。〔分布〕本州中部及南部·四國。

PL. 13.

112 おほいぬたで　　113 みぞそば　　114 にはやなぎ
115 いぶきとらのを　　116 やのねぐさ　　117 つるそば
118 おんたで　　119 ほそばおんたで　　120 ぼんとくたで

5389. しまひめたで……タデ科
Polygonum Kawagoeanum, *Makino.*

〔形態〕九州地方に自生する草本にして、莖は多くの枝を分ち、斜上生にして毛を有せず。葉は短き葉柄を具へ、線形にして先端鋭く、基脚円形或は稍心臓形をなし、長さ2·4-7·5糎(0·8-2·5寸)許に達し、両面に偃毛を散生す。穂状花序は細梗を有し、頂生又は腋出し、長さ3-4·5糎(1-1·5糎)許。苞は倒円錐形、斜截頭をなし、縁邊に剪裂毛を有す。萼は深裂し、雄蕊は5箇にして閉在し、花柱は2箇を具へ、花後生ずる痩果は廣楕円形にして両凸面を有す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。



59 あざぶたで　60 いとたで　61 ほそばたで　62 やなぎたで　63 かはたで

5390. **あざぶたで**（白圖-59）……タデ科
Polygonum fastigiatoramosum, *Makino.*

（異名）えどたで　〔形態〕東京地方及其他に栽培せらるゝ一年生草本にして、莖高さ45-48糎(1·5-1·6尺)許に達し、莖は基部に於て多くの枝を分ち、枝條は直生す。葉は綾出し、細長なる全縁の披針形にして、短き葉柄を有し、縁邊並に下面中肋は往々縮澁にして、透明なる細點を滿布し、縁邊に毛茸を有する鞘狀様の托葉を伴ふ。花は白色或は淡紅色にして穂狀をなせる總狀花序に排列し、花序は痩長にして、疎花を着生す。花被は鐘形をなし4-5裂し、裂片は長楕圓形なり。雄蕊は閉在生にして6箇を具へ、花柱は2箇、花後倒卵狀楕圓形にして兩凸面をなせる痩果を結ぶ。〔花色〕白色或は淡紅色。〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　葉を採りて辛味料に供す。

5391. **いとたで**（白圖-60）……タデ科
Polygonum fastigiatoramosum, *Makino.* var. angustissimum, *Makino.*

（異名）やをぜんたで・ほそばえどたで　〔形態〕水邊、池溝等の附近に自生する一年生の小草本なれども、亦往々栽培せらるゝ品種なり。莖高さ15-18糎（5-6寸）許に達し、莖葉は名の如く繊細にして糸の如きものと、稍粗きものとの2種あり。而して尚其培養品に至りては肥瘠大小等一ならざれども、花候・花形、花色等凡てイヌタデに似て、稍小なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。（栽培種）

5392. **ぼんとくたで**（13圖版-120）……タデ科
Polygonum flaccidum, *Meisn.*

〔形態〕各地の稍水邊地に自生する一年生草本にして、莖高さ60-90糎(2-3尺)に達し、全株腺點を布き、粗毛を散生す。莖は淡赤紫色を帯び、葉は短柄を具へ、廣披針形、全縁にして互生し、基部には外面に粗毛を布き、縁部に長毛を有する鞘狀の托葉を具ふ。夏日、梢上葉腋に細長なる花梗を出し、小形なる花を穂狀花序に排列す。花序は痩長にして疎花を着け、6-12糎(2-4寸)許を有し、花は淡紅色にして、花被は約3粍(8分)内外あり。雄蕊は7-8箇を具へ、花柱は3箇を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・琉球・臺灣。

5393. **あをたで**（14圖版-121）……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. laetevirens, *Makino.*

（異名）あをたで　〔形態〕多く栽培せらるゝ一年生草本にして、全株無毛種に屬し、高さ30-60糎(1-2尺)に達す。莖は壯大にして多くの枝を分ち、結節は膨出し、莖葉共に綠色なり。葉は卵狀或は長楕圓狀披針形、全縁にして短柄を有し、基脚擁がりて莖を抱きて、互生す。夏日梢上葉腋に花梗を出し、小形にして花冠様の萼を有する淡紅色の花を、短梗により穂狀花序に排列す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　種莖は採りて煮食するに適し、又陰干にして羹汁に用ふるときは、鰹節に似て食味を助く。又蓼飯は風味佳なるものなり。

5294. **ほそばたで**（白圖-61）……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. Makimowiczii, *Makino.*

（異名）さつまたで　〔形態〕各地の水濕地に自生する草木なれども、時に園圃に栽培せらる。莖は蒼だ細く、梢部に於て多くの枝を分ち、高さ30糎(1尺)許に達す。葉は狭披針形の全縁にして、稍紫色を帯び、互生す。葉鞘は細柄を有して毛茸を布く。花は小形にして淡紅色の花冠様萼片を有し、夏日梢上葉腋に穂狀花序をなして排列す〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。

人生との關係　葉は辛味料として賞用せらる。

5395. **むらさきあをたで**……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. viridi-purpureum, *Makino.*

〔形態〕本種も亦時に栽培せらるゝアキタデの一變種なり。葉は膜質の卵狀長楕圓形にして、鈍頭、鋭脚をなし、長さ9糎(3寸)許に達し、綠色或は紫綠色にして、嫩葉は紫色を呈す。總狀花序は點頭し、苞は綠色にして戟形をなし、口縁は紫色を帯び、乾皮質なり。花は小形にして、花被は赤紫朶を有し、腺點を伴ふ。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。（栽培種）

5396. **やなぎたで**（白圖-62）……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. vulgare, *Meisn.*

〔形態〕各地の原野、河邊等の水濕地に自生する一年生草本にして、莖高さ45-75糎(1·5-2·5尺)許に達し、莖葉共に毛を有せず。莖は紅褐色をなし、分枝少く、葉は綠色の披針形、全縁にして、短き葉柄を有し、長さ6-9糎(2-3寸)許に達し、透明細點を滿布す。托葉は鞘狀をなし、膜質にして疎短毛縁を有し、基部莖を抱く。夏秋の候、白色にして稍紅色を帯べる小形花を穂狀花序に排列し、花序は痩長にして疎花を着く。花被は4-5裂し、雄蕊は6箇花柱は2箇を具ふ。〔花色〕白色にして紅暈を伴ふ。〔花候〕秋。

〔分布〕樺太・本州・四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　前種アキタデに同じく食用に供せらる。

5397. **かはたで**　水蓼（白圖-63）……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. vulgare, *Meisn.* forma aquaticum, *Makino.*

（異名）みづたで　〔形態〕山地の清流中に自生し、流に從ひて長莖を水底に布き、結節毎に根を生ずる水生草本にして、莖はヤナギに似て長く、莖梢の形狀等他の蓼類に相似たり。本種は繁殖力強く、簇々繁茂して四時常に衰へず、多向よく新芽を生じ、淺瀬に至り撮頭すれば、秋日白色にして、淡綠暈を有する花を稍ね半開す。牧野博士に據れば、本種は前種ヤナギタデの水生品にして、固より別種にあらず、只其生育の場所を異にせるものなりと。〔花色〕白色にして淡綠暈を伴ふ。〔花候〕秋。〔分布〕邦内各地・臺灣。

5398. **むらさきたで**……タデ科
Polygonum Hydropiper, *L.* var. vulgare, *Meisn.* forma purpurascees, *Makino.*

〔形態〕前種ヤナギタデの一品種にして、葉は紫色を帯ぶるものなり。

〔分布〕邦内各地

5399. **はるかはたで** ……タデ科
Polygonum vernalis, (*Nakai.*)

〔形態〕本種は根莖共に軟弱性にして．根莖は横走し．莖は斜上生をなし．無毛にして腺點を密布す。葉は披針形．鋭頭．鋭脚をなし．基部は膜質にして筒形・截頭をなせる鞘狀の托葉を具へ．長さ3-9糎(1-3分)許あり。花は長さ3糎(1分)許の小梗を具へ．腺點を散布し．穗狀様總狀花序をなして點頭す。萼片は4箇を有し．基脚綠色にして先端赤色を呈し．長さ3糎(1分)餘あり。雄蕊は短く．花柱は2-3裂し．花後兩凸形をなせる瘦果を結ぶ。
〔花色〕綠赤色。〔分布〕本州各部。

5400. **ほそばやなぎたで** ……タデ科
Polygonum serrulatum, *Lag.*

（異名）ひげたで・やなぎいぬたで　〔形態〕各地に生ずる前匍生草本にして．莖葉共に稍無毛種に屬す。葉は線狀或は楕圓狀長楕圓形或は披針形にして．鋭頭或は鋭尖頭・圓脚又は心脚或は鋭脚をなし．稍無柄にして筒形をなせる葉鞘を伴ひ．其緣毛は筒部と稍同長なり。花は疳長にして直生せる穗狀花序に排列し．苞は毛緣を有す。花被は無腺質にして．雄蕊は5-8箇を具へ．瘦果は3稜を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・琉球・臺灣。

5401. **こやなぎたで** (14圖版-122)……タデ科
Polygonvm minus, *Huds.*

（異名）やなぎぬかぼ　〔形態〕往々原野に自生する一年生草本にして．莖高さ30糎（1尺）餘に達し．概形ホソバタデの如く帶紅褐色にして．莖細く．葉は狹長なり。初夏の候．イヌタデと同時に白色にして微紅暈を帶べる小形の花を糸狀をなせる穗狀花序に下垂す。苞は毛緣を有し．瘦果は球形なり。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕臺灣。

5402. **ほそばいぬたで** ……タデ科
Polygonum minus, *Huds.* forma trigonocarpum, *Makino.*

〔形態〕海岸砂地に自生する一年生草本なり。莖は散開生をなして稍軟弱なり。葉は線形にして．乾けば兩面に細隆起點を密布し．下面は更に綠色盤狀の小點を散在す。9-10月の候．淡紅紫色を呈する密花を穗狀に綴り．花後廣楕圓形にして鈍三角形の瘦果を生じ．閉在生なり。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5403. **たちぬかぼ**……タデ科
Polygonum minus, *Huds.* var. elatior, *Maxim.*

〔形態〕濕地に自生する草本にして．莖は直生し．高さ60糎（2尺）內外に達し．穗狀花序は疎花を着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5404. **いせたで**……タデ科
Polygonum iseanum, *Makino.* (*Persicaria iseana, Honda.*)

〔形態〕本州中部地方に自生する一年生草本にして．莖高さ60糎（2尺）餘に達す。莖は無毛にして．稍顯著なる結節を有し．疳長にして疎枝を分つ。葉は長さ3-9糎（1-3寸）．徑0·3-1·2糎（1-4分）許ありて．葉身は膜質の線狀披針形或は線形．鋭尖頭・鈍脚或は鋭脚をなし．上面には細毛を布き．下面は無毛にして點紋を具へ．緣邊には偃毛を布く。中肋は下面に於て著しく．亦偃毛を生し．短き葉柄を有す。葉鞘は外面に偃毛を密布し．邊緣には長毛を生ず。花は小形にして．暗白色を呈し．細梗によりて疎に總狀花序をなして排列す。花序は頂生又は腋出し疳長なり。花後宿存萼より稍挺出せる卵形・鋭頭の瘦果を結び．其色褐色にして滑澤なり。〔花色〕暗白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5405. **さなへたで** (14圖版-123)……タデ科
Polygonum lapathifolium, *L.*

（異名）なつたで　〔形態〕原野・田間等に自生する多年生草本にして．莖高さ60-90糎（2-3尺）許に達し．全株稍無毛なり。蛇春萠芽し．概形イヌタデに似たれども．葉は稍狹長にして．白色の縮毛を生じ．葉鞘は綻裂にして稍緣毛を缺く。初夏の候．白色にして微紅暈又は綠暈を伴ふ小花をイヌタデの穗より太く．且つ短き穗狀花序をなして排列す。穗の上部に毛を有せざると．花候のタデ類中最も早きは本種の特徵とも云ふべきものなり。
〔花色〕白色にして微紅暈又は綠暈を伴ふ。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部・臺灣。

5406. **うらじろさなへたで** (白圖-64)……タデ科
Polygonum lapathifolium, *L.* var. incanum, *Ledeb.*

（異名）.けたで・えぞいぬたで　〔形態〕前種の一變種にして．葉の下面に白綿毛を密布する種類なり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

64 うらじろさなへたで　　65 しろばなさくらたで

5407. **しろばなさくらたで** (白圖-65)……タデ科
Polygonum japonicum, *Meisn.* (*Persicaria japonica, Nakai.*)

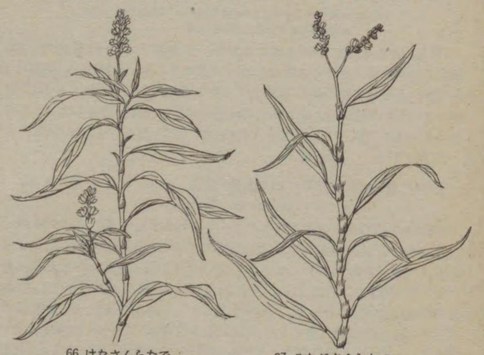
（異名）しろいぬたで・はまたで　〔形態〕本邦各地の原野・水邊等に自生する多年生草本にして．莖高さ60-90糎（2-3尺）許に達す。葉は長さ9-12糎（3-4寸）を有し．葉身は披針形にして．緣邊中肋に短剛毛を布き．短柄を有す。葉鞘は外面に粗毛を布き．長毛緣を有す。花は白色にして．疎に疳長なる穗狀花序に排列す。花被は3耗（1分）强を有し．雄蕊は7-8箇にして花被より挺出し．花柱は2乃至3箇を具ふ。〔花色〕白色。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

5408. **さくらたで** (14圖版-124)……タデ科
Polygonum japonicum, *Meisn.* var. conspicuum, *Nakai.* (*Persicaria conspicua, Nakai.*)

〔形態〕各地の水邊・畦畔等に多く自生する多年生草本にして．シロバナサクラタデの一變種なり。花は紅色を呈し．夢類中美麗なる一種にして．花被は長さ約6耗（2分）許を有し．其他概形彼に酷似せるものなり。
〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。

5409. **きびさくらたで**……タデ科
Polygonum japonicum, *Meisn.* var. glandulosum, *Koidz.*

〔形態〕本種も亦水邊等に自生するシロバナサクラタデの一變種にして．花は白色を呈し．花被は膜質にして長さ3-4·5耗（1-1·5分）許を有し．花柱は長く挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。



66 はなさくらたで　　67 やなぎさくらたで

5410. **はなさくらたで** (白圖-66)……タデ科
Polygonum japonicum, *Meisn.* var. macranthum, *Makino.*

〔形態〕本種も亦シロバナサクラタデの一變種にして．主に本州中部及南部地方に自生し．大形なる花を有する種類なり。其他概形彼に酷似す。
〔分布〕本州中部及南部。

PL. 14.

121 あみたで　　122 こやなぎたで　　123 さなへたで
124 さくらたで　　125 さでくさ　　126 ねばりたで
127 おほねばりたで　　128 にほひたで　　129 ぬかぼたで

5411. ひめさくらたで …… ……タ デ 科
Polygonum japonicum, *Meisn.* var. macranthum, *Makino.* forma brevistylum, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦シロバナサクラタデの一品種にして．花柱は閉在生なり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5412. **やなぎさくらたで**（白圖-67）……タ デ 科
Polygonum japonicum, *Meisn.* var. salicifolium, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦シロバナヤナギタデの一變種なり。葉はヤナギの葉に似て細長く．花は淡紅色を呈し．不登生なり。〔分布〕本州中部。

5413. こさくらたで ……タ デ 科
Polygonum sterile, *Nakai.*

〔形態〕畦地に自生する草本にして．葉は廣披針形或は披針形をなし．基部に長さ 1·5-3 糎（0·5-1 寸）許にして長毛緣を有する鞘狀の托葉を伴ふ。花は淡紅色を呈し．穗狀花序をなして疎に着生し．不登生なり。花被は長さ 3 粍（1 分）許を有し．腺質にして小斑點を有す。雄蕊は 7-8 箇を具へ．花柱は 3 箇ありて挺出す。〔花色〕淡紅色。〔分布〕本州南部・四國・九州・琉球。

5414. ひめさくらたで ……タ デ 科
Polygonum sterile, *Nakai.* var. brevistylum, *Nakai.*

〔形態〕前種コサクラタデの一變種にして．花柱は閉在す。其他概形彼に酷似するものなり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5415. **さでくさ**（14 圖版-125）…… タ デ 科
Polygonum Maackianum, *Regel.*

〔形態〕各地の田野・水邊等に自生する一年生草本にして．莖は稍蔓狀を呈し．高さ 60-90 糎（2-3 尺）許に達す。葉は稍ミゾソバに似て戟形をなし．葉鞘の緣邊は圓形齒緣の葉狀を呈し．莖葉共に逆刺を生ずることマヽコノシリヌグヒ等に似たり。夏日稍上葉腋に粗毛を被れる花梗を分岐し．淡紅綠色の頭狀花を穗狀に綴る。〔花色〕淡紅綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

5416. **ねばりたで**（14 圖版-126）……タ デ 科
Polygonum viscoferum, *Makino.* (*P. caespitosum, Blume.*)

〔形態〕山野に自生する一年生草本にして．莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達す。葉は稍葉柄を缺き．披針形或は廣披針形にして．長さ 6-9 糎（2-3 寸）許を有し．淡綠色にして莖と共に毛茸を密布す。托葉は長さ 1·2-1·5 糎（4-5 分）を有し．裁頭にして葉鞘と略同長なる緣毛を有す。夏日稍上に疳長なる穗狀花序を出し．淡紅色又は灰綠色を呈する小花を綴る。花梗は疎に分岐し．梗端に粘液を分泌す。花被は長さ 1·8-2·1 粍（6-7 厘）を有し．雄蕊は 8 箇を具へ．花柱は 3 箇ありて．花後楕圓形の瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅色又灰綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5417. **おほねばりたで**（14 圖版-127）……タ デ 科
Polygonum Makinoi, *Nakai.* (*P. viscoferum,* var. *robustum, Makino.*)

〔形態〕到る處の山野に自生する全株壯大なる草本にして．莖は無毛或は節間上部稍有毛なり。葉は前種ネバリタデに比するに狹くして披針形狹銳尖頭にして．上面並に下面肋脈上に毛茸を生じ．且つ毛緣なり。葉柄は極めて短く．托葉は鞘狀をなして長さ 1·8 糎（6 分）許あり。穗狀花序は長さ 9 糎（3 寸）許．花は小形にして．花後生ずる瘦果も亦小形なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5418. **にほひたで**（14 圖版-128）……タ デ 科
Polygonum viscosum, *Ham.* var. vernicosum, *Meisn.*

〔形態〕原野・水邊等に多く自生する一年生草本にして．莖高さ 1·2-1·5 米（4-5 尺）に達し．概形イヌタデに似たり。莖葉共に鬚毛を布き．莖の上部並に花梗には更に粘毛を生ず。莖は枝を分ち．葉は葉柄を具へ．葉身は廣披針形或は狹披針形・銳尖頭・狹脚をなして互生し．基部を包める葉鞘はイヌタデと同じく．上緣に長鬚毛を密生す。夏秋の候．梢上葉腋に長き花莖を抽き．淡紅色の花を．長梗を有する穗狀花序に排列す。花被は長さ 2 粍（6 厘）許を有し．雄蕊は 8 箇．花柱は 3 箇を具へ．花後生ずる瘦果は 3 稜を有す。

本種は全體一種の芳香を有するを以て．本和名を有するものなり。

〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・九州・臺灣。

5419. **ぬかぼたで**（14 圖版-129）……タ デ 科
Polygonum minutulum, *Makino.*

〔形態〕荒田・廢田等の濕地に自生する一年生草本にして．莖高さ 18-40 糎（0·6-1·3 尺）許に達し．其質纖弱なり。莖は伏臥斜上生にして．多くの枝を分つ。葉は短き葉柄を有して互生し．葉身は披針形或は線形・銳尖頭・銳脚をなし．兩面に偃毛散生し．細隆起點滿布す。托葉は鞘狀筒形をなし．裁頭にして長毛緣を伴ふ。夏日稍上に白色にして先端に紅暈を有する花を簇生し穗狀花序に排列す。花序は疳長にして．花梗は糸狀をなす。花被は 5 深裂し．裂片は廣橢圓形にして．雄蕊は 5 箇を具へ閉在す。花柱は 3 箇を有し．花後生ずる瘦果は廣橢圓形にして．鈍 3 稜を有す。〔花色〕白色にして紅暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

5420. さいこくぬかぼ ……タ デ 科
Polygonum paludicolum, *Makino.* var. Nikaii, *Makino.*

〔形態〕本種はヤナギヌカボの一變種にして．葉は稍短く上面に偃毛を散生す。穗狀花序は疳長にして．ヤナギヌカボに比して更に疎花を排列し．花及瘦果は彼より大なるものなり。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5421. **おほけたで** 萚草（15 圖版-130）……タ デ 科
Polygonum orientale, *L.* var. pilosum. *Meisn.*

（異名）おゝたで　〔形態〕往々觀賞用として栽培せらるゝ一年生草本にして．莖高さ 1·5-1·8 米（5-6 尺）に達し．莖葉共に粗毛を布き．莖は直生す。葉は大形の長卵形にして．先端尖り．長き葉柄を具へ．莖葉共に紅色を帶び．密毛を生ず。秋日莖頭・枝梢より花莖を下垂し．帶紅色の多花を攢簇して穗狀花序をなす。花序は圓柱形をなし．苞は卵形にして．緣邊に多くの毛茸を有す。花被は長さ 3 粍（1 分）餘を有し．雄蕊は花被より挺出す。花後黑色にして栗子形の瘦果を結ぶ。〔花色〕帶紅色。〔花候〕秋。

〔分布〕臺灣。

人生との關係　時に庭園等に栽植し．觀賞に供せらる。

5422. **いしみかは** 板歸（15 圖版-131）……タ デ 科
Polygonum perfoliatum, *L.*

〔形態〕原野・堤塘・路傍等稍水濕の地に自生する草本にして．莖は蔓狀をなし．莖面・葉柄及葉の下面には逆刺列生し．恰もマヽコノシリヌグヒに似たり。葉は長き葉柄を有し．膜質にして殆んど楯狀三角形をなし．葉柄は其葉緣に着かずして楯形に着く。葉鞘は圓形をなし．莖は其中央を貫く。夏日莖上に白色或は黃白色の花を短穗狀花序に排列し．花序は長さ 3 糎（1 寸）許にして．基脚に楯狀の苞を伴ふ。花被は鐘形にして 5 深裂し．裂片は倒卵形をなす。雄蕊は 8 箇を有し．花柱は 3 箇を具へ．花後碧色にして稍肥厚せる宿存萼を被りたる球形の瘦果を結ぶ。〔花色〕白色或は黃白色。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

5423. **はるたで**（15 圖版-132）…… タ デ 科
Polygonum Persicaria, *L.*

（異名）あをなつたで　〔形態〕水田其他水濕の地に自生する草本なり。莖は直生或は斜上生にして．高さ 30 糎（1 尺）許に達し．比較的太けれども柔き肉質にして．多少分枝するを常とす。葉は細長なる披針形をなし．葉鞘は有毛にして．長毛緣を有す。穗狀花序は卵狀長橢圓形をなし．密花を排列す。花梗は單生し．雄蕊は 6 箇．花柱は 2 箇を具へ．花後生ずる瘦果は兩凸形或は 3 稜形をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

5424. **おやまそば**（15 圖版-133）……タ デ 科
Polygonum polymorphum, *Ledeb.* var. undulatum, *Ledeb.*

（異名）みやまたで・こいはたで　〔形態〕北部の高山に自生する多年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）內外に達す。莖は直生して．枝を岐ち．枝條は擴開す。葉は極めて短き葉柄を有し．卵形・銳頭・銳脚をなし．全緣にして互生し．托葉と共に有毛なり。8 月頃枝梢上に白色の花を着生し．穗狀花序に排列す。花被は 3 粍（1 分）許を有し．雄蕊は 8 箇．花柱は 3 箇を具へ．花後生ずる瘦果は．花被と同長にして 3 稜を有す。〔花色〕白色　〔花候〕夏。

〔分布〕北海道・本州北部。

5425. **うなぎづかみ** 翅蓼雀（15 圖版-134）……タ デ 科
Polygonum sagittatum, *L.* var. sibiricum, *Meisn.*

（異名）うなぎづる　〔形態〕田畔・溝側等稍水濕の地に自生する一年生草本にして．莖葉共に無毛なり。莖は伏臥生にして．枝を分ちて擴がり．稜角に葉柄を着け．葉の下面と共に逆刺を列生す。葉は葉柄を有し．披針形にして基脚箭形をなし．兩側は鈍頭なり。本種は他の蓼類より花期早く 5 月頃より梢上葉腋に花莖を抽き．通常正開せざる淡紅白色の花を 1-3 箇頂生す。花被は長さ 3-4·5 粍（1-1·5 分）許．雄蕊は 7-8 箇．花柱は 3 箇を有し．花後 3 稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅白色。〔花候〕春-夏。

〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州。

5426. **あきのうなぎづかみ**（15圖版-135）……タデ科
Polygonum sagittatum, *L.* var. americanum, *Meisn.* forma Sieboldi, *Makino.*

（異名）あきのうなぎづる　〔形態〕溝濱・水邊等に自生する前種ウナギヅカミの一種なり。彼に比するに、莖は肚大にして往々1·2-1·5米（4-5尺）に達し、莖は殊に赤色を帶ぶ。葉は箭形をなし、基脚兩側の突起は鋭頭なをす。夏秋の候、淡紅白色の小花を小球狀に綴る。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。

68 ながばのうなぎづかみ　　69 ほそばのうなぎづかみ

5427. **ながばのうなぎづかみ**（白圖-68）……タデ科
Polygonum hastato-sagittatum, *Makino.*

（異名）ながばのうなぎづる　〔形態〕田畔・水邊等に自生する一年生草本なり。莖高さ1·2-1·5米（4-5尺）に達し、直生或は斜上生にして、平滑或は逆毛を布き、多くの枝を岐つ。葉は葉柄を有し、披針形・鋭尖頭或は長橢圓狀披針形・鋭頭をなし、稍戟形狀箭脚・截脚或は耳狀心脚を呈し、上面邊緣と下面中肋とは往々毬澁なり。葉鞘は長さ3糎（1寸）許にして、短毛緣を有す。夏秋の候、莖梢葉腋に花莖を出し、淡紅色の花を穗狀花序に排列す。花序は頭形或は橢圓形をなし、花梗には腺毛を布く。苞は廣卵形をなし、毛緣を有す。花被は5裂し、雄蕊は7箇を具へ明在す。花柱は3箇を有し、花後生ずる瘦果は廣卵形なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・四國。

5428. **なつのうなぎづかみ**……タデ科
Polygonum pedunculare, *Wall.*

（異名）なつのうなぎづる　〔形態〕原野・水邊等に自生する一年生草本にして、全株無毛種に屬す。莖高さ30-60糎（1-2尺）に達し、斜上生にして、稜角には往々逆刺を生ず。葉は橢圓狀或は線狀長橢圓形・鋭頭・鋭箭脚或は截脚をなし、緣邊は往々毬澁なり。春夏の候、莖梢葉腋に花莖を出し、長橢圓形或は圓錐狀球形をなせる穗狀花序に小花を排列す。苞は鋭尖形にして毛緣を有し、瘦果は球形にして兩凸面をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春-夏。〔分布〕臺灣。

5429. **ほそばのうなぎづかみ**（白圖-69）……タデ科
Polygonum auriculatum, *Makino.*

（異名）ほそばのうなぎづる　〔形態〕暖地の稍水濕地に自生する一年生草本にして、莖は伏臥生をなし、瘠長にして逆毛を疎生す。葉は狹長にして、基脚耳狀戟形或は心臟形をなし、鞘狀をなせる托葉を伴ふ。夏日葉に對生して花梗を出し、2-3の枝を分ち、每枝に1-2若しくは4-5箇の淡紅色の花を簇生す。花被は4裂し、裂片は廣橢圓形にして、雄蕊は5-6箇、花柱は3箇を具へ、花後生ずる球形の瘦果は先端3稜をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

5430. **ままこのしりぬぐひ**（15圖版-136）……タデ科
Polygonum senticosum, *Franch.* et *Sav.* (*Persicaria Truellum, Koidz.*)

（異名）とげそば　〔形態〕各地の路傍・草叢の稍水濕地に自生する一年生草本にして、莖は淡紅色を帶び、稍莖狀をなして、高さ1·5-1·8米（5-6尺）許に達す。莖は略四角形にして、葉は長き葉柄を有し、葉身は略三角形なれども、基脚戟形をなし、輪形にして先端葉狀の托葉を伴ひ、葉の下面は莖と共に下向せる小刺を列生し、他物に鉤着す。6-7月頃莖上分岐し、頂に淡紅色にして、濃紅暈を伴へる頭花を短穗狀花序に綴る。花被は長さ4粍（1·3分）許を有し、雄蕊は8箇にして、花柱は3箇を具へ、花後球形にして、3稜頭を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕淡紅色にして濃紅暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州・琉球・臺灣。

5431. **いたどり**　虎杖（150圖版-137）……タデ科
Polygonum Reynoutria, *Makino.*

（異名）たちび・さいたつま　〔形態〕山野・路傍等に自生する多年生草本なり。莖高さ30-60糎（1-2尺）より1·5-1·8米（5-6尺）以上に達し、稍斜上生にして莖葉共に無毛なり。莖は中空にして直生し、葉は葉柄を具へ、葉身は廣卵形或は卵狀長橢圓形にして、先端尖り、基脚往々截形をなす。托葉は鞘狀をなして短く、凋落生なり。夏日葉腋に白色或は淡紅色の小花を總狀花序に排列す。花序は單生或は圓錐狀をなして疎生す。雌雄異株なり。花被の外3片は宿存し、長さ6粍（2分）許ある翼を有す。雄蕊は8箇、花柱は3箇を有し、花後生ずる瘦果は3稜を有し、宿存花被を伴ふ。〔花色〕白色或は淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕日本全土。

人生との關係　莖は稍酸味を帶び、小兒等はスカンポ・スッパグサと稱し、喜びて食す。又軟莖は煮でて水に浸すときは酸味を失ふを以て味噌汁の實となし、或は鹽漬・糠漬等となして食用に供す。藥用としては乾燥せし根莖を煎服すれば、月經閉止・利尿・肋膜炎・痲病藥として効あり。

5432. **めいげつさう**（白圖-70）……タデ科
Polygonum Reynoutria, *Makino.* forma colorans, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、概形略イタドリに似たれども、本種は花色彼に比して濃紅色を呈すると、果實は帶紅色を呈するとを共異る所となす。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5433. **をのへいたどり**……タデ科
Polygonum Reynoutria, *Makino.* forma compactum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖僅に60糎（2尺）許に達し、莖葉共に密生す。花は直生して白色を呈し、圓錐花序に排列す。

〔分布〕邦內各地。

70 めいげつさう　　71 おほいたどり

5434. **にしきいたどり**……タデ科
Polygonum Reynoutria, *Makino.* var. spectabile, *Makino.*

（異名）ふいりいたどり　〔形態〕觀賞用として栽植せらるゝイタドリの一變種にして、莖は濃木狀を呈し、高さ1-1·5米（3-5尺）許に達し、葉には綠色・白色・赤色等の斑紋を有するものなり。（栽培種）

5435. **おほいたどり**（白圖-71）……タデ科
Polygonum sachalinense, *Fr. Schm.*

（異名）どんぐい・どんご　〔形態〕北地に多く自生する多年生草本にして、莖高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達す。莖は剛壯にして、高く喬木狀に上昇し無毛なり。葉は短き葉柄を有し、葉身は大形なる廣卵形をなして、先端尖り、基脚心臟形にして殆んど全緣なり。梢葉は楔脚をなし、下面網脈隆起す。托葉は鞘狀をなし、膜質、無毛にして長く、終に分裂す。7-8月の候梢上葉腋に花莖を分ち、帶紅白色の小花を總狀花序に排列す。花序は腋出し、單生或は簇出して密花を着生す。苞は卵形にして長鋭尖頭をなし、肥厚せる花軸を有し、花軸に褐色毳毛を布く。花柱は3箇にして、柱頭は剪裂す。花後三角狀橢圓形にして、滑澤・鋭頭をなせる瘦果を結ぶ。〔花色〕帶紅白

PL. 15.

130 おほけたで　　131 いしみかは　　132 はるたで
133 おやまそば　　134 うなぎづかみ　　135 あきのうなぎづかみ
136 ままこのしりぬぐひ　　137 いたどり　　138 うらじろたで

色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

72 おほつるいたどり

73 はるとらのを

〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・九州。

74 ほそばはるとらのを

5436. おほつるいたどり（白圖-72）……タデ科
Polygonum scandens, *L.* var. dentato-alatum, *Maxim.*

〔形態〕蔓性の一年生草本にして、莖葉共に無毛なり。葉は心臟形或は心狀卵形をなして、細柄を有す。花は紫色を呈し、穗に總狀花序を綴り、花後長さ1·5糎（5分）許ありて翼を有し、宿存花被を伴へる瘦果を結ぶ。
〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5437. はちぢやういたどり……タデ科
Polygonum hachidyoense, *Makino.*

〔形態〕八丈島に自生する多年生草本にして、根莖は長く横走し、莖は直生して高さ1-1·2米（3-4尺）許に達し、淡綠色にして粉白を裝ふ、時に紫色細點を散在し、概ね平滑なり。葉は卵狀橢圓形にして、先端急に鋭く尖り、基脚廣楔形をなして全緣なり。下面の中肋は顯著にして、各側に8-10條の側脈を伴ふ。托葉は薄膜質の筒形にして、截頭或は斜頭をなす。花は白色小形にして、頂生せる圓錐花序に多數を排列す。〔花色〕白色。
〔花候〕夏。〔分布〕本州（八丈島）。

5438. うらじろたて（15圖版-138）……タデ科
Polygonum Weyrichii, *Fr. Schm.*

（異名）けいはたで・うらじろいたどり　〔形態〕山地に自生する多年生草本なれども、北地にありては普通原野に共自生を見ることあり。莖高さ30糎（1尺）内外に達し、葉は互生して葉柄を有し、葉身は長卵形・鋭尖頭・圓脚をなし、緣邊僅に波狀を呈し、下面に綿毛を布く。葉の裏面稍淡綠白色を呈するを以て此和名あり。葉鞘は膜質、圓筒形にして毛茸を有す。8月頃梢上に花軸を分岐し、灰白色の細花を總狀花序に排列す。花序は頂生して、隔離生圓錐狀をなし、絨毛を密布す。花被は長さ1·8-2·1粍（6-7厘）許、雄蕊は8箇を有し、花柱は3箇にして、花後3稜を有する瘦果を結ぶ。
〔花色〕灰白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

5439. くりんゆきふて（16圖版-139）……タデ科
Polygonum suffultum, *Maxim.*

〔形態〕深山に自生する多年生草本なり。莖高さ12-15糎（4-5寸）より60糎（2尺）許に達し、莖葉共に無毛なり。葉は卵形或は稍三角形にして、鋭尖頭、深心脚をなし、根葉は長き葉柄を有し、葉柄は短柄或は無柄にして、莖を抱く。托葉は鞘狀をなし、先端2裂す。春日葉に混ひて花枝を分ち、雪の如き白色に淡紅采を伴へる花を穗狀花序に綴る。花序は短柄或は稍無柄にして長さ3糎（1寸）許を有し、稍疎花を着生し、花後3稜を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕雪白色に淡紅采を伴ふ。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國。

5440. はるとらのを　紫參（白圖-73）……タデ科
Polygonum tenuicaule, *Biss.* et *Moore.*

（異名）いろはさう　〔形態〕深山の陰地に自生する多年生草本にして、莖高さ30糎（1尺）許に達し、根莖は念珠形にして節を有し、黒褐色にして長く地上に伸長す。葉は卵形或は橢圓形・鋭頭・圓脚をなし、根葉は長柄を有し、莖葉は短柄にして、何れも基脚に鞘狀様の托葉を具ふ。4-5月頃、根莖より長き花梗を出し、白色にして紅粉を帶べる花を穗狀花序に着生す。

5441. ほそばはるとらのを（白圖-74）……タデ科
Polygonum tenuicaule, *Biss.* et *Moore.* var. nanum, *Matsum.* et *Nakai.*

〔形態〕本種も亦深山陰地に自生する草本にして、概形ハルトラノヲに似て短小なり。早春葉芽と共に莖を抽き、1小葉を着け、梢上に穗狀をなしてトラノヲに似たる小花を開く。本種の根莖は結節最も著しく、葉も亦彼に似て小さく、裏面綠色を呈し、裏面及葉柄は紫色を帶ぶ。〔分布〕本州中部。

5442. むかごとらのを（16圖版-140）……タデ科
Polygonum viviparum, *L.*

（異名）こもちとらのを　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、莖高さ30糎（1尺）許に達し、球莖狀の根莖を有す。莖は單生或は簇生し、直生單一なり。葉は長き葉柄を具へ、長橢圓形或は披針形・鈹頭・心脚をなし、托葉は鞘狀をなし、長形にして上部展開す。7-8月の候、梢上に總狀花序を出し、淡紅色或は白色の花を多數攢簇して美なり。花序は單立、頂生し、脚部には多數の小鱗莖を有す。萼は5深裂し、雄蕊は8箇ありて、花柱と共に挺出す。花後圓柱形にして3稜を有する瘦果を結ぶ。本種は梢上葉腋に、肉芽を生じて繁殖するを以て此名を得たり。〔花色〕淡紅色又は白色。
〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

5443. なんぶとらのを（16圖版-141）……タデ科
Polygonum hayachinense, *Makino.*

〔形態〕本州北部に自生する多年生草本にして、莖葉共に無毛種に屬す。根莖は匍匐生にして肥厚す。莖は直生し、高さ30糎（1尺）許に達す。葉は紙質にして下面に粉白を布き、下部のものは長柄を有し、長橢圓狀披針形或は卵形・鈍頭・截脚をなし、上部に至るに從ひて短柄となり、線形に變ず。托葉は膜質にして長き鞘狀をなす。8月頃梢上に紅色の小花を總狀に綴る。花序は頂生して密花を着生し、長橢圓狀圓柱形をなす。苞は薄膜質にして、卵狀或は鞘狀卵形を呈し、小苞も亦薄膜質にして鞘狀をなす。花被は5深裂し、裂片は長橢圓形・鈍頭なり。雄蕊は花被と同長にして8箇を有し、花後生ずる瘦果は、橢圓形にして3稜を有し、鋭頭・鋭脚なり。〔花色〕紅色。
〔花候〕夏。〔分布〕本州北部。

5444. みづひき　金線草（16圖版-142）……タデ科
Polygonum virginianum, *L.*

（異名）みづひきぐさ　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、莖高さ30-90糎（1-3尺）餘に達し、莖葉共に粗毛を生ず。葉は短き葉柄を具へ、卵形或は廣卵形にして、先端鋭頭・基脚楔形をなし、長さ6-9糎（2-3寸）乃至18-21糎（6-7寸）を有し、短形にして毛緣をなせる鞘狀の托葉を伴ふ。夏秋の候、莖上に30糎（1尺）許の花莖を抽き、濃紅色の疎花を、鞭狀をなせる穗狀花序に排列す。花被片は4箇を有し、花は下面の1方白色を呈す。雄蕊は5箇、花柱は2箇を具へ、先端鉤曲して挺出す。花後扁卵形にして、宿存花被と稍同長なる瘦果を結ぶ。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏-秋。
〔分布〕日本全土。

5445. しんみづひき……タデ科
Polygonum neo-filiforme, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、莖高さ45糎（1·5尺）許に達し、莖は上部に僅毛を生ず。葉は葉柄を有し、廣卵形にして、先端鋭尖、基脚亦鋭尖形をなし、上面には短毛を布き、鞘狀の托葉を伴ふ。夏日莖上に30

糎(1尺)許ある花莖を抽き，赤色の疎花を穗狀花序に排列し，花後黑褐色にして廣卵形の瘦果を結ぶ。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州・中部九州(豊岐)。

5446. **ツルドクダミ**　何首烏 (16圖版-143)……タ デ 科
Polygonum multiflorum, Thunb.

(異名) カシウ　〔形態〕山野に自生する多年生の纏繞性草本にして，支那原産の歸化植物なり。葉は軟質にして卵狀心臟形をなし，先端尖り，葉柄及鞘狀の托葉を具へて互生す。秋日葉腋に花莖を抽き，白色の細花を圓錐花序に綴る。萼片は3箇，花瓣は5箇を具へ，花柱は3箇にして，花後卵形の瘦果を結び，有翼の宿存萼を伴ふ。本植物は巨大なる塊根を連續し，藥用に供せらる。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔原産地〕支那。

人生との關係　藥種商は本植物の漢名を其儘音讀して「カシユウ」として販賣す。主なる藥効としては，根部を煎服するときは强壯劑・健胃劑・癤瘡・瘰癧・腸病・肺疾・老衰等に効あり，又生葉を搗りて腫物に貼れば，膿を吸出するに効あり。但し本植物は一時萬病に特効ありと大に宣傳せられしも其効果は稍疑はし。されど上記の諸症には有効なり。

5447. **アイ**　藍 (16圖版-144)……タ デ 科
Polygonum tinctorium, Lour.

(異名) タデアヰ　〔形態〕古來染料植物として，暖地に栽培せらるゝ一年生の草本にして，莖高さ60-90糎(2-3尺)許に達し，葉葉共に稍無毛なり。葉は長楕圓形にして互生し，乾くときは濃藍色を呈す。葉柄の基部に鞘狀にして膜質，毛莖をなせる托葉を有し，莖を包むこと他の蓼科植物と異ることなし。10月頃莖上葉腋に長梗を抽き，紅色の小花を穗狀花序をなして多數に綴り，花後赭褐色にして光澤ある3稜形の瘦果を結ぶ。花被は長さ3粍(1分)許を有し，雄蕊は6-8箇，花柱は3箇を有す。〔花色〕紅色。〔花候〕秋。〔原産地〕支那。

人生との關係　主要なる染料植物として栽培せらる。以下種類・栽培法・使用法等につき概記すべし。

藍及藍玉の製造　刈取りたる莖は，葉の着きたるまゝ地上に薄く擴げて日光に乾し，手にて葉を扱き落し，之を莚にて包み，時々打水し，凡そ2日を經て水氣を乾かし床の上に莚を敷き，葉を厚く積み重ね莚を覆ひて放置す。然るときは溫度昇り醱酵を始むるを以て，此時よく攪拌し且つ放冷して，再び前の如く積み重ねて醱酵せしむ。如斯4-5回反覆醱酵せしめて後，放冷，乾燥せしむ。2-3日の後に至り，之を手にて揉み碎き，篩にかけて葉柄を取り去り，尙よく乾燥せしむ。之を揉藍と云ふ。次に揉藍を「ネカシ」部屋に入れ，適宜の水分を與へて再び15日間程醱酵せしむ，之を寢と云ひ，全く醱酵止み溫度下降せば，之を臼に入れて搗き，扁球形の小塊となす。これを藍玉と云ふ。

種　類

往時にありては，藍は染料植物として缺くべからざるものなりしが，近時化學工業の發達に伴ひ，幾多の化學藥品を以て之に代用するに至りたるにより，從て現時にありては，これが栽培なす地方も漸く少く，其種類も亦少くなれり。古來四國は藍の名産地として著名なるものなりしが，現時尙德島縣に於て栽培するものに，小千本・赤藍・兩面藍・百貫藍・福葉等の種類あり。何れも葉形の狹長・精粗等なきによりて區別す。其他京都地方にて水田に栽培する水藍・琉球にて栽培する琉球藍等あり。

栽培法

春季苗床に種子を蒔きて苗を仕立て，6-9糎(2-3寸)位に生長したる頃，本圃に移植す。基肥は〆粕を粉末にしたるものを主として與へ，其後生長するに從ひ追肥として水肥を2-3回施す。

追肥は回數の多き程，藍分を多く含有す。夏季に至り土質乾燥に過ぐる時は，時々灌漑するを要す。移植後70-80日にして收穫すべし。

使用法

藍玉は水に溶解せざるが故に，直に之を以て木綿，羊毛，等を染むること能はず，即ち先づ之を還元して「アルカリ」を含める水に溶解し得る白藍となし，其溶液に可染物を浸したる後，取出すときは，白藍は空氣中の酸素と化合して靑藍となり，可染物に染付く。この方法を藍の建方又は藍建といふ。藍建には (1) 絞靑建(材料，藍・絞靑・石灰)。(2) 亞鉛建(材料，藍・亞鉛末・石灰)。(3) 大靑建(材料，藍・大靑・茜・石灰・小麥麩)。(4) 加里建(材料，藍・炭酸加里・茜・小麥麩)。(5) 日本建(材料，藍・木灰・石灰・小麥麩) 等あり。以上の內大靑建・加里建・日本建は醱酵作用によりて藍を白藍となすものなるを以て，醱酵建とも稱せらる。

産　額

最近の調査によれば，全國葉藍の產額は約26625000瓩(7100000貫)餘にして，產地としては，德島縣を第一とし，沖繩，廣島，愛知，三重の諸縣これに次ぐ。

2. ニトベカヅラ屬　ANTIGONON.

5448. **ニトベカヅラ**　(16圖版-145)……　……タ デ 科
Antigonon leptopus, Hook. et Arn.

(異名) アサヒカヅラ　〔形態〕外來の多年生蔓性草本にして，莖葉共に稍短毛を生ず。葉は長さ7-5-12糎(2-5-4寸)許を有し，葉身は卵狀披針形にして，先端銳く，基脚心臟形をなす。總狀花序は偏側生にして，卷鬚を有し，先端回旋して，淡紅色の花を6-15箇着生す。萼片は5箇を有して心臟形をなし，雄蕊は5箇，花柱は3箇を具へ，子房は3穗を有す。〔花色〕淡紅色。〔原産地〕南亞米利加。

3. ソバ屬　FAGOPYRUM.

5449. **ソ　バ**　蕎麥 (16圖版-146)……タ デ 科
Fagopyrum vulgare, Hill. (*F. esculentum, Moench.*)

(異名) ソバムギ・クロムギ　〔形態〕雜穀類の一種として，畑地に栽培せらるゝ外來の一年生草本なり。莖高さ60-90糎(2-3尺)許に達し，其質柔軟なれど，よく直立し，帶赤色を呈す。葉は心臟狀三角形にして，先端尖り，基脚戟形をなし，長き葉柄によりて互生し，葉柄の基部に膜質の鞘狀托葉を伴ふ。夏秋の候，莖頂に花莖を抽き，白色或は淡紅色にして小形なる花を多數の短穗狀に簇生し，花後3稜形をなせる暗褐色の瘦果を結び，中に白色をなせる多量の澱粉を蔵す。花被は5深裂し，裂片は卵形を呈す。雄蕊は8箇，花柱は3箇を具へ，子房は3穗をなす。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕東部亞細亞。

人生との關係　種子の澱分を「ソバ」粉と稱し，食用に供するは普く人の知る所なり。尙子粒を飯に炊ぎ，苗葉は溫煮して胡麻味噌にて和物となして食す。以下食用方法の2-3を列記すべし。

(イ) **ソバキリ**　ソバ粉を練りて餠の如くにし，之に小麥粉又はイモツナギ(薯蕷の搗りたるもの)又鷄卵等を入れて「ツナギ」とし，打粉を振りてよく捏ね，適當より一層薄く延し，長く疊みて細く切り，沸湯に入れてザット煮て，笊にて掬ひあげ，數回冷水をかけて食す。

信州のソバは「ツナギ」を用ひざれども，固く締りて味美なるを以て名高し。東京附近にては，少くとも2割多きは5割以上も小麥粉を用ふと謂はる。

(ロ) **ソバネリ**　又ソバカキと稱し，茶碗等にソバ粉を入れ，之れに熱湯を注ぎて箸にて捏ねたるものなり。醬油・汁・砂糖・花鰹等をつけて食す。

(ハ) **ソバ餠**　ソバ粉に小麥粉と牛蒡の若葉を煤でたる汁を一晝夜程「サバ」したるものと食鹽少量とを入れ，よく練りて適宜に丸め，之を蒸籠に入れて蒸したるものなり。豆粉・醬油・大根オロシ等をつけて食す。

(ニ) **ソバ粥**　ソバ粉に大根を入れ，味噌を加へて練りたるものを煮て食す。

(ホ) **凍ソバキリ**　ソバキリを煤で笊に入れて，嚴冬の夜間軒下につるして凍らしたるものを，食用に際し，熱湯をかけて蒸して食す。味輕くして風味佳なり。

(ヘ) **ホシソバキリ**　ソバキリを乾して貯へ，食用に際し，熱湯を注ぎ戻して食す。

5450. **ダッタンソバ**　(16圖版-147)……タ デ 科
Fagopyrum tataricum, Gaertn.

(異名) ニガソバ・インドソバ　〔形態〕支那韃靼地方に自生すれども，亦往々栽培せらる。歐洲原產の一年生草本なり。概形前種ソバに似たれども，彼に比するに，葉は廣くして，花は單總狀花序に排列し，果實は稜角に波樣の凹凸を有するを異るところとす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　種子を食用に供することソバに同じ。本植物は土地の肥瘠を選ばず，如何なる土地にてもよく生育し，短時日に結實するを以て利あるものなり。

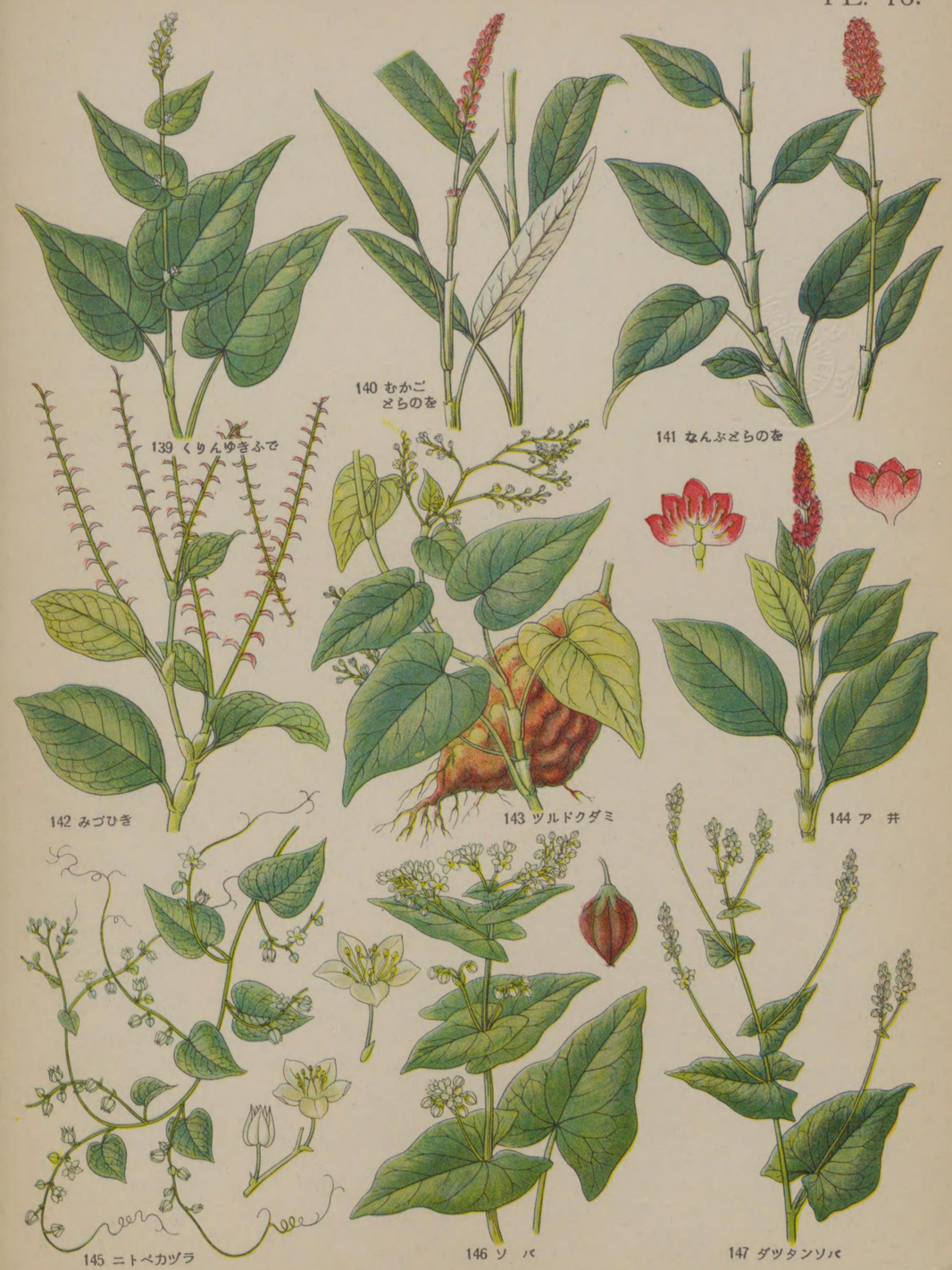
4. カンキチク屬　MUEHLENBECKIA.

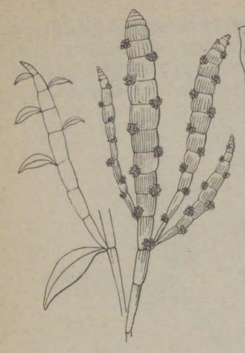
5451. **カンキチク**　(白圖-75)……タ デ 科
Muehlenbeckia platyclada, Meisn.

(異名) ハシヤボ・カンメイチク　〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして，莖は灌木狀を呈し，竹稈狀をなせる多くの節を有し，且つ數回分枝して高さ60-90糎(2-3尺)に達す。枝條は扁平にして，葉は概ね之れを缺き，莖の葉綠體を以て同化作用を營めども，又枝に膜質にして長楕圓狀披針形或は稀に戟形をなせる僅少の葉を有し，托葉は短形なり。夏日節々より花莖を腋出し，淡紅綠白色の小花を簇生し，花後稜形の瘦果を結ぶ。萼は短く，花被は5裂し，雄蕊は8箇を具へ，子房は1室にして花柱は3箇なり。

〔花色〕淡紅綠白色。〔花候〕夏。〔原産地〕「サロモン」島。

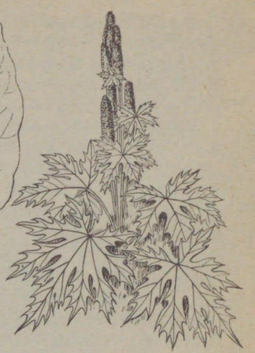
人生との關係　移植栽培し，觀賞用として愛玩せらる。




75 カンキチク

76 カラダイワウ

77 マルバダイワウ


78 モミヂバダイワウ

5. カラダイワウ屬 RHEUM.

5452. **カラダイワウ** 大黄（白圖-76）……タデ科
Rheum undulatum, L.

（異名）オホシ　〔形態〕本種は西比利亞貝加爾地方の原産にして我國には支那より渡來せるものゝ如し。本種は多年生の大形なる草本にして。葉は濶大なる卵形或は卵狀披針形をなし。5-7 行脈を具へ。波緣或は毛緣をなし。表面は無毛なるも。裏面には細毛を有す。脚葉は深心脚を呈し。枘葉は心脚なり。夏日圓草を抽出し。高さ 1·8-2·1 米(6-7 尺)に達し。枘上葉腋共に小枝を分ち。淡黃白色の小花を。有葉の圓錐花序に綴り。花後兩端凹頭をなせる果實を結ぶ。〔花色〕淡黃白色。〔花候〕夏。〔原産地〕西比利亞。

人生との關係 前種に同じ。

5453. **ダイワウ** 大黄（17 圖版-148）……タデ科
Rheum officinalis, Baill.

〔形態〕支那原産の多年生草本にして。地下に肥大せる根莖を有し。莖は空洞にして直立し。高さ 1·2-1·5 米(4-5 尺)に達す。葉は大形にして掌狀に淺裂し。長き葉柄を具へ。膜質をなせる葉鞘を有す。花は小形にして。帶黃白色を呈し。輪繖狀をなして多數を穗狀に排列す。〔花色〕帶黃白色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係 本植物の根は古來藥用植物として有名なり。即ち本植物の根莖を煎劑として。0·1-0·5 瓦を服用すれば健胃劑となり。0·5-5 瓦を服用すれば瀉下劑として効あり。又生根を摺り之に酢と醬油とを混じたるものは。「ナマズ」・白癬に用ひて偉効ありと云ふ。其他。マダイワウ・カラダイワウ等何れも同樣の藥効を有するものなり。

5454. **マルバダイワウ** （白圖-77）……タデ科
Rheum Rhaponticum, L.

〔形態〕概形前種と殆んど同樣なるものなれども。本種は其葉形前種に比し圓形を呈するものなり。〔原産地〕支那。

5455. **モミヂバダイワウ** （白圖-78）……タデ科
Rheum palmatum, L.

〔形態〕支那原産の多年生の大形なる草本にして。概形マダイワウに似たれども。本種の葉は掌狀に尖裂し。心臟形の基部を有し。長き葉柄を具ふ。夏日小形にして。花冠を有せざる小花を圓錐花序に排列す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係 根を藥用に供することマダイワウに同じ。

6. ギシギシ屬 RUMEX.

5456. **ぎしぎし** 羊蹄（17 圖版-149）……タデ科
Rumex japonicus, *Meisn.*

（異名）しぶくさ・うまのすかな・のみのふね　〔形態〕稍濕氣多き原野・路傍等に自生する多年生草本にして。地下に長く太き黃色の根を有す。初春より 30 糎(1 尺)有餘の長橢圓形・鋭頭・圓脚をなし。長大なる葉柄を有する根葉を叢生し。4-5 月頃に至り。高く莖を抽きて數枝を分つ。枘葉は披針形或は線形をなす。夏日枘上花穗を抽き。基脚に葉を有する總狀花序をなして每節 10 數花宛輪繖狀に下垂し。上部に至るに從ひ接近す。花は淡綠白色を呈し。花被は圓三角形・鋭頭・截脚或は稍心脚をなして網脈を布き。花後翅を有する果實を結ぶ。〔花色〕淡綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕日本全土。

人生との關係 根を生のまゝ摺り下したる汁液は疥癬・腫物に貼りて即効あり。又根をすり下し之に馬鈍粉及卵の白身を適宜混合して。よく練りたるものを生紙にのべて。「リウマチス」の患部に貼るときは一夜にして痛みを去ること妙なりと云ふ。

5457. こぎしぎし……タデ科
Rumex nipponicus, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕畦地に自生する多年生草本にして。莖高さ 45 糎（1·5 尺）許に達す。葉は披針形或は長橢圓狀披針形にして。鈍頭をなし。基脚圓形なり。夏日枘上花穗を抽き。圓錐花序をなして隔離生に。多數の花を輪繖狀に排列す。翼の稜面は長卵形にして。邊緣の下部には 2-3. 若しくは 4 箇の刺狀鋸齒を有す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5458. **ながばぎしぎし** （17 圖版-150）……タデ科
Rumex crispus, *L.*

（異名）ちぢみすいば　〔形態〕原野に自生する多年生草本にして。莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し。稍紫色を帶ぶ。葉は長橢圓狀或は廣披針形にして。鋭頭・鋭脚をなし。緣邊波狀を呈し。下葉は長柄を有すれども。上部に至りて之を缺き。鞘狀の托葉を伴ふ。花は長大なる圓錐花序をなし。花輪は稍接近し。翼は硬質瘤體を帶ぶ。花は暗綠色の花被を有し。細長なる花梗によりて長大なる圓錐花序をなし。稍接近せる輪繖狀に排列す。果實は粒狀の突起を具へ。稍心臟形をなす。〔花色〕暗綠色。〔分布〕臺灣。

5459. アレチギシギシ……タデ科
Rumex conglomeratus, Murr.

〔形態〕歐洲原産の多年生歸化草本にして。葉は長橢圓形或は披針形にして。稍銳尖頭・心脚をなし。緣邊は波樣を呈す。花は短小なる小梗によりて隔離生の輪繖狀をなして圓錐花序に排列し。花序は斜上生を有して擴開す。花後面上の諸脈顯著なる長卵形の果實を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕羅歐巴。

5460. エゾノギシギシ （17 圖版-151）……タデ科
Rumex obtusifolius, L.

（異名）ヒロハギシギシ　〔形態〕北亞米利加原産の歸化草本にして。脚葉は心臟狀卵形・中葉は心臟狀長橢圓形・枘葉は圓狀披針形を呈す。花は隔離生の輪繖狀に排列し。下輪には少數葉を伴へども。他は無葉にして。花被は葉狀を呈す。〔分布〕北海道。

5461. **すいば** 酸模（17 圖版-152）……タデ科
Rumex Acetosa, *L.*

（異名）すかんぽ・だやす。　〔形態〕到る處の原野・路傍等に自生する多年生草本にして。莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し。概形ギシギシに似たれども。彼に比すれば。莖葉共に稍痩小にして莖には顯著なる縱溝を有し。紅紫色にして酸味あり。葉は長き葉柄を有し。長橢圓狀披針形。鋭尖にして。基脚稍箭形をなす。雌雄異株なり。春日枘上小枝を分ち。穗狀をなして淡紅色の花を 6-8 箇宛着生せる花輪を。疎なる圓錐花序に排列す。雄花にありては花被片 6 箇を有し。外 3 片は披針形。內 3 片は橢圓形をなし。雄蕊 6 箇を有す。雌花も亦花被片 6 箇を有し。外 3 片は反捲し。內 3 片は翼狀をなして直生し。共に宿存生なり。花後卵形にして銳き稜をなせる瘦果を結ぶ。

人生との關係　本植物の根3分と，硫黄華2分とを混じて，よく搗り交ぜ之に少量の酢と醤油とを等分に混じて，ベトベトとなりたるものを，入浴後に，擦り込むときは，疥癬を治するに妙なり。又本植物の莖の赤きものゝ根187·5瓦(50匁)を水洗し，之に蔥の白根5本，クチナシの實3箇を混じてよく搗きてベトベトにしたるものに，メリケン粉を小匙に1杯及鷄卵1箇をよくかき交ぜたるものを加へて更に練り合せ，之を生紙に1糎(3分)位の厚さに9-12糎(3-4寸)四方位に延ばして，痛む局部に貼布し，毎日1回宛貼り代るときは，如何に重患なる「リウマチス」と雖も，2ヶ月位にして全治するの特効ありと云ふ。　其他乾燥したる花を煎服すれば健胃·解熱に効あり，又莖葉を生のまゝ噛みて，其汁液を飲下するときは，「シモヤケ」を忽ち平癒するに効ありと云ふ。

5462. **ヒメスイバ**　(17圖版-153) ……タデ科
Rumex Acetosella, L.

〔形態〕歐洲原産の歸化植物なれども，原野に自生する多年生草本にして，莖高さ30糎(1尺)許に達す。毎春宿根より長き葉柄を有する3裂片葉を叢生し，後叢葉間より花莖を抽出し，小形にして通常分裂せざる線形の楕葉を互生す。夏日梢上更に分岐して，帶紅綠色を呈する細花を，圓錐花序に疎生す。〔花色〕帶紅綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

5463. **のこぎりすいば**……タデ科
Rumex dentatus, *L*,

(異名) こごめぎしぎし　〔形態〕臺灣に自生する一年生草本にして，葉は長楕圓形·鋭頭·圓脚をなし，皺縁を有す。花は圓錐花序に排列し，花輪は隔離生なり。翼は卵形或は長楕圓狀卵形にして，網脈を密生し，不齊鋸牙縁を有す。〔分布〕臺灣。

5464. **おほばすいば**……タデ科
Rumex montamus, *Desf*.

(異名) たかねすいば　〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本にして，葉は基脚廣戟形或は戟形をなせる卵形或は卵狀長楕圓形なり。翼は全縁にして稍圓形をなし，基脚に瘤體を具ふ。瘦果は長楕圓形をなし，極めて細微なる細條を有す。〔分布〕本州北部及中部。

5465. **まだいわう**　(17圖版-154) ……タデ科
Rumex Daiwoo, *Makino*.

(異名) からすのあぶら　〔形態〕山間·溪谷の水邊に自生する多年生草本にして，莖高さ1·2-1·5米(4-5尺)に達す。葉は葉柄を有し，葉身は大きく，卵形或は卵狀披針形·鈍頭或は鋭頭にして廣心脚又は圓脚をなし，邊縁は微に皺縮す。下面の脈上には短毛を布き，長さ30糎(1尺)餘，幅18-21糎(6-7寸)に達するものあり。夏日葉間に長き薹を抽出し，綠色にして隔離生の花輪を有する花を圓錐花序に頂生し，下垂するに至らず。花被の外片は長楕圓形にして基脚合生し，縁邊頂端は淡紅色を呈し，內片は廣長楕圓形なり。雄蕊は6箇，花柱は3箇を有し，果實は淡紅色にして三角狀卵形の翼を有し，中肋は突起するも硬化せず。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國。

人生との關係　本種も亦その根を藥用に供すれども，成分稍微弱なるものなり。

5466. ノダイワウ……タデ科
Rumex domesticus, Hartm.

〔形態〕モミヂバダイワウの一品種にして，本種の脚葉は稍心臟形·卵形·長楕圓形をなし，莖葉は長楕圓狀披針形にして，波縁或は平縁をなし，下面は平滑或は縮皺なり。花は圓錐花序をなして排列すれども，隔離生の花輪は概ね葉を缺き，マダイワウに比するに相接近し，翼の瘤體は全く缺如す。花被は葉狀をなし，內片は卵狀心臟形にして，縁邊は細齒牙を有するか，或は全縁なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道·本州各部。

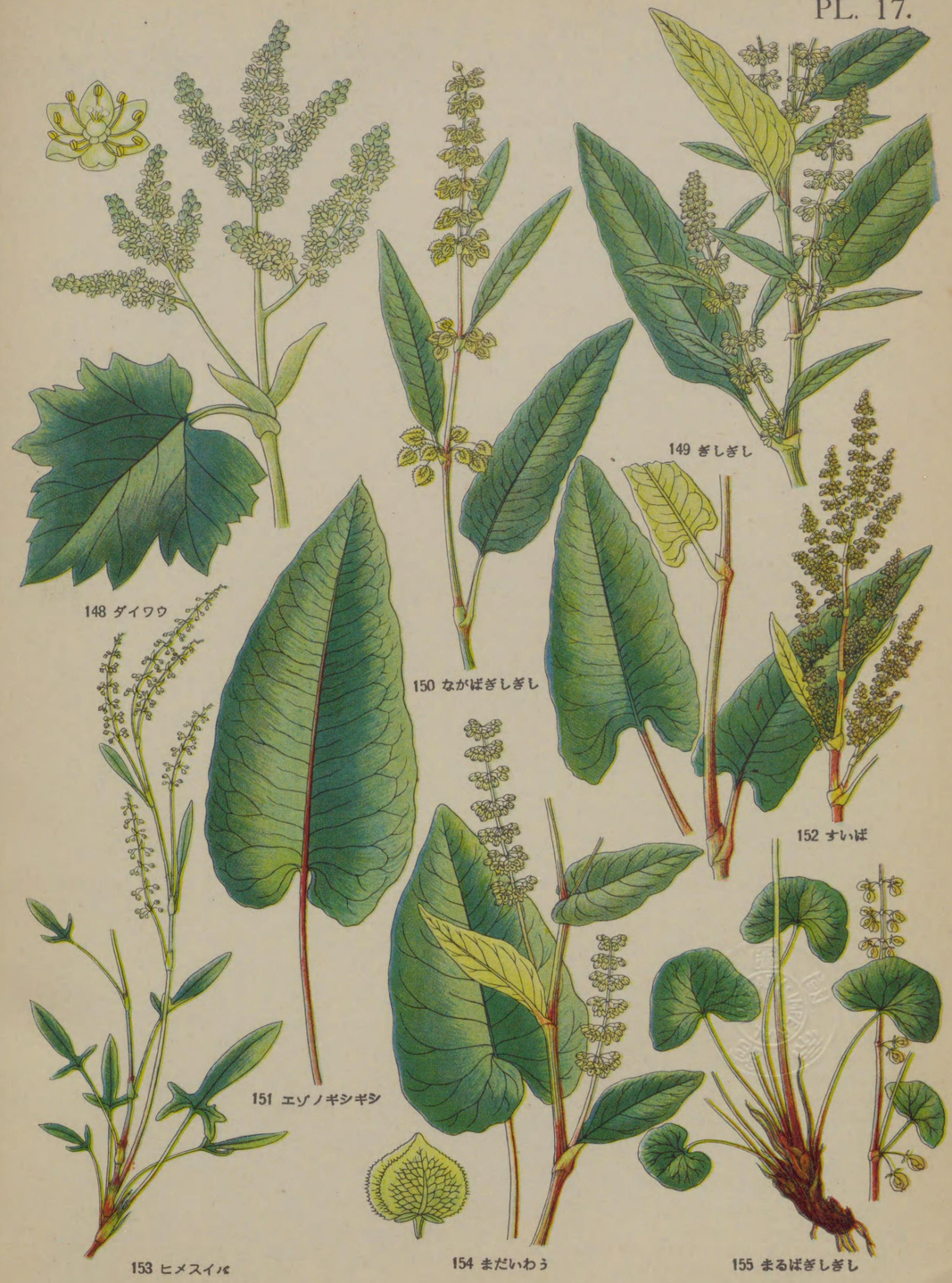
7. マルバギシギシ屬　OXYRIA.

5467. **まるばぎしぎし**　(17圖版-155) ……タデ科
Oxyria dygyna, *Hill*.

(異名) じんえふすいば·みやまぎしぎし·みやますいば　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして，高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は主に根出葉のみにして，長き葉柄を具へ，心臟形或は腎臟形にして稀に3裂或は楯狀形をなし，乾皮質にして廣濶なる托葉を有す。初夏の候分岐せる梢上に穗狀をなして帶紅白色の花を複總狀花序に排列す。花被片は4箇を有し，內側の2片は翼狀に擴大す。花後球狀心臟形にして2翼を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

*　　*　　*
*　　*　　*

PL. 17.



ウマノスズクサ群

1. うまのすずくさ(馬兜鈴)科 ARISTOLOCHIACEÆ.

本科の植物は，草本或は木本にして．本木なるときは．通常他物に纏繞して上昇す。葉は通常單葉にして．葉柄を具へ互生す。概ね全緣なれども又往々3-5裂し．多くは心臟形或は腎臟形をなし．托葉は之を缺く。花は整齊或は不整齊にして．通常兩性をなし．花序は腋生或は頂生し．單一なるか或は多數攢簇す。花冠は上位にして．3-6裂するか或は管形をなす。雄蕊は6箇或は多數を有し．殆んど無柄にして．互に分離するか或は花柱の基部に於て結合し．通常外向約を有す。子房は下位或は半下位にして．4-6室を有し．各室に多數乃至數箇の倒生卵子を含む。花柱は合生し．柱頭は分裂す。果實は蒴にして．多數の種子を藏し．種子は胚乳を含む。

79 うまのすずくさ

本科には5屬．凡204種の植物を含有し．溫帶及熱帶に汎く分布し．殊に南亞米利加に多く產出す。本邦には2屬．凡15種許を產す。

本科所載植物名目次

アヲカンアフヒ……5478
イサハカンアフヒ……5479
ウスバサイシン……5435
ウマノスズカケ……5468
ウマノスズクサ……5468
ウンモンカンアフヒ…5476
オハグロバナ……5468
オホバウマノスズクサ5469
カウヤクザイシン……5484
カモアフヒ……5481
カンアフヒ……5475
キボチウマノスズクサ5474
ケカンアフヒ……5482
コウマノスズクサ……5473
コバノカンアフヒ……5479
サカハサイシン……5416
シロミヤクカンアフヒ5477
ゼニバサイシン……5484
ナガバウマノスズクサ5471
ナガバノウマノスズク
サ……5470
フイリカンアフヒ……5477
フタバカンアフヒ……5481
ホソバウマノスズクサ5472
マキバカンアフヒ……5480
マルバウマノスズクサ5473
マルバカンアフヒ……5483
マンシウウマノスズク
サ……5474
ランエフカンアフヒ…5484

1. ウマノスズクサ屬 ARISTOLOCHIA.

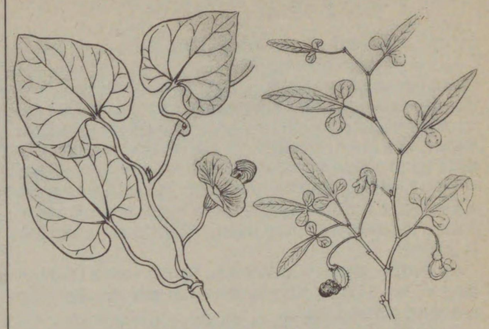
5468. **うまのすずくさ** (白圖-79) …… ウマノスズクサ科
Aristolochia debilis, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) おはぐろばな・うまのすすかけ　〔形態〕山野に多く自生する多年生の纏繞草本にして．莖葉共に無毛種に屬し．且つ一種の惡臭を有す。葉は形稍ヤマノイモに類し．三角狀卵形或は卵狀披針形にして．鈍頭・心脚をなし．帶紫綠色を呈す。夏日葉腋上に有梗にして紫綠色をなせる不齊なる筒狀花を腋出或は單生す。筒部は基脚膨大し．中部は縊れ內面に毛を生ず。花後6殼を有する蒴を結び．胞間裂開す。有毒植物の一なり。

〔花色〕紫綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

人生との關係　本植物の根及種子は古來藥用に供せられたれども．濃厚なる煎汁を服用するときは消化器を害し．或は泌尿器に障害を與ふる等の副作用を起すこと往々なれば．服用に際しては．必ず次の用量を誤らざること肝要なり。即ち根を乾燥したるもの．或は種子のみ．或は根と混合したるものを．1回の用量を2瓦(5分)より18·75瓦(5匁)位を極度とし．之を0·27立(1·5合)の水にて．半分量に煎じつめ．其煎汁を1日3回分服するときは．解熱・鎭咳・喘息・祛痰・痔瘻・血淸・通經等に効あるものなり。

本植物の莖・葉・根殊に種子に．「アリストロヒン」と稱する「アルカロイド」を含有せるを以て．他の飼料と混同して．家畜類のこれを喰したる結果中毒せし記錄あれども．人類に關しては其記錄に乏し。



80 おほばうまのすずくさ　81 ほそばうまのすずくさ

5469. **おほばうまのすずくさ** (白圖-80) ウマノスズクサ科
Aristolochia Kaempferi, *Willd.*

〔形態〕海岸に近き山地等に多く自生する多年生の纏繞草本にして．莖の下部は稍木質狀をなす。葉は下部のものは細長く．基脚左右に撚がりて耳形を呈し．上部のものは三角狀卵形乃至心臟形をなし．銳頭・心脚にして．下面に白色の毛茸を密布す。夏秋の候．葉腋に有梗にして形ウマノスズクサに似たれども．大形にして內面黃褐色をなせる黃色の不齊筒形花を開き．內面に黑脈を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

5470. ながばのうまのすずくさ ……ウマノスズクサ科
Aristolochia Kaempfelr, *Willd.* forma lineata, *Makino.*

〔形態〕前種オホバウマノスズクサの一種にして．葉は極めて狹長なるものなり。〔分布〕邦內。

5471. ながばうまのすずくさ ……ウマノスズクサ科
Aristolochia Kaempferi, *Willd.* forma longifolia, *Makino.*

〔形態〕本種も亦オホバウマノスズクサの一種にして．葉は長楕圓形なるものなり。〔分布〕本州中部。

5472. **ほそばうまのすずくさ** (白圖-81) ウマノスズクサ科
Aristolochia Kaempferia, *Willd.* forma trilobata, *Makino.*

〔形態〕相模・紀伊・伊勢等に自生する多年生の有毒草本にして．莖は稍木質をなせども．細長にして他物に纏繞す。葉は長き葉柄によりて莖に互生し．葉身は狹長なれども．基部に於て3裂し．左右の裂片は卵形を呈し．下面に毛茸を布く。花は單生にして有毛の長梗を具へ．萼は不整齊にして．花冠樣をなし．毛茸を密生す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

5473. しろばなうまのすずくさ ……ウマノスズクサ科
Aristolochia Kaempferia, *Wild.* var. qullescens, *Nakai.*

〔形態〕本種は前種オホバウマノスズクサの一變種にして．其彼と異る要點は．花被の內面白色或は帶黃色を呈し．下脣は其外反部のみ黃色にして黑褐色の網狀脈を有するにあり。〔分布〕四國。

5474. まるばうまのすずくさ ……ウマノスズクサ科
Aristolochia contorta, *Bunge.* (*A. nipponica, Makino.*)

(異名) こうまのすすくさ　〔形態〕本州中部地方に自生する多年生の纏繞草本にして．莖葉共に無毛種に屬し平滑なり。葉は長き葉柄を具へ．三角狀卵形にして．鈍頭・深心脚をなし．革質にして下面稍粉白を帶び．長さ3-9糎(1-3寸)許に達す。夏日葉腋上に小形なる筒狀花を簇生す。花被は長さ約3糎(1寸)許を有し．囊體は球形．管部は狹圓筒形．脣部は三角狀披針形・銳尖頭をなし．先端及內面に腺毛を布く。雄蕊は6箇を有し．花柱は短形にして6出し．雄蕊より超出す。果實は廣卵形にして6溝を有し．懸垂す。

〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

2. カンアフヒ屬　ASARUM.

5475. **かんあふひ**　杜衡　(18圖版-156)　ウマノスズクサ科
Asarum Blumei, *Duch.*

(異名) つぶねぐさ・ふたまがみ・ちゃうじゃのかま・ちゃがまのき・をけばな・がけのあふひ　〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本にして、地下に根莖を有し、之れより長柄を有する宿存生の2-3葉を出す。葉身は稍柔軟にして厚く、廣卵形或は心臓形にして先端尖り、往々大なる葉脈上に白條斑を有す。冬日根際の葉間に短梗を抽出し、暗紫色にして3裂せる花被を有する小花を着生す。花被裂片は廣卵形にして、內面には隆起せる網眼脈を有す。雄蕊は12箇を具へ、花柱は6箇にして共に筒狀に合着す。果實は革質にして、不齊に裂開す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕冬-春。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。徃昔時より藥用として使用せられたり。即ち主として根部を吐劑に應用する他、利尿・發汗・通經・水腫・咳嗽・喘息等に有効なりと云ふ。

5476. うんもんかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum Blumei, *Duch.* var. albido-nebulosum, *Makino.*

〔形態〕カンアフヒの一種にして、葉面中肋の兩側を除きて淡色の雲紋を現はす種類なり。〔分布〕邦內。

5477. しろみゃくかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum Blumei, *Duch.* var. albivenium, *Makino.*

(異名) ふいりかんあふひ　〔形態〕本種も亦カンアフヒの一種にして、葉の上面に白脈を現はし、諸脈は粗網狀をなし互に連絡をなす特徵を有す。

5478. あをかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum Blumei, *Duch.* var. viride, *Makino.*

〔形態〕亦カンアフヒの一種にして、本種は葉に斑紋或は雲絞を有せざる種類なり。〔分布〕邦內。

5479. **こばのかんあふひ**　(18圖版-157)　ウマノスズクサ科
Asarum variegatum, *Al. Br.* et *Bouche.*

(異名) いさはかんあふひ　〔形態〕本邦中部並に北部地方に自生する多年生草本なり。葉は小さく圓形にして基脚心形をなし、宿存生なり。花筒部は鐘形をなし、內面には隆起せる網眼を具へ、紘部は3深裂し、裂片は卵形を呈す。〔分布〕本州北部及中部。

5480. あまぎかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum Muramatsui, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、地下に横走せる根莖を有し、葉柄を有する葉を双生す。葉身は廣卵形・鈍頭にして、深心脚をなし、諸脈は稍凹陷し、上面は綠色、兩側には淡綠色の暗紋を布き、緣邊には白色僵毛を散生す。冬春の候、雙葉間より短梗を單出し、筒狀部の外面暗綠色、上部暗紫色にして、不明なる暗縱脈を有し、內面に隆起せる網眼紋を伴へる鐘狀花を生ず。紘部は暗紫色にして3裂し、各裂片は平開す。雄蕊は12箇を具へ、暗紫色を呈して、子房の外脚に着生し、子房は紫色にして、基脚合生す。
〔分布〕本州中部。

5481. **ふたばあふひ**　雙葉細辛　……　ウマノスズクサ科
Asarum caulescens, *Maxim.* (18圖版-158)

(異名) かもあふひ　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖は地上を匍匐し、節毎に鬚根を出し、之れより直立せる短枝を抽くこと6糎(2寸)許にして、其頂端に通常2葉を着生す。此の葉は一年生にして、長き葉柄を具へ、膜質の心臓形をなし、全緣にして凋落生なり。4月頃葉柄叉間に3糎(1寸)許の花梗を抽き、帶紫色の1花を點頭す。本花は稍鐘狀をなし其の基部尖り、先端廣く、下向して開く。花被は內面無毛、無脈にして3裂し裂片は三角形にして反捲す。〔花色〕帶紫色。〔花候〕春-夏。
〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5482. けかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum caudigerum, *Hance.*

〔形態〕琉球に自生する多年生草本にして、莖頂に2箇の葉を對生す。葉身は肉質・心臓狀腎臓形にして、鋭頭・廣心脚をなし、下面に細毛を布く。花は肉質・暗褐色にして腺毛を有して點頭す。筒部は鐘形をなして、花喉は緊縮せず、中央は稍緊縮し、鋭頭・糸端をなし、葯突起は小球冠をなす。
〔分布〕琉球。

5483. **まるばかんあふひ**　(18圖版-159)　ウマノスズクサ科
Asarum asaroides, *Makino.*

〔形態〕山中の陰地に自生する多年生草本なれども、又往々庭園に栽培せらる。本種は地下に根莖を有すること、葉に長柄を有すること等前種カンアフヒに似たれども、全體彼より小なること、葉の圓形寧ろ腎臓形なるの差あり。冬日暗紫色にして、3裂せる花被を有する小花を短梗によりて點頭することも亦彼に似たり。〔花色〕暗紫色。〔花候〕冬-春。〔分布〕本州中部。

5484. らんえふかんあふひ……ウマノスズクサ科
Asarum albivenium, *Regel.*

(異名) ぜにばさいしん・かうやさいしん　〔形態〕主に暖地に自生する多年生草本にして、莖は短く、葉は心臓形或は心臓狀戟形をなし、葉脈に沿ひて白斑を有し、宿存生なり。花は短梗に點頭し、花被は壺形をなし、外面は淡綠色、內面は暗紫色を呈し、隆起せる網眼脈を現はす。筒部は稍球形をなし、紘部は開出して3裂し、裂片は卵形にして筒部と稍同長なるものなり。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5485. **うすばさいしん**　細辛　……　ウマノスズクサ科
Asarum Sieboldi, *Miq.* (18圖版-160)

(異名) たうさいしん　〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本なれども、亦往々庭園等に栽培せらるゝことあり。莖は細長く、匍匐生をなし、葉は其形カンアフヒの如くなれども、薄くして光澤なく、上面細毛を布き、黑點を具へ、下面脈上に細毛を有す。6月頃新葉間より稍地に接してカンアフヒに似たる紫黑色の1花を開く。壺筒は短き鐘形をなし、上部稍緊縮す。裂片は三角狀卵形をなし、鈍頭なり。〔花色〕紫黑色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。

人生との關係　庭園の下草として栽植し、雅趣あり。又藥用としては(1)生根或は乾燥したる根を煎服すれば解熱劑となり、(2)根と「タニシ」の肉とを練り合せたるものを食すれば頭痛・腦痛を治し、(3)葉を水にて濃く煎出し、之にて含嗽すれば、口中爽快となるのみならず、臭氣を去るに妙なり。

5486. さかはさいしん……ウマノスズクサ科
Asarum sakawanum, *Makino.*

〔形態〕四國に自生する多年生草本なり。葉は長き葉柄を具へ、葉身は廣卵形或は三角狀卵形・短鋭尖頭・心脚をなし、上面に白斑、脈上緣邊に細毛を布く。花は廣鐘形をなし、短梗に單生し、內面には隆起せる縱脈を具へ、3深裂す。雄蕊は12箇、花柱は6箇を具ふ。〔分布〕四國。

ビャクダン群

1. びゃくだん(白檀)科　SANTALACEÆ.

本科の植物は、葉綠素を含める喬木・灌木或は草本にして、通常他の顯花植物の根或は枝に生ずる半寄生植物とす。葉は凡て單葉にして互生或は對生し、托葉は之を缺く。花は整齊にして兩性或は單性をなし、種々の花序をなす。花托は杯狀をなし、花被は一様にして、花冠様或は萼様をなし、花被片は4-5箇或は稀に3箇若しくは6箇を有し、基部に於て結合し、芽中にありては鐮合狀をなして排列す。雄蕊は花被片と同數にして、且つ之と對生し、葯は各2室を有す。整は雌蕊の上位或は周圍に位し、子房は通常下位、稀に上位にして1室を有し、1乃至3箇、稀に4乃至5箇の卵子を含み、卵子は珠被を缺く。果實は堅果或は核果にして、種子は胚乳を含む。

本科には26屬、凡250種の植物を含有し、多くは熱帶及温帶地方に産出し、本邦に自生するもの3屬、3種を産するに過ぎず。

1. ビャクダン屬　SANTALUM.

5487. **ビャクダン**　檀香・白檀　(18圖版-161)…ビヤクダン科
Santalum album, L.

(異名) センダン　〔形態〕古來香料植物として著名なる常綠小喬木にして、全株無毛なり。葉は細き葉柄によりて對生し、葉身は長卵形或は卵狀披針形にして、鋭頭・狹脚をなし、長さ4-5糎(1-5寸)許に達し、雌雄異株なり。圓錐花序は頂生或は腋出し、小梗は花冠部と同長なり。花は4-5裂せる萼片を有し、徑4粍(1-3分)許、初め綠白色なるも、既にして赤色に變じ、後、球形にして黑熟せる櫻實大の核果を結ぶ。〔花色〕綠白色既にして赤變す。〔原産地〕印度。

人生との關係　材は著しき香氣を有するを以て、芳香料となし、或は器物を造り、又は他物に香氣を附するに用ふる他、藥用としては、木質部を水と共に蒸餾して得たる油を白檀油と稱し、痲病を治するに特効あり。

2. ツクバネ屬　BUCHLEYA.

5488. **つくばね**　(18圖版-162)……ビヤクダン科
Buchleya Joan, *Makino.*

(異名) はごのき・つくばねのき・こぎのき・たからまん・かはまめ　〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして、根の一部は往々樅・杉等の根に寄生する所謂半寄生植物にして、高さ1-5-1-8米(5-6尺)に達し、全株細毛を散生す。葉は葉柄を缺き、長楕圓形にして對生し、鋭尖頭・毛緣をなし、雌雄株を異にす。6月頃枝梢上に雌花を單立頂生し、凋落生の萼片4箇並に其直下に線狀披針形の小苞4箇を具へ、雄花は纖形花序をなして數箇を簇生し、短卵形の萼片4箇、並に短き雄蕊4箇を具ふ。花後結ぶ核果は卵形にして、溝を有し、宿存せる葉狀苞を被れる様、兒女の玩ぶ羽根に似たるを以て此名あり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

人生との關係　嫩葉は擧でゝ食し、老葉は煎粉となし、果實は鹽漬又は炒りて食用に供すと云ふ。

3. カナビキサウ屬　THESIUM.

5489. **かなびきさう**　百蕊草　(18圖版-163)…ビヤクダン科
Thesium chinense, *Turcz.*

〔形態〕田野に自生する一年生草本にして、莖高さ30糎(1尺)內外に達す。根は發育不完全にして、常に半寄生生活をなす。葉は狹長にして線形・鋭頭をなし、莖に互生す。春より夏に亙りて葉腋に淡綠色にして5或は4裂せる花被を有する小花を短枝に頂生し、葉狀苞及小苞を有す。雄蕊は4-5箇を具へ、花被の基脚に着生し、子房は下位にして、花後球形をなせる果實を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　莖葉を乾燥して煎服すれば、瘰癧・頭瘡を治するに効あり。

5490. かまやりさう……ビヤクダン科
Thesium repens, *Ledeb.*

(異名) はひかなびきさう　〔形態〕褒地に自生する草本にして、根は匍匐生をなし、莖は單一なり。葉は長楕圓狀線形にして、花下に葉狀苞3片を有し、花より長く超出す。下花及最上花は稍不登生にして、花後結ぶ小堅果は球形なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

* * * * * *

2. ほろほろのき(幌々木)科　OLACACEÆ.

本科の植物は喬木・灌木又稀に半灌木なり。葉は凡て單葉にして、通常互生し、葉柄を具ふ。花は整齊にして通常兩性なり。花序は總狀花序・穗狀花序・圓錐花序或は聚繖花序をなし、萼は小形にして4-6淺裂し、往々果實の熟するに從ひ、膨大して果實を被包す。花瓣は4-6箇を有し、雄蕊は花瓣と同數或は2-3倍を有し、雌蕊は2乃至5箇の結合せる心皮より成り、1箇の花柱を具ふ。子房は上位にして、通常下部に於てのみ2乃至5室を有し、通常1箇づゝの倒生胚子を含む。果實は核果或は堅果にして、種子は多量の胚乳を含む。

本科には26屬、凡129種の植物を含有し、主に熱帶地方に産出す。本邦には2屬、2種を産するに過ぎず。

1. ボロボロノキ屬　SCHOEFFIA.

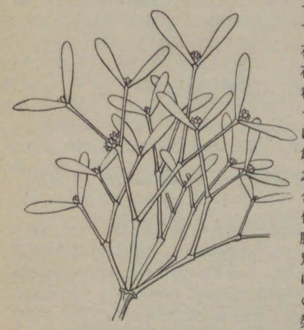
5491. **ほろほろのき**　幌々木　(18圖版-164)　ボロボロノキ科
Schoeffia jasminodora, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) しとたご　〔形態〕本邦南部の山野に自生する落葉灌木にして、莖高さ1-8-2-1米(6-7尺)に達す。葉は短き葉柄を具へ、卵形にして先端尖り、基脚圓形をなして互生す。花は小形、黃色にして、稍上葉腋に總狀花序をなして排列す。萼は上位にして、4齒緣を有し、花冠は筒形をなして先端4-5裂し、裂片は三角形・鋭尖頭をなす。雄蕊は4-5箇を具へ、子房は半下位にして3室を有し、花柱は圓柱形にして3岐す。花後橢圓形の核果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔分布〕九州。

* * * * * *

3. やどりぎ(櫟寄生)科 LORANTHACEÆ.

本科の植物は.通常寄生根によりて他の樹枝に寄生し綠色の.半寄生植物にして.多くは灌木性稀に草本性のものあり。葉は對生稀に互生或は輪生す。花は兩性或は單性にして.整齊又稀に不整齊なり。花被は一樣にして萼樣或は花冠樣をなし.通常4-6箇.稀に3-8箇の單花被を具へ.分離或は結合す。花序は穗狀ありて稀に單立す。雄蕊は花被片と同數にして之と對生し.又は多少相癒合し或は分離す。子房は下位にして1室を有し.通常胎座と卵子との明瞭なる區別を有せず.子房の中央部に存する組織內には1-3箇の胚囊發生す。果實は通常漿果樣稀に核果樣にして.種子は胚乳を含む。



82 やどりぎ

本科には21屬.凡900種の植物を含有すれども.多く熱帶地方に分布し.我國には2屬.凡8種を產するに過ぎず.

本科所載植物名目次

アカミヤドリギ……5493　トビヅタ……5492　ホ　ヤ……5492
オホバヤドリギ……5497　ヒノキバヤドリギ……5495　マツグミ……5496
チヤヤドリギ……5498　ホザキノヤドリギ……5494　ヤドリギ……5492

1. ヤドリギ屬 VISCUM.

5492. **やどりぎ** (白圖-82) …… ヤドリギ科
Viscum album, *L.* var. lutescens, *Makino.*

(異名) ほや・とびづた　〔形態〕多くエノキ・ケヤキ・クリ等の枝上に寄生根を挿入して.寄生生活をなす有名なる有綠寄生顯花植物にして.通常0·6-1米(2-3尺)以上に達す。幹は粘柔にして.淡黃綠色を呈し.通常9-12輪(3-4寸)每に節を有し.每節2叉又は3叉し.末端は無柄.革質にして面背なき倒長卵狀楔形の2葉を對生す。早春2葉間或は小枝の分岐點に淡黃色の1-2花を雌雄異株に頂生し.杯形の苞を伴ふ。花被は肥厚して4裂し.裂片は三角形をなし.葯は多室.多孔にして花糸を缺き.花被片に着生す。子房は下位にして.柱頭は無柄なり。花後黃褐色にして半透明の果實を結び.果實は粘質物を有し.內に1扁子を藏す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕早春。〔分布〕北海道·本州·九州·臺灣。

5493. **あかみやどりぎ**…… …… ヤドリギ科
Viscum album, *L.* var. rubro-aurantiacum, *Makino.*

〔形態〕ヤドリギの一種にして.果實の橙赤色を呈するものなり。〔分布〕本州北部及中部。

2. マツグミ屬 LORANTHUS.

5494. **ほざきやどりぎ**…… ヤドリギ科
Loranthus Tanakae, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕クリ·ミヅナラ等に寄生する寄生灌木にして.枝條は双出し.葉は稍無柄にして.倒卵狀楔形或は長橢圓狀卵形をなし.圓頭·狹脚なり。花は黃色にして徑3粍(1分)許を有し.葉と稍同長なる穗狀花序をなして枝端に頂生.單立す。花瓣は卵形或は長橢圓形をなして4-6片を有し.雄蕊も亦4-6箇にして.共に2列に排列す。子房は下位.果實は倒卵形にして黃點を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

3. ヒノキバヤドリギ屬 PSEUDIXUS.

5495. **ひのきばやどりぎ** (19圖版-165) ……ヤドリギ科
Rseudixus japonicum, *Hayata.*

〔形態〕サカキ·ヒサカキ·ツバキ等主として吸地の常綠木本に寄生する常綠の小灌木にして.全形30糎(1尺)に達するもの稀なり。全體黃綠色にして.枝條は稍扁く多くの節を有し.節每に小鱗片葉を具へ.雌雄同株なり。春日枏上鱗葉間に.球形にして無梗なる黃綠色の小花を腋出或は頂生す。雄花は花被筒極めて短く.雌花にては子房と合着す。花後.宿存花被を被る假漿果を結ぶ。〔花色〕黃綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部及南部·九州·小笠原島·琉球。

4. マツグミ屬 LORANTHUS.

5496. **まつぐみ** (19圖版-166) …… ヤドリギ科
Loranthus Kaempferi, *Maxim.*

〔形態〕主に吸地の常綠樹に寄生する常綠小灌木にして.幹は黑褐色を呈し.多くの小枝を分ちて葉を密生し.莖葉共に無毛なり。葉は革質·菱形にして厚く.且つ光澤を有し.長倒卵狀楔形にして全緣なり。春日.葉間又は小枝の分岐間に花梗を腋出し.淡黃色の1-3花を着生す。果實は稍球形をなし赤色を呈す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·九州。

5497. **おほばやどりぎ** (19圖版-167) …… ヤドリギ科
Loranthus Yadoriki, *Sieb.*

〔形態〕主に本邦南部に自生するヤブニクケイ·ツクバネガシ等に寄生する小灌木にして.全株赤褐色の銹毛を布く。葉は殆んど對生し.革質にして葉柄を具へ.卵形或は橢圓形·鈍頭·圓脚にして全緣なり。花は兩性にして.葉間又は小枝の分岐間に腋出せる花梗に2-3箇を着生す。萼は球形·截頭をなし.花冠は筒形にして先端4裂す。雄蕊は花冠に着生し.果實は黃色·廣橢圓形をなし.銹毛を密布す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

5498. **ちゃやどりぎ** (19圖版-168) …… ヤドリギ科
Loranthus theifer, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する寄生灌木にして.枝條は褐紫色を呈し無毛なり。葉は稍革質にして倒卵狀楔形をなし.長さ4糎(1·3寸)許あり。花は簇生或は假繖形狀に排列し.肥厚せる1箇の苞を有す。萼は筒形をなし.外面に星毛を布き.紋部は短形にして全緣或は不齊齒牙緣をなす。花冠筒は長さ1·5糎(5分)許を有し.紋部は4裂し.裂片は線形をなす。雄蕊は4箇を具へ.花筒の基部に着生す。子房は下位にして.果實は倒卵狀橢圓形なり。〔分布〕臺灣。

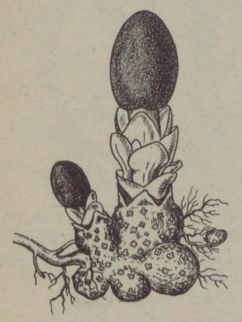
*　*　*
*　*　*

PL. 18.

156 かんあふひ
157 こばのかんあふひ
158 ふたばかんあふひ
159 まるばかんあふひ
160 うすばさいしん
161 ビヤクダン
162 つくばね
163 かなびきさう
164 ぼろぼろのき

4. つちとりもち(蛇菰)科
BALANOPHORACEÆ.

本科の植物は、他の植物の根に寄生する肉質の草本にして、葉綠素を缺く。葉は零常葉を缺き、全部鱗片狀をなす。花は通常單性小形にして、同質の花被を有するか、又は之を缺く。雌雄同株又は異株なり。雄花は通常花被を具へ、花被片は一樣にして、3乃至4箇、稀に2乃至8箇を有し、往々下部に於て癒合し、內に花被片と同數或は稀に1乃至2箇の雄蕊を具へ、花被葉と對立して1室乃至多數の室を有する葯を具ふ。雌花は概ね花被を缺き、雌蕊は通常1-2箇稀に3-5箇の結合せる心皮より成り、1箇の上位子房を形成し、通常1-3箇の珠皮を有せざる卵子を含み、1-2箇、稀に3-5箇の花柱を有す。果實は堅果或は核果にして、內に1箇の種子を藏し、子葉を缺き、往々單性生殖を行ふ。種子は油分に富める胚乳を含む。


83 つちとりもち

本科の植物は多く暖地に分布し、本邦には約11種の植物を產す。

本科所載植物索引

キイレツチトリモチ…5502　ツチモチ……5499　ヤマデラバウズ……5499
シヤウジヤウタケ……5499　ツチヤマモチ……5499　ヤマトリモチ……5499
タイワンツチトリモチ5503　トベラニンギヤウ……5502　リウキウツチトリモチ5501
ツチトリモチ……5499　ミヤマツチトリモチ…5500

1. ツチトリモチ屬 BALANOPHORA.

5499. つちとりもち 蛇菰 (白圖-83)……ツチトリモチ科
Balanophora japonica, *Makino.*

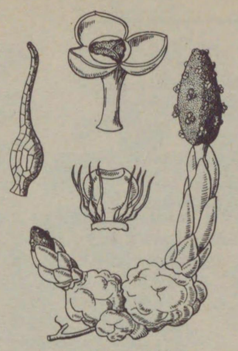
(異名) やまでらばうず・つちやまもち・つちもち・やまとりもち・しゃうじゃうたけ　〔形態〕山地樹陰等に廣く自生する多年生の寄生草本にして、高さ9-15糎(3-5寸)餘に達し、主にヘヒノキ屬の樹根に寄生す。地下莖は肥厚し、淺黃褐色を呈し、不齊にして粗大なる塊狀をなす。雌雄異株なり。10-12月頃、多肉にして大形の鱗苞を覆瓦樣に排列せる花莖を直生し、其頂端に卵狀楕圓形又は卵形の穗狀花部に無數の細微なる雌花を着生し、花間に倒卵圓形の1體を交へ、深赤色を呈す。子房は楕圓形にして柄を有し、其上部は長花柱となる。地下莖より鳥黐を製するを以て此名あり。〔花色〕濃赤色。〔花候〕秋-冬。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。
人生との關係　地下莖より鳥黐を製す。

5500. みやまつちとりもち (19圖版-169) ツチトリモチ科
Balanophora nipponica, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する寄生草本にして、地下莖は膨大して粗なる塊狀をなす。雌雄異株なれども、雄本につきては未だ詳かならず。雌性の花莖は塊莖より直生し、高さ7-5糎(2-5寸)內外に達し、疎に瓦列せる鱗苞を以て覆はる。穗狀花部は花莖上に長楕圓形・鈍頭をなし、紡錘狀楕圓形をなせる多數の雌花を着生し、長さ4-5糎(1-5寸)許に達す。苞は倒卵狀球形にして、短柄を有し、花柱は絲狀をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕秋。〔分布〕本州北部及中部。

5501. りうきうつちとりもち …… ツチトリモチ科
Balanophora fungosa. *Forst.* var. (19圖版-170)
Kuroiwai, *Makino.*

(異名) やへやまつちもち　〔形態〕琉球地方に自生する寄生草本にして、細密なる瘤質を有する地下莖を具へ、雌雄異株なり。花莖は延長して疎に瓦列せる鱗苞を以て覆はるゝ狀、他種に異らず。穗狀花部は莖頂に着生して球形を呈し、雄花は小形なり。〔花色〕黃色。〔花候〕秋。〔分布〕琉球(八重山)。


84 きいれつちとりもち

85 たいわんつちとりもち

5502. きいれつちとりもち (白圖-84)……ツチトリモチ科
Balanophora tobiracola, *Makino.*

(異名) とべらにんぎゃう　〔形態〕暖地に自生する寄生草本にして、地下莖は塊狀をなし、瘤質を缺き、全株高さ漸く1-5-12糎(0-5-4寸)許に過ぎず。莖は鱗苞を以て覆はれ、直生或は斜上生にして、花は雌雄同株に生ず。穗狀花部は廣卵狀長楕圓形にして、長さ0-6-4糎(0-2-1-3寸)許を有し、微細なる雌花を密生し、雄花は疎に着生す。〔花色〕白色。〔花候〕秋-冬。〔分布〕九州。

5503. たいわんつちもち (白圖-85) …… ツチトリモチ科
Balanophora dioica, *R. Br.*

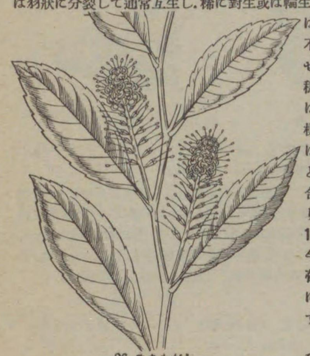
〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして、塊狀の根莖を有す。每春根莖より花莖を抽き、花莖は瓦列せる鱗苞を以て覆はれ、高さ3-30糎(0-1-1尺)許に達し、概ね雌雄異株なり。花部は圓柱狀廣卵形或は楕圓錐形の穗狀をなし、帶白褐色或は赤色を呈し、長さ3-7-5糎(1-2-5寸)許あり。花被は3-6裂し、雄蕊柱は短く或は長く葯は曲線によりて裂開す。〔分布〕臺灣。

* * * * *

ヤマモガシ群

1. やまもがし(山茂樫)科 PROTEACEÆ.

本科の植物は、通常喬木或は灌木、甚だ稀に草本なり。葉は單葉なるか或は羽狀に分裂して通常互生し、稀に對生或は輪生し、托葉は之を有せず。花は兩性或は單性、整齊或は不整齊にして、輪狀に排列せる部分より成る。花序は穗狀或は總狀をなし、花被は4箇の小片より成る花冠樣を呈して一樣なり。雄蕊は花被片と同數にして、之と對生し、且つ通常之と結合す。雌蕊は1箇の心皮より成り、子房は上位にして1室を有し、多數乃至1箇の半倒生卵子を含む。果實は蓇葖・蒴果・核果・或は堅果にして、種子は胚乳を有せず。



86 やまもがし

本科には50屬、凡1100種の植物を含有し、多くは濠洲及熱帶地方に產出し、本邦には自生するもの1屬、2種を產し、其他栽培せらるゝもの數種あり。

本科所載植物索引目次

カマウド……5504　ギンノキ……5508　ベニハゴロモ……5507
カマノキ……5504　シノブノキ……5506　ヤマモガシ……5504
キヌガシハ……5506　タイワンヤマモガシ……5505　ヤマリウガン……5505
ギンエフジュ……5508　ハゴロモノキ……5506

1. ヤマモガシ屬 HELICIA.

5504. **やまもがし** 山茂樫 (白圖-86) …… ヤマモガシ科
Helicia cochinchinensis, *Lour.*

(異名) かまのき・かまうど　〔形態〕本邦暖地に自生する常綠灌木或は喬木にして、葉は葉柄を有し、長楕圓形或は長倒卵形にして先端尖り、全緣或は粗鋸齒を有す。花は小形にして白黃色の花被を具へ、枝上葉腋上に總狀花序をなして排列す。花被は狹筒形をなし、裂片は線形にして先端反捲す。葯は長楕圓形にして、子房は柄を缺き、花柱は糸狀をなし、果實は黑色、楕圓形なり。〔花色〕白黃色。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

人生との關係　時に觀賞用として栽植することあり。

5505. **たいわんやまもがし** (白圖-87) …… ヤマモガシ科
Helicia formosana, *Hemsl.*

(異名) やまりうがん　〔形態〕山地に自生する喬木又は灌木にして、幼條には褐色絨毛を布く。葉は厚紙質・長倒卵形にして、全緣或は粗鋸齒緣を有し、下面には剛毛、中肋には絨毛を布く。初夏枝梢葉腋に褐色の短毛を被れる總狀花序を出し、白色筒形の花を開く。花被は4裂し、裂片は線形にして外捲す。雄蕊は4箇を具へ、花柱は1箇、果實は球形にして、徑3糎(1寸)許を有し、褐色の短毛を被る。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

87 たいわんやまもがし

其細裂せる狀恰も羊齒類の葉に似たり。花は小形、橙黃色にして、花冠を缺き、單生或は簇生せる總狀花序に排列す。花被は筒形にして先端4裂し、雄蕊は4箇を具へ、花糸は之を缺き、花冠に着生す。花後球形をなせる蓇葖を生じ、種子は有翼なり。〔花色〕橙黃色。〔原產地〕濠洲。

人生との關係　本邦にては、專ら觀賞用として栽植せらる。

5507. **ベニハゴロモ** (19圖版-172) …… ヤマモガシ科
Grevillea robusta, Cunn. var. *Forsteri*, Hort.

(英名) スカーレット・シルクオーク (Scarlet silk-oak)　〔形態〕本種も亦濠洲の原產にして、高さ1-1·5米(3-5尺)許に達す。葉は羽狀にして、花は鮮紅色を呈す。〔花色〕鮮紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕濠洲。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。本種は約30年以前小石川植物園に種子によりて、濠洲より輸入せられたるものなり。故に其繁殖は種子による。內地にてもよく結實するを以て、實生によるときは容易なり。日光の直射下又多濕を忌む。

2. シノブノキ屬 GREVILLEA.

5506. **シノブノキ** (19圖版-171) …… ヤマモガシ科
Grevillea robusta, A. Cunn.

(異名) キヌガシハ・ハゴロモノキ　(英名) シルクオーク (Silk-Oak)
〔形態〕濠洲原產の常綠喬木にして、幹高さ9米(30尺)餘、時に42-45米(140-150尺)に達するものありて、幼條には短毛を生ず。葉は羽狀複葉にして、長さ18-24糎(6-8寸)許を有し、12の小葉を具へ、下面に絹毛を布き

* * * * *

3. ギンエフジュ屬 LEUCADENDRON.

5508. **ギンエフジュ** (19圖版-173) …… ヤマモガシ科
Leucadendron argenteum, R. Br.

(異名) ギンノキ　〔形態〕亞弗利加喜望峰原產の喬木にして、幹高さ10米(30尺)餘に達す。葉は披針形にして絹糸狀の毛茸を密生し、銀白色を呈して枝條に密生す。花は單性にして雌雄異株に生じ、圓き頭狀花序をなして莖の上部に着生す。雄花は花被深裂し、葯は花糸を缺きて花被に着生す。雌花は木質の鱗片を伴ふ。花後蓇果を結ぶ。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞弗利加。

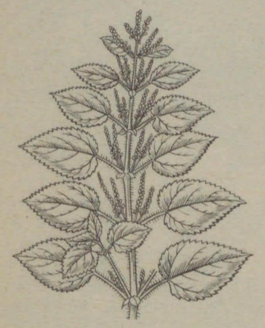
人生との關係　本邦にては、專ら觀賞用として栽植せらる。

165 ひのきばやどりぎ
166 まつぐみ
167 おほばやどりぎ
168 ちややどりぎ
169 みやまつちとりもち
170 りうきうつちとりもち
171 シノブノキ
172 ベニハゴロモ
173 ギンエフジュ

イラクサ群

1. いらくさ(蕁麻)科 URTICACEÆ.

本科の植物は草本・半灌木又は灌木或は稀に喬木にして、乳様の汁液を含有せず。葉は通常對生或は互生なれども、稀に輪生し、概ね單葉にして托葉を具ふ。花は單性稀に兩性にして、綠色を帶び、雌雄同株或は異株なり。花序は聚繖花序又は單生し、稀に假穗狀若しくは假頭狀花序をなし、花被は單輪にして莟狀をなし、4-5裂若しくは1-3裂するか或は結合す。雄蕊は花被の數と同數以上にして、且つ之と對生し、直立せる葯を具ふ。花柱は1箇にして、柱頭は稍羽毛狀をなす。子房は上位、無柄にして、1室或は2室を有し、1箇の直立或は傾生せる直生卵子を含む。果實は乾燥又稀に多肉をなす瘦果・堅果或は核果にして、種子は胚乳を含有し、或は少量を含む。


88 いらくさ

本科には41屬、凡475種の植物を有し、溫帶・亞熱帶地方に汎く分布す。本邦には15屬、凡47種を産出す。

本科所載植物索引目次

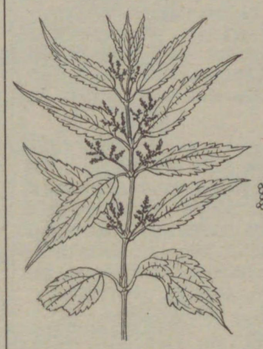
アヲカラムシ……5544　クサマヲ……5544　ヒメウハバミサウ……5533
アヲミヅ……5521　コアカソ……5552　ヒメウハバミサウ……5535
アカソ……5551　コケツルマヲ……5550　ヒメミヅ……5520
アコウクハクサ……5541　コケミヅ……5518　ヒロウドカラムシ……5554
アヅマグサ……5555　コセウボク……5561　ヒロウドサウ……5554
アリエヒメマヲ……5557　コバイラクサ……5513　ヒロハノキミヅ……5530
イタイタグサ……5509　コロモグサ……5542　フンキコミヅ……5522
イハガネ……5561　サンセウサウ……5525　ホソバイラクサ……5510
イラクサ……5509　サンセウヅル……5525　ホソバノキミヅ……5537
ウハバミサウ……5534　シキンドウ……5555　マ　ヲ……5542
ウライサウ……5558　シマミヅ……5520　マムシグサ……5500
エゾイラクサ……5511　シマミヅ……5530　ミ　ヅ……5517
ヲガサハラモクマヲ……5550　シロウ……5542　ミヤマイラクサ……5514
オニヤブマヲ……5548　ゼンエンミヅ……5523　ミヤマミヅ……5519
オホイハガネ……5562　タイワンコアカソ……5553　ムカゴイラクサ……5515
オホキミヅ……5533　チシマイラクサ……5511　メヤブマヲ……5546
オホサンセウサウ……5526　ツルイハガネ……5556　モクマヲ……5549
オホバイラクサ……5511　ツルマヲ……5555　ヤナギイチゴ……5559
オホバツルマヲ……5557　ツルミヅ……5520　ヤナギバヤブマヲ……5549
オホバムカゴイラクサ5516　トキホコリ……5530　ヤハズカラムシ……5554
オランダミヅ……5528　ナガバイラクサ……5512　ヤブマヲ……5545
ヲ　リ……5548　ナガバヤブマヲ……5547　ヤヘヤマカテンサウ……5532
カテンサウ……5531　ノマヲ……5548　ヤマソ……5540
カハシヤシヤブ……5560　ハダラ……5560　ヤマトキホコリ……5540
カラムシ……5542　ハドノキ……5560　ヤマミヅ……5529
キアカソ……5552　ハヒミヅ……5525　ラセイタサウ……5554
キダチマヲ……5556　ヒウジ……5542　ラミー……5543
キミヅ……5527　ヒカゲミヅ……5524
ギヨクシユクサウ……5515　ヒシバカキドホシ……5531

1. イラクサ屬 URTICA.

5509. **いらくさ** 蕁麻 (白圖-88)……イラクサ科
Urtica Thunbergiana, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) まむしぐさ・いたいたぐさ　〔形態〕本邦到る處の山林・原野等の稍水濕地に多く自生する多年生草本にして、毎春宿根より莖を抽出し、高さ60-90糎(2-3尺)許に達し、莖葉共に刺毛を有す。此の刺は一種の毒液を含有するを以て、之に觸るゝ時は痛みを感ず。雌雄同株なり。葉は對生して長き葉柄を有し、卵圓形にして先端銳尖、基脚心臟形をなし、粗なる銳尖重鋸齒緣を有し、多少皺縮するの特性あり。夏秋の候、莖頂或は葉腋に穗狀花序をなして淡綠色を呈する細花を綴る。雄花に於ては、花被片4箇を有し、各片は卵形にして鑢列し、雄蕊は杯形にして4箇を具ふ。雌花にありては、花被片4箇、子房1箇を有し、柱頭は刷子狀をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・九州・臺灣。

人生との關係　本植物の莖より皮部を剝離し、其纖維を精製し、糸織物の原料となす。又藥用としては(1)蛇等に咬傷せられたるとき、この生葉を揉み出したる液汁を患部に塗布するときは、止痛・毒消の効あり。(2)生の莖葉を浴湯に入れたるものに入浴すれば、疥氣を治するに効ありと云ふ。


89 ほそばいらくさ

90 みやまいらくさ

5510. **ほそばいらくさ** (白圖-89)……イラクサ科
Urtica dioica, *L.* var. angustifolia, *Ledeb.*

〔形態〕前種イラクサの一種にして、莖葉共に瘤刺を散生すること彼に同じ。葉は長き葉柄を有し、長楕圓狀披針形にして、粗鈍鋸齒緣を有し、雌雄株を異にす。圓錐花序は腋出して葉柄より長く、懸垂す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州・四國・九州。

5511. **えぞいらくさ**……イラクサ科
Urtica dioica, *L.* var. platyphylla, *Wedd.*

(異名) おほばいらくさ・ちしまいらくさ　〔形態〕イラクサの一種にして、葉は卵形或は長楕圓狀卵形をなすものなり。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5512. **ながばいらくさ**……イラクサ科
Urtica sikokiana, *Makino.*

〔形態〕濕地に自生する草本にして、莖は前種ホソバイラクサに比するに稍長にして、高さ1-2米(4尺)許に達し、毛茸を散生す。葉は葉柄を有し、葉身は稍非薄にして細長く、長銳尖頭・稍截脚をなし、銳齒牙緣を具へ、長さ12糎(4寸)許を有し、線形の托葉を伴ふ。花梗は葉柄より超出し、稍疎に花を着生す。雄花は楕圓形・鈍頭をなせる花被片より成り、4箇の雄蕊は挺出す。雌花は細小にして、花被片は4箇、綠色にして各2片づゝ内外2樣をなす。花後生ずる果實は廣楕圓形にして、壓扁せられたる小瘦果なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕四國。

5513. **こばのいらくさ**……イラクサ科
Urtica laetevirens, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、葉は葉柄を有し、圓形或は三角形にして先端銳く、截脚をなし、緣邊に疎鋸齒を有し、下面に短毛を布く。托葉は披針狀線形をなし、雄穗は葉柄より短く且つ下部に位す。〔分布〕北海道・本州北部。

2. ミヤマイラクサ屬 SCEPTROCNIDE.

5514. **みやまいらくさ** (白圖-90)……イラクサ科
Sceptrocnide macrostachya, *Maxim.*

〔形態〕本邦各地の山中陰地に自生する多年生草本にして、莖高さ60-90糎(2-3尺)許に達し、莖葉共に瘤刺を散生す。葉は稍卵形にして先端尖り緣邊には疎大なる銳鋸齒を有す。此の葉は長き葉柄によりて莖に互生す。雌雄同株なり。夏日小形にして花冠を有せざる淡綠色の花を着生し、單性なり。雌性穗狀花序は梢頭に着生し、疳長にして疎花を着け、雌柱頭は疳長にして有毛なり。雄性花序は下部にありて、花被片は5箇を有し、雄蕊も亦5箇を具へ、花被に着生す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

3. ムカゴイラクサ屬　LAPORTEA.

5515. **むかごいらくさ**（20圖版-174）…… イラクサ科
Laportea bulbifera, *Wedd.*

（異名）ぎょくしゅくさう　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し，莖葉共に紫刺を散生す。葉は長き葉柄を具へ，狭長にして粗齒牙緣を有す。夏日葉腋に 1 或は 2-3 の肉芽を腋出し，雌雄同株或は異株なり。雌花は梢頭に細莖を出し，每梗 3 花づゝを穗狀花序に綴る。花被は 4 裂し，花柱は線形をなす。雄花は梢葉腋每に細莖を出し，多く分枝して綠色の細花を點綴し，花被片は 4 乃至 5 箇を有す。花後生ずる瘦果は斜形にして扁平なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5516. **おほばむかごいらくさ** …… イラクサ科
Laportea grossedentata, *C. H. Wright.*

〔形態〕北海道に自生する多年生草本にして，根は塊狀紡錘形をなし，莖は每春宿根より直生して高さ 60 糎（2 尺）許に達し，刺毛を有せず。葉は卵圓形にして先端尖り，基脚心臟形をなし，粗齒牙緣を有す。托葉は淸落生なり。雌花は莖頭に簇生して圓錐花序をなし，花被は 4 裂し，裂片は內外 2 樣にして，子房は長橢圓形なり。雄花は梢葉腋に生じて圓錐花序をなし，花被の外面に短毛を布く。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

4. ミヅ屬　PILEA.

5517. **みづ**（20圖版-175）…… イラクサ科
Pilea Hamaoi, *Makino.*

〔形態〕沼澤の陰地に自生する一年生草本にして，莖高さ 6-30 糎（0·2-1 尺）許に達し，莖葉共に多汁にして其質柔く，淡綠色を呈す。莖は枝を分ち，葉は略菱狀卵形をなして先端尖り，鈍齒牙緣を有し，長き葉柄により稍著しき節に對生す。托葉は廣橢圓形にして小なり。夏秋の候，各葉腋に短梗の小花を簇出し，聚繖花序をなして排列し，雌雄花混生す。苞は三角狀卵形をなし小苞は鞭形をなす。雄花は細小にして，膜質の花被片 2 箇を有し，雄蕊も亦 2 箇にして閉在す。雌花は短梗を有し，花被片は 3 箇を具へ，內 2 片は大きく他は小なり。瘦果は卵形，銳尖頭にして側扁せられ，宿存花被片より稍短し。〔花色〕白色淡黃にして綠暈を帶ぶ。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5518. **こけみづ**（20圖版-176）…… イラクサ科
Pilea peploides, *Hook.* et *Arn.*

〔形態〕山地の陰濕地に自生する一年生の小草本にして，高さ 3-6 糎（1-2 寸）に達し，莖葉共に毛を有せず，多肉にして柔軟なり。葉は稍菱狀圓形にして，先端鈍く，全緣にして長き葉柄によりて對生す。夏日梢上葉腋に淡綠色の小花を密攢す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

5519. **みやまみづ**（20圖版-177）…… イラクサ科
Pilea petiolaris, *Blume.*

〔形態〕山地・原野等の陰地に自生する草本にして，概形前種ミヅに酷似すれども，稍大形にして高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は橢圓形或は卵狀長橢圓形にして先端銳く尖り，3 行脈を具へ，表面には稍軟刺毛を散生す。緣邊に粗鈍鋸齒を有し，長柄によりて對生す。秋日葉腋上に細莖を出し，橫に延びて分叉し，白色にして淡黃綠色暈を伴へる小花を圓錐花序に排列し，花序は葉柄より短形なり。〔花色〕白色・淡黃綠色暈を伴ふ。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

5520. **しまみづ** …… イラクサ科
Pilea cuneatifolia, *Yamamoto.*

〔形態〕琉球に自生する草本なり。莖は基脚伏臥生にして節を有し，各節每に根を生じ，莖の上部は斜上直生す。葉は長橢圓形或は長橢圓狀菱形にして，先端尖り，鋸齒緣をなし，長柄によりて對生す。3 行脈を有し，上面には粗毛を散生し，下面は無毛にして，兩面に虫樣の小體散在し，托葉は膜質にして葉腋の下に生ず。雌雄異株なり。雄花は聚繖狀をなして腋出し，單生或は双生し，花被は稍整齊にして 4 裂す。雄蕊は 4 箇を有し，子房は不完全にして小さく，剛毛狀をなす。〔分布〕琉球（八重山）。

5521. **あをみづ**（20圖版-178）…… イラクサ科
Pilea viridissima, *Makino.*

〔形態〕籔澤等の陰地に自生する一年生草本にして，莖高さ 15-18 糎（5-6 寸）より 60 糎（2 尺）許に達し，莖葉共に無毛種に屬す。莖は柔軟多汁にして平滑なり。葉は膜質・卵形或は菱狀卵形にして，尾狀銳尖頭・楔脚をなし，緣邊に齒牙を有し，長き葉柄によりて莖に對生す。托葉は小形にして透明質なり。花は小形の單性花にして，花冠を缺き，聚繖花序に排列す。花序は密簇して腋出し，無梗にして葉柄より短く，雌雄花を混生し，苞及小苞は共に細小なり。雄花は小形にして淡紅色をなし，花被は 2 裂し，雄蕊 2 箇を具ふ。雌花は更に小形にして綠色を呈し，花被は 3 裂し，假雄蕊 3 箇を伴ふ。子房は廣長橢圓形をなし，柱頭は刷子狀を呈し，花後生ずる瘦果は卵形滑澤にして，側扁せらる。〔分布〕本州各部・九州。

91 ふんきこみづ　　92 ぜんねんみづ

5522. **ふんきこみづ**（白圖-91）…… イラクサ科
Pilea funkikensis, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する草本にして，莖は直生し單一，高さ 0·6-1·8 米（2-6 尺）許に達す。葉は長き葉柄を有し，紙質・卵狀橢圓形或は長橢圓形にして，短尾狀銳頭をなし，疎細鋸齒緣を有し，3 行脈を具ふ。〔花色〕淡綠色。〔分布〕臺灣。

5523. **ぜんえんみづ**（白圖-92）…… イラクサ科
Pilea kankaoensis, *Hayata.*

〔形態〕一年生の液質草本にして，莖高さ 15-24 糎（5-8 寸）に達す。葉は長柄を有し，葉身は卵狀或は卵狀長橢圓形にして先端尾狀・鈍端をなし，基脚は鈍或は楔脚にして全緣なり。この葉は合生せる托葉を有す。雌雄異花にして，雌花は房狀圓錐花序をなし，有梗にして腋出し，雄花は無梗にして，雄蕊 4 箇を有す。花被は 4 裂し，各裂片は不同なり。果實は瘦果にして，斜卵狀長橢圓形をなす。〔分布〕臺灣。

5. ヒカゲミヅ屬　PARIETARIA.

5524. **ひかげみづ**（白圖-93）…… イラクサ科
Parietaria debilis, *Forst.* var. micrantha, *Wedd.*

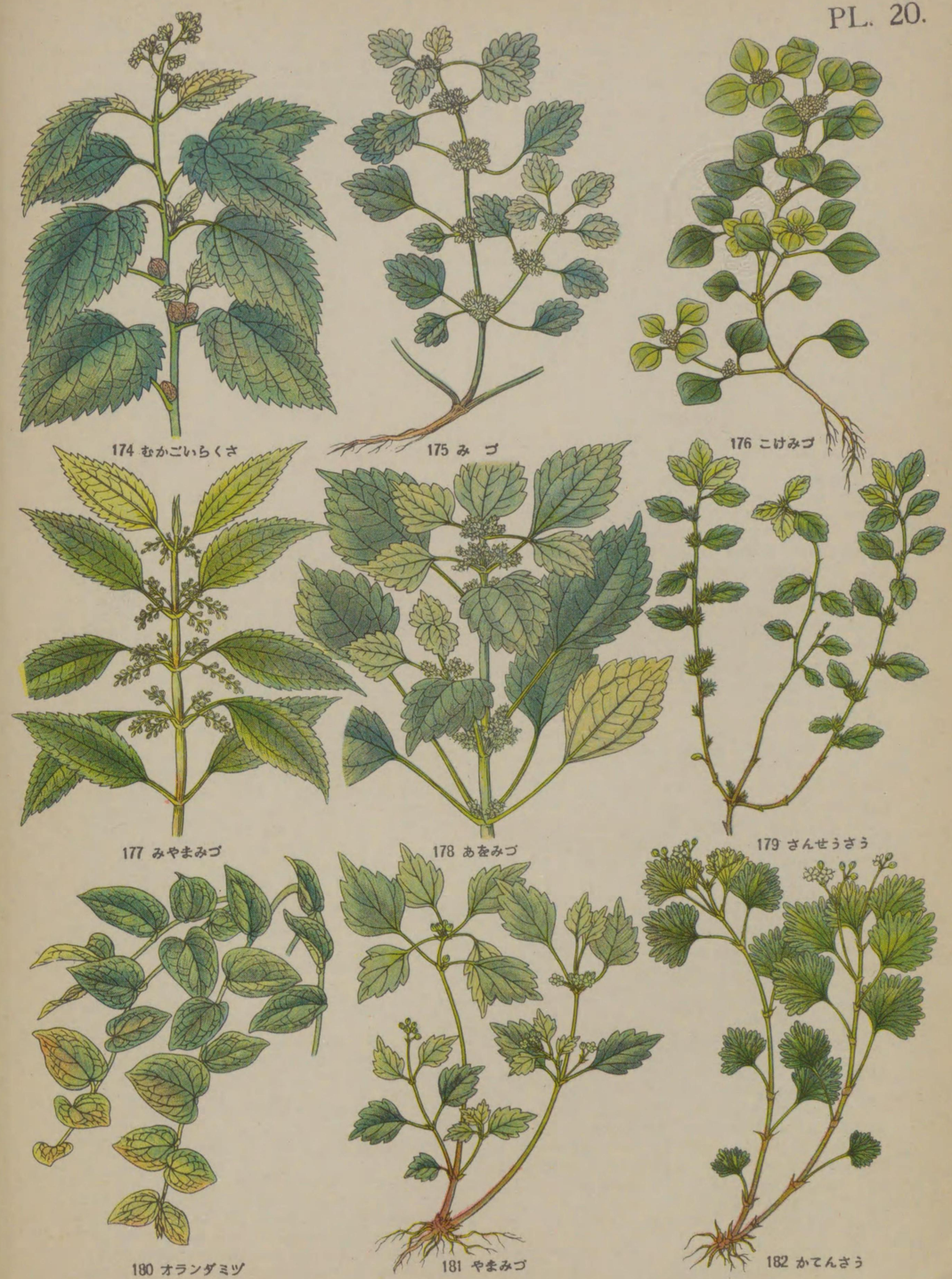
〔形態〕山間の陰地に自生する一年生草本にして，莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）より 30 糎（1 尺）內外に達し，莖葉共に毛茸を散生す。莖は直生或は伏臥生にして細く，共質柔軟なり。葉は廣卵形或は心臟形にして，膜質・全緣をなし長き葉柄によりて互生す。花は細微にして花冠を缺き，聚繖花序に排列す。花序は腋出し，單性・兩性花を交へ，少數花を着生す。苞は線形にして，雄花は花被片及雄蕊共に 3-4 箇を具へ，雌花の花被は筒形にして先端 4 裂す。子房は直生し，柱頭は筆毛狀をなす。果實は瘦果にして，宿存せる花被によりて被はる。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

6. サンセウサウ屬　PELLIONIA.

5525. **さんせうさう**（20圖版-179）…… イラクサ科
Pellionia minima, *Makino.*

（異名）はひみづ・さんせうづる　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，全株細毛を布く。莖は滑澤にして紫色を帶び，地上を匍匐して伸長し處々に細根を生ず。葉は葉柄を有し，形は略山椒の葉の如く橢圓形にして，鈍鋸齒・斜鈍脚を有して互生す。托葉は線狀鞭形をなし，雌雄異株なり。雌

PL. 20.



174 むかごいらくさ　175 みづ　176 こけみづ
177 みやまみづ　178 あをみづ　179 さんせうさう
180 オランダミヅ　181 やまみづ　182 かてんさう

性聚繖花序は腋出し，密花を排列す。總苞片は鑿狀披針形にして，不同の5花被片を有し，花被片より遙に短き假雄蕊を伴ふ。果實は瘦果にして，廣橢圓形をなし，瘤起多し。雄花につきては未だ詳かならず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部·四國·九州。

5526. おほさんせうさう …… イラクサ科
Pellionia radicans, *Wedd.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖は細長く，匍匐生にして，處々に根を生じ，長さ 30–90 糎（1–3 尺）許に達す。葉は斜卵形或は橢圓形にして先端尖り，緣邊に鈍鋸齒を有す。雌雄異株なり。雌性聚繖花序は無梗にして密花を攢簇し，花被片中2片は長鑿狀銳尖頭をなして他片より數倍大なり。雄性聚繖花序は長梗を有し，疎花を着生す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

93 ひかげみづ　　94 きみづ

5527. **きみづ**（白圖-94）…… イラクサ科
Pellionia scabra, *Benth.*

〔形態〕本邦各處の 濕地に自生する 多年生草本にして，莖高さ 45–90 糎（1·5–3 尺）に達す。莖は基部硬く稍灌木狀を呈し，葉は長卵形或は長橢圓形にして先端尖り，緣邊の上半部には疎なる鋸齒を有す。上面は糙澁にして下面には短毛を布き，互生す。雌雄異株なり。花は小形の單性花にして黃綠色を呈し，何れも花冠を缺き，梢上葉腋に聚繖花序をなして着生す。雄性花序は有梗にして疎花を着生し，雌性花序は無梗にして密花を着く。花後生ずる果實は瘦果なり。〔花色〕黃綠色。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

5528. **オランダミヅ**（20 圖版-180）…… イラクサ科
Pellionia Daveauana, N. E. Br.

（異名）モヤウガラクサ·ハナビサウ　〔形態〕温室内に普通栽培せらるゝ外來の多年生伏臥生草本にして，長さ 30–60 糎（1–2 尺）に達し，莖は液質にして，梢部には短毛を布く。葉は葉柄を缺き，葉身は斜長橢圓形或は圓形·鈍頭にして鈍齒牙緣を有し，外觀頗るベコニアに類似し，左右不對照形にして且つ多肉性なり。開葉の初めは銅色を帶びたる淡綠色なるも，老成するに從ひ，中央部は順次白質となり，周緣は綠色を帶び，更に老成したるものは暗綠色に變じて腐朽す。花は莖の基部に近く抽出し，共形花火に似たるを以て俗にハナビサウと稱せらる。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。
〔原産地〕亞細亞「ビルマ」。
人生との關係　鉢植として栽培し，觀賞愛玩用に供せらる。尙本種は半陰地を好み，繁殖は挿芽による。濕氣多き温室内を好む。

7. ヤマミヅ屬　ACHUDEMIA.

5529. **やまみづ**（20 圖版-181）…… イラクサ科
Achudemia japonica, *Maxim.*

（異名）ひめみづ·つるみづ　〔形態〕山地·溪流附近に自生する一年生草本なり。莖は根より數莖を簇生し，高さ 9–12 糎（3–4 寸）に達す。葉は菱狀卵形にして，上半部の緣邊には粗大なる鋸齒を有し，長き葉柄によりて對生す。花は單性にして，何れも花冠を缺き，形細小にして，花軸の頂に數箇づゝ着生し，聚繖花序をなす。花序は長梗を有し，頂生或は腋出し，往々葉より長く，雌雄花混生なり。雄花に於ては花被は4裂して淡紅色を呈し，對生せる4雄蕊を具へ，雌花は細小にして，花被は5深裂し，綠色を呈す。花後生ずる果實は瘦果なり。〔花色〕淡紅色·綠色。〔花候〕夏-秋。
〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

8. シマミヅ屬　LECANTHUS.

5530. しまみづ …… イラクサ科
Lecanthus Wightii, *Wedd.*

〔形態〕臺灣に自生する 伏臥生草本にして，高さ 15–18 糎（5–6 寸）より 45 糎（1·5 尺）許に達す。莖は柔く液質をなし，葉は膜質·菱卵形にして，銳頭或は銳尖頭·全緣或は粗鋸齒緣をなして對生す。托葉も亦膜質·全緣若しくは鋸齒緣をなし，雌雄異株なり。頭花は有梗叉稀に之を有せず，花托は肉質にして盤狀をなす。雌花は細小にして不同なる花被片3箇を有し，雄花は花被片 4–5 箇を具ふ。花後結ぶ瘦果は稍壓扁せらる。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

9. カテンサウ屬　NANOCNIDE.

5531. **かてんさう** 山歸來（20 圖版-182）…… イラクサ科
Nanocnide japonica, *Blume.*

（異名）ひしばかきどほし·さんきらい·しばかきどほし　〔形態〕山麓陰地等に自生する多年生草本にして，莖は方形をなし，高さ 15–30 糎（0·5–1 尺）內外に達し，質は軟弱なり。葉は長き葉柄を有し，葉身は稍楔形にして，先端鈍く，緣邊に鈍齒牙を有して互生し，葉柄の基部に卵形の2小托葉を伴ふ。4月頃梢上葉腋に花莖を抽出し，綠紫色の單性花を攢簇す。雄花は梢頭に複繖形花序をなして着生し，花被片及雄蕊各5箇を有し，總苞は短小なり。雌花は葉腋に攢簇し，花被片4箇を具へ，頂端に長翼毛を生ず。花後宿存花被片と略同長なる卵形の胞果を結ぶ。〔花色〕綠紫色。〔花候〕春。
〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球·臺灣。

5532. やへやまかてんさう …… イラクサ科
Nanocnide lobata, *Wedd.*

〔形態〕琉球に自生する一年生草本にして，莖は細長く伏臥生なり。葉は3-5裂せる廣橢圓形或は廣卵形にして，兩面に毛茸を生じ，葉柄の基部に卵形の托葉を伴ふ。花は聚繖花序をなして排列し，花序は腋出して小形なり。
〔分布〕琉球。

10. ウハバミサウ屬　ELATOSTEMMA.

5533. ひめうはばみさう …… イラクサ科
Elatostemma umbellatum, *Blume.*

〔形態〕山地に自生する多年生の小草本にして，概形前種ウハバミサウに似て全體小形なり。葉は葉柄を缺き，葉身は稍斜狀卵形を呈し，3–5 對の側脈を具へ，先端は尾狀銳尖にして，緣邊に粗齒牙を有す。雌花は花梗を缺き 8–12 花を着け，雄花は有梗にして 7–10 花を聚生し，總苞片は共に線形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

5534. **うはばみさう**（21 圖版-183）…… イラクサ科
Elatostemma umbellatum, *Blume.* var. involcuratum, *Makino.*

（異名）みづな·くちなはじゃうご·ひかごみづ（秋形）　〔形態〕深山·溪谷等の陰地に自生する草本にして，莖は 30 糎（1 尺）許に達し，通常直生することなく斜上生なり。葉は淡綠色にして，稍斜長橢圓形或は倒卵形をなし，先端は尾狀銳尖頭·緣邊に粗鋸齒を有し，5–9 對の側脈を具へ，長き葉柄によりて莖に互生す。4–5 月頃，葉腋に 淡黃綠色を呈する 小形なる單性花を開く。雄花は長梗を有し 5–13 花を簇生し，雌花は 6–20 餘花を聚生す。秋に至れば葉腋に肉芽を生じ，莖部も各節より分離し，各1株となりて繁殖す。本植物を蛇過ちて食するときは，蛇身溶けて消滅するとの俗言によりウハバミサウの和名ありと云ふ。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。
〔分布〕北海道·本州·四國·九州。
人生との關係　嫩苗を採り燒でゝ菜料となし，又漬物として食用に供す。北越及佐渡地方の人士は殊に嗜食すと云ふ。

5535. ひめうはみづさう …… イラクサ科
Elatostemma minutum, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する伏臥生の小草本なり。葉は兩面に粗毛を密生し，形は倒卵形·鈍頭·斜脚をなし，緣邊に鈍鋸齒を有し，葉柄によりて互生す。

雄花は腋出して6-10花を聚繖花序に排列し，外苞・中苞・内苞各3形をなす．花被片は倒卵狀線形にして5片を有し，雄蕊ホ5箇を具ふ。雌花は鏃形をなし，花托内に簇生し，苞は細小なり。花後卵形の瘦果を生じ，點紋を有す。〔花色〕淡綠色。〔分布〕臺灣。

95 ひろはのきみづ　96 ほそばのきみづ

5536. **ひろはのきみづ**（白圖-95）…… イラクサ科
Elatostemma edule, *C. B. Rob.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，葉は短き葉柄を有し，葉身は長橢圓形或は斜橢圓狀倒卵形をなし，先端鋭く尖り，膜質なり。花序は長さ0·9-1·2糎（3-4分）許ありて扁球形をなし，黄綠色にして花瓣は白色なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

5537. **ほそばのきみづ**（白圖-96）…… イラクサ科
Elatostemma lineolatum, *Wight.* var. major, *Thw.*

〔形態〕本種も亦臺灣に自生する多年生草本なり。莖は多くの枝を分ち，無毛なるか或は甚毛を布く。葉は長橢圓形にして先端尖り，緣邊に粗鋸齒を有し，長さ7·5-12糎（2·5-4寸）許に達し，概ね葉柄を缺く。花托は小球形をなし，單生又は簇生す。總苞片は圓形をなして基脚往々合着す。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

5538. **おほきみづ** …… イラクサ科
Elatostemma tumidula, *Koidz.*

〔形態〕九州に自生する亞灌木にして，高さ60-90糎（2-3尺）に達す。莖は梢部に於て多くの枝條を叢生し，慢毛を密布す。葉は厚膜質・斜長橢圓狀披針形にして，上半部に粗鋸齒緣を有し，下面は葉柄と共に慢毛を布く。雄花は腋出或は無葉の結節に攅簇し，苞は卵形にして多數を具へ，花被片も亦卵形にして4箇を有し，苞と共に各背面に絨毛を生ず。雄蕊は4箇を具へ，花糸は花被片より長し。〔分布〕九州（大島）。

5539. **ときほこり**（21圖版-184）…… イラクサ科
Elatostemma nipponica, *Makino.*

〔形態〕路傍・陰濕の地に自生する一年生の伏臥生草本にして，莖は概ね枝を分ち，乾燥すれば暗綠色を呈し，高さ15-18糎（5-6寸）に達す。葉は膜質・長橢圓狀披針形にして，緣邊の上半部には粗鋸齒を有し，先端鋭尖頭をなして互生す。夏秋の候，梢葉腋に淡綠色を呈する多數の單性小頭花を簇生し球形を呈す。雄性頭花は無梗或は短梗を有し，廣卵形の總苞片を伴ひ，花被片は雄蕊と共に各4-5箇を有し，雌性頭花は雄性頭花と稍同形にして，總苞片に短毛を布く。花被片は3-5箇を有して宿存生なり。花柱は筆毛狀を呈し，花後生ずる瘦果は，橢圓形にして細小なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

5540. **やまときほこり** …… イラクサ科
Elatostemma lactevirens, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する草本にして，概形前種トキホコリに酷似すれども，其異る所は，彼の一年生なるに對し，本種は多年生にして，且つ高さ30糎（1尺）以上に達し，莖は通常單一にして，乾燥するも暗綠色を呈せず，鮮綠色なるを異れりとす。〔分布〕邦内各地。

11. アコウクハクサ屬　FLEURYA.

5541. **あこうくはくさ**（21圖版-185）…… イラクサ科
Fleurya interrupta, *Gaud.*

〔形態〕臺灣に自生する一年生草本にして，高さ0·6-1·2米（2-4尺）に達し，莖葉共に毒性を含有する刺毛を散生す。葉は長さ4·5-15糎（1·5-5寸）許に達し，稍3行脈を具へ，心臟狀卵形・鋭尖頭をなし，粗鋸齒緣を有す。花は單性にして腋出せる圓錐花序に排列し，雄花は卵狀披針形をなせる花被片4-5箇を具へ，雄蕊ホ4-5箇を有す。雌花の花被は杯狀を呈して先端4裂し，子房は斜形，花柱は不齊に3裂す。花後斜形にして壓扁せられたる瘦果を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

12. マヲ屬　BOEHMERIA.

5542. **マ　ヲ**　苧麻（21圖版-186）…… イラクサ科
Boehmeria nivea, Sieb. et Zucc.

（異名）カラムシ・シロウ・ヒウジ・コロモグサ　〔形態〕到る處の山野に自生多き多年生草本なれども，亦園圃に耕作せらるゝ歸化植物にして，莖は稍木質を呈し，高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達す。春日宿根より莖を抽き，葉柄と共に細毛を密布す。葉は稍圓形をなして先端尖り，鈍齒牙緣を有し，長さ7·5-15糎（2·5-5寸）許に達し，上面縐澁にして，下面白綿毛を密布し，長柄によりて互生す。夏秋の候，淡綠色にして，花冠を缺ける單性花を圓錐花序に排列し，花序は腋出して葉柄より短し。雌雄同株にして，雄性の穗狀花序は下部に位し，花被は4裂して各裂片は卵形をなし，4箇の雄蕊を具ふ。雌性穗狀花序は上部にありて，花被は筒形をなし，毛茸を生じ，花柱は挺出す。花後長橢圓形にして壓扁せられたる瘦果結び，有毛なり。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱・溫帶亞細亞。

人生との關係　本植物の莖の皮部を採取精製して，絲・繊物の原料に供す。「リンネ」と稱する繊物は，本植物の一變種「ラミー」（Ramie）より製したるものなれども，本邦にては，多く本植物の繊維を精製したるものを原料となす。

5543. **らみー**（21圖版-187）…… イラクサ科
Boehmeria nivea, *Sieb.* et *Zucc.* var. candicans, *Wedd.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして，莖は肚大なり。葉は長き葉柄を具へ，廣卵形或は橢圓狀圓形にして先端尖り，緣邊は鈍齒牙狀鋸齒を有し，下面綠色或は白毛を布く。托葉は披針形にして，毛緣をなして離生し，花は房狀圓錐形をなして着生す。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

人生との關係　本植物の繊維を精製して，諸種繊物の原料に供すること，前種マヲに似て，遙に需要多く且つ品質優良なるものなり。

5544. **くさまを**（21圖版-188）…… イラクサ科
Boehmeria nivea, *Sieb.* et *Zucc.* var. concolor, *Makino.*

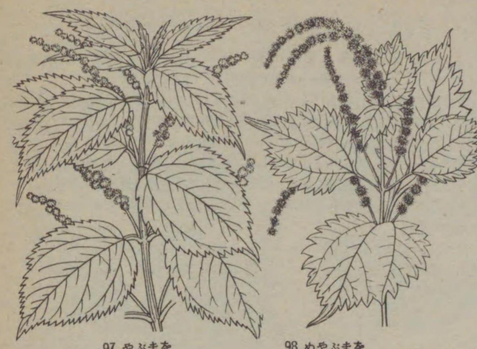
（異名）あをからむし・ながばのやまぶきまを　〔形態〕各地に自生する草本にして，莖高さ30糎（1尺）許に達す。葉は卵形或は長卵形にして，緣邊に鋸齒を有し，下面は全く無毛なるか或は稍綿毛を布き，其質軟弱なるを特徴とす。花は單性にして花冠を缺き，雌雄同株に生ず。果實は小形の瘦果なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部・臺灣。

5545. **やぶまを**（白圖-97）…… イラクサ科
Boehmeria japonica, *Miq.*

（異名）まを・おにやぶまを　〔形態〕各地の原野に自生する多年生草本にして，莖高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達し，概形イラクサに酷似すれども，莖葉に刺すが如き刺なく，唯細くして短き多くの毛茸を有するのみ。葉は稍剛厚・皺質にして，粗糙なるを以て容易に區別することを得べし。夏日每葉腋に12-15糎（4-5寸）許の花莖を抽き，花被を有せざる淡黄褐色の單性小花を穗狀に綴る。雌雄同株にして，雄性の花序は下部に，雌性の花序は上部に腋出し，共に細長にして長さ12-15糎（4-5寸）許を有す。雄花及雌花は1苞の上に簇生し，雌花に於て心皮は1箇を有し，有毛筒狀の花被に包まれ，雄花は雄蕊2-3箇を有し，花被は先端2-3裂す。〔花色〕淡黄褐色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5546. **めやぶまを**（白圖-98）…… イラクサ科
Boehmeria japonica, *Miq.* var. platanifolia, *Maxis.*

（異名）やまそ　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，莖高さ60-90糎（2-3尺）に達す。葉は薄質・卵形にして，粗大なる鋸齒緣を有し，先端



97 やぶまを　98 めやぶまを

3裂し，頂片は他片より超出せず。細き葉柄によりて對生し，莖と共に細毛を生ず。夏日花冠を缺ける小形の單性花を長き穗狀花序に排列し，花後瘦果を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5547. **ながばやぶまを** …… イラクサ科
Boehmeria Sieboldiana, *Blume.*

〔形態〕各地に自生する多年生草本にして，枝條及葉柄は縐澁なり。葉は3行脈を有し，膜質にして，稍圓形或は卵狀披針形をなし，先端鋭く尖り，緣邊に鈍齒牙を有し，葉柄によりて莖に對生す。花は單性にして，花冠を缺き葉より短き穗狀花序に排列し，雌雄異株なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5548. **おにやぶまを** …… イラクサ科
Boehmeria holoserisea, *Blume.*

（異名）のまを・をり　〔形態〕暖地に自生する亞灌木にして，莖葉共に短毛を布く。葉は剛厚にして3行脈を有し，形は稍卵圓形にして，鋭頭・圓脚をなし，緣邊に粗齒牙を有し，葉柄によりて莖に對生す。花は單性にして腋出せる穗狀花序に排列し，雄性花序は圓錐狀をなし，雌性花序は圓柱形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5549. **もくまを**（21圖版-189）…… イラクサ科
Boehmeria densiflora, *Hook.* et *Arn.*

（異名）やなぎばやぶまを　〔形態〕暖地の山麓・平野に自生する亞灌木にして，高さ1·5-1·6米（5-6尺）に達し，全株細毛を密布す。葉は葉柄を有し，卵狀披針形或は披針形にして，3行脈を具へ，先端鋭尖・基脚圓形をなして細鋸齒緣を有し，兩面は縐澁にして毛茸を生ず。夏日葉腋より葉と稍同長なる穗狀花序を出し，綠白色の單性花を密攅して着生す。雌雄同株にして，雄花に於ては花被3-5裂し，雄蕊ホ3-5箇を具へ，雌花は2-4箇の齒緣を有する花被を具へ，花後生ずる果實は瘦果なり。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

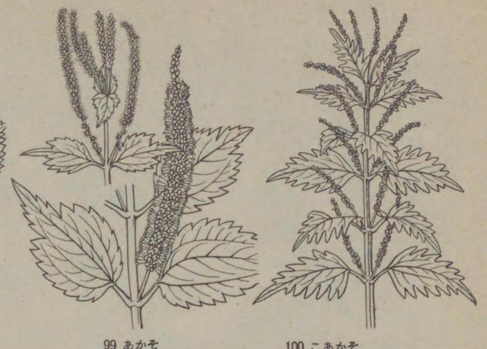
5550. **をがさはらもくまを** …… イラクサ科
Boehmeria boninensis, *Nakai.*

〔形態〕小笠原に自生する灌木にして，莖は單生若しくは枝を分ち，葉は葉柄を有し，葉身は卵形或は線狀長橢圓形にして，3行脈を具へ，鋭尖頭・圓脚をなし，緣邊に粗鋸齒を有す。上面には慢毛散生し，下面脈上に短毛を生ず。花は單性にして，雌雄異株に生じ，雄性穗狀花序は葉腋より抽出し，稍接續生の花團を簇生す。花被は4裂し，各裂片は毛緣をなして鑷列し，先端内方に反捲し，雄蕊は花被片に對生す。雌花につきては未だ詳ならず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島。

5551. **あかそ**（白圖-99）…… イラクサ科
Boehmeria tricuspis, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖は叢生し，葉柄と共に赤色を帶び，高さ60-90糎（2-3尺）許に達す。葉は葉柄を有し，圓形にして粗鋸齒緣を具へ，先端は龜尾狀尖頭を呈し，基脚圓形或は楔脚をなして長さ3-6糎（1-2寸）に達す。夏日葉腋に淡黄綠色の單性花を，穗狀花序に排列す。雌雄同株にして，雄性花序は下部に，雌性花序は上部に腋出す。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

人生との關係　莖の皮部より繊維を採取し，麻絲の如き絲を製す。



99 あかそ　100 こあかそ

5552. **こあかそ**（白圖-100）…… イラクサ科
Boehmeria spicata, *Thunb.*

（異名）きあかそ　〔形態〕山地の岩石上等に自生する木本狀の多年生草本にして，莖葉共に細毛を散生す。莖は硬くして赤色を呈し，分岐して高さ60-90糎（2-3尺）に達す。葉は葉柄を具へ，菱狀卵形にして，緣邊尖鋭なる粗大鋸齒を有し，先端尾狀をなして伸長するの性あり。7-8月の候，葉腋に細長き花軸を出し，淡紅色の單性花を疎長なる穗狀花序に排列す。花團は隔離生にして花は疎なり。雌雄同株にして，雌性花序は上部に，雄性花序は下部に生ず。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

5553. **たいわんこあかそ** …… イラクサ科
Boehmeria spicata, *Thunb.* var. duplosserrata, *Wright.*

〔形態〕臺灣に自生する前種コアカソの一種にして，葉は重鋸齒緣をなすものなり。〔分布〕臺灣。

5554. **らせいたさう**（21圖版-190）…… イラクサ科
Boehmeria Splitgerbera, *Koidz.*

（異名）びろうどからむし・やはすからむし・びろうどさう
〔形態〕本邦の稍北部海岸地帶の砂地に自生する多年生草本にして，莖高さ60-90糎（2-3尺）に達し，共質硬くして稍灌木狀を呈し，全株縐澁なり。葉はヤブマヲに似て更に剛厚・粗澁にして稍皺縮し，且つ細密なる網脈を有す。夏日葉腋に淡黄色の小單性花を穗狀花序に排列す。花穗は扨長にして隔離生なり。雌雄同株にして，雄性花序は下部に位し，雌性花序は上部にあり。〔花色〕淡黄色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

13. ツルマヲ屬　MEMORIALIS.

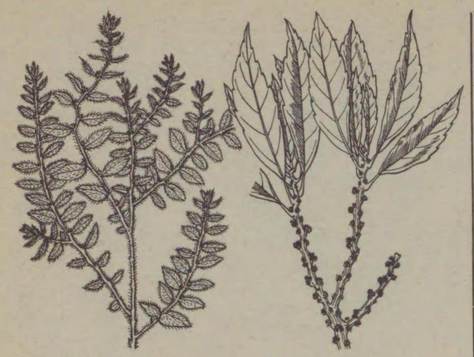
5555. **つるまを**（21圖版-191）…… イラクサ科
Memorialis hirta, *Wedd.* (*Pouzolzia hirta, Hassk.*)

（異名）しきんどう・あづまぐさ　〔形態〕各地の原野・路傍等に自生する多年生草本にして，莖は地に傾臥して長く蔓延し，先端上昇して，高さ15-90糎（0·5-3尺）許に達し，全株概ね有毛なり。葉は披針形或は廣披針形・全緣にして，鋭尖頭・圓脚或は心脚をなし，通常無柄なるも時に短柄を有し，長さ3糎（1寸），幅1·5-1·8糎（5-6分）許あり。表面は縐澁にして著しき3-5行脈を具へ，托葉を伴ふ。7-8月の頃，梢上葉腋に白黄色を呈する小形の單性花を攅簇す。雌雄同株にして，雄花は上部，雌花は下部に簇生し，雄花は花被片及雄蕊各5箇を有し，雌花は筒形をなせる花被を具へ，心皮は1箇花柱は2箇を有す。瘦果は黒色・滑澤にして披針形をなす。〔花色〕白黄色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

14. コケツルマヲ屬　POUZOLZIA.

5556. **こけつるまを** …… イラクサ科
Pouzolzia elegans, *Wedd.*

（異名）きだちまを・つるいはがね　〔形態〕海岸磧地に自生する小喬木にして，枝條は叢生して細長く，小柳毛を生ず。葉は葉柄を缺き，卵形・圓形或は心臟形にして，3行脈を具へ，齒牙緣を有して兩面に毛茸を生ず。花は葉腋より簇出して小形なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。



101 ありえひめまを　　102 うらいさう

5557. **ありえひめまを**（白圖-101）…… イラクサ科
Pouzolzia indica, *Gaud.* var. alienata, *Wedd.*

（異名）おばつるまを　〔形態〕本種も亦臺灣に自生する多年生草本にして，莖は直生若しくは伏臥生をなし，白毛を生ずるか或は無毛なり。葉は膜質・卵形にして先端鈍頭或は鋭頭をなし，葉柄によりて對生す。花は腋出して簇生し，剛毛を有す。雄蕊は概ね 4 箇を具へ，花後 2 裂せる嘴を有する瘦果を結ぶ。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

15. ウライサウ屬 PROCRIS.

5558. **うらいさう**（白圖-102）……… イラクサ科
Procris laevigata, *Blume.*

〔形態〕臺灣に自生する氣生亞灌木にして，高さ 0·6-1·5 米（2-5 尺）許に達す。莖は液質にして，莖葉共に毛を有せず。葉は短き葉柄を具へ，葉身は斜樣倒披針形にして先端尖り，全緣なるか或は上半部に鈍鋸齒を有し，長さ 15-24 糎（5-8 寸）許に達す。花は單性にして，雄性花叢は無梗をなし腋出し，雌花托は短柄を有す。花後生ずる瘦果は廣卵形にして，稍壓扁せらる。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

103 やなぎいちご　　104 はどのき

16. ヤナギイチゴ屬 DEBREGEASIA.

5559. **やなぎいちご**（白圖-103）…… イラクサ科
Debregeasia edulis, *Wedd.*

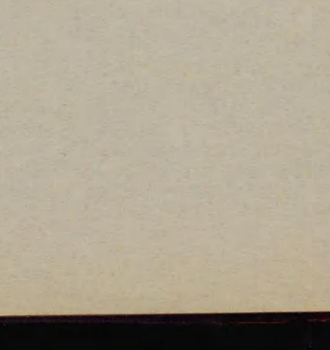
〔形態〕山野の陽地に自生する灌木狀草本なり。葉は互生し，披針形・鋭尖頭・鈍脚にして 3 行脈を具へ，緣邊に細鋸齒を有し，下面に灰白綿毛を密布す。聚繖花序は球形をなし，葉腋に生じ，總苞を有せず。雌花の花被は筒狀にして子房に着生し，花托は肉質・黃色を呈す。花後結ぶ果實は瘦果にして，成長するに從ひ肉質を帶び，球形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

人生との關係　6-7 月の候，成熟したる果實を採り，食用に供す。

17. ハドノキ屬 VILLEBRUNEA.

5560. **はどのき**（白圖-104）…… イラクサ科
Villebrunea pedunculata, *Shirai.*

（異名）はだら・はとばのき・かはしゃしゃぶ　〔形態〕暖地に自生する灌木にして，幼條には褐色毳毛を密布す。葉は長卵形にして先端尖り，表面に 3 行脈を有し，緣邊に鈍鋸齒を具へ，長き葉柄によりて互生す。花は小形の單性花にして，雌性頭花は長梗を具へ，花軸上に 8-12 箇を着生し，花梗は單一或は双岐して粗毛を生ず。果實は卵形にして基脚膨出し，液質にして腎臟形の花盤腹面に近く着生す。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球。



105 いはがね

5561. **いはがね**（白圖-105）…… イラクサ科
Villebrunea fruticosa, *Nakai.*

（異名）こせうぼく　〔形態〕暖地の山腹又は溪岸等に自生する小木本にして，莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し，若き枝には毛茸を生ず。葉は互生して長き葉柄及托葉を具へ，葉身は膜質にして披針形・長橢圓形或は卵形をなし，先端特に尖り，波緣又は細鋸齒緣を有し，下面には粉白を被ひ，又往々毛茸を生ず。春日綠白色の小形なる單性花を異株に生ず。雌花は短形の聚繖花序に排列し，花被は廣卵形にして，子房は花被に着生し，花柱は線形・花托は肉質なり。雄花は無梗にして簇生す。〔花色〕綠白色。〔花候〕早春。〔分布〕九州・臺灣。

5562. おほいはがね …… …… イラクサ科
Villebrunea trinervis, *Wedd.*

〔形態〕臺灣に自生する灌木なり。葉は橢圓形或は卵狀橢圓形にして，短鋭尖頭・鈍脚をなし，3 行脈を具へ，下面に細毛を生ず。〔分布〕臺灣。

* * * * *

183 うはばみさう　　184 どきほこり　　185 あこうくはくさ
186 マヲ　　187 らみー　　188 くさまを
189 もくまを　　190 らせいたさう　　191 つるまを

2. くは(桑)科 MORACEÆ.

本科の植物は喬木或は灌木稀に多年生草本にして．通常乳様の汁液を含めども．草本には含有せざるものあり。又往々鐘乳體を有す。葉は葉柄を有し．通常互生又稀に對生して2枚の托葉を具ふ。花は單性をなし．通常腋生にして多數攅簇し．或は稀に單生す。雌雄同株若しくは異株なり。花冠は之を有するか或は之を缺き．萼は概ね4-5裂す。雄花は覆總狀花序・總狀花序・又は頭狀花序をなし．雄蕊は萼の裂片と同數にして．之と對生するか．又稀に1箇なることあり。雌花は頭狀花序・總狀花序又は聚繖花序をなし．又極めて稀に1箇を單生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り．花柱は1-2箇を有す。子房は下位又は上位にして．單室を有し．通常下垂せる半倒生或は倒生胚子1箇を含む。果實は小形にして薄膜を被り．或は核果様をなし．種子は胚乳を有するか或は之を缺く。

106 マグハ

本科には55屬．凡1000種の植物を有し．多く温帶及熱帶地方に分布し．本邦には9屬．凡50種許を産出す。

本科所載植物索引目次

アイギヨクシイタビ…5587
アヅキ…5563
アカウ…5550
アカギ…5569
アカメイヌビハ…5582
アコノキ…5589
アサ…5599
アマヅラ…5094
アメリカゴムノキ…5596
イタビカヅラ…5584
イチジク…5575
イチベイ…5563
イヌビハ…5576
インドゴムノキ…5593
インドボダイジュ…5591
ウスク…5589
ウドンゲ…5575
ヲガサハライヌビハ…5581
ヲガサハラグハ…5567
ヲナガグハ…5566
オブサ…5574
オホイタビ…5586
オホギ…5569
オホバイヌビハ…5582
オルドイヌビハ…5582
カイリヤウワセジフモンジ…5563
カウゾ…5571
カクワツガユ…5004
カシハゴムノキ…5595
カジマル…5588
ガジユマル…5588
カズ…5571
カゾ…5571
カヂノキ…5574
カナムグラ…5001
カミギ…5571
カミノキ…5574
カラハナサウ…5003
カラヤマグハ…5563
ガランビイヌビハ…5583
カンテンイタビ…5537
キクバ…5563
クハ…5569
クハクサ…5000
クモンソウ…5563
ケイヌビハ…5577
ケグハ…5568
コイチジク…5576
コゾノキ…5571
コヅタ…5586
コバンボダイジュ…5590
コマキ…5563
ゴムイチジク…5593
ゴムノキ…5593
ゴムビハ…5593
シダレグハ…5570
ジフモンジ…5563
シマイヌビハ…5583
シマグハ…5565
シロワセ…5563
タイワンイヌビハ…5579
タイワングハ…5565
タイワンマツ…5588
タウガキ…5575
タコワヒ…5563
ダンセイゴムノキ…5593
ツルイチジク…5584
ツルカウゾ…5573
ツルタ…5563
テンヂクボダイジュ…5591
トキハイヌビハ…5582
ドシヤ…5605
ナガミバンノキ…5598
ナンバンガキ…5575
ネズミガヘシ…5563
ノグハ…5568
ハチジヤウグハ…5564
ハラミツ…5593
ハリグハ…5605
バンノキ…5597
バンヤンジユ…5592
ヒゴヅタ…5585
ヒスカハイヌビハ…5582
ヒメイタビ…5585
ヒメカウゾ…5572
ヒメビタイ…5585
フイリゴムノキ…5594
ベンガルボダイジュ…5592
ホソエ…5563
ホソバイヌビハ…5578
ホツプ…5072
マグハ…5563
マムシカヅ…5574
マルミバンノキ…5597
ムキミカヅラ…5573
ムクイヌビハ…5580
ヤナギダ…5563
ヤマグハ…5569
ヤマナカタカスケ…5563
ヤマミカン…5604
ロソー…5563

1. クハ屬 MORUS.

5563. **マグハ** 桑（白圖-106）……クハ科
Morus alba, L.

（異名）カラヤマグハ　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ落葉喬木なれども又往々山野に自生し．幼條には短毛を布く。本植物は元來喬木性なれども．殊に栽培種にありては．年々枝條を刈り取らるゝを以て．長大に至るもの少し。葉は卵形或は卵狀心臟形にして．先端鋭く．緣邊に鋸齒を有し．往々種々に分裂するものあれども又分裂せざるものあり。何れも葉柄を有し．下面と共に短毛を布く。通常雌雄同株なれども又稀に異株なり。4月頃．葉と共に淡黄綠色の小形なる單性花を穗狀花序に排列す。雄性花序は長楕圓形にして．雄花は花被片並に雄蕊各4箇を有し．雌性花序は廣楕圓形にして雌花は花被片4箇を有し．花後肉質に變じ．花柱は短く．基脚合着せず。果實は楕圓形にして．外觀イチゴの果實の如く．熟すれば紫黒色を呈す。

〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係　本植物の葉は．蠶兒の飼料として缺くべからざるものなることは．何人も知悉する所にして．從て數多の變種を有す。其他材は諸種の細工物用に供し．果實は食用となし又釀造用に供せらる。藥効としては．根皮を剝離し．乾燥したるものを煎服するときは．痲病・消渇・利尿・祛痰に効ありと云ふ。

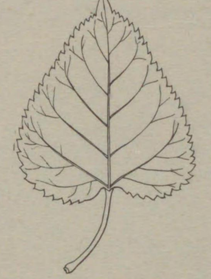
以下桑の栽培變種につき少しく記述すべし。

主なる桑の品種

（イ）**タゴワセ**（多胡早生）早生種。（白圖-107）上野國多胡郡の原産にして發芽早く．且つ葉の成育迅速なり。葉は大形・柔軟にして光澤を有す。2-3齢の蠶兒を飼育するに適す。

107 タゴワセ

108 イチベイ



109 カイリヤウワセ ジフモンジ

110 ヤナギタ

（ロ）**イチベイ**（市平）早生種。（白圖-108）福島縣伊達郡の人．市平なる者．實生より選出したる品種にして．沃土を好む。葉は大形にして良質なり。稚蠶の飼育に適す。

（ハ）**カイリャウワセジフモンジ**（改良早生十文字）早生種。（白圖-109）十文字種の栽培改良を加へたるものにして．稚蠶飼育上重要なるものなりとす。

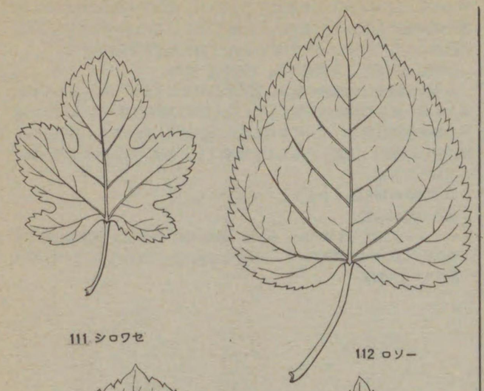
（ニ）**ヤナギタ**（柳田）早生種。（白圖-110）福島縣伊達郡の原産にして．早生種に屬す。葉は稍粗剛なれども．發芽早く．且つ霜害を蒙るも再び早く發芽するの特徴を有する品種なり。1-2齢の蠶兒の飼料に適し且つ赤3-4齢にも使用することを得べし。

（ホ）**シロワセ**（白早生）早生種。（白圖-111）

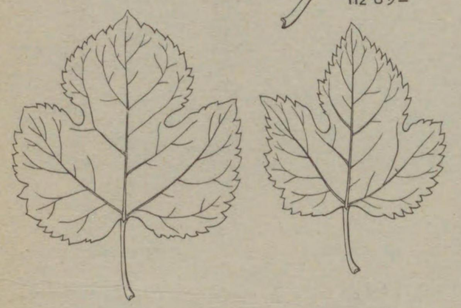
（ヘ）**ロソー**（普桑）中生種。（白圖-112）明治7-8年の頃．支那杭州府より輸入したる品種なり。葉は圓く大形にして光澤を有す。葉質柔軟にして．久しく硬化することなし。水分を含むこと多きを以て．4-5齢の蠶兒を飼育するに適す。中生種に屬すれども．發芽するごと早生種に似て早き品種なり。

（ト）**アカギ**（赤木）中生種。（白圖-113）奥羽地方に多く栽培せらるゝ品種にして．寒地には立通しとなすに適す。枝幹共に赤色を帶ぶるを以て赤木の名あり．葉は圓大にして摘採するに便なり。3齢以上の蠶兒を飼育するに適す。

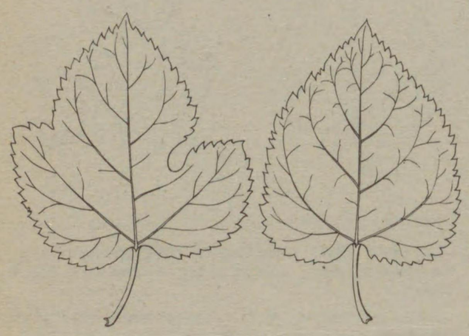
（チ）**コマキ**（小牧）中生種。（白圖-114）中生種中の晩生に屬し．發芽稍遲き品種なり。蔓は多くの枝を分ちて叢生し．茶褐色を呈す。葉は中等大にして5裂す耐寒性あれども　萎縮病に弱し。夏秋蠶用に適する種類なり。



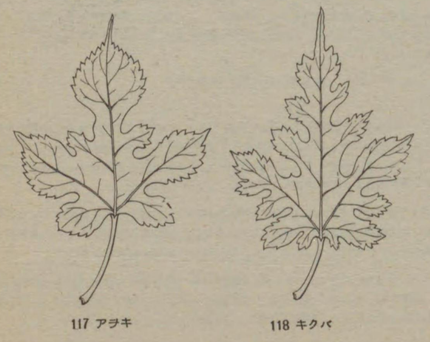
111 シロワセ　112 ロソー



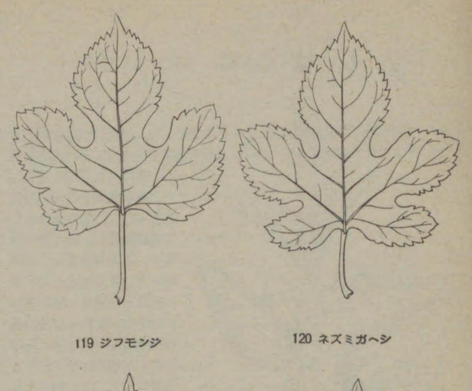
113 アカギ　114 コマキ



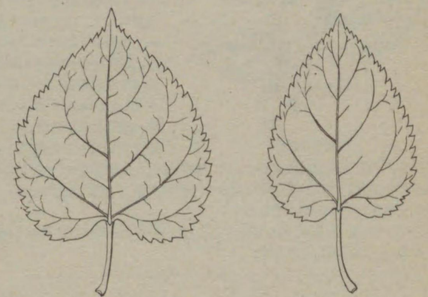
115 ツルタ　116 クモンリウ



117 アヲキ　118 キクバ



119 ジフモンジ　120 ネズミガヘシ



121 ヤマナカタカスケ　122 ホソエ

（リ）**ツルタ**（鶴田）中生種。(白圖-115) 福島縣の原産にして，又六郎高助とも稱せらる。葉は大きく柔軟にして光澤を帶び，肉厚くして收量多し。發芽期稍遲きを以て，4-5 齢の蠶兒の飼料に適す。

（ヌ）**クモンリウ**（九紋龍）中生種。(白圖-116) 滋賀縣伊香郡の原産にして，發芽甚だ早く，葉質亦柔軟なるを以て稚蠶より 5 齢に至るまでの飼料に適す。樹性沃土を好むを以て山間の栽培には適せざるなり。

（ル）**アヲキ**（青木）中生種。(白圖-117) 又單にコボレとも稱す。葉は缺刻を有し，肉薄く柔軟にして光澤を有し，硬化すること遲し。2-4 齢の蠶兒に適する品種なり。

（ヲ）**キクバ**（菊葉）中生種。(白圖-118) 信州の原産にして，葉は粗剛なれども山間地方に栽培して收穫多し。3-4 齢より 5 齢の初期までの蠶兒飼料に適す。

（ワ）**ジフモンジ**（十文字）晩生種。(白圖-119) 埼玉・群馬縣地方にて多く栽培せらるゝ品種にして，發芽極めて遲く，霜害にかゝること殆んどなきを以て，又「霜不知」とも稱せらる。葉は小形なるも害虫するを以て收量多し。葉質柔軟にして光澤あり。5 齢の蠶兒を飼育するに適す。

本種には尙ヤマグハ・シマグハ・ヌウグハ・ノグハ等と稱する種類あり。

（カ）**ネズミガヘシ**（鼠返）晩生種。(白圖-120) 晩生の品種にして，長野縣の原産なり。葉は小形にして薄く且つ密生し，枝條多きを以て收量亦多し。耐寒性に富むを以て，寒地に栽培してよく生育す。4-5 齢の蠶兒の飼料に適す。

（ヨ）**ヤマナカタカスケ**（山中高助）晩生種。(白圖-121) 福島縣の原産なれども，良種なるを以て，現今廣く各地に傳播栽培せらる。樹性強健にして，山間積雪の地にても好く生育繁茂す。葉は大形にして厚く，且つ光澤あり。4-5 齢の蠶兒の飼料に適す。

（ネ）**ホソエ**（細柄）晩生種。(白圖-122) 滋賀縣の原産種なり。葉は長く且つ柔軟にして枝條多し。發芽すること晩きを以て，4-5 齢の蠶兒の飼料に適す。

5564. **はちぢゃうぐは** …… クハ科
Morus Kagayamae, *Koidz.*

〔形態〕八丈島に自生する落葉灌木にして，葉は葉柄を具へ，葉身は卵形或は卵狀披針形にして大形なり。先端尾狀をなして鋭く尖り，緣邊に重鋭鋸齒又は鋭齒牙を有し，無毛にして，上面は滑澤，托葉は花穗と共に絨毛を生ず。花は小形なる單性花にして，穗狀花序に排列す。雄性花序は長梗を有し，長さ 3 糎（1 寸）許に達し，雌性花序は多くの花を簇生し，長楕圓形をなし，側面に無花部あり。雌花の花柱は長く合着し，柱頭は鞭狀絲形をなす。果穗は長楕圓形にして黒色を呈す。〔分布〕本州（八丈島）。

5565. **しまぐは** …… クハ科
Morus acidosa, *Gruff.*

（異名）たいわんぐは　〔形態〕暖地の山野に自生する落葉灌木にして，葉は稍鐮狀なる卵形にして，往々深裂し，先端は尾狀をなして鋭く尖り，緣邊に鋭鋸齒を有す。花は單性にして，雄花は楕圓形をなし有毛なる花被片を有し，雌花の花被片は倒卵形にして，外面に脊を有す。花柱は長く超出し毛茸を有して基脚合着す。果穗は球形或は長楕圓形をなし，果實は 7-8 月頃成熟して黒色を呈す。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

5566. **をながぐは** …… クハ科
Morus caudatifolia, *Koidz.*

〔形態〕山野に自生する亞喬木にして，枝條は地平に擴開し，疳長なり。葉は卵形或は廣楕圓形・滑澤にして，先端長尾狀をなして尖り，緣邊は稍不齊なる銳齒牙狀の鋸齒を具へ，又稀に不齊に分裂し，下面中肋に毛茸を散生す。花は單性にして，雌花は球形の花序をなし，花梗に細毛を密布し，花被片は圓卵形にして，花柱は高く合着す。雄穗は長さ 1·2-1·8 糎（4-6 分）許を有し，花梗に細毛を布く。花被片は廣楕圓形・鈍頭にして，4 箇の雄蕊を具ふ。果穗は液質にして球形をなし，成熟して黒色を呈す。〔分布〕本州中部。

5567. **をがさはらぐは** …… クハ科
Morus boninensis, *Koidz.*

〔形態〕小笠原に自生する落葉喬木にして，若き枝梢には細毛を散生す。葉は廣心臟形にして先端急に尖り，鈍齒牙緣をなし，下面葉脈に沿ひて毛茸を生じ，葉柄の基部には，披針狀線形にして外面に絨毛を布ける托葉を伴ふ。花は單性にして穗狀花序をなし，雌雄兩性共に有毛且つ有梗にして，蕾花を垂垂す。雄花は花被片 4 箇を有し，長楕圓狀卵形にして，外面に細毛を密布し，雌花は花被片圓形にして，先端剪裂す。花柱は之を缺き，花後生ずる果實は黒熟す。〔分布〕小笠原島。

5568. **のぐは** …… クハ科
Morus tiliaefolia, *Makino.*

（異名）けぐは　〔形態〕本州中部以南の山野に自生する喬木にして，幼條には葉柄と共に短毛を生ず。葉は圓卵形にして通常分裂せざれども稀に分裂し，先端鋭尖・基脚心臟形をなし，齒牙緣を有す。上面縮澁にして，下面には毛茸を密布す。花柱は 2 箇を有して離生し，鞭狀絲形をなし，鋭尖頭にして，子房より長く，短毛を被る。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5569. **やまぐは** …… クハ科
Morus bombycis, *Koidz.*

（異名）くは　〔形態〕各地の山野に自生する落葉灌木，或は喬木にして幼條は無毛なり。葉は長き葉柄を具へ，廣卵形或は廣楕圓形にして，長さ 6-18 糎（2-6 寸）許に達し，分裂するか或は分裂せず。先端急に尖り，基脚心臟形をなし，粗鋸齒緣を具へ，兩面縮澁にして，下面は脈上に毛茸を生ず。花は單性にして，穗狀花序に排列す。雄性花序は長梗を有し，圓柱形にして疎花を着け，雌花は齒緣を有する廣楕圓形の花被片 4 箇と雄蕊 4 箇とを有し，葯は 2 室を具へ，退化子房を存す。雌性花序も亦長梗を具へ，球形をなして懸垂す。雌花は卵狀楕圓形をなせる 4 箇の花被片を有し，子房は球形をなし，花柱は長く，先端 2 岐して反捲す。果穗は球形或は楕圓形にして，0·9-1·5 糎（3-5 分）許を有す。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

5570. **シダレグハ** …… クハ科
Morus alba, L. var. *pendula*, Dippel.

〔形態〕前種マグハの栽培變種にして，枝條の垂下せるものなり。（栽培種）

2. カウゾ屬 BROUSSONETIA.

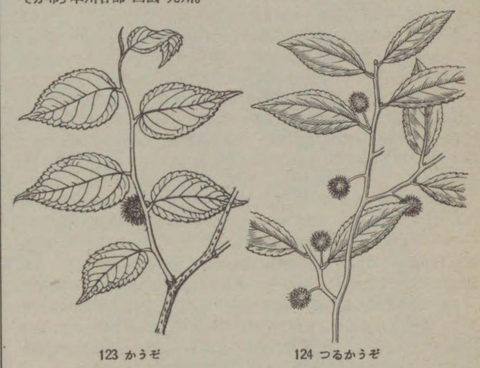
5571. **かうぞ** 楮（白圖-123） …… クハ科
Broussonetia Kazinoki, *Sieb.*

（異名）かみぎ・かぞ・かぢ・こぞのき　〔形態〕山野に自生する灌木或は喬木なれども，又製紙原料として往々栽培せらる。幹高さ 3 米（10 尺）以上に達し，樹皮に鼠斑を有す。葉はうの葉に似たれども，其質稍厚く，緣邊に鋸齒を有し，下葉は通常分裂すれども，上葉は分裂せず。嫩葉には毛茸を生ず。春日淡黄綠色の單性花を雌雄同株に生じ，穗狀花序をなす。雄性花序は略桑に似て，楕圓形にして大きく，雌性花序は多くの雌花相集りて球形をなす。6 月頃に至り扁球形の核果を結び，成熟して赤色となる。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

人生との關係　樹皮の纖維をとりて，製紙の原料とするに重用なる植物の一なり。藥効としては葉を蔭干となし之を粉末としたるものは切傷を治するに効ありと稱せらる。

5572. **ひめかうぞ** …… クハ科
Broussonetia Kazinoki, *Sieb.* var. japonica, *Blume.*

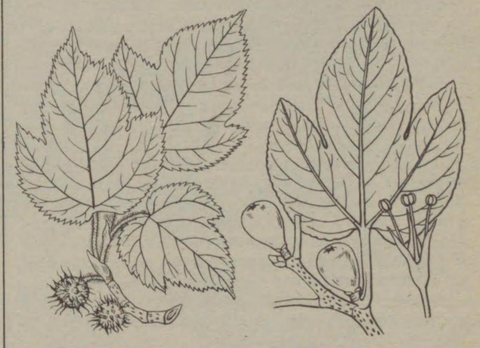
（異名）めだか　〔形態〕前種カウゾの一野生變種にして，雌雄異株なり。概形彼に似たれども，樹皮に鼠斑なく，葉は枝梢の稍上部に叢生し，疳長・薄質にして，毛を有せざる種類なり。〔花色〕淡黄色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。



123 かうぞ　124 つるかうぞ

5573. **つるかうぞ** 藤蘐（白圖-124） …… クハ科
Broussonetia Kaempferi, *Sieb.*

（異名）むきみかづら　〔形態〕本邦の暖地に自生する落葉灌木にして枝梢は稍蔓狀をなす。葉は長卵形にして，全面粗鐮，下面には毛茸を布き，先端鋭く尖り，鋸齒緣を有し，葉柄によりて互生す。花は單性にして，雌雄異株に生じ，雄花は長き穗狀花序をなし，雌花は頭狀花序に排列す。果實は肉果にして球形をなす。〔花色〕淡黄色。〔花候〕春。〔分布〕九州・臺灣。



125 かぢのき　126 いちじく

5574. **かぢのき** 構（白圖-125） …… クハ科
Broussonetia papyrifera, *Vent.*

（異名）かみのき・まむしかづ・おぶち　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして，幹高さ 6-9 米（20-30 尺）に達し，若き枝梢には剛毛を密生す。葉は紙質にして，心臟狀卵形・鋭尖頭をなし，緣邊に粗齒牙を有し，往々 5 乃至 3 裂す。上面は粗縮にして，下面に剛毛を布き，稍稠狀に葉柄を着く。春夏の候，淡綠色の單性花を雌雄同株に生じ，雄花は圓柱狀の穗狀花序に排列し，花被は 4 裂し，雄蕊 4 箇を具ふ。雌花は球狀の頭狀花序をなし，花被は筒形・子房は有柄，花柱は糸狀を呈す。聚合果は球形にして，宿存花被を以て被はれ，苞及多數の瘦果より成り，核果は筮形にして赤熟す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕臺灣。

人生との關係　樹皮は製紙の原料に供せらる。

3. イチジク屬 FICUS.

5575. **イチジク** 無花果（白圖-126） …… クハ科
Ficus Carica, L.

（異名）タウガキ・ナンバンガキ・ウドンゲ　〔形態〕北米・小亜細亜・歐洲南部等の暖地に多き木本にして．本邦には寛永年中長崎へ移植したるより繁殖せしものゝ如し。本植物は掉木として容易に活着するを以て．現時は各地に廣く栽培せらる。落葉の灌木或は喬木にして．幹高さ3米（10尺）以上に達し．枝椏少く．樹皮粗鬆にして．莖葉共にその皮面を切れば白色乳様の液を出す。葉は大形なる單葉にして互生し．托葉を具へ．全葉のものと2-3分裂して．掌狀又は3出のものとあり。何れも緣邊鋸齒を有し．質厚く表面鬚澁にして毛なく．裏面には細毛を密生す。6月頃葉腋上に單性花を着生し．花は花托中に隱れ．花托は球形或は倒卵形・多肉にして．中心は空虛となり．頂上に小孔を有し．其周圍に許多の小鱗片を纏らす。雄花の花被は通常3片より成り．中に3箇の雄蕊を具へ．雌花は4-5箇の花被を有し．中に1房を具へ．柱頭は2岐す。果實は稍圓形にして．大さ3糎（1寸）許を有し．初め綠色なれども．熟すれば紫色となり．味甘美なり。內に白色の細子ありて大さケシの實に似たり。本果の食用となる部分は花托なり。〔原産地〕西部亞細亞。

人生との關係　果實は甘美にして生食すべく．又種々の食品製造に供せられる（加工法參照）。又古來藥用として重用せらる。本果實は蛋白質を「ペプトン」に變化せしむる作用を有するを以て．(1)消化作用を助け．腹痛・惡血を除去するに効あり。又咽喉を痛めたるとき果實を生食すれば．止痛劑となり又痔核に効あり。(2)小兒の手足及頸部の抓及魚の目等には．新葉より出でたる白乳汁様の液を患部に塗布することにより之を除去するに効あり。(3)葉は乾燥して之を煎用すれば下痢を治し．又鎭下劑となり．藥湯に仕立てゝ入浴するときは脫肛を治するに効あり。更に此葉は防臭の効あるを以て．便所內等に吊下するときは．よき防臭劑となるものなり。

以下無花果の品種・栽培法・加工法の一般につき略記すべし。

品　種

（イ）**カリフォルニア・ブラック**（Carifornia Black）北米「カリフォルニア」州に栽培せらるゝ主要なる品種にして．樹勢强く大形なり。果實も亦大形にして1顆75瓦(20匁)內外。長卵形にして．成熟すれば果皮黑紫色となりて光澤を有す。果肉は淡紅紫色にして．甘味に富み．品質優良にして豊產なり。夏果は大きく生食に適し．秋果は同地方にては主に乾果に供せらる。

（ロ）**ホワイト・ゼノア**（White Genoa）樹は節間短く．枝條は細し。果實は大形にして．殊に夏果の大なるものは150瓦(40匁)內外を有す。長卵形にして果面は淡黃色をなし．平滑なり。秋果は1顆93瓦（25匁）內外にして．果肉は淡紅色を呈し．稍粗質にして中位なれども．極めて豊產なり。熟すれば裂開するを缺點とす。

（ハ）**ブラウン・ターキー**（Brown Turkey）樹は節間短く直立性を有す。果實は中等大にして．卵球形をなし．頂端扁平なり。果皮は紫褐色を帶び．果肉は暗赤色にして甘味に富み．品質佳良なり。夏・秋果共に豊產にして．9月下旬より11月に亙りて成熟す。生食の外．調理用に適す。

（ニ）**在來種**　古來我國各地に栽培せられたる品種にして．葉は大きく缺刻少し。樹性强健にして．耐寒性に富む。果實は中等大にして卵形・球形等種々あり。果皮は紫褐色にして．强靱なり。果肉は紅色を呈し．質は稍粗にして甘味に乏しく．品質稍劣れども．栽培容易にして豊產なると．輸送に耐ふる特性を有す。

（ホ）**カリミルナ**（Calimyruna）樹性は强健にして開張す。果實は大きく扁球形をなし．果皮は帶綠黃色を呈し．果肉は淡紅色にして頗る甘味に富む。品質優良にして．殊に糖分多く．乾燥し易きを以て．乾果用として最も優秀且つ豊產なり。

（ヘ）**カッサバ**（Kassaba）樹性强健にして．直立性を有す。果實は大きく球形をなし．果皮は帶黃綠色にして．果肉は赤色を呈し．頗る甘味に富み．生食用として最も優秀なり。

（ト）**ホワイト・サン・ペドロ**（White San Pedoro）枝梢は稍垂下するの傾を有す。果實は大きく扁球形をなし．果皮は黃綠色を呈し．平滑にして殆んど縱條を有せず．且つ成熟するも果頂の裂開することなし。果肉は淡黃色なれども時に紅斑點を有し．柔軟にして粘着力に富み．甘味多く品質極めて佳良なり。夏果は多產なれども秋果は殆んど收量なく．且つ病害に犯され易き缺點あり。生食用．其他雜踏用に供せらる。6月下旬より7月下旬に亙りて採收せらる。

（チ）**セレスト**（Serest）樹性は中等にして矮性なり。果實は小さく1顆37瓦(10匁)內外に過ぎず。長卵形にして淡紫色を呈し．品質優良なり。夏果なく秋果のみなれども．8月下旬頃既に成熟す。家庭用として最も適す。

其他優良品種としてはブラック・ゼノア・ホワイト・マルセーユ等あり。

栽培法

氣候・土質　無花果は元來熱帶地方の原產なるを以て．一般に温暖にして．乾燥せる所に適し．大體柑橘類の適温地帶に準ずれども．尙稍低温に耐へ．殊に在來種にありては．耐寒性强きを以て．東北地方に於ても栽培することを得べし。然れども氣温低き所にては秋果の脫落著しく．從て收量を減じ．品質亦劣ること勿論なり。故に優良品種の栽培は少くとも關東以南の暖地を選ばざるべからず。土質は概して選ぶ所少なきも．旱害の少なき肥沃なる壤土．又は粘質壤土に最も適す。排水惡しく地下水の高き土地にては好結果を得ること難きものなり。

苗木の育成及栽植　無花果は接木によりて．容殖を行ふことあれども．元來發根性强きものなるを以て．挿木によりて苗木を得ること一般に行はる。挿芽は2-3月頃．前年生或は前々年生の枝中．なるべく節間の短きものを選び．之を15-18糎(5-6寸）の長さに切り．2芽位を地上に出して挿入し．敷草を施して乾燥を防ぎ．發育後は時々灌水し．又薄き液肥を施して．叮嚀に管理し．1-2年後に栽植するものなり。

栽植は11月又は3月下旬に行へども．低温の地にありては．春季に行ふを安全なりとす。而して栽植の距離は品質及土質等によりて異れども．概ね4-6米(2-3間）四方に1本の割合とするを普通とす。栽植はよく土地を深耕して膨軟にし．且つ根部の乾燥するときは．活着し難きを以て．特に乾燥せざる樣に注意せざるべからず。又冬季寒害强き所にありては．支柱を立て．藁等を覆ひて保護するを要す。被覆物は3月又は4月に至りて取除かざるべからず。

仕立及剪定　無花果は暖地にて冬季寒害の患なき處にては．短幹の自然形又は短幹の盃狀形に仕立つるも．冬季保護を要する地方にありては．地上直ちに多數の枝を簇生せしむる短矮なる叢狀仕立として．防寒保護に便ならしむるか又は扇狀形の誘引仕立とするをよしとす。短幹の自然形に仕立つるには．地上30-45糎（1-1.5尺）位の處より3-4本の主枝を分岐せしめ．型奉45-60糎（1•5-2尺）位の處にて剪定し．更に1枝より2-3枝を分岐せしむ。生育旺盛にして．徒長枝の伸長したるときは．之等に對し6-7月頃全長の3/4位に剪り詰め．發育中等なるものは其儘とし．只密生の部分及枯枝等を除去するに止め．又採果より發生する萠芽の多きものなれば．之等は剪除すべし。爾後結果するに從ひて勢力次第に緩和せられ．徒長枝の發生も減少するを以て．適宜に間引を行ふ程度にて可なり。

無花果は其最も價値ある夏果が．前年生の枝梢の末端に生じ．秋果も亦其伸長せる所に生ずるものなるを以て．枝端を剪定すること能はず．然れども斯の如く幾年も剪定せざる時は．從て漸次樹姿を擴大するを以て．之を防ぐには枝を短截し．基部より新枝の更出を行ふか．結果枝の分布を平均にする爲めの剪定を行ふを必要とす。密生部の間引・徒長枝・纖弱枝の剪定は．樹姿完成後と雖も．必要なること勿論なり。又人工形仕立とする場合の剪枝には．一方前年生側枝の先端に結果せしむると共に．其基部に更新枝を生ずることを主眼とせざるべからず。然れども更新枝を得るために側枝の先端を剪り詰むることは．勿論不可なれば．只先端の葉芽より伸び來れる萠枝を除劚・摘心して．其基部更新の萠枝の發生を促すこと肝要なり。

施　肥　無花果は元來生育旺盛のものなれば．幼少の間は多量を要せざれども結實期に達し．盛に結實するに至れば．相當多くの施肥をなさゞるべからず。

種類としては．堆肥・人糞尿の外・大豆粕・油粕・魚粕・米糠・過燐酸石灰・蒸製骨粉・草木灰・硫酸加里等とす。

施肥は通常3月頃基肥を與へ．後7月頃に至りて補肥を施す。尙集約的には．夏果の成熟期前1ヶ月位に補肥を分與すべし．其他中耕・除草等の管理は大體他の果樹類に準じて可なり．但し特に乾燥の甚だしき所にありては．夏季旱害を蒙らざる樣淺く耕土することを必要とす。

採　收　採收の時期は．品種其他により多少の差あれども．夏果は通常6月下旬より7月上旬頃迄に．秋果は8月上旬より順次に採收することを得べし。總じて無花果は樹上に在りて完熟するものにして．其發候としては．果頂の小孔最分開張し．果皮に裂線の現はれ來るを以て．直に食用に供する場合には完熟したるものを採收すれば最も風味佳なれども．稍貯藏に堪へざるを以て．商品としては少しく早目に採收するを良とす。殊に輸送する場合には．完熟したるものは腐敗・損傷し易く．又加工用のものも稍早目に採取するを良とす。採收するに當りては．殊に果體の柔軟なるものなるを以て．損傷せざる樣に果體を輕く握り．上方に挙げて．果梗をつけ採取すべし。成熟後雨に遭ふときは著しく品質を損ふものなるを以て．採收するに當りては．天等の點をも考慮せざるべからず。

荷造及貯藏　採收したる果實はよく選果し．不良果を除きて．淺き箱に檜或は羅漢柏等の葉を敷き．1列に一杯に塡充すれども．優良品種にありては．1箇づゝ紙にて包む。貯藏は一般に行はれざれども．冷藏庫を用ふるときは．相當永く貯藏に堪ふるものなり。

病虫害　(1) 炭疽病　果實及葉を犯すものにして．症狀としては果實の成熟前に．其表面に小斑點多數現はれ．其中央部は凹陷して．バラ色を呈し．次第に腐敗縮するものにして．葉を犯したるときは．葉緣捲縮して枯死す。防除法としては(イ)果熟期の2週間許前に「ボルドー」合劑を撒布し．又1週間後再び撒布す。(2)病果を摘採して燒棄す。

(2) 桑天牛　幼虫即ち鐵砲虫の生長したるものは6糎(2寸)許に達し．頭部は褐色胴部は乳白色にして稍赤味を帶び．脚を缺く。材部に蝕入し．各所に孔を穿ち．喰害すること甚しく．其孔より虫糞を出す。成虫は體長4糎（1•3寸）內外の灰白色又は黃褐色の天牛にして．全體に黃色の短毛を密布し．翅鞘の基部には黑色の顆粒を散在す。無花果の外柑橘・枇杷等の害虫なり。防除法としては（イ）虫糞を出したる孔に．各種の乳劑・合劑等を注入するか．又は青酸加里の小片を入れて．其孔を泥土にて塞ぐ。(ロ)卵に寄生する「カミキリタマゴバチ」と稱する蜂を保護すること。其他枝幹の害虫として「クハカヒガラムシ」・「マルカヒガラムシ」等あり。

(3) 無花果實虫　幼虫は果肉內に蝕入し．喰害して變色落下せしむるものにして幼虫は體長12粍(4分)許．暗黑色にして．頭部は黃褐色なり。成虫は白色にして前翅に黃褐色紋を有する小蛾なり。防除法としては（イ）被害果を燒棄すること。(ロ)被害の甚だしきときは．果實に袋掛をなすこと。

其他果實を害するものに．「ゴマダラノメイガ」・「コノハガ」等あり。

加工法

果實は糖分及媒液に富み．風味頗る佳なるを以て．卓果として貴重せらる。即ち生食して味甚だ佳なれども．亦廣く次の如き加工品として重用せらる。

（イ）無花果「ジャム」　よく成熟したる果實の果梗を去り．皮を剝ぎ．之に砂糖

を加へ擂拌しつゝ搗り潰し，煮詰めてこれを瓶・罐詰とするものにして，風味亦るよく，各種果糖中上等なるものなり。東京・長野・大阪等に産額多し。伊豫米にては甘き乾無花果に含利別(糖液)の少量を加へて煮沸し，其汁液の濃厚になりし頃，全部搗り潰して，糊狀を呈せしむる方法行はると云ふ。

(ロ) 無花果砂糖煮　成熟に少しく先立ちて採取し，之れを沸湯中に1-2分間漬けて，直ちに掬ひ出し水にて洗滌す。別に果實と同量の砂糖に僅かの水を加へて作りし含利別中に投じて，微火を以て2時間程煮詰めたる後，果を掬ひ上げ，更に含利別を煮詰めて濃厚にし，之に再び果を投じて沸騰せしめたる後罐詰となす。尙之れに「レモン」の薄片數箇をえるゝ時は更に風味佳良なり。

(ハ) 無花果珈琲　乾無花果を焙りて粉末となしたるものにして，珈琲の代用品とす。本品は溶液に一種の着色と甘味とを與ふるを以て，嗜好品として佳なり。

(ニ) 乾無花果　本品は氣候の關係上我國にては不可能なれども，伊太利・北米等に於ては盛に製造せられ，其需要亦頗る多し。果實を乾燥したるものにして，白柿に類し，一種の佳味を有す。

(ホ) 無花果「プデイング」(Pudding)　果實を細かく切り，之に「バター」・砂糖・卵・牛乳・パン屑を加へて，よく混和したるものを器に入れて，3時間程煮沸するものにして頗る美味なり。

其他生果を糖漬として食し，熟果は重症患者の嗜好品となる等有用の果樹たるを失はざるなり。

5576. **いぬびは**　天仙果　(22圖版-192) ……クワ科
Ficus erecta, *Thunb.*

(異名) こいちじく・ちちのみ・やまびは　〔形態〕暖國の海邊に多く自生する常綠の灌木或は小喬木にして，幹高さ3米(10尺)餘に達し，全株無毛又は有毛なり。葉は楕圓形或は倒卵形にして，全緣若しくは稍分裂するか，或は上半部に鋸齒緣を有し，葉柄によりて互生し殆んど平滑なり。春夏の候，葉間に長梗を出し，イチジクに似て總べて花托内に隱れたる單性花を單生或は双生し，花後指頭大にして有柄若しくは無柄の果實を結ぶ。其形イチジクに似て小形なるを以てコイチジクの別名あり。〔花候〕春-夏。

〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係　嫩葉を燻で飯に雜へて食し，熟果は葡萄糖に富み且つ佳味を有するを以て，小兒は之を採りて嗜食す。將來此の果實を以て珈琲の代用品又は果酒製造の材料に供するの期あらんか。

127 けいぬびは　　128 たいわんいぬびは

5577. **けいぬびは**　(白圖-127) ……クワ科
Ficus Beecheyana, *Hook.* et *Arn.*

〔形態〕山野に自生する小喬木にして，全株短毛を布く。葉は葉柄を有し側脈7-8對を具へ，葉身は紙質・長橢圓形にして先端尖り，基脚心臟形又は圓形をなし，長さ12-18糎(4-6寸)許を有す。隱花果は葉間より腋出し，倒卵形にして淡紅色を呈し，有柄にして微毛を被る。〔分布〕琉球・臺灣。

5578. ホソバイヌビハ……クワ科
Ficus erecta, Thunb. var. *Sieboldi*, King.

〔形態〕暖地には時に自生品を有すれども，多くは移植栽培せらるゝ前種イヌビハの一種にして，花戸は一名キッカウボクと稱し，盆栽として販賣す。概形彼に似たれども，本種の葉は線狀橢圓形を呈するものなり。

〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

5579. **たいわんいぬびは**　(白圖-128) ……クワ科
Ficus formosana, *Maxim.*

(異名) たかさごいぬびは・ももものみいぬびは　〔形態〕山野に自生する小喬木にして，葉は紙質・長倒卵形或は披針形にして，7-8對の側脈を具へ，先端鋭刻緣若しくは不齊鋸齒緣を有し，基脚鋭形にして，短き葉柄を具ふ。隱花果は葉間より腋出し，綠色・卵形にして，先端凸出し，外面に白斑を裝ふ。

〔分布〕臺灣。

5580. **むくいぬびは**……クワ科
Ficus insularis, *Miq.*

〔形態〕山麓の稍傾斜せる平地を好みて自生する中喬木にして，葉は葉柄を有し，兩面粗糙なる倒卵形或は長橢圓形にして，稍3行脈を具へ，先端尖り，基脚鈍形にして，長さ6糎(2寸)許を有す。隱花果は球形にして，單生或は叢生す。〔分布〕琉球・臺灣。

5581. **をがさはらいぬびは**……クワ科
Ficus boninsimae, *Koidz.*

〔形態〕小笠原島に自生する喬木或は灌木にして，葉は軟き革質の長橢圓形にして，先端・基脚共に鈍形をなし，長さ3-7·5糎(1-2·5寸)許を有す。各條眞直に開出し，側脈は各側に5-9條を有し，基脚には3行脈を具ふ。托葉は披針形にして，尾狀鋭尖頭をなす。隱花果は葉間より腋出し，稍梨子狀球形をなして單生し，花梗及苞と共に無毛なり。〔分布〕小笠原島。

5582. **ときはいぬびは**　(22圖版-193) ……クワ科
Ficus leucantatoma, *Poir.*

(異名) おほばいぬびは・あかめいぬびは・おるどいぬびは・ひすかはいぬびは　〔形態〕暖地の山野に自生する喬木にして，幹は稍屈曲し，粗大なる枝條を生ず。葉は葉柄を具へ，紙質をなせる卵圓形にして，3行脈を有し，先端・基脚共に鈍形をなす。隱花果は葉間に腋出單生し，綠色の蕪菁形にして短柄を有す。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

5583. **しまいぬびは**　(22圖版-194) ……クワ科
Ficus Swinhoei, *King.*

(異名) がらんびいぬびは　〔形態〕主に臺灣の潮海地に自生する小灌木にして，葉は長さ3-12糎(1-4寸)許を有し，兩面縐蹙なる紙質・橢圓形にして，圓頭・圓脚をなす。隱花果は腋出して短梗により單生し，球形にして長さ1·2糎(4分)許を有す。〔分布〕臺灣。

5584. **いたびかづら**　(22圖版-195) ……クワ科
Ficus nipponica, *Franch.* et *Sav.*

(異名) つるいちじく・いたび・いぬたぶ・きんまち　〔形態〕溫暖なる地方の山地に自生する常綠蔓性の灌木にして，若き枝條には褐色僵毛を密布す。莖は分岐して長さ1·5-1·8米(5-6尺)に達し，葉は大小異形多しと雖も何れも橢圓形乃至披針形にして，質厚く，全緣にして先端尾狀鋭尖頭，圓脚をなし，肋脈は隆起し，下面無毛にして，葉柄を有す。夏日葉腋にイヌビハに似たる花を生ず。隱花果は球形或は廣橢圓形にして，黑色を呈す。

〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

人生との關係　果實の成熟したるものは，味甘く生食に適す。又未熟のものは燻熟して食用に供せらる。

129 ひめいたび　　130 おほいたび

5585. **ひめいたび**　(白圖-129) ……クワ科
Ficus Thunbergii, *Maxim.*

(異名) ひめびたい・ひどづた　〔形態〕前種イタビカヅラの一種なり。同じく溫暖地方の山地に自生する常綠蔓本にして，全株褐色の毛茸を密布す。葉は葉柄を有し，革質・心臟狀卵形にして先端尖り，基脚圓形にして長

さ3-4·5 糎（1-1·5 寸）許を有す。隱花果は小扁球形にして、粗毛を被る。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。

人生との關係　花戸は「ジャゴケ」と稱し、觀賞に供す。

5586. **あほいたび**　薜荔（白圖-130）……クワ科
Ficus pumila, *L.*

（異名）こづた　〔形態〕各地の山野·路傍等に自生する藤本にして、莖は太く、葉は密生す。葉は革質にして、倒卵狀橢圓形或は長橢圓形·鈍頭·圓脚をなし、上面平滑、下面葉脈顯著にして軟毛を生じ、長さ 2·1-9 糎（0·7-3 寸）餘、幅 1·5-5 糎（0·5-1·7 寸）許を有し、葉柄は黃褐色の毛を密生す。隱花果は倒圓錐狀球形にして、熟すれば黑紫色を呈し、褐色毛を密生する短き總梗を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　イタビカヅラと同じく、果實を食用に供す。

5587. **あいぎょくしいたび**（22 圖版-196）……クワ科
Ficus Awkeotsang, *Makino.*

（異名）かんてんいたび　〔形態〕高山に自生する灌木又は喬木にして葉は葉柄を有し、8-10 對の側脈を具へ、葉身は長橢圓狀披針形にして、先端尖り、基脚楔形をなし、兩面に短毛を布き、葉柄には茶褐色の氈毛密布す。隱花果は廣橢圓形にして、長さ 4·5-7·5 糎（1·5-2·5 寸）許を有し、花被片は 3 乃至 6 箇にして筐狀線形をなし、花柱は側出す。瘦果は有梗にして、長橢圓狀紡錘形をなす。〔分布〕臺灣。

人生との關係　果實は無花果と同樣生食するに甘味多く且つ美味なるものなれども、又此果實を乾燥し、果皮即ち花托部を去り花部のみを集め、之れを水中に入れてよく攪拌し、粗布にて濾過したる液を共儘放置すれば、暫時にしてカンテン樣のものとなり、食するに甘味ありて、一種得も言はれざる風味あるものとなる。之れを愛玉子と稱へ、市中氷店等に販賣するものなり。

5588. **がじゅまる**　榕樹（22 圖版-197）……クワ科
Ficus retusa, *L.*

（異名）がじまる·たいわんまつ　〔形態〕主に琉球·臺灣其他熱帶地方の山野に自生する常綠喬木にして、幹高さ 21 米（70 尺）以上に達し、幹枝より多くの氣根を下垂し、全株無毛なり。葉は長さ 6-12 糎（2-4 寸）許を有する革質·橢圓形若しくは倒卵形にして、先端尖り、稍鋭脚をなす。隱花果は腋出双生して、稍イチジクに類似し、嚢狀をなせる球形にして、黃色又は赤褐色を呈し、無柄の總花托（花軸）内に生ず。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島·琉球·臺灣。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。氣根を下垂することアカウに同じく雅趣あるを以て、盆栽として愛玩せらる。

5589. **あかう**　雀榕、（22 圖版-198）……クワ科
Ficus Wightiana, *Wall.*

（異名）あこのき·うすく·おはぎ　〔形態〕本邦南部暖地の海邊に多く自生する常綠喬木にして、幹高さ 12-15 米（40-50 尺）に達し、全株無毛なり。葉は平滑にして長柄を有し、紙質·橢圓形にして鈍頭或は圓頭·圓脚をなし、緣邊波狀を呈して長さ 12-15 糎（4-5 寸）に達す。夏日、イチジクに似たる淡紅色にして扁球形をなせる隱花果を單生或は叢生し、果實は小球狀をなす。本樹は氣根を有するを以て名高く、四方に張れる幹枝より多くの氣根を垂下して地中に入り、新しき樹幹となる。氣根の多きは太きもの 300 本以上、細きもの 2000-3000 本以上に達すと云ふ。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部·四國·九州·琉球·臺灣。

5590. **テンチクボダイジュ**　菩提樹（白圖-131）クワ科
Ficus religiosa, L.

（異名）インドボダイジュ　〔形態〕通常單にボダイジュと稱す。東印度原産の常綠喬木にして、全株無毛種に屬し、大なる種類にありては幹高さ 30 米（100 尺）以上に達するものあり。葉は長き葉柄を具へ、上面滑澤なる革質の卵狀圓形にして、8 對の側脈を具へ、長尾狀の先端を有し、圓脚若しくは楔脚にして、波狀緣を有し、長さ 10-16 糎（3·5-5·5 寸）許に達す。隱花果は腋出·双生し、無柄にして扁球形をなし、色は淡紫色にして、概形イヌビハに似たり。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

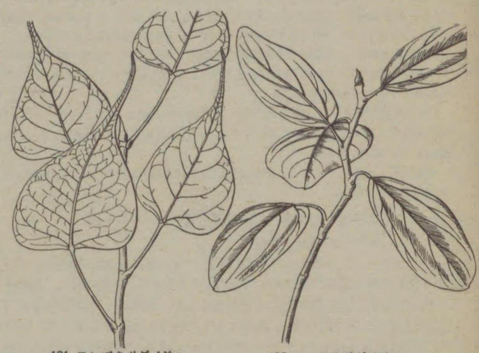
（備考）東印度に於ては、古來より神聖なる樹木として、寺院には必ず栽植するものとの慣習あり。樹幹より浸出したる乳樣の汁液は彈性護謨を製する原料に供せらる。

5591. **コバンボダイジュ**（22 圖版-199）……クワ科
Ficus diversifolia, Blume.

〔形態〕東印度原産の灌木或は小喬木にして、幹枝より氣根を下垂す。葉は葉柄を具へ、革質·廣倒卵形にして、圓頭·狹脚をなし全緣なり。上面濃綠色にして、裏面淡黃白色を呈す。隱花果は腋出し、豌豆大にして 1-2 箇を着生し、黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕東印度（馬來諸島）。

人生との關係　幼植物は觀賞用として、溫室内に培養せらる。溫室内にありては 0·6-1 米（2-3 尺）内外に於て良く分枝し、時として氣根を下垂するを以て、雅趣あるものなり。

繁殖は挿木により容易に活着す。夏季は戸外にて可なるも、冬季は最低攝氏 50 度を要す。



131 テンチクボダイジュ　　132 ベンガルボダイジュ

5592. **ベンガルボダイジュ**（白圖-132）……クワ科
Ficus benghalensis, L.

（異名）バンヤンジュ　〔形態〕原産地の印度「ヒマラヤ」の森林帶及「デツカン」丘地方の低き傾斜面に自生多き喬木にして、高さ 20-30 米（65-100 尺）以上に達し、樹肌は灰白色にして、幹は地平に擴開するの性あり。枝條よりは氣根を垂下して支柱狀をなし、幼條には短毛を生ず。葉は葉柄を有し、長さ 10-20 糎（3-6 寸）以上に達し、革質·卵形にして先端尖り、網狀脈は顯著なり。嫩葉には微毛を布く。托葉も亦革質にして、長さ 1·8-2·4 糎（6-8 分）を有す。隱花果は無柄にして對生し、小櫻實大にして赤熟し、細毛を被る。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

人生との關係　觀葉用として鉢仕立となし、愛玩せらる。繁殖は挿芽·取木により、活着し易く、栽培亦容易なり。夏季は戸外にて可なり。越冬溫度攝氏 40 度内外なり。

5593. **インドゴムノキ**（22 圖版-200）……クワ科
Ficus elastica, Roxb.

（異名）ゴムノキ·ゴムビハ·ゴムイチジク·ダンセイゴムノキ（英名）ラバー·プラント（Rubber Plant）　〔形態〕元印度原産の常綠喬木にして、全株無毛種に屬し、莖幹よりは氣根を出す。東京地方の觀葉植物として栽培せらるゝものは、高さ僅に 1·2-1·5 米（4-5 尺）に過ぎざれども、熱帶地方にありては、幹太く、高さ 40 米（120 尺）以上に達するもの少なからず。葉は 30 糎（1 尺）許の雄大なる長橢圓形にして、其質厚く、全緣にして光澤を有し、葉柄によりて互生し、側脈は中肋に直角をなす。新芽は淡紅色の托葉に包まれて美觀を呈す。夏日葉腋に隱花果を双生し、稍無柄長橢圓形にして、全くイチジクに類似し、熟すれば綠黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

人生との關係　幼植物は觀葉植物として、世界的に培養せらる。冬季は溫室内に保護するを要し、繁殖は挿木·取木による。挿木は夏季に行ひ、園子挿とし、高溫多濕の場所を要す。越冬溫度攝氏 40 度内外なり。

幹を傷けて流出せる乳樣液を乾燥せしめ、之れより彈性「ゴム」を製す。

5594. **フイリゴムノキ**（23 圖版-201）……クワ科
Ficus Paacellii, Veitch.

〔形態〕觀葉植物としては、前種インドゴムノキよりも一般に愛玩せらるる熱帶喬木なり。葉は彼に比して薄く稍圓味を帶び、緣邊に鋸齒を有し、淡綠色にして不齊なる白斑を裝ふ。性稍纖弱にして繁殖力亦彼より弱し。〔原産地〕南洋。

人生との關係　觀葉植物として栽培愛玩せらる。繁殖は取木法による。取木をなさんとするには 6-7 月頃の高溫度の時季をよしとす。新梢又は幹の部分に、夫々太さに從ひ、適宜に「ナイフ」を入れて傷口を作り、夫れに水苔を巻きつけて常に水分を與へ置くときは、傷口の部分より發根するを以て、適當の時期に至り切斷して鉢植となす。

PL. 23.

5595. **カシハバゴムノキ**（23圖版-202）……クハ科
Ficus pandurata, Sander.

〔形態〕本種も亦觀葉植物として、近時舶來せる熱帶原産の喬木にして、幹は暗褐色を呈し、高さ12米（40尺）以上に達す。葉は短き葉柄を具へ、大形にして稍提琴形をなし、長さ21糎（7寸）、幅15糎（5寸）に及び、綠色、革質にして光澤を有し、頗る剛厚なり。〔原産地〕熱帶亞弗利加。

人生との關係　觀葉植物として、主に鉢仕立となし愛玩せらる。夏季は戸外にて可なれども、冬季は溫室内に培養し、多濕を好む。越冬溫度攝氏40度。繁殖は挿木、取木により、方法は前種に準ず。

4. アメリカゴムノキ屬 CASTILLOA.

5596. アメリカゴムノキ……クハ科
Castilloa elastica, Cerv.

〔形態〕本種も亦熱帶原産の喬木にして、葉は短き葉柄を具へ、卵狀長楕圓形全緣にして、長さ12糎（4寸）許を有し、先端鈍く基脚心臟形を呈す。雌雄同株にして兩性花を混生す。雄花は花被を缺き、雄蕊は多數にして、鱗片相交り、雌花は花被4裂し、子房は短き花柱を具へ、果實は革質の皮殼を以て被はる。〔原産地〕「メキシコ」。

人生との關係　觀葉植物として栽培せらる。

5. パンノキ屬 ARTOCARPUS.

5597. **パンノキ**（23圖版-203）……クハ科
Artocarpus incisa, L. f.

（異名）マルミパンノキ・パンノキ　〔形態〕熱帶地方に栽培せらるゝ常綠喬木にして、幹高さ10-12米（30-40尺）に達す。葉は大形の心臟形をなし、全緣なるか或は羽狀に分裂し、長さ30-90糎（1-3尺）以上に達し、形稍ヤツデの葉に似たり。花は單性にして、雌雄同株に生じ、雌花は多數集りて球形をなし、表面の瘤起稍大なり。雄花も亦多數集りて花穗をなす。聚合果は大形の球果にして、徑18-21糎（6-7寸）に達し、白色にして麵麭質の果肉は有し、食すれば味稍「パン」の如きを以て、此和名を有す。〔原産地〕南洋。

人生との關係　木材を建築用に供し、樹液は乳汁樣にして頗る粘着力強きを以て、糊料となし、又樹皮より纖維をとりて被服の原料を製す。果實は食用に供せらる。熱帶地方の土人は此果實を主要なる食料となすと云ふ。

5598. **ナガミパンノキ**（23圖版-204）……クハ科
Artocarpus integrifolia, L. f.

（異名）ハラミツ　〔形態〕熱帶原産の常綠喬木にして、葉は葉柄を具へ、全緣にして、長さ9-24糎（3-8寸）許に達し、革質、橢圓形或は倒卵形にして、先端、基脚共に鋭尖をなす。托葉は大なる笆狀披針形にして毛を有せず。頭花は腋出或は頂生し、單性花をなして屢〻2岐し、笆狀をなせる苞に包まれ、雌雄同株に生ず。雄花は長楕圓形或は笆形をなせる2箇の花被片を有し、先端有毛にして1雄蕊を直生す。雌花の花被は筒形にして細口なり。聚合果は楕圓形或は棍棒形にして、長さ30-45糎（1-1·5尺）許を有し、表面に稍六角形の瘤起を存す。〔原産地〕印度。

6. アサ屬 CANNABIS.

5599. **アサ** 大麻（23圖版-205）……クハ科
Cannabis sativa, L.

〔形態〕園圃に栽培せらるゝ一年生草本にして、春月下種すれば夏月方莖を直立すること2·1-2·4米（7-8尺）に達す。莖葉共に粗糙にして、莖には溝稜を有し、葉は對生し、長柄によりて先端に3-11葉を射出して掌狀複葉をなす。各小葉は狹披針形にして緣邊に粗鋸齒を有し、分離せる托葉を伴ふ。花は單性にして、雌雄異株に生じ、雄花は黃綠色にして圓錐花序に排列し、瓦列せる5片の花被と5箇の雄蕊とを具へ、葯は大形にして懸垂す。雌花は綠色にして簇生し、透明質の1箇の花被を有して子房を包み、雌蕊は1箇を具ふ。子房は上位にして2柱頭を有し、花後生ずる瘦果は硬質にして稍扁卵形なり。〔花色〕雄花黃綠色·雌花綠色。〔花候〕夏。〔原産地〕中央亞細亞。

人生との關係　大麻の皮を剝ぎたるものを麻と稱し、各種の纖維工業に使用することは周知のことなり。又皮を剝ぎたる莖をアサガラ又はヲガラと稱し、火藥の原料に供し、7月の盆の節會に使用し、種子よりは香料及油を搾取す。又破碎するときは一種の芳香を有するを以て蒸りたるものは七味蕃椒に加味せられ、尙藥用に供せらるゝものは、熟し初むる前の果穗を採集したるものにて、印度大麻と稱し市場に販賣せらる。本品は樹脂の分泌せるが爲め粘着性を帶び褐綠色の塊片をなし、稍臭氣を有する揮發油にして、痲醉性を有するを以て、之を服用するときは、鎭靜劑·催眠劑となり又便秘利尿·月經不順·鎭痙劑·鎭痛に效あり。又葉は陰干となし煙草の中に刻み込みて、吸入するときは喘息を治するに效ありと云ふ。印度大麻は日本藥局方所定の藥用植物なり。

（附記）印度に産する麻即ち印度大麻の子實は激烈なる痲醉性の毒物を含有すれども、本邦産のものは毒分稀少なれば、麻の實として食物に加味するも、中毒せざるものなり。

古來我國の産地として有名なるは栃木縣を最とし、信州·越後·安藝及備後等之に亞ぐ。

7. クハクサ屬 FATOUA.

5600. **くはくさ**（23圖版-206）……クハ科
Fatoua villosa, *Nakai*.

〔形態〕本邦到る處の田野に自生多き一年生草本にして、莖高さ30糎（1尺）以上に達し、莖葉共に毛茸を布く。葉は長き葉柄を具へ、膜質、卵形にして先端尖り、稍心脚をなし、鈍齒緣を有し、3行脈を具へて形狀桑の葉によく似たり。夏日、葉腋に黃綠色の單性細花を雌雄同株に混生して、聚繖花序をなす。花被は鐘形にして4裂し、雄蕊は4箇を具へ、子房は稍球形にして先端尖り、花柱は側出す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球·臺灣。

8. カナムグラ屬 HUMULUS.

5601. **かなむぐら** 葎草（23圖版-207）……クハ科
Humulus japonicus, *Sieb. et Zucc.*

〔形態〕到る處の路傍、籔叢等に繁茂する蔓性の多年生草本にして、他物に纏繞す。葉は圓形にして掌狀に數裂し、鈍鋸齒緣を具へ、長き葉柄によりて對生す。莖稜角及葉柄には短き逆鉤刺を列生し、葉身にも亦短刺毛を生じ全體粗糙なり。雌雄異株にして、雄株は夏秋の候、葉腋に花莖を抽くこと21-24糎（7-8寸）許にして、其先端に葉を互生し、更に分岐して淡黃綠色の雄花を圓錐花序に排列す。雌花は綠色にして多數攅簇し、雌毬をなして下垂す。雄花は披針形をなせる花被片5箇と雄蕊5箇とを具へ、雌花の花被は密に子房を包み、花柱は2岐し、各枝は羽裂して各大形の苞内に位す。毬果は鱗苞と瘦果とより成り、瘦果は堅硬にして扁圓形をなす。〔花色〕雄花淡黃綠色·雄花綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·九州·臺灣。

人生との關係　田畑、原野等に蔓延して、有害なる雜草なれども、其莖葉果實共に苦味を有し、之を煎服するときは、健胃劑·治痲劑及利尿劑として效ありと云ふ。

133 ホツプ

134 からはなさう

5602. **ホップ** 忽布（白圖-133）……クハ科
Humulus Lupulus, L.

〔形態〕歐羅巴、亞米利加、西部亞細亞等に多く栽植せらるゝ多年生の蔓性草本にして、莖長さ3米（10尺）許に達し、莖面は葉柄と共に逆鉤刺を列生す。葉は長き葉柄を具へ、卵形にして銳尖頭、心脚をなし、概ね3-5分裂し、銳齒牙緣を有す。花は單性にして帶黃綠色を呈し、雌雄異株に生ず　雄花は圓錐花序をなし、雌花は長橢圓形にして芳香を有する雌毬をなす。果實は恰も松の毬果に相似たり。〔花色〕帶黃綠色。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　果實の主成分は「ホップ」苦味酸にして，苦味と芳香とを有し，麥酒製造に缺くべからざるものなり。又健胃劑としては消化不良に效あり。又麻醉劑にも使ひ，生殖器の疾患にも應用せらる。本邦にては，北海道・長野・東北地方に盛に栽培せられ，麥酒の醸造に使用せらる。

5603. **からはなさう**　（白圖-134）……クハ科
Humulus Lupulus, L. var. *cordifolius, Maxim.*

〔形態〕山地に自生する多年生の蔓性草本にして，莖及葉柄に逆鉤刺を生ずること前種に同じ。葉は心臟形にして先端尖り，緣邊に鋸齒を有す。此葉は往々3裂し，互生又は對生なり。夏秋の候，單性花にしてカナムグラに似たる花を綴り，果實は彼より大形なり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　果實は「ホップ」の代用品として麥酒醸造に際し，苦味と香氣とを附するに重用せられ，又苦味を有するを以て，煎用すれば健胃劑として有效なるものなり。

9. カクヮツガユ屬　VANIERIA.

5604. **カクヮツガユ**　蔓芝・和活ケ袖……クハ科
Vanieria cochinchinensis, Lour.（23圖版-208）
var. *gerontogea,* Nakai.

（異名）ヤマミカン・アマヅラ　〔形態〕暖地の山野に自生する常綠の小灌木にして，高さ1·8-2·1米（6-7尺）に達し，枝條は懸垂す。幹には枝多く，幹枝共に刺を有す。葉は革質，小形の長橢圓形，全緣にして，概形茶の葉に似て稍狹し。夏日，球形にして黃色の單性花を頭狀花序をなして，雌雄異株に着生す。雄花は徑6-9粍（2-3分）を有し，4分裂せる花被片3-5箇を具へ，雄蕊は4箇ありて多少花被に着生す。雌花は雄花に比して稍小さく，4箇の花被片を有し，先端肥厚して絨毛を布く。聚合果は黃朱色を呈し，徑1·8-2·1糎（6-7分）を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

人生との關係　果實は熟すればヤマモモに似て微に大きく，苞核の形に類し，黃赤色を呈し，味甘く生食又は糖藏するに適す。

5605. **ハリグハ**　奴柘（23圖版-209）……クハ科
Vanieria tricuspidata, Hu. (*Cudrania triloba, Hance.*)

（異名）ドシヤ　〔形態〕滿洲原產の灌木なり。枝條は方形にして毳毛を布き，幹高さ3米（10尺）內外に達す。葉は卵形，倒卵形或は橢圓形，全緣にして往々3裂し，先端尖り，下面に毛茸を密布す。細長なる葉柄によりて互生し，葉腋に刺を出し，托葉を伴ふ。雌雄異株にして小形の單性花を頭狀花序に排列す。果實は球形の集合果にして赤熟す。〔原產地〕滿洲。

人生との關係　本植物の葉は桑の葉の如く蠶の飼料に供すれども，本葉によりて飼養して得たる蠶絲は色澤佳良ならずと云ふ。

* * * * *

3. に れ(楡)科　ULMACEÆ.

本科の植物は喬木或は灌木にして，鑑乳體を有し，葉は單葉にして葉柄と早落生の托葉とを具へて互生し，往々歪形をなし，邊緣に鋸齒ありて羽狀脈を有す。花は通常單性或は稀に兩性をなし，雌雄同株なるか或は異株にして，稀に整齊或は不整齊をなすことあり。花被は3-9深裂をなし又は分離せる3-9箇の萼片より成り，花瓣を缺く。花序は聚繖狀をなして頂生或は腋出し，又は腋生の花梗に1箇の雌花を單生することあり。雄蕊は花被片と同數若しくは稀に其倍數を具へ之と對生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り，花柱は線形をなし，柱頭は稀に2裂又は4裂す。子房は上位にして，通常1室稀に2室を有し，各室に1箇の下垂せる倒生或は半倒生の胚子を含み，果實は核果，翅果又は堅果にして裂開せず，內に薄膜質をなせる種皮を有する單種子を藏し，種子は概ね胚乳を含まず。

135 はるにれ

本科には13屬，凡140種の植物を含み，溫帶，熱帶地方に廣く分布し，本邦には5屬，凡15種餘を產出す。

本科所載植物索引目次

アカダモ……5606　オクジリエノキ……5615　ニガニレ……5606
アキニレ……5607　オヒヨウ……5609　ニツクリウアヅサ……5610
アツシ……5609　ヲムク……5611　ニレ……5607
アツニ……5609　キリエノキ……5617　ネバリジナ……5609
アリサンニレ……5608　ケヤキ……5618　ハルニレ……5606
イシゲヤキ……5607　コバノエノキ……5614　ホソバウラジロノキ……5617
ウラジロエノキ……5616　コバフンギ……5617　ムクエノキ……5611
エ……5612　コブニレ……5606　ムタノキ……5611
エゾエノキ……5615　コブニレ……5607　メゲヤキ……5619
エノキ……5612　シダレエノキ……5613　ヤギリ……5607
オクエノキ……5615　タイワンケヤキ……5620　ヤジナ……5609

1. ニ レ屬　ULMUS.

5606. **はるにれ**　楡（白圖-135）……ニレ科
Ulmus japonica, *Sarg.*

（異名）あかだも・にがにれ・こぶにれ　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして，大なるものは高さ30米（100尺）以上に達するものあり。樹幹は深褐色にして，幹面には細瘤起ありて扁平なる裂目を有し，鱗狀に剝脫し，幼枝には短毛を密生す。葉は短き葉柄を有し，大形の橢圓形若しくは廣倒卵形にて先端急に尖り，緣邊に重鋸齒牙を有し，15-20對の側脈を具ふ。質は剛厚，粗糙にして長さ6-15糎（2-5寸）許に達し，兩面葉柄と共に細毛を被る。4-5月頃，葉に先立ちて帶紫淡綠色の細花を多數攢簇し，稍無梗なる束集聚繖花序を綴る。花被は鐘狀筒形にして概ね4淺裂し，各裂片は毛緣を有し，稍半圓形をなす。雄蕊は4箇を具へ，花絲は挺出して濃紅色，葯は紫紅色を呈す。子房は1箇にして2箇の花柱を有す。果實は扁平にして膜質の翅を有し，大さ1·8糎（6分）許，種子體は頂端に達す。〔花色〕帶紫淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　材を種々の建築材及器具用材に供す。

5607. **あきにれ**　楡・椋楡（24圖版-210）……ニレ科
Ulmus parvifolia, *Jacq.*

（異名）に れ・いしげやき・こぶにれ・やぎり・やきにれ　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして，幹高さ9米（30尺）餘に達するものありて，幼枝には短毛を生ず。葉は短き葉柄を有し，稍革質，橢圓形にして，鈍鋸齒緣をなし，長さ3·6-4糎（1·2-1·3寸）許に達す。上面は無毛にして平滑なれども，下面は初め短毛を布く。9-10月の交，枝上葉腋に短梗を有する徑3粍（1分）許ある小形花を出して叢生す。花被片は4箇を有し，雄蕊は4-5箇，子房は2室にして，柱頭は2岐す。花後10月頃に至り，廣橢圓形にして長さ9-12粍（3-4分）許の翅果を結び，種子體は中央に位す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

人生との關係　本植物の木材は挽物細工，車輪等の用材とするに適し，其他各種の細工材に使用せらる。

5608. **ありさんにれ**……ニレ科
Ulmus Uyematsui, *Hayata.*

〔形態〕高山に自生する落葉喬木にして，葉は橢圓形或は長橢圓形をなし先端急に銳く尖り，緣邊には重細鋸齒を有す。葉の兩面には細毛を布き，短き葉柄によりて互生し，長さ9糎（3寸）許に達す。花は腋出せる短き總狀花序に排列し，苞は長橢圓形にして毛緣なり。花被は鐘形にして5-6裂し，雄蕊は5箇，花柱は2岐して短形なり。花後9粍（3分）許ある倒卵形の翅果を生ず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

5609. **あつに**……ニレ科
Ulmus laciniata, *Mayr.*

（異名）あつし・おひょう・やじな・ねばりじな　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして，幹高さ7米（20尺）以上に達し，幼枝は毛を有せず。葉は長橢圓狀倒卵形にして，葉柄は極めて短く，緣邊に不齊なる齒牙を有し先端は通常3-7淺裂し，10-16條の側脈を具へ，長さ9-18糎（3-6寸）許に達し，兩面は葉柄と共に短毛を生ず。4-5月の候，短梗を有する淡黃綠色の細小花を簇生し，束集聚繖花序を綴る。花被は鐘形にして5-6淺裂し，雄蕊は5-6箇，花絲は紫紅色にして挺出し，葯も亦紫紅色を呈す。子房は1箇，花柱は2箇を有し，花後6月頃に至り，長さ1·2-1·8糎（4-6分）許ある扁平にして翅端全緣或は叉裂せる翅果を結ぶ。種子體は概ね中央より下方に位す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　北海道の土人は，本植物の樹皮を採りて一種の布を織り，之を「アツシ」と稱し，土人の衣服は通常之にて製すといふ。又材は諸種の器具を製するに用ひ，又薪炭の材に供せらる。

5610. **にっくぁうあつに**……ニレ科
Ulmus laciniata, *Mayr.* var. nikkoensis, *Rehd.*

〔形態〕前種アツニの一種にして，主に本邦中部の山地に自生する落葉喬木なり。葉は廣倒卵形にして稍小さく，若き葉は稍紫色を呈すれども，成葉に至れば暗綠色に變じ，下面に短き粗毛を散生す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

2. ムクノキ屬　APHANANTHE.

5611. **むくのき**　樸樹・椋（24圖版-211）……ニレ科
Aphananthe aspera, *Planch.*

（異名）むくえのき・をむく　〔形態〕本邦南部地方の山野に自生する落葉喬木にして，幹高さ15-18米（50-60尺）に達し，全株短剛毛を布き，概形ケヤキに似たり。樹皮は帶黃青黑色にして，灰色の斑點を有し，若き樹は稍粗き皺を有すれども，後には外皮に裂目を生じ，鱗片狀をなして剝脫す。葉は葉柄を具へ，紙質，橢圓形或は卵狀披針形にして先端尖り，緣邊に銳鋸齒を有し，葉面は頗る粗糙にして7-8對の側脈を具へ，長さ4·5-10糎（1·5-3·5寸）許に達す。5月頃，葉と共に淡綠色の雌雄花を生じ，雌雄同株なり。雌花は新梢の上部に生じ，1-2花を着け，萼片は5箇，子房は1にして柱頭は2叉す。雄花は聚繖花序をなして新梢の下部に生じ，筐形にして凹面をなし，外面に毛茸を有する5箇の萼片と，雄蕊5箇とを有す。秋日に至り，大豆大の核果を結び，熟して蒼黑色を呈す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

人生との關係　果實の熟したるものは頗る甘く，生食に適す。立秋前後に採取し，陰乾として貯ふ。又此樹に「エノキダケ」と同樣なる蕈を生じ，味香共に良好にして價亦貴きものなり。藥效としては花を煎服すれば，胃腸病に特效あり，副作用等絕對に起らざれば，氣永に服用するを可とす。

3. エノキ屬　CELTIS.

5612. **えのき**　朴樹・加條木・榎（24圖版-212）……ニレ科
Celtis sinensis, *Pers.* var. japonica, *Nakai.*

（異名）え　〔形態〕平地，山野に自生する落葉喬木にして，幹は直徑1·5-1·8米（5-6尺），高さ18-21米（60-70尺）に達するものあり。樹皮は帶褐黑色にして，灰色の斑點を有し，厚く且つ平滑にして分裂せず。枝條は肥大にして密に細枝を生じ，樹狀稍ムクノキに似たり。葉は葉柄を有し，卵形或は廣橢圓形にして先端尖り，緣邊の上部には鋸齒を有し，3行脈を具へ，長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許に達し，兩面は糙澁なり。托葉は線形にして早落し，嫩葉には初め細毛を密布し，既にして無毛となる。4月頃，淡黃色にして細梗を有する細小形の單性花及兩性花を雌雄同株に腋出す。雄花は聚繖花序をなして新梢の下部に生じ，長橢圓狀披針形にして毛緣を有する4片の花被と，4箇の雄蕊並に白色にして軟毛を密生せる退化子房とを有し，兩性花は新梢の上部に單生し，4箇の萼片と4箇の雄蕊並に1箇の子房とを有し，花柱は2岐して外反す。花後9月頃，小豆大の球形核果を結び，黃赤色に熟す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・琉球・臺灣。

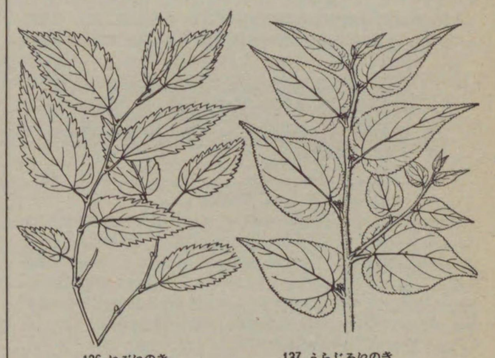
人生との關係　果實は帶澁の甘味を有し，生食し得べしと雖もムクより劣れり。嫩葉は燻でゝ飯に交へ或は胡麻味噌和，又は浸物として食すべく又茶を製すべし。材は質稍軟かく窩朽し易けれども，靱力強きを以て，挽物細工の材料又は俎を作るに用ひ，又薪炭に供せらる。藥效としては，木皮を煎用するときは，食慾增進・月經促進・蕁麻疹を治するに重用せられ，葉は揉みて貼付すれば漆瘡に效ありと云ふ。

5613. **しだれえのき**……ニレ科
Celtis sinensis, *Pers.* var. pendula, *Miyoshi.*

〔形態〕エノキの一種にして，枝條の懸垂せる種類なり。
〔分布〕本州中部。

5614. **こばのえのき**……ニレ科
Celtis nervosa, *Hemsl.*

〔形態〕主に臺灣の平地に自生する落葉灌木にして，葉は稍革質，圓卵形にして鈍頭，圓脚をなし，緣邊の上半部に齒牙を有し，長さ3糎（1寸）許に達す。花は腋出・單生し，花梗は花より長し。花後6粍（2分）許にして，廣橢圓形をなせる果實を結び，粉白を布く。〔分布〕臺灣。


136 いぞいぬのき

137 うらじろいぬのき

5615. **えぞえのき**　（白圖-136）……ニレ科
Celtis Bungeana, *Blume.* var. jessoensis, *Kudo.*

（異名）おくえのき・おくじりえのき　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして，幼條は無毛なり。葉は有柄にして3行脈を具へ，長さ4·5-9糎（1·5-3寸）許に達し，脈上に毛茸を散生す。葉身は卵形或は卵狀橢圓形にして先端急に尖り，短尾端をなし，不齊なる圓脚乃至鈍脚を呈し，上半部は波樣鋸齒緣を有す。葉柄には初め軟毛を密生すれども，既にして短毛を疎生するのみ。5月頃に至り，新條に長き花梗を出し，單性及兩性花を雌雄同株に着生す。兩性花は卵狀披針形にして，紫紅色をなせる4箇の花被片と4箇の雄蕊とを有し，花絲は彎曲し，葯は淡紅色を呈し，子房は1箇を具へ，花柱は2岐す。雄花は稍兩性花と同形なるも，葯は稍大きく，退化子房を有す。花後生ずる核果は長柄を有し，球形にして9月頃に至り成熟し，稍黑色を呈す。〔花色〕紫紅色。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道・本州・四國。

4. ウラジロエノキ屬　TREMA.

5616. **うらじろえのき**　（白圖-137）……ニレ科
Trema orientalis, *Blume.*

〔形態〕暖國の山野に自生する常綠の小喬木にして，若き枝條には毛茸を密布す。葉は斜卵狀長橢圓形にして先端尖り，基脚心臟形をなし，緣邊に細鋸齒を有し，上面粗糙なれども下面には白色僅毛を密生し，葉柄及托葉を具へて互生す。春夏の候，黃白色にして徑3粍（1分）許ある單性の疎花を腋出し，聚繖花序に排列す。花被片は雄蕊と共に各5箇を有し，子房は無柄にして，柱頭は2岐す。花後，黑色にして廣橢圓形をなせる核果を結ぶ。
〔花色〕黃白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州（大島）・小笠原島・臺灣。

5617. さりえのき ……ニレ科
Trema amboinensis, *Blume.*

（異名）ほそばうらじろえのき・こばふんぎ　〔形態〕琉球.臺灣等の山野に自生する喬木にして.枝條には毛茸を密生す。葉は卵狀長橢圓形にして大きく.先端尾狀をなして尖り.緣邊に細鋸齒を有す。上面は縮澁或は短毛を生じ.下面は毬毛を密布す。聚繖花序は大形にして密生し.葉柄より超出す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕琉球·臺灣。

5. ケヤキ屬 ZELKOWA.

5618. **けやき** 欅 (24圖版-213) ……ニレ科
Zelkowa serrata, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして.幹高さ21-24米(70-80尺).直徑1·8-2·1米(6-7尺)以上に達し.幼條.嫩葉には初め細毛を布けども.既にして無毛となる。葉は互生葉にして.短き葉柄を有し.葉身は上面縮澁なる廣披針形或は長卵形にして先端尖り.緣邊には齒牙狀銳鋸齒を有し.8-12對の側脈を具へ長さ3-6糎(1-2寸)許に達す。托葉は披針形にして脫落性なり。4-5月頃.新葉と共に淡黃綠色の小形花を雌雄同株に生ず。雄花は短梗を有して.新條の下部に腋出し.聚繖花序或は單生し.花被は廣鐘形にして5-6淺裂し.雄蕊亦5-6箇を具へ挺出す。兩性花は新條の上部に腋出して單生す。花被は稍雄花の如く.雄蕊は5-6箇を具へ小形なり。子房は1箇を有し.花柱は2岐す。花後小形にして灰黑色をなせる扁球形の核果を結び.穀角を有す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·四國·九州。

人生との關係　本植物は其木質の堅きと木理の美なるとにより.建築用及器具用として重用せらる。又矮性に仕立て.盆栽用として愛玩せらる。

5619. めげやき ……ニレ科
Zelkowa serrata, *Makino.* var. stipulacea, *Makino.*

〔形態〕前種ケヤキの一種にして.概形彼に似たり。葉は細毛を布ける葉柄を有し.上面縮澁にして.下面肋脈に細毛を布き.疎毛緣を有するものなり。〔分布〕本州北部及中部。

5620. たいわんけやき ……ニレ科
Zelkowa formosana, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして.幹高さ30米(100尺).徑3米(10尺)以上に達し.枝條は無毛なり。葉は紙質若しくは軟革質にして.披針形.鈍或は銳尖頭をなし.緣邊に細鋸齒を有し.眞直にして平行せる側脈を具ふ。上面は有毛にして.下面は稍無毛なり。雌雄異株又は同株にして.花は淡黃色を呈し.兩性又は單性なり。花後結ぶ瘦果は卵形にして先端2裂し.長さ3粍(1分)許を有し.網狀瘤起し.兩側の脊線は顯著なり。〔花色〕淡黃色。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

殼斗群

1. くり(殼斗)科 FAGACEÆ.

本科の植物は喬木或は灌木なり。葉は互生し.葉柄を具へ.單葉にして鋸齒又は羽狀分裂をなし.且つ羽狀脈ありて.脫落性の托葉を具ふ。花は小さく.通常單性稀に兩性にして一種の花被を有し.雄雌同株なり。雄花は葇荑花序或は頭狀花序に排列し.雌花は1花或は數花相集り.其周圍に一部又は全部連合せる總苞ありて之を包み.單生或は穗狀或は頭狀に排列するか或は雄花より成れる花序の下に位し.共に新枝の葉腋に着生す。總苞は成長の後.殼斗となる。雄花は苞樣にして4-7裂せる花被と4-20箇の雄蕊とを具へ.雌花は4-8裂をなせる壺形或は長橢圓形の花被を有し.雌蕊は3-6箇の結合せる心皮より成り.心皮と同數の花柱を具ふ。子房は下位にして3-6室を有し.各室に2箇の下垂せる卵子を含む。果實は堅果にして1箇の無胚乳種子を含み.蘘狀或は椀狀の殼斗を具ふ。

138 くり

本科には5屬.凡375種の植物を含有し.多くは北半球の溫帶地方に分布し.本邦には6屬.凡70種を產出す。

本科所載植物名目次

アカガシ……5636　クロブナ……5633　ハゴロモガシハ……5663
アベクヌギ……5654　コジヒ……5671　ハセグリ……5624
アベマキ……5654　コナラ……5666　ハダカグリ……5624
アマグリ……5620　コバガシハ……5669　ハナガガシ……5643
アラアカ……5630　コマミガシ……5625　ハヒギ……5649
アラガシ……5640　コルクガシ……5665　バ　メ……5646
イシナラ……5659　コルククヌギ……5654　バメガシ……5646
イチキガシ……5639　コルクノキ……5665　ヒシガシ……5625
イチガシ……5631　サウジガシ……5643　ヒハバガシ……5647
イヌガシ……5639　ササガシ……5644　ヒメジヒ……5673
イヌブナ……5633　サツマガシ……5643　ヒラギジヒ……5675
イボブナ……5623　サツマジヒ……5676　ヒリユウガシ……5641
イマメガシ……5646　シダレグリ……5625　ヒロハウバメガシ……5648
ウバシバ……5646　シ　ヒ……5672　フアベルガシ……5664
ウバメガシ……5646　シヒガシ……5672　フシマキ……5655
ウラジロガシ……5651　シヒノキ……5672　ブ　ナ……5631
ウラジログリ……5629　シマガシ……5642　ブナノキ……5631
エゾミヅナラ……5659　シラガシ……5644　ホ　ソ……5666
エンメイリンカー……5674　シリブカ……5677　ホバウラジロガシ……5650
オキナハウラジロガシ……5670　シリアカガシ……5677　ホソバガシ……5644
オニガシ……5638　シロブナ……5631　ホンブナ……5631
オホガシ……5635　スダジヒ……5672　マ　キ……5666
オホガシハ……5661　ソバグルミ……5631　マタジヒ……5676
オホクリカシ……5630　タイコジヒ……5671　マテガシ……5676
オホツクバネガシ……5653　タイワンウラジロガシ……5652　マテバジヒ……5676
オホナラ……5669　タイワングリ……5629　マナラ……5658
オホバウソ……5661　タイリンコナラ……5667　マルバコナラ……5668
オホバガシ……5626　タンバグリ……5622　マルバジヒ……5674
オホバナラ……5669　チリメンガシ……5647　ミブナラ……5658
オホブナノキ……5632　ツクバネガシ……5649　メンガシ……5649
オホミブナラ……5657　ツブラジヒ……5671　モウコガシハ……5669
カ　シ……5636　テウセンブナ……5634　モチガシハ……5660
カシハ……5660　トゲジヒ……5678　モンゴリナラ……5669
カシハナラ……5656　トゲナシグリ……5627　ヤツブサグリ……5623
カシハハソ……5656　ドングリ……5655　ヤナギガシ……5650
カタギ……5655　ナ　ラ……5666　ヤナギバラガシ……5645
カラフトガシハ……5661　ナラガシハ……5656　ヤマホソ……5658
クサグリ……5628　ナラバガシ……5640　ヨコメガシ……5642
クジヤクガシハ……5662　ナラマキ……5658　リウキウガシ……5670
クニギ……5655　ノイシナラ……5658　リウゼンガシハ……5656
クヌギ……5655　ノコバアカガシ……5637　リタクヌギ……5654
ク　リ……5621　ノホソ……5666　リタマキ……5654
タロガシ……5640　ハコグリ……5626

1. クリ屬 CASTANEA.

5621. **くり** 栗 (白圖-138) ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* (*C. sativa*, var. *pubinervis*, *Makino.*)

〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして.高さ12-15米(40-50尺)內外に達す。葉は短柄を有し.長橢圓狀披針形にして先端尖り.緣邊に芒尖波狀鋸齒を有し.21-26對の側脈を具へ.長さ9-18糎(3-6寸)許に達し.兩面脈上共に短毛を布き.概形クヌギに似たり。5-6月頃.15-18糎(5-6寸)の穗狀葉柄と花序をなして單性花を同株に開く。雄花は2-3箇或は5-6箇宛簇生して花穗をなし.6箇の萼片と10-12箇の雄蕊とを具へ.退化子房を伴ふ。雌花は花穗の基部に着生し.通常2-3箇を簇生す。萼は6裂し.裂片は卵形にして子房に着生し.子房は3室を具へ.花柱は5-7箇を有し剛毛狀をなす。果實は全面に刺を有する扁球形蘘狀の殼斗內に包まれ.10月頃.成熟して裂開し濃褐色にして滑澤なる堅果を撒出す。殼中1果を有するものあり.2-3果を有すること.又稀に5-7果を有することあり。1果を有するものは形稍正圓に近く.一ツグリ又ヒヨングリ.テングリ等と稱す。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

人生との關係　果實は食用に供し.木材は建築用材又は器具用材.殊に材は堅く.よく水濕に耐へ.容易に腐朽せざるを以て.土臺.船材.鐵道枕木等に賞用せられ.又水に浸して澁拔を行ふときは.漸次黑色に變じて雅致あるものなれば.種々の器具用材に供せらる。又薪炭材としては火力強きを以て重用せらる。葉は天蠶の飼料に供せられ.樹皮より滲出する澁(單寧)は鞣皮用又は染料に供せらる。其他藥效として(1)漆「カブレ」には樹皮.枝葉を煎じたる液汁にて洗滌するときは之を治し.(2)「イガ」を黑燒にし.胡麻油にて練りたるものは脫毛を防ぐに效ある等用途廣きものなり。

5622. たんばぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* forma gigantea, *Makino.*

〔形態〕古來より丹波地方に產すれども.現時は各地に栽植せらるゝ栗類中其果實の頗る大形なる品種なり。〔分布〕邦內各地。(類別參照)

5623. やつぶさぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* var. femina, *Makino.*

〔形態〕主に本州中部地方の山地に自生する種類にして.本種は花穗何れも雌花より成りて.全く雄花を缺ける種類なり。

5624. はぜぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* var. imperfecta, *Makino.*

（異名）はだかぐり　〔形態〕本州北部の山地に生ずる一種にして.本種の果皮は通常不齊に縱裂し.種子を露出する種類なり。

5625. しだれぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* var. pendula, *Makino.*

〔形態〕本州中部に自生し.枝條は一般に懸垂せる種類なり。

5626. はこぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* var. pleiocarpa, *Makino.*

〔形態〕本州中部殊に近江地方に多き種類にして.殼斗は小形なり。普通栗は苞內に3箇の子實を容るゝを常とすれども.本種は通常7箇稀に8箇を包容し.刺毬は疾く裂開す。子實は毬形4稜にして澱き種類なり。

5627. とげなしぐり ……クリ科
Castanea crenata, *Sieb.* et *Zucc.* var. sakyacephala, *Makino.*

〔形態〕栽培種にして.葉は狹長橢圓形をなし.先端銳く基脚は不等圓形をなし.緣邊に微尖なる低鋸齒を具へ.長さ21-24糎(7-8寸)に達す。各側には25-28條の側脈を具へ.下面に白色微毛を密布す。刺毬は球形にして.外面多數の短刺束に覆はれ.內に3堅果を藏す。(栽培種)

5628. くさぐり ……クリ科
Castanea kusakuri, *Koidz.*

〔形態〕幼枝には紅黃色の微毛を密布す。葉は短き葉柄を具へ.緣邊には微凸尖細鋸齒を有し先端尖る。上面葉腋に沿ひて偃毛を生じ.脈間には粉狀細腺密生し早落生なり。果實は小形なり。〔分布〕邦內。

5629. タイワングリ ……クリ科
Castanea Bungeana, Blume. (*C. formosana*, *Hayata.*)

（異名）ウラジログリ·アマグリ　〔形態〕枝條は稍黑色を呈し.白點を布く。葉は長橢圓狀披針形にして.各側に18條の側脈を具へ.有柄にして.上面無毛なるも.下面には偃毛密布をす。雄性穗狀花序は頂生或は腋生し.花は5-6箇を簇生して花被は短毛を被る。雄蕊は12箇を有し.倒卵形をなせる6箇の假心皮を伴ふ。(栽培種)

2. オホクリガシ屬 CASTANOPSIS.

5630. **オホクリガシ** (24圖版-214) ……クリ科
Castanopsis Kawakamii, Hayata.

〔形態〕山地に自生する喬木なり。葉は革質.長卵形にして.通常7條の側脈を具へ.有柄にして尾狀銳尖頭.圓脚或は楔脚をなし.全緣なるか.或は先端粗鋸齒を有し.上面滑澤.下兩偃毛を散生す。果實は概ね5-6箇を穗狀に排列し.總苞は廣球形にして眞直の刺を生じ.堅果は通常1箇にして卵狀球形なり。〔分布〕臺灣。

3. ブナノキ屬 FAGUS.

5631. **ぶなのき** (24圖版-215) ……クリ科
Fagus Sieboldi, *Endl.*

（異名）しろぶな·そばぐるみ·ぶな·ほんぶな　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして.大なるものは幹高さ21-24米(70-80尺).周圍2·1-2·4米(7-8尺)に達す。樹皮は淡灰色にして平滑.枝條は細く紫褐色を帶ぶ。葉は短き葉柄を有し.卵圓形にして先端尖り.鈍脚或は銳脚をなし.波樣鋸齒緣を有し.長さ6-9糎(2-3寸)に達す。葉面は濃綠色を呈し.裏面は淡綠色にして.明白なる9-10對の側脈を具へ.兩面脈上は葉柄と共に淡褐色毛茸を密布し.托葉は披針形なり。春日淡綠色をなせる細花を雌雄同株に着生す。雄花は葇荑狀をなし.細梗によりて葉腋に垂下し.萼は稍鐘形にして分裂し.數箇の雄蕊を具ふ。雌花も亦葇荑狀をなして.枝頭に2-3花を簇生し.苞を有す。萼は壺形にして線狀披針形に分裂す。子房は3室.花柱は3箇を有し.果實は10月頃成熟す。總苞の木化せる殼斗は短梗を有し.廣卵狀球形にして.外面に線狀鑿形の鱗片及淡褐色の毛茸を密布し.後4裂して中にソバに似て長さ1·5-1·8糎(5-6分).幅6-9粍(2-3分)許ある堅果を藏す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕5-6月。〔分布〕北海道·本州·九州。

人生との關係　木材は諸器具の用材に供し.又薪炭の料となす。果實は炒りて食用に供し.香味あり。山中にて食物に缺乏せる時は之を食して飢を凌ぐことありと。又油を搾りて燃油·食用に供せらる。

139 おほばぶなのき　140 いぬぶな

5632. **おほばぶなのき** (白圖-139) ……クリ科
Fagus Sieboldi, *Endl.* var. grandifolia, *Nakai.*

〔形態〕本州中部地方の山地に自生する落葉喬木にして.前種ブナの一種なり。概形彼に似たれど本種の葉は彼より大きく.長さ7·5-11糎(2·5-3·5寸)許を有し.幼木にありては15糎(5寸)以上に達するものあり。〔分布〕本州中部。

5633. **いぬぶな** (白圖-140) ……クリ科
Fagus japonica, *Maxim.*

（異名）くろぶな·いぼぶな　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして.幹高さ18-21米(60-70尺)に達し.概形ブナに似て樹皮灰黑色を帶び.若き梢は赤褐色を呈す。葉は葉柄を具へ.ブナに似て稍小さくして薄く.眞直にして.相接近せる10-14對の側脈を具へ.下面に白色の長絹毛を密布し.嫩葉には毛茸多し。5-6月頃.葉腋及新梢頭上に單性花を雌雄同株に生ず。雄花は淡綠色にして長き穗狀をなし.雌花は枝梢頭上に2-3箇を簇生す。果實は10月頃成熟し.ブナに似て稍小さく.圓錐狀3稜形の褐色を呈する堅果なり。殼斗は小形にして長柄を有す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕5-6月。

〔分布〕本州各部。

人生との關係　木材は農具、家具製造の料及薪炭用として廣く用ひらる。尙樹皮には「グアヤコール」と稱する成分を含有するを以て、其の煎汁は胃腸病者に特效あるものなり。

5634. **たいわんぶなのき** ……クリ科
Fagus Hayatae, *Palib.*

〔形態〕臺灣に自生する喬木にして、葉は葉柄を有し、滑澤・楕圓形にして11–12對の側脈を具へ、長さ4·5糎(1·5寸)許に達す。上半部は鋸齒緣をなし、先端銳尖にして、基脚楔形なり。〔分布〕臺灣。

4. アリサンガシ屬　LITHOCARPUS.

5635. **こまみがし**（24圖版-216）……クリ科
Lithocarpus rhombocarpa, *Hayata.* (*Quercus rhombocarpa, Hayata.*)

（異名）ひしみがし　〔形態〕臺灣に自生する喬木にして、樹皮は黒紫色を呈し、無毛にして稍平滑なり。葉は厚質・卵狀長楕圓形にして、各側に7–9條の側脈を具へ、長さ6–9糎(2–3寸)に達し、銳尖頭をなす。果實は穗狀をなして排列し、殼斗は皿形にして、外面には三角狀をなせる鱗片を密接し內面には短毛を布く。堅果は球狀倒圓錐形にして無毛なり。〔分布〕臺灣。

5. カシ屬　QUERCUS.

141 あかがし　　142 いちゐがし

5636. **あかがし** 血櫧·赤櫧（白圖-141）……クリ科
Quercus acuta, *Thunb.*

（異名）かし・あらあか・おほばがし・おほがし　〔形態〕暖地の山野に自生する常綠喬木にして、嫩枝及嫩葉には赤褐色の毛茸を密布し、材は赤色を帶ぶ。葉は厚質の廣橢圓形にして9–13對の側脈を具へ、上部には波狀の鋸齒を有するか或は殆んど全緣にして、長さ7·5–14糎(2·5–4·5寸)許に達す。5月頃新梢葉腋に褐色の單性花を綴る。雄穗は褐色の毛茸を密生し、苞は赤褐色にして披針形をなし、萼は6裂し、雌穗は2–5花を着生す。果實は橢圓形の堅果にして、基部に6–7輪層を有する椀狀の殼斗を有し、10月頃成熟す。〔花色〕褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　材は稍赤味を帶び、堅牢なるを以て、製車用材·下駄の齒·船具·農具等を造るに用ひられ、又薪炭の料に供せらる。

5637. **のこばあかがし** ……クリ科
Quercus acuta, *Thunb.* var. acutaeformis, *Nakai.*

〔形態〕前種アカガシの一種にして、葉は橢圓形をなし緣邊に鋸齒を具へ、葉面皺縮す。果面の隆起線は顯著なり。〔分布〕九州。

5638. **おにがし** ……クリ科
Quercus Cornea, *Lour.* var. Konishii, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する常綠喬木にして、枝條には粗毛を生ず。葉は倒卵狀長橢圓形或は披針形にして、長さ18糎(6寸)許に達し、弓狀に彎曲せる側脈15–16對を具へ、兩面葉脈に沿ひて粗毛を布く。果實は半球形をなせる堅果にして微毛を密生し、殼斗は椀狀をなして偃毛を被る。〔分布〕臺灣。

5639. **いちゐがし**（白圖-142）……クリ科
Quercus gilva, *Blume.*

（異名）いちがし・いぬがし　〔形態〕暖地に自生多き常綠喬木にして、幹高さ15–18米(50–60尺)に達し、幼條には黃褐色の微毛を密布す。葉は葉柄を具へ、革質、長橢圓形にして先端尖り、緣邊の上部にのみ鋸齒を有し、長さ4·5–12糎(1·5–4寸)許に達す。下面には葉柄と共に黃褐色毛を生じ、短き葉柄によりて互生す。4月中旬の候、新梢葉腋に單性の小花を綴り、雌雄同株なり。雄穗は茎荑花序に排列し、有苞にして萼は5分裂し、7–8箇の雄蕊を具へ、雌穗は3花を簇生す。果實は廣橢圓形をなせる堅果にして先端に毛を生じ、殼斗は皿形をなし、6–7條の輪層を有す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係　材は堅牢なるを以て、諸器具の柄、下駄の齒等の用材とし種子は食用に供せらる。

5640. **あらがし**（24圖版-217）……クリ科
Quercus glauca, *Thunb.*

（異名）くろがし・ならばがし　〔形態〕暖地の高山又は平地に自生する常綠喬木にして、木質は稍赤色を帶び、幼條には褐色の軟毛を密生す。葉は革質·披針狀又は倒披針狀長橢圓形にして、長さ6–14糎(2–4·5寸)許を有し、7–12對の側脈を具へ、急邊銳尖頭をなし、上半部に粗鋸齒緣を有す。兩面は初め葉柄と共に軟毛を被れども、既にして無毛となる。4–5月の候、新梢葉腋に褐色の單性花を雌雄同株に生ず。雄穗は長さ6糎(2寸)許にして、花軸には毛を生じ、雌穗は5–6花を着生す。果實は長さ1·5糎(5分)許を有する橢圓形の堅果にして、10月頃成熟し、殼斗は淺皿形にして稍絹毛を被る。〔花色〕褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　木材は諸器具の材料とし、又薪炭の料に供せらるゝこと前種に同じ。

5641. **ひりゅうがし**（24圖版-218）……クリ科
Quercus glauca, *Thunb.* var. lacera, *Matsum.*

〔形態〕前種アラガシの一種にして、各地に栽植せらる。幼條には彼と同じく褐色の毛茸を密生す。葉は薄質にして長橢圓形をなし、下面に短毛を布き、上半部には缺刻緣を有して先端尖り、各缺刻片は刺尖銳尖頭をなして不齊鋸齒緣を有す。（栽培種）

5642. **しまがし**（25圖版-219）……クリ科
Quercus glauca, *Thunb.* var. stricta, *Makino.*

（異名）よこめがし　〔形態〕前種アラガシの一種にして、葉面側脈間に稍白色をなせる條紋を有する種類なり。（栽培種）

5643. **はながしが** ……クリ科
Quercus Hondai, *Makino.*

（異名）さうじがし・さつまがし　〔形態〕九州に自生する常綠喬木にして、葉は葉柄を有し、披針形·銳尖頭銳尖脚をなし、9–12對の側脈を具へ、長さ6–14糎(2–4·5寸)に達し、緣邊の上半部には粗鋸齒を有す。果實は倒卵狀橢圓形をなせる堅果にして、殼斗は輪層6–7條を伴へる淺皿形をなす。〔分布〕九州。

5644. **ほそばがし**（25圖版-220）……クリ科
Quercus myrsinaefolia, *Blume.*

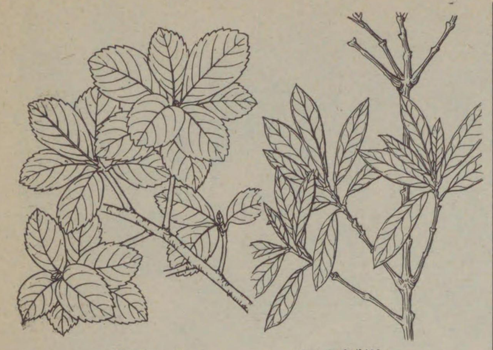
（異名）ささがし・しらがし　〔形態〕暖地の山野に自生する常綠喬木なり。葉は廣橢圓形或は長橢圓狀披針形にして、長さ6–12糎(2–4寸)許に達し、11–15對の側脈を有す。緣邊の上半部には鋸齒を有し、長銳尖頭、銳乃至圓脚にして、下面は帶白色を呈し、細き葉柄によりて互生す。4月頃、新梢葉腋に小形なる單性花を雌雄同株に着生し、花冠を缺く。雄穗は長さ6–9糎(2–3寸)許にして、4–5箇の雄蕊を具へ、雌花は2–3花宛簇生す。果實は長さ1·5糎(5分)許を有し、球形或は廣橢圓形の堅果にして、10月頃成熟す。殼斗は6–8輪層を有し、淺き皿形をなす。〔花色〕褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係　木材を諸器具製作の料に供し又薪炭の料とす。

5645. **やなぎしらがし** ……クリ科
Quercus myrsinaefolia, *Blume.* var. salicifolia, *Makino.*

〔形態〕前種ホソバガシの一種にして、九州地方に自生する常綠の喬木なり。概形彼に似たれども、本種の葉は廣線形或は線狀披針形をなして細長く、稍ヤナギの葉に類し、緣邊に微凸尖低鋸齒を具へ、長さ4·5–12糎(1·5–4寸)許に達す。

PL. 24.



143 うばめがし　144 びはばがし

5646. **うばめがし**（白圖-143）……クリ科
Quercus Ilex, *L.* var. phylliraeoides, *Franch.*

（異名）いまめがし・ばめがし・ばめ・うばしば　〔形態〕暖地の山野に自生する常綠喬木にして，幼條には黃褐色の微毛を密生す。葉は厚質・廣橢圓形にして，銳頭或は圓頭をなし，緣邊上半部には細齒牙を具へ，長さ 3-4·5 糎（1-1·5 寸）許に達す。各側に 5-6 對の側脈を具へ，兩面には初め葉柄と共に微毛を有すれども，既にして稍無毛となる。5 月頃新梢葉腋に小形の單性花を雌雄同株に綴り，雄穗は長さ 3-6 糎（1-2 寸）許にして，花軸には氈毛を生ず。蕊は鐘形にして，4 乃至 5 淺裂し，雄蕊ホ 4-5 箇を具へ，雌穗は通常 2 花を着生す。10 月頃 1·8-2·1 糎（6-7 分）許ある橢圓形の堅果を結び，殼斗は皿形にして薄緣を有し，外面には鱗片を密に瓦列す。

〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

人生との關係　材質堅硬なるを以て，艪臍を造り，又ビンチヤウと名づくる最も火力の强き木炭を燒くに用ひらる。

5647. **びはばがし**（白圖-144）……クリ科
Quercus Ilex, *L.* var. crispa, *Matsum.*

（異名）ちりめんがし　〔形態〕前種ウバメガシの一種にして，葉面は多くの皺縮をなし，且つ葉緣の反捲せる品種なり。（栽培種）

5648. ひろはうばめがし……クリ科
Quercus Ilex, *L.* var. spinosa, *Franch.*

〔形態〕臺灣に自生する常綠喬木にして，稍細長なる枝條は上方に向ひて叢生し開出生なり。葉は概ね全緣なれども，時に刺齒緣をなす。嫩葉は中肋の下半部に灰白絨毛を密布し，下面に黃色毛茸を生ず。果實は花後，翌年に至りて成熟し果柄を有す。〔分布〕臺灣。

5649. **つくばねがし**（25圖版-221）……クリ科
Quercus sessilifolia, *Blume.*

（異名）めんがし・はひぎ　〔形態〕南部溫暖なる地方の山地に自生する常綠喬木にして，幹高さ 12-15 米（40-50 尺）に達す。葉は革質の廣披針形或は長橢圓狀披針形にして，各側に 9-10 對の側脈を具へ，先端急に銳く尖り，概ね全緣なれども又上半部は疎鋸齒緣をなすことあり，長さ 6-12 糎（2-4 寸）許に達し，短柄によりて互生す。4-5 月の候，小形の單性花を雌雄同株に綴り，雄穗は穉長にして褐色をなせる苞及 8-9 箇の雄蕊とを具へ，雌穗は 2-3 花を簇生す。10 月頃，長さ 1·8 糎（6 分）許を有する橢圓形の堅果を成熟し，殼斗は皿形をなして，5-6 條の輪層を有す。〔花色〕黃褐色。

〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係　木材は諸器具並に棍棒等を造るに用ひ又薪炭の料に供する外，往々觀賞用として庭園等に栽植せらる。

5650. やなぎがし……クリ科
Quercus salicina, *Blume.*

（異名）ほそばうらじろがし　〔形態〕本州中部に自生する常綠喬木にして，幼條には短毛を布く。葉は革質にして，概形ヤナギの葉に類し，線狀披針形にして 7-14 對の側脈を具へ，先端銳尖をなし，下面に白色の短毛を布ける品種なり。〔分布〕本州中部。

5651. **うらじろがし**（25圖版-222）……クリ科
Quercus stenophylla, *Makino.*

〔形態〕暖地の山野に自生する常綠喬木にして，葉は披針狀長橢圓形をなし，10-12 對の側脈を具へ，長さ 9-14 糎（3-4·5 寸）許に達し，銳尖頭·銳脚或は鈍脚をなし，上半部には銳鋸齒緣を有す。下面には初め絹毛を密布すれども，既にして無毛となり純白色を呈す。5 月頃，小形の單性花を新梢葉腋に着生し，雌雄同株なり。雄花は褐色軟毛を有する花軸に穗狀をなして着生し，蕊は 3-4 裂し，4-6 箇の雄蕊を具へ，雌花は 3-4 箇を簇生す。11 月頃，長さ 1·5-1·8 糎（5-6 分）許を有する廣橢圓形の堅果を成熟す。殼斗は皿形にして，數段の輪層を具へ，外面に多くの毛を生ず。〔花色〕黃褐色。

〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

5652. たいわんうらじろがし……クリ科
Quercus stenophylloides, *Hayata.*

（異名）ありさんあらがし　〔形態〕山地に自生する常綠喬木なり。葉は革質の卵狀長橢圓形或は披針形にして先端尖り，芒尖齒牙緣を有し，10-11 對の稍眞直なる側脈を具へ，上面滑澤にして，下面粉白を布く。果實は圓錐狀球形の堅果にして，殼斗は徑 9 粍（3 分）許を有し，倒圓錐形にして鱗片は合生し，螺狀の 5 環は細齒緣を有し，絨毛を密布す。〔分布〕臺灣。

5653. おほつくばねがし……クリ科
Qurcus takaoyamensis, *Makino.*

〔形態〕本州中部に自生する常綠の大喬木にして，若き枝梢には褐色絨毛を密生す。葉は厚質·長橢圓狀倒披針形にして，長さ 9-15 糎（3-5 寸）許に達し，各側に 10-14 對の側脈を具へ，上面は滑澤にして，下面に細網脈を布き，短尖頭·楔脚をなし，先端に鋸齒を有す。雌穗は短形にして，花後 1-2 箇の果實を成熟す。〔分布〕本州中部。

145 あべまき　146 くぬぎ

5654. **あべまき**（白圖-145）……クリ科
Quercus serrata, *Carr.*（*Q. variabilis, Blume.*）

（異名）こるくくぬぎ・わたくぬぎ・わたまき・あべくぬぎ

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして，幹高さ 15-18 米（50-60 尺）に達し，樹皮は極めて厚き「コルク」層を有す。葉は長橢圓形·銳尖頭·圓脚にして芒尖鋸齒緣をなし，各側に 15-22 對の側脈を具へ，概形クヌギの葉に似たれども，裏面に灰白色の偃毛を密布するを以て識別することを得べし。5 月頃，新梢葉腋に單性花を雌雄同株に着生す。雄穗は長さ 3-6 糎（1-2 寸）許，蕊は 3-4 稀に 5 裂し，雌穗は腋出して數花を着生す。果實は長さ 2·1 糎（7 分）許ある球形の堅果にして，翌年 10 月頃成熟す。殼斗は皿形にして盤形の鱗片を被り，外片反捲す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係　樹皮のコルク層は栓及其他の用に供し，材は薪炭の料に供せらる。

5655. **くぬぎ** 櫟（白圖-146）……クリ科
Quercus acutissima, *Carr.*

（異名）くにぎ・どんぐり・ふしまき・かたぎ　〔形態〕溫帶より熱帶に亙りて廣く各地の林野に自生する落葉喬木にして，幹高さ 15-18 米（50-60 尺）に達し，幼梢には褐色毛茸を密生す。葉は卵狀或は長橢圓狀披針形にして先端銳尖·基脚圓形をなし，芒尖鋸齒緣を有し，長さ 6-15 糎（2-5 寸）許に達し，12-16 對の側脈は顯著なり。兩面は初め葉柄と共に毛茸を密生すれども，既にして脈上にのみ殘留し，他は無毛となる。5 月頃，黃褐色をなせる小形の單性花を穗狀をなして雌雄同株に綴る。雄穗は長さ 6-12 糎（2-4 寸）許を有し，蕊は通常 5 裂し，雌穗は腋出して 1-3 花を着生す。果實は黑褐色をなせる球形の堅果にして，殼斗は稍大きく殆んど全體を被包し，10 月頃成熟す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·四國·九州。

人生との關係　材は薪炭用に供し，樹皮は染料及鞣皮料となし，種子は食

用又は糊料に供せらる。樹皮付の木材はシヒタケの培養木として重用せらる。藥用としては樹皮を煎服すれば痲病を治するに效あり。

5656. ならがしは ……クリ科
Quercus aliena, *Blume.*

（異名）かしはなら・かしははそ・わうごんがしは　〔形態〕南部暖地の山林に自生する落葉喬木にして，葉は葉柄を有し，薄質・倒卵形或は倒卵狀長橢圓形にして，緣邊に波狀粗齒牙を有し，各側に 10–13 對の側脈を具へ，長さ 12–30 糎（0·4–1 尺）許に達し，下面に星毛を密布す。花は單性にして同株に生じ，雄穗は長さ 9 糎（3 寸）許，花被は 6 裂し，裂片は線形にして 10 箇許の雄蕊を具へ，雌穗は 1–2 花を着生す。果實は球形乃至卵形をなせる堅果にして，殼斗は淺皿形をなし，厚緣にして鱗片は短し。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

人生との關係　材は薪炭用に供し，樹皮は染料及鞣皮料となす。

5657. おほみづなら ……クリ科
Quercus aliena, *Blume.* var. pellucida, *Blume.*

〔形態〕ナラガシハの一種にして，葉は膜質をなし，兩面共に無毛なれども，稀に下面脈上に毛を生ず。〔分布〕邦內各地。

5658. **みづなら**（25 圖版–223）……クリ科
Quercus crispula, *Blume.*（*Q. grosseserrata, Blume.*）

（異名）まなら・のいしなら・やまほそ・ならきぎ　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして，幹高さ 18–21 米（60–70 尺）に達す。葉は紙樣膜質長橢圓形にして 9–17 對の側脈を具へ，長さ 9–18 糎（3–6 寸）許，銳頭・楔脚をなし，緣邊に粗鋸齒を有す。兩面は初め長軟毛を有すれども，既にして脈上毛茸を殘留するのみ。5 月頃，新梢葉腋に小形にして，花被を缺ける單性花を雌雄同株に生ず。雄穗は長さ 6–9 糎（2–3 寸），萼は 5–6 深裂し，雄蕊は 9–10 箇を具へ，雌穗は短形にして萼は 6 裂す。果實は長さ 24–27 糎（8–9 分）を有する卵狀長橢圓形の堅果にして 1–3 果を着け，10 月頃成熟す。殼斗は深く，椀狀を呈し，緣邊薄く，外面鱗片密生して瓦列す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。

人生との關係　材は器具及び薪炭の料に供し，樹皮を染料に用ふ。

5659. えぞみづなら ……クリ科
Quercus crispula, *Blume.* var. sachalinensis, *Koidz.*

（異名）いしなら　〔形態〕前種ミヅナラの一種にして，葉は倒卵狀橢圓形をなし，9–10 對の側脈を具へ，脈上に短毛を布く。〔分布〕樺太・北海道。

5660. **かしは** 柏・柏（25 圖版–224）……クリ科
Quercus dentata, *Thunb.*

（異名）もちがしは　〔形態〕溫帶に屬する山地に自生する落葉喬木にして，往々庭園樹として栽植せらる。幹高さ 6–9 米（20–30 尺）に達す。葉は短き葉柄を有し，大形の倒卵形にして 8–12 對の側脈を具へ，長さ 12–18 糎（4–6 寸）許，圓頭・楔脚にして耳垂す。緣邊には波狀齒牙を有し，上面には星毛疎生し，下面には密生す。此の葉は長く枝上に存し，翌年嫩葉の開出するに先立ちて脫落するを常とす。4–5 月頃，新梢葉腋に單性の小花を雌雄同株に生ず。雄穗は長さ 9 糎（3 寸）許，萼は 7–8 裂し，雄蕊 3 箇と退化子房とを具へ，雌穗には 1 花を着生し，萼は 8 裂す。果實は稍球形の堅果にして，10 月頃成熟す。頭部稍圓く，平椀狀の殼斗を有し，外面に 1·2 糎（4 分）許ある非薄の鱗毛を有し，鱗毛は著しく外反す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

人生との關係　材を薪炭用，樹皮を染料及鞣皮料とし，種子は食用或は糊料に供する外，葉は柏餅を包むに用ふるは人の知る所なり。

5661. おほがしは ……クリ科
Quercus dentata, *Thunb.* var. grandifolia, *Koidz.*

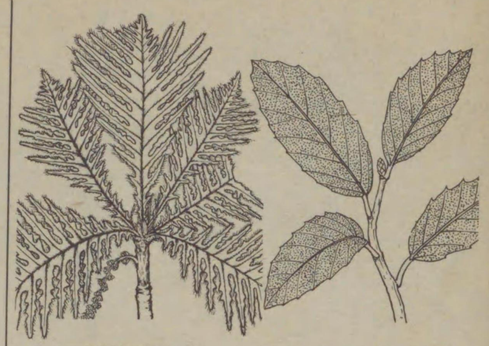
（異名）おほばうそ　〔形態〕北海道・臺灣等に自生する前種カシハの一種にして，葉形は彼に比して遙に大きく，長さ 18–30 糎（0·6–1 尺）に達する種類なり。

5662. くじゃくがしは ……クリ科
Quercus dentata, *Thunb.* var. laciniata, *Makino.*

〔形態〕本州の北部に自生するカシハの一種にして，本種の葉は羽狀に全裂し，裂片は更に各側に線形をなして疎波樣に淺裂し，不齊なる細齒牙狀の緣緣を有するものなり。〔分布〕本州北部。

5663. **はごろもがしは**（白圖–147）……クリ科
Quercus dentata, *Thunb.* var. pinnatifida, *Matsum.*

〔形態〕本種も亦カシハの一種にして，葉は深く羽狀に分裂せるものなり。（栽培種）



147 はごろもがしは　　148 コルクガシ

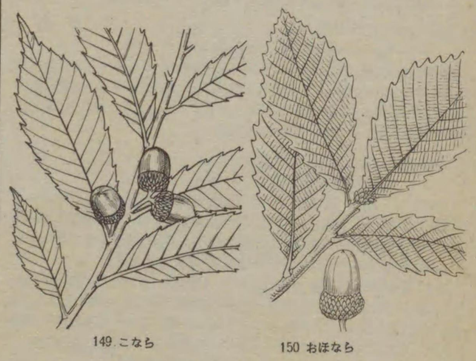
5664. ファベルガシ ……クリ科
Quercus Fabri, Hance.

〔形態〕枝條は稜を有し，葉は倒卵形にして，鈍頭・楔脚をなし，粗波樣に分裂す。上面毛茸を散生し，下面には褐色星毛を密布す。果實は長橢圓狀の堅果にして先端有毛なり。殼斗は廣半球形にして，長さ 4 粍（1·3 分），徑 7 粍（2·3 分）許を有し，鱗片は披針形にして氈毛を生ず。〔分布〕邦內各地。

5665. **コルクガシ**（白圖–148）……クリ科
Quercus suber, L.

（異名）コルクノキ　〔形態〕地中海の沿岸等に自生する常綠喬木にして，幹高さ 15 米（50 尺）許に達し，樹幹には强性なる海綿質の厚層を有す。葉は革質・橢圓形にして短柄を具へ，先端銳く，基脚圓形をなし，粗齒牙緣を有す。下面には灰白色の毛茸を密布し，長さ 9–22 糎（3–7·5 寸）許を有す。花は單性にして，雌雄同株に生じ，雌花の總苞は杯狀をなし，雄花は長穗狀に排列す。果實は長さ 1·2–3·6 糎（0·4–1·2 寸）許の卵形をなせる堅果にして，殼斗は果體の⅓若しくは⅔長なり。鱗片は肥厚して先端反捲す。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　樹皮より木栓を採り，種々の用に供す。



149 こなら　　150 おほなら

5666. **こなら** 楢（白圖–149）……クリ科
Quercus serrata, *Thunb.*（*Q. glandulifera, Blume.*）

（異名）なら・ほそ・まき・のほそ　〔形態〕暖地の山野に最も普通なる落葉喬木にして，高さ 9–12 米（30–40 尺）に達し，外皮粗だ粗縫なり。幼條には淡褐色の毛茸を密生す。葉は葉柄を具へ，倒卵狀長橢圓形にして薄く，7–12 對の側脈を具へ，長さ 6–9 糎（2–3 寸）許に達し，銳尖頭・銳或は圓脚をなし，緣邊に稍內向せる粗鋸齒を有す。兩面初め葉柄と共に淡褐色の毛茸を密布すれども，既にして毛茸は下面脈上にのみ殘留し，下面稍帶白色を呈す。5–6 月頃，新梢葉腋に單性花を雌雄同株に生ず。雄花は長さ 6–9 糎（2–3 寸）許ある穗狀に排列し，4 箇の雄蕊を具へ，萼は 5–7 裂す。雌花は杯形の總苞を有し，花柱は挺出す。果實は長さ 1·5–1·8 糎（5–6 分）許ある長橢圓形の堅果にして，10 月頃 1–2 果を成熟す。殼斗は杯形にして薄緣をなし，小鱗片は密生して瓦列す。〔花色〕淡綠黃色。〔花候〕春。〔分布〕北

PL. 25.

海道・本州・四國・九州。

人生との關係　木材を薪炭及器具の料に供し．樹皮を染料とし．果實は食用に供せらる。

5667. **たいわんこなら** ……クリ科
Quercus serrata, *Thunb.* var. brevipetiolata, *Nakai.*

〔形態〕コナラの一種にして．葉は短柄を有し．鋭脚或は鈍脚にして緣邊に短齒牙を有する種類なり。〔分布〕臺灣。

5668. **まるばこなら** ……クリ科
Quercus serrata, *Thunb.* var. pseudo-variabilis, *Nakai.*

〔形態〕コナラの一種にして．四國に多く自生する落葉喬木なり。葉は廣橢圓形にして．長さ9-18糎（3-6寸）許に達し．廣橢圓形にして．緣邊に鈍齒牙を有し．上面は滑澤なれども．下面は僅毛を布き粉白を裝ふ。

5669. **おほなら**（白圖-150）……クリ科
Quercus mongolica, *Fisch.*

（異名）もんごりなら・おほばなら・こばがしは・からふとがしは・もうこがしは　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして．幹高さ4-5米（15尺）餘に達す。樹皮は黃褐黑色にして．綠白色の斑點並に扁平なる裂目を有す。葉は短き葉柄を具へ．倒卵形又は長橢圓形にして．長さ18-21糎（6-7寸）に達す。7-12對の側脈を具へ．圓頭・狹脚をなして耳垂し．緣邊には波樣齒牙を有す。兩面脈上及下面は初め葉柄と共に軟毛を有すれども．既にして無毛となる。6月頃．單性の小花を同株に生ず。雄花は長き穗狀をなして排列し．概ね8箇の雄蕊を具へ．萼は6-7裂し．雌花は短穗にして1-2花を腋生し．萼は6淺裂す。10月頃．長橢圓形をなせる堅果1-3箇を結び．殼斗は淺き皿形をなし．外面に短き鱗片密生瓦列す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・北海道。

人生との關係　材は薪炭・搗臼・棟木・枕木・樽等の料に供し．樹皮は染料に用ひらる。

5670. **りうきうがし** ……クリ科
Quercus Miyagii, *Koidz.*

（異名）おきなはうらじろがし　〔形態〕琉球に自生する常綠喬木にして．嫩葉には兩面白毛を布く。葉は厚質・卵狀披針形にして．全緣なるか若しくは稀に上部に鋸齒緣を有し．長銳尖頭・圓脚或は鈍脚にして．長さ9-12糎（3-4寸）許に達し．初め兩面氈毛を密布し．托葉は線狀筬形なり。果實は球狀卵形の堅果にして．殼斗より著しく長く．殼斗は杯狀をなし．兩面に絨毛を生じ．鱗片は6-7箇を具へ．環狀をなして合着す。〔分布〕琉球。

6. シヒ屬 PASANIA.

5671. **つぶらじひ** ……クリ科
Pasania cuspidata, *Oerst.*

（異名）たいとじひ・こじひ　〔形態〕暖地の林野に自生する常綠喬木にして．葉は革質・長卵形若しくは長橢圓形にして葉柄を具へ．長さ6-11糎（2-3-5寸）許に達す。側脈は7-12對を具へ．先端銳く．基脚圓形にして．上半部の緣邊に鋸齒を有し．下面は灰褐色の細鱗を密生す。6月頃．新梢葉腋に單性の小花を雌雄同株に綴る。雄花は苞腋に着生し．更に2箇の小苞を具へ．疳長にして直立せる穗狀に排列す．萼は皿形をなして5-6裂す．雄蕊は10-12箇を挺出し．退化子房3箇を伴ふ。雌花も苞腋に着生し．更に多數の小苞を具へ．直生せる細軸によりて穗狀に排列し．萼は壺形にして6裂し．子房は3室．總苞は徑1-2糎（4分）許を有する甕狀をなして．果體全部を被包し．後3裂す。果實は稍球狀をなせる堅果にして．翌年10月頃に至りて成熟す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部・四國・九州・琉球。

5672. **すだじひ**（25圖版-225）……クリ科
Pasania Sieboldi, *Makino.*

（異名）しひ・しひのき・しひがし　〔形態〕暖地の山野に自生する常綠喬木にして．幹高さ24米（80尺）に達す。葉は披針形或は倒披針形にして肥厚し．緣邊に波狀小鋸齒を有し．先端銳尖・基脚亦銳形をなして長さ6-12糎（2-4寸）許に達す。上面は滑澤にして．下面は白色或は淡褐色を呈し．側脈は擬著ならず。果實は稍長橢圓形にして先端尖れる堅果なり。殼斗は卵形・銳頭をなして果體の全體を被包し．翌年10月頃に至り成熟して3裂す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5673. **ひめじひ** ……クリ科
Pasania Sieboldi, *Makino.* var. pusilla, *Makino.*

〔形態〕スダジヒの一種にして．葉は短き葉柄を有し．披針形・銳尖頭・鈍端をなせるものなり。往々栽植せらる。（栽培種）

5674. **えんめいりんか** ……クリ科
Pasania Sieboldi, *Makino.* var. rotundifolia, *Makino.*

（異名）まるばじひ　〔形態〕本種も亦スダジヒの一種にして．他種と異り多くの枝と多くの葉を叢生し．恰も灌木狀を呈す。葉は橢圓形或は圓形・鈍頭・圓脚にして．緣邊の上半部は不明なる鈍齒牙緣をなし．短き葉柄を有して長さ3-4-5糎（1-1-5寸）許に達する種類なり。（栽培種）

5675. **ひらぎじひ** ……クリ科
Pasania Sieboldi, *Makino.* var. serratifolia, *Makino.*

〔形態〕本種も亦スダジヒの一種にして栽植せらる。葉は葉柄を具へ．卵狀披針形或は披針形にして．長さ4-5-7-5糎（1-5-2-5寸）許に達し．尾狀銳尖頭・銳脚にして．上半部に鈍鋸齒緣を有す。

5676. **まてばしひ**（25圖版-226）……クリ科
Pasania edulis, *Makino.*

（異名）まてがし・またじひ・さつまじひ　〔形態〕暖地に自生する常綠喬木にして．幹高さ6-9米（20-30尺）に達す。葉は倒卵形或は長橢圓形にして先端尖り．基脚狹く全緣にして．長さ9-18糎（3-6寸）許に達し．質厚く．平滑にして光澤を有す。5-6月頃．黃褐色の單性小花を雌雄同株に綴る。雄穗は長さ4-5-7-5糎（1-5-2-5寸）許を有し．每苞腋に3花を着け．萼は皿形にして6裂し．雄蕊は6-12箇を挺出し．退化子房を伴ふ。雌穗は長さ6-9糎（2-3寸）許ありて．雌花は軟毛を被れる穗苞中に包まれ．萼は6裂し．6箇の退化雄蕊を具へ．子房は3室．花柱は3箇にして．柱頭は鈍形或は圓形をなす。果實は長さ3糎（1寸）許を有する橢圓形或は圓形の堅果にして．翌年10月頃成熟す。殼斗はシヒより淺き皿形にして有毛の鱗片を瓦列す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州・琉球。

人生との關係　果實は炒り又は煮て食用に供し．往々餅に混じて食す。

5677. **しりぶかがし**（25圖版-227）……クリ科
Pasania glabra, *Makino.*

（異名）しりぶか　〔形態〕山野に自生する常綠喬木にして．幹高さ15米（50尺）以上に達し．若き枝條には黃褐色の毛茸を密生す。葉は長橢圓狀橢圓形或は倒卵狀長橢圓形にして．長さ6-9糎（2-3寸）許．7-10對の側脈を具へ．先端・基脚共に銳尖にして．全緣なるか或は緣邊上部に2-3箇の鋸齒を有す。上面は滑澤にして．下面銀白色を呈す。10月頃．新梢葉腋に黃褐色の單性小花を雌雄同株に叢狀をなして排列す。雄花叢は長さ3-9糎（1-3寸）許にして．黃褐色の氈毛を密生し．雌花叢は長さ9-12糎（3-4寸）許を有す。果實は長さ1-8-2-1糎（6-7分）許ある廣橢圓形・圓頭・凹底の堅果にして．翌年10月頃成熟す。殼斗は皿形をなし．鱗片は合着して橫線を伴ふ。〔花色〕黃褐色。〔花候〕秋。〔分布〕本州・四國・九州。

5678. **とげじひ** ……クリ科
Pasania Junghuhnii, *Miq.*

（異名）しまじひ　〔形態〕高山に自生する常綠喬木にして．葉は有柄・厚質の橢圓狀卵形或は卵狀披針形をなし．約10對の側脈を具へ．長さ6-9糎（2-3寸）許に達す。緣邊の上半部には往々鋸齒を有し．尾頭乃至凸頭・鈍脚にして．下面に小鱗を被る。果實は球形の堅果にして．殼斗は卵圓狀球形を呈し．鱗片は稍輪狀に着生す。〔分布〕臺灣。

* * * * *

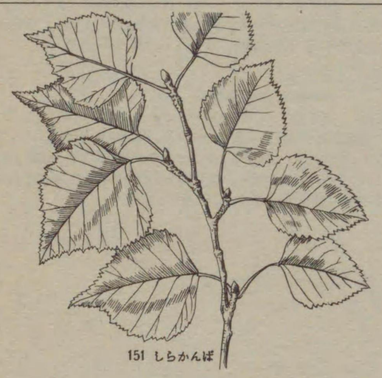
2. かばのき(樺木)科 BETULACEÆ.

本科の植物は喬木又は灌木なり。葉は單葉にして分裂せず。葉柄を具へて互生し、托葉を有す。花は單性にして一様の花被を有するか或は之を缺き、柔荑花序或は穗狀花序に排列し。雌雄同株なり。雄性の花序は下垂し、雌花は1-3箇づゝ各苞片の腋部に簇生し、雄蕊は2-12箇を有す。雌性の花序は直立或は展開し、又は傾垂して穗狀乃至頭狀を呈す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り、花柱は2箇を具へ、子房は下位にして單室又は基部に於て2室を有し、各室に1箇の下垂せる倒生胚子を含み、胚子は1層の珠被を具ふ。果實は堅果又は稀に翅果にして小さく、内に1箇の種子を藏し、種子は胚乳を有せず。本植物は成長して大形となれる苞或は小苞を具ふ。

本科には6屬、凡75種の植物を含み、多く北半球の温帶地方に分布し、本邦には5屬、凡25種を產出す。

本科所載植物索引目次

アカカンバ……5688
アカシデ……5708
アサダ……5718
アブサ……5694
イタヤミネバリ……5690
イヌシデ……5706
イヌブシ……5684
イハシデ……5710
ウダイカンバ……5691
ウラジロカンバ……5680
エゾハシバミ……5712
ヲノヲレ……5692
ヲノヲレカンバ……5692
オホクマシデ……5705
オホバツノハシバミ…5714
オホバノシラカンバ…5682
オホバミネバリ……5694
オホバミネバリ……5701
オホバヤシヤブシ……5701
カナシデ……5708
カハラハンノキ……5697
カハラブナ……5690
カラフトシラカンバ…5681
キレハダケカンバ……5687
クマシデ……5704
クロツネ……5704
コシデ……5708
コツバミネバリ……5690
コバダケカンバ……5686
コバノダケカンバ……5686
コバノツノハシバミ…5715
サイハダカンバ……5691
サウシカンバ……5685
サハシデ……5703
サハシバ……5709
サハマキ……5709
シ　バ……5703
シバシデ……5709
シラカンバ……5679
シロツネ……5706
ソ　ネ……5706
ソ　ロ……5706
ソロノキ……5708
タイワンハンノキ……5700
ダケカンバ……5685
チザウカンバ……5684
ツノハシバミ……5713
ツバハシバミ……5717
ナガバイヌシデ……5707
ナガバヲノヲレ……5693
ネコシデ……5689
ハシバミ……5711
ハリノキ……5695
ハンノキ……5695
ヒメカンバ……5683
ヒメハンノキ……5703
ヒメヤシヤブシ……5703
ヒロハハンノキ……5698
ブナゾロ……5709
ホソバヲノヲレ……5693
ホソバシラカンバ……5680
ホンソネ……5708
マカンバ……5691
マルバハンノキ……5696
ミヅメ……5690
ミネバリ……5692
ミネバリ……5703
ミヤマハンノキ……5697
ムラサキハシバミ……5716
ヤシヤハンノキ……5702
ヤシヤブシ……5702
ヤチハンノキ……5695
ヤハズハンノキ……5699
ヤマハリノキ……5696
ヤマハンノキ……5696
ヨグソアブサ……5694
ヨグソカンバ……5694
ヨグソミネバリ……5694


151 しらかんば

1. シラカンバ屬 BETULA.

5679. しらかんば 白樺（白圖-151）……カバノキ科
Betula japonica, *Sieb.*

（異名）しらかば・がんぴ・おほばしらかんば　〔形態〕高山陽地に自生する落葉喬木にして、幹高さ18-21米(60-70尺)に達し、樹皮には横理及斑點を有し、外皮は白色、内皮は淡褐色を呈し、多數の層をなし、よく紙狀に剝離す。枝條は比較的細く柔軟なるを以て、稍下垂するの傾あり。葉は長柄を具へ、稍三角形にして先端尖り、緣邊に齒牙狀重鋸齒を有し、6-7對の側脈を具へ、長さ4-5-9糎(1-5-3寸)許に達す。下面には腺點を散生し、脈腋に毛叢を有す。4-5月頃、葉に先立ちて帶黄褐色の單性花を穗狀に排列し、雌雄同株なり。雄穗は長圓柱形にして懸垂し、雄花は3箇づゝ着生し、下部に苞及2小苞を伴ひ、萼及2箇の雄蕊を有す。雌穗も亦長圓柱形にして懸垂し、雌花は2箇づゝを着け、下部に苞及2小苞を伴ふこと雄穗と同じく、萼は之を缺く。果穗も亦圓柱形にして懸垂し、長さ3-5糎(1-1-5寸)許、果鱗は苞・小苞の合生せるものにして3裂し、側裂片は蹄形にして開出し、中裂片は卵形にして稍長く、内面に白色の細毛を密布す。果實は、果體の1-5倍長の左右に翼を有する小堅果にして、狹翼圓形をなし、10月頃成果結實す。

〔花色〕帶黄褐色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　木材は器具の材及樹皮は鞣皮用又は燃料に供せらる。

5680. ほそばしらかんば ……カバノキ科
Betula japonica, *Sieb.* var. cuneifolia, *Nakai.*

〔形態〕前種シラカンバの一種にして、葉は卵狀菱形を呈し、先端銳尖・基脚楔形にして、緣邊には不齊なる稍重銳鋸齒を具へ、果穗は徑6-7-5粍(2-2-5分)許を有す。〔分布〕本州中部。

5681. からふとしらかんば ……カバノキ科
Betula japonica, *Sieb.* var. sachalinensis, *Koidz.*

〔形態〕シラカンバの一種にして、樺太に自生する落葉喬木なり。葉は菱狀卵形にして先端銳尖・基脚楔形をなし、緣邊には先端尖れる鋸齒を有し、果穗は長形なり。〔分布〕樺太。

5682. おほばのしらかんば ……カバノキ科
Betula japonica, *Sieb.* var. Tauchii, (*Winkl.*)

〔形態〕シラカンバの一種にして、本州の中部地方に自生する落葉喬木なり。葉は廣橢圓形にして基脚截形乃至心臟形をなし、緣邊には稍重齒牙狀の鋸齒を有し、下面には腺點を密布し、脈腋には鬚毛を生ず。果穗は長さ4-5糎(1-5寸)許、果鱗の側裂片は斜截形にして反捲す。果實は有翼の小堅果なり。〔分布〕本州中部。

5683. ひめかんば ……カバノキ科
Betula glandulosa, *Michx.*

〔形態〕樺太・千島等に自生する小灌木にして、枝條は腺質なり。葉は短き葉柄を具へ、稍心臟形或は稍圓形にして3-4對の側脈を具へ、圓頭にして緣邊に細鋸齒を有す。果穗は廣卵形にして、果鱗は稍整齊に3裂す。果實は廣橢圓形にして小狹翼を有する小堅果なり。〔分布〕樺太・千島。

5684. ちざうかんば（26圖版-228）……カバノキ科
Betula globispica, *Shirai,*

（異名）いぬぶし　〔形態〕林野に自生する落葉喬木にして、葉は菱狀圓形を呈し、長さ4-5-7-5糎(1-5-2-5寸)許に達し、短銳尖頭・楔脚をなし、緣邊には不齊なる鋸齒を有し、7-10對の側脈を具ふ。下面脈上には葉柄と共に鬚毛を密布す。果穗は球形乃至廣橢圓形にして長さ3糎(1寸)許を有し果鱗は長爪を具へ、3深裂し裂片は箆形をなし、側裂片は中裂片に比して短し。果實は廣橢圓形をなせる無翼の小堅果にして、10月頃成熟す。

〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

5685. だけかんば（26圖版-229）……カバノキ科
Betula Ermanii, *Cham.* var. communis, *Koidz.*

（異名）さうしかんば　〔形態〕高山に自生する落葉喬木にして、高さ6米(20尺)許に達し、樹皮は滑澤にして灰白色を呈し、層々剝落し、枝條は腺質又は無腺質をなし、皮目は橢圓形にして疎在す。葉は稍卵狀三角形にして先端尖り、各側に10-11對の側脈を具へ、緣邊には重鋸齒を有す。兩面には脂腺を密布し、下面葉脈に細毛を生じ、雌雄同株にして花後、長さ3糎(1寸)許ある果實を結ぶ。

5686. こばのだけかんば ……カバノキ科
Betula Ermanii, *Cham.* var. parvifolia, *Koidz.*

（異名）こはだけかんば　〔形態〕北海道に自生する木本にして、枝條は密腺質をなす。葉は長さ4糎(1-3寸)許にして緣邊には不齊鋸齒を有す。下面葉脈に沿ひて細毛を生じ、腺點を散布す。果鱗は箆形に分裂し、果實は最狹翼を有する小堅果なり。

5687. きれはだけかんば ……カバノキ科
Betula Ermanii, *Cham.* var. incisa, *Koidz.*

〔形態〕樺太に自生する落葉喬木なり。葉は三角狀卵形にして先端尖り、缺刻緣を有し、8-9對の側脈を具へ、下面葉脈に沿ひて細毛を生ず。果穗は短柄によりて直生し、長橢圓狀圓柱形にして、果鱗は3深裂し、各裂片は披針形にして毛緣をなす。果實は卵形をなせる小堅果にして有翼なり。

〔分布〕樺太。

5688. あかかんば ……カバノキ科
Betula Ermanii, *Cham.* var. subcordata, *Koidz.*

〔形態〕枝條は腺質なり。葉は基脚心臟形にして、鋸齒は急遽長尾形をなし、下面は葉脈に沿ひて絨毛を布く。果鱗の頂裂片は稍反捲す。〔分布〕本州各部・四國。

5689. うらじろかんば（26圖版-230）……カバノキ科
Betula corylifolia, *Regel.* et *Maxim.*

（異名）ねこしで　〔形態〕溫暖なる土地の山野に多く自生する落葉喬木なり。葉は葉柄を具へ、菱狀卵形乃至倒卵形にして先端尖り、基脚往々稍心臟形をなし、10-14對の側脈を具へ、長さ6-9糎(2-3寸)許に達し、緣邊には重鋸齒を有す。表面は殆んど平滑なれども、下面には初め葉柄と共に毛茸を生じ、旣にして脈上にのみ鬚毛を殘留して白質を呈す。4-5月頃、枝梢葉腋に淡黄褐色をなせる單性花を穗狀に排列して下垂す。果穗は短柄を具へ、圓柱形にして長さ3-4-5糎(1-1-5寸)許。果鱗は有毛にして3深裂し、中裂片は側裂片の約倍長なり。果實は卵形をなし狹翼を有する小堅果にして10月頃成熟す。〔花色〕淡黄褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　材を諸器具又は薪炭の料に供す。

5690. みづめ ……カバノキ科
Betula carpinifolia, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）いたやみねばり・かはらぶな・こっぱみねばり・みづね

〔形態〕各地の山野に自生する落葉灌木なり。葉は卵狀長橢圓形或は長橢圓狀披針形にして先端尖り、10-15對の側脈を具へ、細鋸齒緣をなして長さ6-9糎(2-3寸)許に達す。果穗は長橢圓形にして直生す。果鱗は3裂し、中裂片は長橢圓形にして側裂片の2倍長なり。果實は橢圓形をなし狹翼を有する堅果にして、10月頃成熟す。〔分布〕本州各部。

152 うだいかんば　153 をのをれかんば

5691. うだいかんば（白圖-152）……カバノキ科
Betula Maximowicziana, *Regel.*

（異名）さいはだかんば・まかんば　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして、幹高さ24-27米(80-90尺)に達するものあり。樹皮は帶綠赭褐色の成層外皮を有し、枝條は稍大にして赤褐色の斑點を有す。葉は長き葉柄を具へ、圓大にして緣邊には大小不齊の鋸齒を有し、長さ9-12糎(3-4寸)許。短銳尖頭・基脚心臟形をなす。兩面共初め綿毛を有すれども、旣にして上面は脈上に細毛を、下面は脈腋に鬚毛を殘留し、腺點を滿布す。嫩葉は兩面に毛茸を密生す。5月頃、梢上葉腋に小形なる單性花を雌雄同株に綴り、穗狀に懸垂す。雄穗は每苞に褐色、圓形の3花を着生し、左右兩側の花は淡黄色の不齊菱形にして3裂せる小苞を伴ひ、萼は4全裂し、2箇の雄蕊と叉裂せる花絲とを具ふ。雌穗も亦每苞3花を着け、左右兩側の花は卵形にして毛緣をなせる小苞を伴ひ、苞は廣倒卵形にして綠色なり。萼は之を缺き、花柱は2箇を有し、上部は紅色を呈す。果穗は圓柱形にして長さ4-5-7-5糎(1-5-2-5寸)許、通常3-4穗簇出し、房狀をなして下垂す。果鱗は長橢圓形にして3中裂し、果實は稍菱形をなせる有翼の小堅果にして、9月頃成熟す。

〔花色〕褐色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

人生との關係　材は諸器具製作の料に供し、又薪炭の料となす。

5692. をのをれかんば（白圖-153）……カバノキ科
Betula Schmidtii, *Regel.*

（異名）みねばり・をのをれ　〔形態〕各地の林野に自生する落葉喬木にして、幼條には腺點を散布す。幹高さ9-15米(30-50尺)に達し、樹皮は帶綠赭褐色にして厚き鱗狀木皮をなし、老樹の皮は厚く「コルク」層に變ず。葉は廣卵形或は卵狀橢圓形にして先端尖り、不齊圓脚をなし、緣邊には稍不齊なる細鋸齒を有し、長さ4-5-7-5糎(1-5-2-5寸)許、下面には腺點を散布し、兩面は概ね無毛なれども、脈上・脈腋には葉柄と共に之を有す。5月頃、梢上葉腋に穗狀をなして黄褐色をなせる單性花を雌雄同株に開く。果穗は果梗を有し、圓柱形にして直生し、長さ3糎(1寸)許ありて、單生又は總狀をなす。果鱗は爪を有して3裂し、中裂片は長橢圓形・側裂片は長圓錐形にして中裂片より短く、果實は橢圓形をなし、狹翼を有する堅果にして、10月頃成熟す。〔花色〕黄褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　材は質堅きを以て諸種の器具を造るに用ひ、又薪炭の料に供せらる。

5693. ほそばをのをれ ……カバノキ科
Betula Schmidtii, *Regel.* var. angustifolia, (*Shirai.*)

（異名）ながばのをのをれ　〔形態〕前種ヲノヲレカンバの一種にして、葉の披針形なる種類なり。〔分布〕邦内各地。

5694. よぐそみねばり（26圖版-231）……カバノキ科
Betula ulmifolia, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）おほばみねばり・よぐそかんば・よぐそあづさ・あづさ

〔形態〕各地の山地に自生する落葉喬木にして、幼條には細毛を有し、腺點を散布し、皮部に臭氣を有す。葉は廣卵形にして長さ4-5-9糎(1-5-3寸)許に達し、先端急に尖り、基脚心臟形をなし、下面脈上には葉柄と共に細毛を生ず。果穗は橢圓形にして長さ1-8-3糎(0-6-1寸)許あり。果鱗は3裂し、中裂片は側裂片の2倍長くして長橢圓形をなし、果實は廣橢圓形の小堅果にして狹翼を有す。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

2. ハンノキ屬 ALNUS.

5695. はんのき 赤楊（26圖版-232）……カバノキ科
Alnus japonica, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）はりのき・やちはんのき　〔形態〕本邦到る處の山野殊に河岸水邊等によく生育する落葉喬木にして、地方によりては水田の畦畔等に多く栽植せらるゝを見る。葉は長き葉柄を有し、橢圓狀長橢圓形或は橢圓形にして7-9對の側脈を具へ、先端銳尖・基脚銳或は鈍脚をなし、不齊なる淺鋸齒緣を有し、長さ4-5-15糎(1-5-5寸)許に達し、下面脈腋に赤褐色の綿毛を布く。2-3月頃、帶紫暗紅色をなせる小形の單性花を穗狀花序をなして雌雄同株に着生す。雄穗は稍垂長にして、通常2-3穗を懸垂し、圓菱形の苞を具へ、2對の小苞と共に外面帶紫暗紅色を呈し、苞每に3花を着け、2箇の萼片と雄蕊とを具ふ。雌穗は長橢圓形にして、背面紫紅色を呈する廣卵形の苞を有し、基脚に2對の小苞あり、苞每に2花を着け、花被は之を缺く。子房は2室を具へ、柱頭は紫紅色を呈す。果穗は短梗を有し、稍松毬狀をなし、果鱗は苞及小苞の合生せるものより成る。果實は廣橢圓形の小堅果にして兩側に狹翼を有し、長さ3-4-5粍(1-1-5分)許。10月頃成熟す。

〔花色〕帶紫暗紅色。〔花候〕2-3月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　木材を建築及諸器具の料とし、又薪炭用に供するのみならず、果實及樹皮は染料として重用せらる。

154 やまはんのき　155 みやまはんのき

5696. やまはんのき（白圖-154）……カバノキ科
Alnus tinctoria, *Sarg.* var. glabra, *Call,*

（異名）やまはりのき・まるばはんのき　〔形態〕前種ハンノキと同じく稍水濕多き山野に自生する落葉喬木にして、高さ15-18米(50-60尺)に達し、幼條は無毛なり。葉は稍小形にして略圓形に近く、緣邊に淺き齒牙狀缺刻と細鋸齒とを有し、下面灰白色にして通常毛を有せざれども、又稀に脈上或は脈腋に鬚毛を生ず。2-3月頃、小形の單性花を雌雄同株に開く。雌花は圓筒狀柔荑花序をなして下垂し、雌花も亦短小なる柔荑花序をなして排

列す。果穗は短梗を有し松毬狀をなし．果鱗は苞及小苞の合生せるものより成る。果實は狹翼を有する小堅果にして．10月頃成熟す。〔花候〕2-3月。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係　前種ハンノキに同じ。

5697. **みやまはんのき**（白圖-155）……カバノキ科
Alnus alnobetula, *Hartig.* var. fruticosa, *Winkl.*

（異名）かはらはんのき　〔形態〕高山に自生する落葉喬木にして．幹高さ6米（20尺）許に達す。葉は廣卵形にして鋭尖頭稀に鈍頭・狹・圓・截脚又稀に稍心脚をなし．不齊或は稍重鋸齒緣又稀に波狀鋸齒緣を有し．滑澤にして粘液を出し光輝あり。下面は中肋或は脈腋にのみ細毛を生じ．又稀に小脈に沿ひて毛茸を布く。花はハンノキに似て稍肥大し．且つ粘液に富み．果實も亦ハンノキに似て外形松毬に似たり。8-9月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　ハンノキに同じ。

5698. **ひろははんのき**……カバノキ科
Alnus borealis, *Koidz.* var. latifolia, *Nakai.*

〔形態〕本州北部に自生するハンノキの一種にして．葉の下面は初め微毛を有すれども．既にして無毛となる。〔分布〕本州北部。

5699. **やはずはんのき**（26圖版-233）……カバノキ科
Alnus hirsuta, *Turcz.* var. emarginata, *Kudo.*

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして．幹高さ15-18米（50-60尺）に達す。葉は互生し．橢圓形或は倒卵形をなし．先端深く凹み．緣邊に齒牙を有し稍無毛なり。花及果實等凡て前種ミヤマハンノキに同じ。〔花候〕4月。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　木材を器具製造並に薪炭の料に供す。

156 たいわんはんのき　157 おほばやしやぶし

5700. **たいわんはんのき**（白圖-156）……カバノキ科
Alnus formosana, *Makino.*

〔形態〕原野或は高地に自生する落葉喬木にして．葉は葉柄を有し．薄質卵狀披針形にして先端尖り．基脚楔形をなし．緣邊に細鋸齒を具へ長さ9糎（3寸）許に達す。下面の葉脈は隆起して稍顯著なり。花は暗紫紅色にして雌雄同株に生じ．果穗は木質にして．長さ1·8糎（6分）許を有す。雌穗は下垂して長さ9糎（3寸）許に達し．雌穗は球形なり。〔花色〕暗紫紅色。〔分布〕臺灣。

5701. **おほばやしゃぶし**（白圖-157）……カバノキ科
Alnus firma, *Sieb.* et *Zucc.* var. hirtella, *Franch.* et *Sav.*

（異名）おほばみねばり　〔形態〕本邦暖地に自生する落葉灌木にして高さ3米（10尺）以上に達す。葉は卵形にして先端尖り．稍心臟形をなし．12-18對の側脈を具へ．緣邊に鋸齒を有し．短き葉柄によりて互生す。果穗は概ね双生す。其他本種は全體ヤシャブシに酷似すれども．唯葉の大形なるを其異る所なりとす。〔花候〕3月下旬。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　ヤシャブシに同じ。

5702. **やしゃぶし**（26圖版-234）……カバノキ科
Alnus firma, *Sieb.* et *Zucc.* var. Sieboldiana, *Winkl.*

（異名）やしゃはんのき　〔形態〕各地の山野に自生する落葉喬木にして．幹高さ6米（20尺）許に達し．樹皮は帶赤赭褐色にして．綠白色の斑點を有し．概形ハンノキに似たり。葉は葉柄を有し．廣卵形或は卵狀披針形にして10-15對の側脈を具へ．長さ6-12糎（2-4寸）許に達し．先端鋭頭或は短鋭尖頭をなし．不齊若しくは不明なる重鋸齒緣を有す。春日單性の小花を雌雄同株に着生し．雄花は暗紫褐色にして．葉腋．稀に頂生し．總狀をなして下垂し．雌花は橢圓形にして淡綠色を呈す。果穗は橢圓形をなし長さ2·4糎（8分）許を有し．單生す。〔花色〕雄花は暗紫褐色・雌花は淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係　木材を挽物細工及薪炭の料に供し．果實を五倍子の代用として染料に供す。

158 ひめやしやぶし　159 くましで

5703. **ひめやしゃぶし**（白圖-158）……カバノキ科
Alnus firma, *Sieb.* et *Zucc.* var. multinervia, *Regel.*

（異名）ひめはんのき・みねばり・しば　〔形態〕本邦各地の山地に自生する落葉灌木にして．莖は通常叢生し．高さ3米（10尺）許に達す。葉は長卵形にして緣邊に大小不齊の鋸齒を具へ．毛茸を有し稍粗糙なり。側脈は通常18-26對を具へ．裏面に於て顯著なり。春日．穗狀をなせる單性花を雌雄同株に開き．暗褐色を呈し．雄花は長く垂れ．雌花は殆んど球狀をなし．多數聚合して松毬狀をなす。〔花色〕暗褐色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

人生との關係　木材は挽物細工．床柱及薪炭の料に供し．葉は肥料に．果實は染料に用ひらる。

3. クマシデ屬　CARPINUS.

5704. **くましで**（白圖-159）……カバノキ科
Carpinus japonica, *Blume.*

（異名）くろそね　〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして．幹高さ3米（10尺）內外に達し．幼條には褐色軟毛を布く。葉は葉柄を有し．長橢圓形或は長卵圓形にして．長さ6-9糎（2-3寸）に達し．先端尖り．微凸尖重齒牙緣を有し．22-24對の側脈を具へ顯著なり。兩面脈上には顫毛を布き．下面脈腋には褐色の毛茸を密生す。4-5月の候．稍上葉腋に黃褐色の單性花を雌雄同株に開き．雄穗は長さ3-4·5糎（1-1·5寸）許を有して疎花を着け．苞は有柄にして卵狀披針形をなし．雌蕊は苞より短し．雌穗は每苞2箇の雌花を着けて密生し．各側に複小苞を伴ふ。蒴は子房に着生し．緣邊鞘生す。子房は2室を有し．柱頭も亦2箇を具ふ。果穗は密生し．廣卵狀圓柱形にして長さ6-9糎（2-3寸）に達す。果實は小堅果にして．10月頃成熟し．鱗片狀の小苞によりて被包せらる。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　木材を薪炭及び諸器具製作の料に供す。

5705. **おほくましで**……カバノキ科
Carpinus japonica, *Blume.* var. cordifolia, *Makino.*

〔形態〕前種クマシデの一種にして．葉は彼に比して大きく．徑4·5糎（1·5寸）以上に達し．且つ基脚明かに心臟形を呈するを以て．容易に識別することを得べし。〔分布〕本州中部。

5706. **いぬしで**（26圖版-235）……カバノキ科
Carpinus yedoensis, *Maxim.*

（異名）そろ・そね・しろそね　〔形態〕到る處の山野に普通なる落葉喬木にして．幼條には毛茸を密布し．幹高さ15米（50尺）以上に達するものあり。葉は卵狀橢圓形にして先端尖り．不齊凸尖重鋸齒緣を有し．10-15對の平行せる側脈は著しく．長さ4·5-6糎（1·5-2寸）許に達し．兩面葉柄と共に褐色軟毛を布き．下面の脈腋には毛茸を有す。此毛茸を有すると．本種の嫩葉は白色を呈して紅色ならざるは．次種アカシデと區別するの要點な

PL. 26.

228 ぢざうかんば　229 だけかんば　230 うらじろかんば
231 よぐそみねばり　232 はんのき　233 やはずはんのき
234 やしやぶし　235 いぬしで　236 あかしで

り。4-5 月頃.新葉と共に小形なる單性花を雌雄同株に綴る。雌穗は長さ 6 糎(2 寸)許を有し.疎花を着生し.苞は廣卵形・鋭頭なり。果穗は長さ 4·5-7·5 糎(1·5-2·5 寸)許にして.半卵形乃至披針形の複小苞を伴ふ。果實は廣卵形・鋭頭の堅果にして先端に毛茸を具へ.10 月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係　木材を建築・諸器具製作の用に.又薪炭の料に供す。

5707. ながばのいぬしで ····· カバノキ科
Carpinus yedoensis, *Maxim.* var. multinervis, *Skirai.*

〔形態〕イヌシデの一種にして.葉は稍長形をなし.且つ葉脈多き種類なり。〔分布〕本州北部。

5708. **あかして** 見風乾 (26 圖版-236) ····· カバノキ科
Carpinus laxiflora, *Blume.*

(異名) こしで・かなしで・ほんそね・そろのき　〔形態〕暖地の山野に最も普通なる落葉喬木にして.幹高さ 12-15 米(40-50 尺)に達し.灰白色にして平滑なる外皮を有す。葉は橢圓形或は卵形をなし.先端尾狀尖頭・基脚斜圓形にして重鋸齒緣を有し.10-13 對の側脈は明瞭なり。兩面脈上又は脈腋には葉柄と共に毛茸を布く。5 月頃.單性花を雌雄同株に開き.雄花は密に排列し.苞は廣卵形にして上部淡紅色を呈し.雄蕊 8 箇を具へ.花絲は有毛にして又裂す。雌花は疎に着生し.苞は卵狀披針形にして.上部は帶白色・緣邊は紅色を呈し.複小苞を伴ふ。**苞は子房に着生し.柱頭は 2 箇を有し.紅色なり。**果穗は長圓柱形にして長さ 4·5-6 糎(1·5-2 寸)許あり。果實は堅果にして.缺刻及鋸齒を有する不等邊形の葉狀苞につき.多數相集りて一種の穗狀物を形成す。本植物の嫩葉は紅色を帶び.又秋末に至りて紅葉するを以てアカシデの名あり。〔花色〕雄花は淡紅色・雌花は白色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　木材は建築・器具の材とし.又薪炭の料に供せらる。

5709. **さはしば** (27 圖版-237) ····· カバノキ科
Carpinus erosa, *Blume.*

(異名) しばしで・さわしで・さはまき・ぶなぞろ　〔形態〕山野の雜木中に多く自生する落葉喬木にして.幹高さ 15 米(50 尺)餘に達す。樹皮は淡綠灰色を呈し.共質厚硬にして多くの裂目を有し.平滑ならず。枝條は褐色を帶び.白斑點多く.嫩枝には葉と共に初め軟毛を布く。葉は互生して葉柄を有し.卵形或は廣橢圓形にして先端尖り.基部は心臟形をなし.緣邊に重鋸齒を有し.長さ 7·5-11 糎(2·5-3·5 寸)に達す。側脈は 15-22 對を具へ.脈上に毛茸を生ず。5 月頃.黃褐色を呈する單性の穗狀花を雌雄同株に生じ.雌穗・雄穗共に密花を着けて懸垂す。果穗は圓柱形をなし.長さ 6-7·5 糎(2-2·5 寸)許.果實は橢圓狀卵形の小堅果にして.10 月頃成熟し.1 種子に大小 2 箇の苞葉を伴ふ。〔花色〕黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　木材を器具及薪炭の材に供す。

5710. いはしで ····· カバノキ科
Carpinus Tanakaeana, *Makino.*

〔形態〕暖地に自生する小喬木にして.幹高さ 6 米(20 尺)以上に達す。葉は卵形或は長橢圓狀卵形にして.銳頭・圓脚をなし.微凸尖重鋸齒緣を有し.長さ 1·5-4·5 糎(0·5-1·5 寸)許に達し.托葉を有す。花は單性にして.雌穗は 1 枝端に頂生し.卵形或は廣橢圓形にして通常 2-6 花を着生す。果實は綠色・卵形の堅果にして稍扁壓せられ.先端に毛茸を密布す。〔分布〕四國・九州。

4. ハシバミ屬 CORYLUS.

5711. **はしばみ** 榛 (27 圖版-238) ····· カバノキ科
Corylus heterophylla, *Fisch.* var. japonica, *Koidz.*

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして.幹高さ 6-9 米(20-30 尺)に達す葉は甚だ廣く殆んど圓形をなし.基脚心臟形にして.先端急に短鋭尖頭をなし.不齊の重鋸齒を有し.幼條には葉柄と共に腺毛を布く。春日.單性の小花を雌雄同株に開き.雄花は暗褐色にして長く穗狀に垂れ.雌花は綠色にして少數相集り頭狀の花叢をなす。果實は先端粗齒牙緣をなせる總苞によりて下部を包被せらる。〔花色〕雄花は暗褐色・雌花は綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　材を種々の用に供し.果實を食用となす。

5712. えぞはしばみ ····· カバノキ科
Corylus heterophylla, *Fisch.* var. yezoensis, *Koidz.*

〔形態〕ハシバミの一種にして.葉は橢圓形或は橢圓狀倒卵形をなし.先端に缺刻緣を具へ.兩面毛茸を生じ.嫩葉には葉柄と共に腺毛を密布す。苞は外面に絨毛を布きて分裂し.各裂片は卵狀鋭尖形をなし更に少數に細裂す。〔分布〕北海道。

5713. **つのはしばみ** (27 圖版-239) ····· カバノキ科
Corylus rostrata, *Ait.* var. Sieboldiana, *Maxim.*

〔形態〕各地の山野に自生する落葉灌木にして.幹高さ 3 米(10 尺)以上に達す。葉は卵形或は長橢圓形にして.短鋭尖頭・不齊圓脚或は稍挾脚をなし.重鋸齒緣を有し.短柄によりて互生す。花は單性の小花にして雌蕊同株に生じ.果實は堅果にして總苞は角狀をなし果實より長く.剛毛を密布して果實を包被す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

人生との關係　種子を食用に供し.木材は薪炭の料に供せらる。

5714. おほばつのはしばみ ····· カバノキ科
Corylus rostrata, *Ait.* var. mandshurica, *Regel.*

(異名) おほつのはしばみ　〔形態〕前種ツノハシバミの一變種にして.葉は葉柄を有し.稍橢圓形或は稍圓形にして先端尖り.缺刻狀齒牙緣を有す總苞は宿存生にして堅果より微かに長く.果實を被包す。〔分布〕本州北部及中部。

5715. こつのはしばみ ····· カバノキ科
Corylus rostrata, *Ait.* var. mitis, *Maxim.*

〔形態〕前種ツノハシバミの一種にして.彼に比するに.葉は酷似すれども.果實は稍小さく.總苞には褐色氈毛を布き.剛毛は散生するか或は之を缺如するを異る所なりとす。〔分布〕本州中部及南部。

5716. ムラサキハシバミ ····· カバノキ科
Corylus Avellana, L. var. *atropurpurea,* Kirchn.

〔形態〕歐洲原産の灌木にして.幼條は葉柄と共に腺毛を密布す。葉は葉柄を具へ.廣橢圓形或は廣倒卵形にして紫黑色を呈し.先端鋭尖・基脚心臟形をなし.緣邊重齒牙を具へ時に分裂し.長さ 6-12 糎(2-4 寸)許に達す。下面は葉脈に沿ひて毛茸を生ず。果實は堅果にして 1-4 箇を簇生し.總苞片は 2 箇にして不齊なる深缺刻をなし.果實より短く.堅果は圓卵形にして長さ 12-18 糎(4-6 分)許を有す。〔原産地〕歐羅巴。

5717. つぼはしばみ ····· カバノキ科
Corylus hallaisanensis, *Nakai.*

〔形態〕本州中部に自生する落葉灌木にして.全株有毛種に屬し.枝梢を多く分岐す。葉は葉柄を具へ.倒卵形或は橢圓形にして重鋸齒緣を有し.長さ 40 糎(1·3 尺)許に達す。花は單性にして雌雄同株に生じ.雄穗は穗長にして枝端に着生し.雌穗は球形なり。果穗は卵形・鋭尖頭をなし.果實は堅果にして卵形なり。〔分布〕本州中部。

5. アサダ屬 OSTRYA.

5718. あさだ ····· カバノキ科
Ostrya japonica, *Sarg.*

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして.幹高さ 15-18 米(50-60 尺)以上に達し.小枝には毛茸を生ず。葉は卵形或は卵狀長橢圓形にして尖頭を有し.不齊圓脚或は稍心脚にして.緣邊鋭尖細重鋸齒をなし.長さ 6-12 糎(2-4 寸)許に達し.短柄によりて互生す。兩面脈上及葉柄には軟毛又は粗毛を布く。5 月頃.單性の小花を穗狀をなして雌雄同株に綴り.花冠は之を缺く。雄穗は密花を懸垂し.雌穗は細長にして疎花を着生し.蠹狀の苞を有す。果穗は廣橢圓形にして.長さ約 4·5 糎(1·5 寸)許を有し.果實は堅果にして.膀胱緣の苞を以て被包せられ.10 月頃成熟す。〔花色〕雄花は黃色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　木材は櫛を造るに用ひ.又薪炭の料に供せらる。

*　*　*
*　*　*

クルミ群

1. くるみ(胡桃)科 JUGLANDACEÆ.

本科の植物は落葉喬木にして、樹脂及「タンニン」質に富む。葉は通常奇數羽狀複葉を互生して、托葉は之を缺く。花は單性にして雌雄同株に生じ、萼と花冠との區別なきか、或は全く花被を缺如す。雄花は細小なる花被を有し、3乃至40箇の雄蕊を具へ、多數攅簇し、通常長形の柔荑花序或は穗狀花序をなして下垂し、雌花は1-5箇づゝ新枝端に着生し、雌蕊は2箇の結合せる心皮より成る。花柱は2箇に分裂し、其內側は柱頭をなす。子房は下位にして、通常1室を有すれども、又稀に不完全なる2-4室を有するものありて內に1層の珠被を有し、直立せる1箇の直生卵子を含む。果實は核果或は堅果にして種子は胚乳を有せず。

本科には6屬、凡35種の植物を含み、多數は北半球の溫帶地方、少數は東部亞細亞の熱帶地方に產出し、本邦には3屬、凡5種を產す。

本科所載植物名目次

ヲグルミ……5719　タイワンノブノキ……5724　ヒメグルミ……5720
オタフクグルミ……5720　タイワンヤマグルミ…5724　フヂノキ……5723
オニグルミ……5719　テウセングルミ……5721　メグルミ……5720
カハグルミ……5725　テウチグルミ……5721　キシ……5725
クルミ……5719　ナガグルミ……5722　ヤマグルミ……5723
クワシグルミ……5721　ノグルミ……5723　……
サハグルミ……5725　ノブノキ……5723.　……

1. クルミ屬 JUGLANS.

5719. **おにぐるみ** 山胡桃·鬼胡桃（白圖-160） クルミ科
Juglans Sieboldiana, *Maxim.*

（異名）をぐるみ·くるみ　〔形態〕暖地の稍低濕の山野或は河岸等に自生する落葉喬木にして、幼條には赭黃色の軟毛を密布し、高さ18-21米(60-70尺)、周圍2·1-2·4米(7-8尺)に達するものあり。樹皮は帶褐紫黑色を呈して厚く、密にして深き裂目を有す。葉は4-10對の小葉より成れる奇數羽狀複葉をなし、小葉は殆んど無柄なる廣橢圓形或は長橢圓狀披針形にして、表面は深綠色を呈して稍平滑、裏面は帶白色にして茶褐色の柔毛を密生す。先端急に尖り、基脚斜圓をなし、緣邊に銳鋸齒を具へ、長さ6-15糎(2-5寸)許に達し、一見漆の葉に似て稍大なり。5-6月頃、茎荑花を雌雄同株に下垂す。雄穗は狹圓柱形にして密花を懸垂し、花は每苞1花を着け、苞は長橢圓形にして毳の先端に、小苞は2箇を有して毳の側部に着生す。萼は4淺裂し、細毛を被り、雄蕊は10-14箇を具ふ。雌穗は5-10箇の疎花を排列し、苞及小苞は總苞を形成し、總苞は卵狀筒形にして波緣をなし、細毛を被る。萼裂片は4箇にして子房に着生し、柱頭は2箇、紅色を呈して反捲し、乳頭滿布す。核果樣假果は球形をなし、大さ2·1-2·4糎(7-8分)許、堅果は卵形にして先端尖り、木質にして極めて堅く、表面に凹凸の皺溝を有す。

〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

160 おにぐるみ

1 おたふくぐるみ

162 テウチグルミ

人生との關係　胚は蛋白質と脂肪とに富み、又芳香を有するを以て、菓子製造の原料又は調理用に供して頗る美味なり。材は質緻密にして堅く、諸種の器具を製造するに適し、殊に小銃の臺木、飛行機の材料として賞用せられ、果實よりは油を搾取し、又樹皮は染料に供する等用途廣きものなり。

5720. **おたふくぐるみ** 姬胡桃·陳倉胡桃·平胡桃 クルミ科
Juglans Sieboldiana, *Maxim.* var. cordiformis, *Makino.*（白圖-161）

（異名）ひめぐるみ·めぐるみ　〔形態〕前種オニグルミの一種にして彼に比するに樹形稍小さく、樹皮は赭黑色にして稍黃色を帶ぶ。葉は稍彼に類似すれども、果形は小さく扁平にして、核亦稍小さく心臟形をなして扁壓せられ、殼面には溝條以外に著しき皺紋なく、質は硬きも薄くして碎け易き等なり。〔花色〕綠黃色。〔花候〕春。〔分布〕邦內各地。

5721. **テウチグルミ** 手打胡桃·菓子胡桃 …… クルミ科
Juglans regia, L. var. *sinensis*, C. DC.（白圖-162）

（異名）テウセングルミ·クッシグルミ　〔形態〕支那原產の喬木にして、樹形稍オニグルミに似たり。若き枝條は白色を呈して3枚3出葉を着生すれども、後5-9箇の小葉よりなれる奇數羽狀複葉を着生す。小葉は廣橢圓形或は長橢圓狀卵形にして、銳頭·鈍脚をなし、全緣又は齒牙緣を有し、長さ6-12糎(2-4寸)許に達す。花は單性にして雌雄同株に開く。雌穗は1-3花稀に多數を着生す。核果樣假果は球狀廣橢圓形にして、表面平滑なるか又は微毛を有し、熟すれば裂開して堅果を現はす。堅果は稍大なる球形にして微凸頭をなし、表面には網狀の淺き皺紋を有し、殼は極めて薄く、容易に破碎し得べし。手打胡桃とは手にて打ち碎けると云ふ所より名付けられたるものなりと云ふ。〔花色〕綠黃色。〔花候〕5月。〔原產地〕支那。

5722. **ながぐるみ** …… クルミ科
Juglans stenocarpa, *Maxim.*

〔形態〕堅果は倒卵形にして、先端銳く尖りて短く、基脚圓くして、オニグルミに比し長形なり。顯著なる2稜を有し、3縱隆起を具へ、隆起間の皺紋は更に深く、且つ不整なり。〔分布〕本州中部。

2. ノグルミ屬 PLATYCARYA.

5723. **のぐるみ** 化香樹（27圖版-240） …… クルミ科
Platycarya strobilacea, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）のぶのき·やまぐるみ·ふでのき　〔形態〕暖地の山中陽地に自生する落葉喬木にして、幹高さ21-24米(70-80尺)に達す。葉は6-9對の小葉より成れる奇數羽狀複葉にして、長さ12-24糎(4-8寸)許を有し、初め黃褐色の絨毛を被る。小葉は葉柄を缺き、披針形或は長卵形にして先端尖り、基脚鈍形をなし、緣邊に細鋸齒を具へ、下面褐色絨毛を布く。6-7月の候、新枝梢上に淡黃色の單性花を雌雄同株に開く。雄穗は3-13箇の雄花相集りて聚繖狀に排列し圓柱形をなし、雌穗は其基部に1-2花を着生して雌花叢をなす。雄花は花被を缺き、每苞1花を着け、8-10箇の雄蕊を具ふ。雌花も亦每苞1花を着生し、苞は圓錐形にして宿存生なり。小苞は2箇を有して子房に着生し、柱頭も亦2箇を有す。果實は10月頃成熟し、細鱗を有する松毬形にして、各小形の翅果を抱き、ハンノキに似て2箇年以上枝梢に附着するを常とす。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

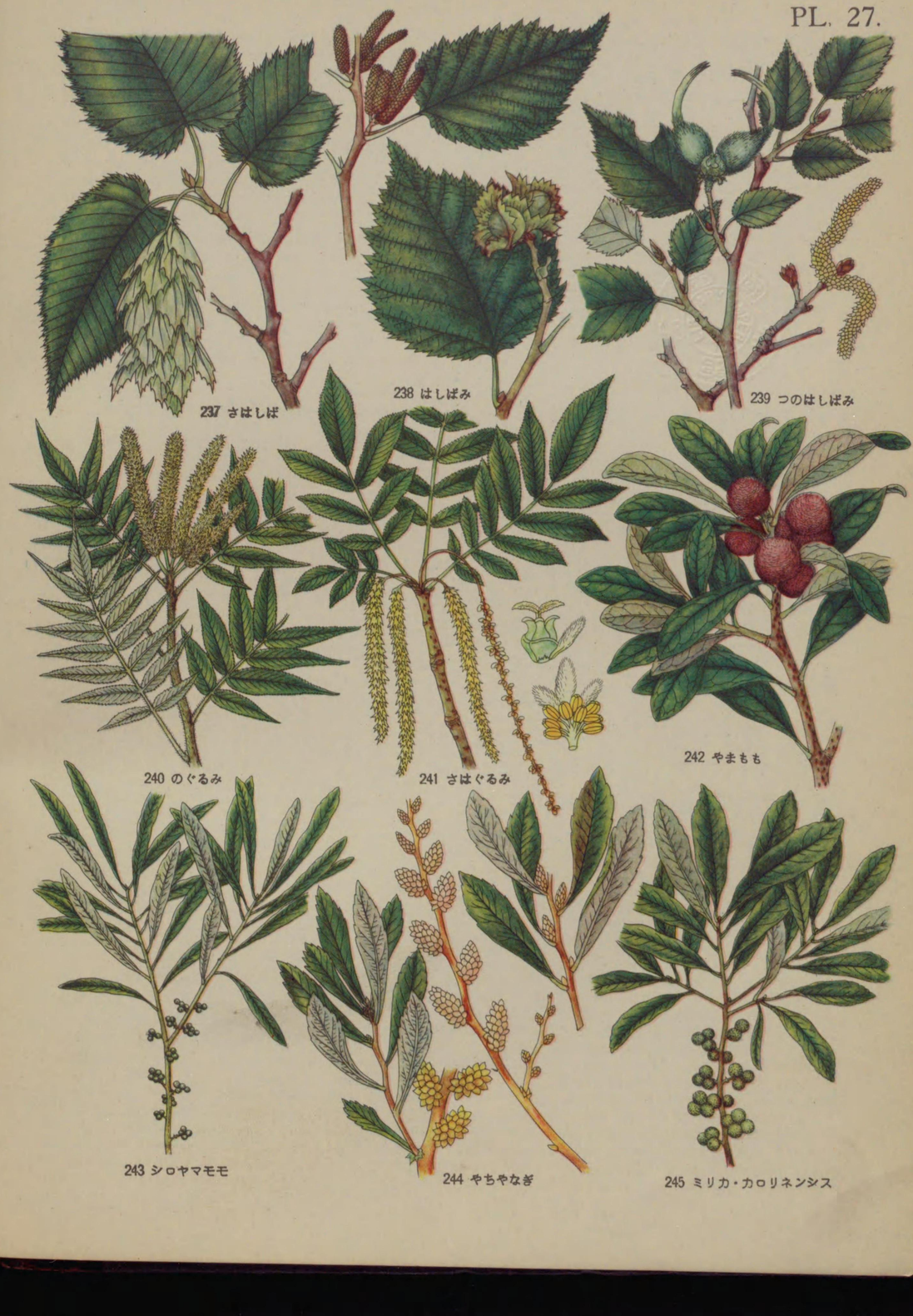
5724. **たいわんやまぐるみ** …… クルミ科
Platycarya strobilacea, *Sieb.* et *Zucc.* var. Kawakamii, *Hayata.*

（異名）たいわんのぶのき　〔形態〕臺灣に自生する前種ノグルミの一種にして、小葉は極めて小さく、果穗亦狹けれども、鱗片は稍廣き種類なり。

3. サハグルミ屬 PTEROCARYA.

5725. **さはぐるみ**（27圖版-241） …… クルミ科
Pterocarya rhoifolia, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）かはぐるみ·やし　〔形態〕山間·溪谷の稍濕潤なる地に自生する落葉喬木にして、高さ21-24米(70-80尺)に達す。葉は大形の奇數羽狀複葉にして、長さ15-30糎(0·5-1尺)許に達し、小葉は披針形若しくは長卵形にして、5-9對を有し、緣邊に鋸齒を具へ、長さ4·5-9糎(1·5-3寸)許、下面は葉柄と共に軟毛を布く。4-5月頃新葉と共に、淡黃色の單性花を、穗狀をなして雌雄同株に生ず。雄穗は長さ9-12糎(3-4寸)許を有し、稍密花を懸垂す。花は花梗を有し、先端三角形にして遊離せる苞と、左右翼をなせる2箇の小苞とを具へ、共に毛茸を生ず。[illegible]は1箇、雄蕊は概ね10箇にして3列に排列す。雌穗は疳長にして、不[illegible]をなせる1箇の苞を有し、有毛な



り。小苞は2箇を有し腎臓形をなす。萼片は4箇を具へ、基脚合生す。柱頭は初め三角形にして、紅色を呈し、瘤起を有すれども、後に至りて菱形・綠赤色に變ず。果穗は長さ18-21糎(6-7寸)許ありて疎生なり。果實は堅果にして、黒褐色を呈し、不齊皺紋と廣菱形の2翼とを有し、10月頃成熟す。〔花色〕淡黄色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係　材は白色にして、輕鬆なるを以て、「マツチ」の軸木及下駄等を造るに用ひ、又内皮を壽光皮と稱し、器具を作るに用ふ。

*　　*　　*
*　　*　　*

ヤマモモ群

1. やまもも(楊梅)科　MYRICACEÆ.

本科の植物は喬木・灌木或は半灌木なり。葉は單葉にして、稀に羽狀に分裂し、互生にして、托葉を具へず。花は單性にして花被を缺き、多くは單穗狀花序又稀に複穗狀花序に排列す。雄花は2乃至16箇の雄蕊を有すれども、多くは4箇を有し、雌花は2箇の結合せる心皮より成れる雌蕊を具へ、絲狀をなせる2箇の柱頭を有す。子房は1室を具へ、内に直生にして、1層の珠被を有する1箇の卵子を含む。果實は核果にして、外果皮より蠟質を分泌す。種子は胚乳を有せず。

本科は1屬、凡40種の植物を有し、主に亞熱帶地方に產す。本邦に自生し、或は栽培せらるゝものには1屬、3種あり。

1. ヤマモモ屬　MYRICA.

5726. **やまもも**　楊梅　(27圖版-242)　……　ヤマモモ科
Myrica rubra, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕暖地の山野に自生多しと雖も、亦往々園養せらるゝ常綠喬木にして、高さ6米(20尺)、周圍0·9-1·2米(3-4尺)に達す。樹皮は初め平滑にして、灰黄黒色なれども、後に至りて縱淺裂す。葉は葉柄を有し、革質・平滑にして、倒披針形或は倒卵狀披針形をなし、先端尖り、基脚狹形・全緣なるか稀に鋸齒を有し、長さ6-15糎(2-5寸)許に達す。4月頃、梢上葉腋に黄紅褐色小形の單性花を雌雄異株に生ず。雄穗は黄紅色を呈して圓柱形をなし、花は花被を缺き、1箇の苞と2箇の小苞とを有し、共に卵形なり。雌穗は卵狀長橢圓形にして、花被を缺き、苞及小苞を有す。子房は1室、花柱は絲狀に2岐す。果實は球形にして、外部に夥多の乳狀突起を有し、初め綠色なれども、熟するに從ひ紅色より紫黒色に變じ、外觀イチゴに似たり。6-7月頃成熟す。〔花色〕黄紅色。〔花候〕春-初夏。〔分布〕本州中部及び南部・四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　果實を食用に供し、樹皮を褐色の染料となすの外、材を挽物細工及薪炭の料に供す。又藥效としては(1)果實は味酸味を帶び、これを食すれば渴を醫し、霍乱・胸痛に效あり。(2)果實の鹽漬は祛痰・酒毒・嘔吐に效あり。(3)樹皮の染汁は防臭・收斂劑となり、又惡瘡其他一般的腫物の患部を洗滌するに效ありと云ふ。

5727. しろもも　……　ヤマモモ科
Myrica rubra, *Sieb.* et *Zucc.* var. alba, *Makino.*

(異名)だんごもも　〔形態〕前種ヤマモモの一種にして、果實の白色を呈する種類なり。〔分布〕本州中部及び南部・四國・九州・琉球・臺灣。

5728. **シロコヤマモモ**　(27圖版-243)　……　ヤマモモ科
Myrica cerifera, L.

〔形態〕北米原產の常綠喬木にして、莖は稍細長く、莖葉共に稍無毛なり。葉は長橢圓形乃至倒披針形にして、長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許に達し、緣邊の上半部には粗鋸齒を有するか或は全緣にして先端尖り、基脚楔形を呈し、下面には往々毛茸を生ず。花は單性にして、雄穗は圓柱形・雌穗は短く、果實は灰白色なり。〔原產地〕北亞米利加。

5729. **やちやなぎ**　(27圖版-244)　……　ヤマモモ科
Myrica Gale, *L.* var. tomentosa, *C. DC.*

(異名)えぞやまもも　〔形態〕山野に自生する小灌木にして、全株細毛を密生す。葉は倒披針形・鈍頭・楔脚をなし、上半部緣邊には疎細鋸齒を有す。花は單性にして、雄穗・雌穗共に多數の花を着生す。果實は黄色にして壓扁せられ、3尖頭を有す。〔分布〕北海道・本州北部及び中部。

5730. **ミリカ・カロリネンシス**　(27圖版-245)　ヤマモモ科
Myrica carolinensis, Mill.

〔形態〕外來の常綠灌木なり。葉は長楕圓形或は倒披針形にして、緣邊に大鋸齒を有し、短柄によりて互生す。花は單性にして雌雄異株に生じ、果實は球形の核果なり。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　果實より蠟を製す。

*　　*　　*
*　　*　　*

ヤナギ群

1. やなぎ(楊柳)科　SALICACEÆ.

本科の植物は灌木或は喬木なり。葉は互生し、單葉にして托葉を具ふ。花は單性にして、花被を缺き、穗狀花序に排列し、雌雄異株に生ず。本花は花下に1箇づゝの苞を有し、全緣或は分裂す。雄花は2箇乃至多數の分離せるか或は結合せる雄蕊を有し、雌花は單體の雌蕊を具ふ。雌蕊は通常2箇稀に2箇以上多數の結合せる心皮より成り2-4箇の柱頭を有す。子房は1室にして2-4箇の側膜胎座を具へ、多數の胚子を含む。果實は蒴にして、種子は其基部より多數の毛を生じ、胚乳を含まず。

本科には2屬、凡200餘種の植物を有し、多數は北半球の溫帶地方に、少數は熱帶・亞熱帶地方に産す。本邦には自生するもの2屬、凡47種を産出す。

163 ねこやなぎ

本科所載植物索引

アヲドロ……5772　キツネヤナギ……5738　ハクヤウ……5768
アカザクマルバヤナギ5744　キツネヤナギ……5739　ハコヤナギ……5772
アカメヤナギ……5744　キヌヤナギ……5759　バツコヤナギ……5745
アメリカヤマナラシ……5760　キリタ……5767　ハヒネコヤナギ……5737
イシヤナギ……5747　ギンドロ……5768　ヒメヤナギ……5761
イトヤナギ……5735　クロヤナギ……5733　ヒロハコリヤナギ……5753
イヌコリヤナギ……5753　ケシヤウヤナギ……5766　ヒロハハコヤナギ……5771
イハヤナギ……5758　コタヤウ……5769　フリソデヤナギ……5751
ウラジロハコヤナギ……5768　コナガバヤナギ……5750　ヘラビリヤナギ……5738
ウラジロヤナギ……5744　コブヤナギ……5753　ホトケヤギ……5769
ウラジロヤナギ……5759　コリヤナギ……5754　マルバミネヤナギ……5772
ウロコヤナギ……5750　サルヤナギ……5734　マルバヤナギ……5743
エゾノカハヤナギ……5748　シダレヤナギ……5735　マルバヤナギ……5744
エゾヤマナラシ……5773　シバヤナギ……5740　ミチノクキツネヤナギ5740
ヲノヘヤナギ……5750　シラキヤナギ……5705　ミネヤナギ……5742
オホキツネヤナギ……5741　セイヤウハコヤナギ……5770　ミヤマキツネヤナギ……5739
オホサルコヤナギ……5734　タチヤナギ……5769　ミヤマダチヤナギ……5704
オホシダレ……5735　タニガハヤナギ……5731　ミヤマヤナギ……5744
オホバヤナギ……5733　チシマヤナギ……5757　ヤナギ……5735
オホタチヤナギ……5756　デ　ロ……5767　ヤマナラシ……5772
オホネコヤナギ……5736　ドロノキ……5767　ヤマネコヤナギ……5734
オホバカハヤナギ……5731　ドロブ……5767　ヤマヤナギ……5734
オホバコリヤナギ……5753　ナガバヤナギ……5756　ヤマヤナギ……5755
オホバヤナギ……5702　ヌマキヌヤナギ……5700　ヨメフリ……5772
カウライヤナギ……5740　ネコシダレ……5732　ロクカクヤナギ……5735
カハヤナギ……5754　ネコヤナギ……5731
カラフトヤナギ……5756　ノヤナギ……5761

1. ヤナギ屬　SALIX.

5731. ねこやなぎ（白圖-163）……ヤナギ科
Salix gracilistyla, *Miq.*

（異名）たにがはやなぎ・おほばかはやなぎ　〔形態〕河畔・水濕の地に自生する稍喬木性の落葉灌木にして、嫩枝には灰白色の毛茸を生ず。葉は長橢圓形或は長倒卵形にして、稍厚く、緣邊に微細なる鋸齒を有し、先端銳尖・基脚狹く長さ11糎(3·5寸)許にして、葉柄の基脚には歪形の托葉を伴ふ。葉身は初め灰白色の毛茸を生ずれども、既にして中肋にのみ殘存し、裏面は灰白色を呈す。3月頃、葉に先立ちて單性の小形花を穗狀花序に排列し、花序は無梗にして基脚に小形葉を伴ひ、雌雄異株なり。雄穗は長さ3糎(1寸)許を有し、廣橢圓形にして、卵形・暗褐色の苞を具へ、雄蕊2箇を有し絹絲狀の白毛を密生す。雌穗は長さ7·5糎(2·5寸)許を有し、長圓柱形にして、雌穗と同じく苞を有し、灰白毛を被る。花後生ずる蒴は無柄にして、卵形を呈し、灰白毛を密布す。花柱は蒴と稍同長にして、柱頭は凹頭をなす。蓋し雌雄兩花穗共に、各其苞に柔滑絹絲樣の白毛を密布するを以て、本和名を有す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕3月。〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係　觀賞用として栽培せられ又栽りて挿花用に供せらる。

5732. ねこしだれ……ヤナギ科
Salix gracilistyla, *Miq.* var. pendula, *Kimura.*

〔形態〕前種ネコヤナギの一種にして、枝條は下垂せるを以て名あり。栽培種に屬す。

5733. くろやなぎ（28圖版-246）……ヤナギ科
Salix gracilistyla, *Miq.* var. Pendulsa, *Kimura.* subsp. melanostachys, *Makino.*

〔形態〕地方によりてネコヤナギの一名として往々混用すれども、本種は彼の一品種にして、穗狀花序には毛を生ぜざる種類なり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕3月下旬。（栽培種）

164 やまねこやなぎ

165 シダレヤナギ

5734. やまねこやなぎ（白圖-164）……ヤナギ科
Salix Caprea, *L.*

（異名）さるやなぎ・やまやなぎ・おほさるこやなぎ　〔形態〕稍水濕の山地を好みて自生する落葉小喬木にして、幹高さ12-15米(40-50尺)に達す。葉は葉柄を有し、橢圓形若しくは卵形にして先端尖り、淺鋸齒緣或は波緣をなし、長さ4·5-18糎(1·5-6寸)許を有し、下面に白毛を被る。托葉は不齊なる腎臟形をなす。3-4月の候、葉に先立ちて黃色をなせる單性花を穗狀花序に排列し、雌雄異株なり。花序は無梗にして、基脚に白毛を密生せる披針形の小葉を伴ふ。雄穗は廣橢圓形にして、長さ3糎(1寸)許、苞は褐針形にして、上部は褐黑色を呈し、灰白色の長軟毛を密生し、帽狀にして綠色をなせる腺體と2箇の雄蕊とを具へ、雌穗は長さ6糎(2寸)許にして、圓柱形をなし稍彎曲す。子房は卵形にして長柄を有し、細毛を被る。花後生ずる蒴は有柄にして、灰白毛を密布す。〔花色〕黃色。〔花候〕春。

〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及び中部。

5735. シダレヤナギ　枝垂柳（白圖-165）……ヤナギ科
Salix babylonica, L.

（異名）ヤナギ・イトヤナギ・オホシダレ・ロクカクヤナギ　〔形態〕普通にヤナギと稱せらるゝ落葉の小喬木にして、庭園・路傍等の稍水濕地を好みてよく生育し、殊に近時街路樹として各都市等に盛に栽培せらる。幹高さ9-12米(30-40尺)に達し、枝條は細長にして下垂し、稍赤褐乃至紫色を呈し無毛なり。葉は線狀披針形にして先端尖り、緣邊に微鋸齒を具へ、短き葉柄によりて互生し長さ6-15糎(2-5寸)許に達す。葉柄上面は、葉の上面中肋と共に微毛を生じ、不齊披針形の托葉を伴ふ。春日殆んど葉と同時に黃色をなせる單性花を有葉の穗狀花序に綴り、雌雄異株なり。雄穗は長さ4糎(1·3寸)許、苞は披針形にして毛緣をなし、雄蕊は2箇を有し、花絲は基脚稍癒合して有毛なり。雌穗は長さ2·1-3糎(0·7-1寸)許、苞は卵狀長橢圓形にして基脚有毛なり。花後生ずる蒴は狹圓錐形にして、熟すれば2裂し種子を飛散する狀恰も雪の如し。〔花色〕黃色。〔花候〕春。

〔原産地〕北部亞細亞。

人生との關係　庭園樹・街路樹として風致を添へ、觀賞せらるゝのみならず、枝條は挿花として多く賞揚せらるゝものなり。

5736. おほねこやなぎ……ヤナギ科
Salix vulpinoides, *Koidz.*

〔形態〕稍多濕の山野に自生する落葉の亞喬木にして、幼條には灰白茸毛を密布す。葉は薄質・長橢圓形或は橢圓形にして、長さ3-9糎(1-3寸)許に達し、先端尖銳・緣邊には鋸齒牙狀鋸齒を有し、上面毛茸を散生し、下面には軟毛を布く。初春の候、葉に先立ちて、3-4·5糎(1-1·5寸)許ある單性花穗を出し、基部には有毛の小形葉を伴ふ。苞は橢圓形・鈍頭にして先端褐色を呈し、兩面柔毛を布く。雄花は2箇の雄蕊と、大形の苞とを有し、雌花の子房は卵狀披針形にして、花柱は2深裂し、雌雄花共に卵形の腺體を有す。蒴は卵狀披針形にして、外面に毛茸を密布す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕早春。〔分布〕本州中部。

5737. はひねこやなぎ……ヤナギ科
Salix Nakaii, *Kimura.*

〔形態〕朝鮮原產の落葉灌木にして、莖は基部より分岐し、枝條は細長にして匍匐す。葉はネコヤナギに似て狹く、上面中肋に短毛を、下面には稍粉白を裝ひ、13-18對の弓狀斜上生の側脈を有し、托葉は斜卵形にして、兩面に短毛を生ず。早春葉に先立ちて、ネコヤナギより更に早く、且つ小形なる單性小花を穗狀に開く。雄穗は長橢圓形にして、有毛の花軸を具へ、小苞は鞭狀卵形にして、兩面に微毛を布く。雄蕊は2箇を有し、腺體は黃綠色にして線形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕早春。〔原產地〕朝鮮。

5738. きつねやなぎ……ヤナギ科
Salix vulpina, *Anders.*

（異名）へっぴりやなぎ・おほしばやなぎ　〔形態〕各地に自生する全株有毛の落葉木本なり。葉は葉柄を有し、長橢圓形或は廣橢圓形にして、先端・基脚共に鋭形或は鈍形を呈し、不齊細鋸齒緣を有し、長さ6糎(2寸)以上に達す。托葉は小さく卵形なり。花は早春、通常葉に先立ち或は稍葉と同時に4糎(1·3寸)許ある穗狀花序に排列し、花序は短梗を具へ、圓柱形にして基脚に小形葉を伴ふ。苞は廣橢圓形にして、雄蕊は2箇を有す。花後生ずる蒴は短柄を具へ、廣橢圓形にして花柱は蒴より短く、柱頭は短形にして凹頭をなす。〔花候〕早春。〔分布〕北海道・本州・九州。

5739. みやまきつねやなぎ……ヤナギ科
Salix vulpina, *Anders.* var. subalpina, *Koidz.*

〔形態〕本州北部の深山に自生する前種キツネヤナギの一種にして、心皮に細毛を布ける種類なり。

5740. みちのくきつねやなぎ……ヤナギ科
Salix vulpina, *Anders.* var. tenuifolia, *Koidz.*

〔形態〕本種も亦本州北部の山地に自生する。前種キツネヤナギの一種なり。本種の葉は菲薄にして、苞には白色の絨毛を布ける品種なり。

5741. おほきつねやなぎ……ヤナギ科
Salix vulpina, *Anders.* var. tomentosa, *Koidz.*

〔形態〕本州中部地方に自生するキツネヤナギの一種にして、葉は下面に絨毛或は絹毛を布き、心皮及苞には白色絨毛を布ける種類なり。

166 みやまやなぎ

167 あかめやなぎ

5742. みやまやなぎ（白圖-166）……ヤナギ科
Salix Reinii, *Franch.* et *Sav.*

（異名）みねやなぎ　〔形態〕高山に自生する落葉の低灌木にして、莖葉共に無毛種に屬す。葉は橢圓形或は倒卵形にして先端尖り、基脚狹まり長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許に達し、緣邊に鈍齒牙を有し、裏面には白色毛茸を密生す。6月頃、黃綠色をなせる單性花を、雌雄異株に穗狀花序をなして排列す。花序は概ね葉と同時に抽出し、有梗にして基部に葉を伴ふ。雄穗は長さ3糎(1寸)許、狹圓柱形をなし、卵形・褐色にして灰白毛を被れる苞及2箇の雄蕊とを具へ、雌穗も亦狹圓柱形にして、長さ4·5糎(1·5寸)許を有す。蒴は有柄にして狹橢圓形をなし、無毛或は有毛なり。花柱は蒴と長さ稍同じく、柱頭は長橢圓形にして凹頭なり。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

5743. まるばみねやなぎ……ヤナギ科
Salix Reinii, *Franch.* et *Sav.* var. cyclophylloides, *Koidz.*

〔形態〕前種ミヤマヤナギの一種にして、本州北部の高山に自生す。葉は廣倒卵形或は圓形稀に廣橢圓形にして、先端鈍形をなし、兩面初め赤褐色の毳毛を布く。雌穗は頗る短く、漸く1·5糎(5分)許に過ぎざる種類なり。

5744. あかめやなぎ（白圖-167）……ヤナギ科
Salix glandulosa, *Seem.*

（異名）まるばやなぎ・うらじろやなぎ・あかぢくまるばやなぎ

〔形態〕各地に自生する落葉灌木にして、葉は橢圓狀披針形乃至廣橢圓形にして、銳尖頭・狹脚をなし、長さ11糎(3·5寸)許。緣邊には鋭鋸齒を具へ、葉柄及托葉を有す。早春葉と共に單性花を有梗の穗狀花序に排列す。雄穗は狹圓柱形にして、長さ4糎(1·3寸)許。苞は褐色を呈し、灰白毛を布き、4-5箇の雄蕊を具ふ。雌穗は圓柱形にして、長さ6糎(2寸)許。苞は廣橢圓形なり。蒴は長柄を有し、廣橢圓形にして、花柱は稍缺如し、柱頭は短形にして2岐す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

5745. ばっこやなぎ……ヤナギ科
Salix Bakko, *Kimura.*

〔形態〕北海道に自生する落葉喬木にして、幹高さ9米(30尺)、徑60糎(2尺)以上に達し、幼條には短毛を生ず。葉は橢圓狀長橢圓形にして先端尖り、不齊細齒牙緣を有し、長さ9-12糎(3-4寸)許。中肋は上面に陷起し、各側に弓狀の側脈10-13對を具へ、托葉は斜腎臟形なり。春日葉に先立ちて單性花を着生す。雄穗は密花を球形或は橢圓形に綴り、長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許を有し、4-7箇の小葉を伴ふ。苞は長橢圓形にして、上半部は黑色を呈し、兩面絨毛を布く。腺體は卵形乃至卵狀四角形にして、腹面は綠色或は黃綠色を呈し、雄蕊は2箇を有す。雌穗も亦密花を長橢圓形に綴り、長さ3糎(1寸)許、子房は卵形にして絹毛を布き、花柱は2裂す。

〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕北海道。

5746. しばやなぎ（28圖版-247）……ヤナギ科
Salix japonica, *Thunb.*

〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして、莖高さ1·5-1·8米(5-6尺)內外に達し、概ね無毛なり。葉は長橢圓形若しくは長卵形にして、長さ7·5糎(2·5寸)許、銳鋸齒緣を有し、先端は細長く尖りて稍全緣なり。下面には粉白を裝ひ、且つ嫩葉は其兩面に毛茸を生ず。4月頃、穗狀花序をなして淡黃綠色の單性花を雌雄異株に開き、花序は有梗にして、長さ4·5糎(1·5寸)內外に達し、葉を伴ふ。夏日に至り、果實は成熟して白毛絮を吐出す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

人生との關係　庭園に栽植し、觀賞に供することあり。

5747. いしやなぎ……ヤナギ科
Salix japonica, *Thunb.* var. padifolia, *Seem.*

〔形態〕シバヤナギの一種にして、葉は長橢圓形をなし、銳頭なり。

〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5748. えぞのかはやなぎ……ヤナギ科
Salix Miyabeana, *Seem.*

〔形態〕河岸・砂地等に自生する落葉灌木にして、葉は托葉を有し、長披針形にして先端尖り、鋸齒緣を有し、長さ15糎(5寸)許に達す。4月頃葉に先立ちて、無梗の穗狀花序を出し、基部に披針形葉を伴ひ、花は單性なり。雄穗は圓柱形をなし、長さ4糎(1·3寸)許。苞は黑褐色にして、灰白長毛を被り、雄蕊2箇を具ふ。雌穗は狹圓柱形にして雄穗より長く、苞は灰白毛を被る。花柱は之を缺き、蒴は卵形にして細毛を散生す。〔花色〕淡黃綠色。

〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部。

5749. かうらいやなぎ……ヤナギ科
Salix koreensis, *Anders.*

〔形態〕本州中部以南に自生する落葉喬木にして、葉は披針形・銳尖頭・銳尖脚をなし、緣邊に細鋸齒を有し、下面粉白を裝ふ。春日葉に先立ちて無梗の單性花を穗狀花序に綴り、雌穗は廣橢圓形にして、白毛を被る。

〔分布〕本州中部及南部・九州

5750. うろこやなぎ……ヤナギ科
Salix lepidostachys, *Seem.*

〔形態〕本種は莖葉共に無毛なり。葉は托葉及葉柄を具へ、披針形にして緣邊に細鋸齒を有し、長銳尖頭をなす。花は單性にして、無梗の穗狀花序に排列し、花序は葉に先立ちて抽出し、基部に小形葉を伴ふ。雄穗は短圓柱形にして、苞は黃白長毛を散生し、2箇の雄蕊を具へ、雌穗は圓柱形にして、苞は黑褐色を呈し、灰白長毛を生ず。花柱は短く、柱頭は2岐す。蒴は長廣橢

圓形にして.灰白長毛を密布す。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5751. ふりそでやなぎ ……ヤナギ科
Salix leucopithecia, *Kimura.*

〔形態〕本州中部地方に多く自生する落葉灌木にして.高さ4·5米(15尺)に達し.若き枝梢には初め絹毛を生ずれども.後之を失ふ。葉は托葉を具へ.嫩葉は兩面に微毛を生ずれども.成葉に至れば厚質となり.長さ9–15糎(3–5寸)許に達し.下面に粉白を布き且つ微毛を生ず。葉身は長橢圓形にして先端鋭尖·緣邊に齒牙を有す。花は單性にして.雄穗は葉に先立ちて抽出し橢圓狀圓柱形にして肥厚し.長さ3–6糎(1–2寸)許.多くの花を着生す。苞は披針狀長橢圓形にして.上部は黑色.中部は赤色.基部は黃綠色を呈し.兩面に長毛を布き.綠色の1腺體を具ふ。雌蕊は2箇を有し.花絲は基脚合生して無毛なり。〔花色〕淡黃綠色。〔分布〕本州中部。

5752. **こりやなぎ** (28圖版-248) ……ヤナギ科
Salix purpurea, *L.*

(異名) おほばこりやなぎ　〔形態〕水邊に多く自生する落葉灌木なれども.又廣く培養せらる。本植物は年々枝條を刈取るを以て.恰も叢生灌木狀をなすを常とす。全株無毛種に屬し.葉は倒披針形或は線狀披針形にして先端尖り.細鋸齒緣を有し.通常短梗によりて互生すれども.又屢ば對生し.下面に粉白を裝ひ.長さ11糎(3·5寸)許に達し.托葉は概ね之を缺く。3月下旬頃.葉に先立ちて穗狀の雌雄花を異株に生じ.基部に小形葉を伴ふ。雄穗は圓柱形にして.長さ2·4糎(8分)許.苞は倒卵形にして黑褐色を呈し.灰白長毛を布き.雄蕊は2箇を有す。雌穗も亦圓柱形にして.長さ1·8糎(6分)許.苞は廣橢圓形にして.亦灰白長毛を布き.柱頭は凹頭或は分岐す。蒴は無柄にして卵形を呈し.灰白長毛を密布す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　新條の長さ1·8–2·1米(6–7尺)に伸長せるものをとりて皮を去り晒したるものを.編物の原料とす。從來本邦にては主に葛籠·行季·張箱·盆·「バスケット」·花器等の製作に過ぎざりしが.歐米諸國にては椅子·「カバン」·乳母車·花籠等.其他諸種の家具を作る等需要廣きものなり。本邦に於ても近時「コリヤナギ」の細工品漸く隆盛を來し.外國にも輸出せらるゝに至りしを以て.漸次各種の製品を產し.價格も亦騰貴するに至り.從つて收益多き工藝品の一として重視せらるゝに至れり。

168 いぬこりやなぎ

169 かはやなぎ

5753. **いぬこりやなぎ** (白圖-168) ……ヤナギ科
Salix purpurea, *L.* var. multinervis, *Matsum.*

(異名) こぶやなぎ·おほばこりやなぎ·ひろはこりやなぎ　〔形態〕前種コリヤナギの一種にして.概形彼に似たれども.彼の葉は互生或は屢ば對生し.披針形或は線狀披針形にして.葉柄を有するに比し.本種の葉は對生して長橢圓形をなし.無柄にして莖を抱くことは其異れる要點なり。其他人生との關係等大體彼と同じ。〔分布〕北海道·本州·九州。

5754. **かはやなぎ** (白圖-169) ……ヤナギ科
Salix gymnolepis, *Lev.* et *Vnt.*

〔形態〕原野の水邊に多く自生する落葉亞喬木にして.高さ3米(10尺)許に達す。葉は互生して短柄を有し.長披針形·銳頭·楔脚をなし.長さ6–9糎(2–3寸).幅1·2–1·5糎(4–5分)を常とし.波狀鈍鋸齒緣を有し.葉柄の基脚擴がりて.左右に披針形の托葉を具へ.共に腋芽を擁す。葉の下面は初め絹毛を布く。4–5月の頃.黃綠色を呈する單性の穗狀花を雌雄異株に綴る。花序は黑色にして.苞には毛を有せず。蒴は短柄を具へ.白毛を被る。花柱は長く.柱頭は4岐す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として河邊·池畔等に栽植し又生花用に供せらる。

5755. やまやなぎ ……ヤナギ科
Salix Saidaeana, *Seem.*

〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして.嫩枝には灰白毛.嫩葉には赤褐毛を密布す。葉は短き葉柄を具へ.長橢圓形乃至廣橢圓形にして.銳頭·銳脚をなし.長さ6糎(2寸)許に達し.緣邊には細鋸齒を有す。春日淡黃綠色の雌雄花を穗狀花序に綴り.異株なり。花序は有柄にして葉と同時に抽出し.下部に小形葉を伴ふ。雄穗は狹圓柱形にして.長さ4·5糎(1·5寸)許.苞は狹卵形にして.黃白色の長毛を密生し.1箇の雄蕊を有す。雌穗亦狹圓柱形にして.長さ3糎(1寸)許.苞は廣橢圓形にして.白色長毛を密生す。蒴も亦白色長毛を密布して有柄なり。花柱は蒴より短く.柱頭は頭狀を呈す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·九州。

5756. **からふとやなぎ** (28圖版-249) ……ヤナギ科
Salix sachalinensis, *Fr. Schm.*

(異名) ながばやなぎ·をのへやなぎ·こながはやなぎ·おれたちやなぎ　〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして.若き枝梢には短毛を生ず。葉は橢圓狀披針形にして先端尖り.兩面に毛茸を散生或は密布す。4–5月頃.葉と共に花を出し.穗狀花序に排列す。花序は短梗を有し.基脚には線形葉を伴ふ。苞は長橢圓狀卵形にして褐色を呈し.灰白毛を被る。子房は卵狀圓錐形にして短柄を具へ.花柱は絲狀をなして子房と稍同長なり。柱頭は線形にして全緣.若しくは凹頭をなし.蒴は卵形にして細毛を被り.5月頃成熟す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國。

170 ちしまやなぎ

171 いはやなぎ

5757. **ちしまやなぎ** (白圖-170) ……ヤナギ科
Salix arctica, *Pall.*

〔形態〕寒地に自生する落葉小灌木にして.葉は裏面に粉白を裝ひ.倒卵形乃至橢圓狀倒卵形·全緣にして.先端圓頭或は微尖頭をなし.托葉及葉柄を具ふ。花は穗狀花序に排列し.花序は有梗にして.基部に葉を伴ふ。苞は褐色にして.先端黑色を呈し.花柱は單一若しくは2つに分れ.柱頭は凹頭なるか或は2岐す。蒴は果柄を缺き.短毛を被る。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道。

5758. **いはやなぎ** (白圖-171) ……ヤナギ科
Salix Sieboldiana, *Blume.*

(異名) やまやなぎ　〔形態〕通常山地の岩石上に自生する小灌木狀の落葉樹なれども.又山麓·原野等に見ることあり。若き枝梢には灰白毿毛を生じ.嫩葉には赤色毿毛を密布す。葉は革質にして厚く.長橢圓形にして先端尖り.緣邊に銳鋸齒を有し.11–15對の側脈を具へ.裏面には灰色若しくは褐色の粉狀毛茸を密生し.長さ9糎(3寸)許を普通とすれども.亦形狀大さ著しく異なれるものあり。春日淡黃綠色の單性花を雌雄異株に生じ.穗狀花序をなす。雄花は2箇若しくは1箇の雄蕊を伴ひ.雌花の子房は短柄を具へ.毿毛を被り.苞は白毿毛を密布す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部。

5759. **きぬやなぎ** (28圖版-250) ……ヤナギ科
Salix viminalis, *L.* var. yezoensis, *Schneid.*

(異名) うらじろやなぎ　〔形態〕原野·水濕の地に自生する落葉亞喬

PL. 28.

246 くろやなぎ

247 しばやなぎ

248 こりやなぎ

249 からふとやなぎ

250 きぬやなぎ

251 でろ

252 ハクヤウ

253 コクヤウ

254 はこやなぎ

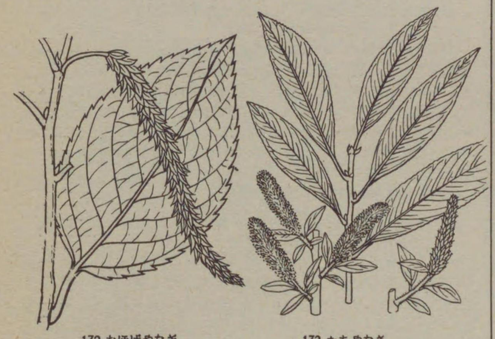
木にして．若き枝條には灰白短毛を密布す。葉は披針形にして．長さ15糎（5寸）．幅1·2糎（4分）許を有し．先端細く尖り．緣邊には鋸齒なく．殆んど全緣にして．葉柄は短く密に互生し．托葉を具ふ。此の葉は．表面濃綠色にして滑澤．裏面には絹絲狀の毛茸を密生し．柔軟にして美麗なり。3月中旬頃．單性花を異株に綴り．穗狀花序をなす。花序は無梗にして葉より先に出で．基脚に小形葉を伴ふ。雄穗は圓柱形にして．ネコヤナギの如き絹絲狀の毛を有し．苞は橢圓形をなして黃赤色を呈し．雄蕊は2箇を具ふ。雌穗も亦圓柱形にして．苞は卵形をなし灰白毛を密布す。花柱は朔と稍同じく．柱頭は凹頭若しくは2岐し．朔は卵狀圓柱形にして．絹毛を密布し．5月頃成熟す。〔花色〕黃赤色。〔花候〕早春。〔分布〕樺太·北海道·本州各部。

5760. **ぬまきぬやなぎ** …… ヤナギ科
Salix repens, *L.*

〔形態〕葉は廣橢圓形乃至稍線形にして．全緣若しくは疎細鋸齒緣を有し托葉は之を缺く。花は穗狀花序に排列し．花序は短梗を有し．廣橢圓形にして小形葉を伴ふ。心皮は有毛なるか或は全く無毛なり。〔分布〕千島·北海道·九州。

5761. **のやなぎ** …… ヤナギ科
Salix repens, *L.* var. subopposita, *Seem.*

（異名）ひめやなぎ　〔形態〕山野に自生する低灌木にして．若き枝條には灰白毛を密布す。葉は披針形にして先端尖り．全緣にして長さ4·5糎（1·5寸）許に達し．葉柄及托葉を具へ．裏面には初め絹毛を密生す。花は單性にして穗狀花序をなし．花序は葉より先に出でて短梗を有す。雄穗は圓柱形をなし．苞は褐色にして長毛を散生し．雄蕊は2箇を具へ．雌穗は廣圓柱形をなす。〔分布〕本州中部及南部·九州。



172 おほばやなぎ　173 たちやなぎ

5762. **おほばやなぎ**（白圖-172） …… ヤナギ科
Salix cardiophylla, *Trautv.* et *Mey.* var. Urbaniana, *Kudo.*

〔形態〕河畔の水濕地を好みて自生する落葉喬木にして．幹高さ15–18米（50–60尺）に達し．若き枝條には毛を有せず。葉は長橢圓狀卵形にして．長さ15–18糎（5–6寸）．幅6糎（2寸）許に達し．銳尖頭·鈍脚或は圓脚をなし．細鋸齒緣を有し．初め細毛を密布す。葉柄は3糎（1寸）許を有し．基脚膨大して兩側に歪形の托葉を有す。花は單性にして穗狀花序に排列し．花序は葉に後れて抽出·懸垂す。雄穗は圓筒形をなし．長さ6–8糎（2·2·7寸）許。苞は廣倒卵形にして毛緣をなし．2箇の腺體と5–10箇の雄蕊とを有し．雌穗は細圓筒形にして．長さ9–12糎（3–4寸）許なるも．花後增長して15–18糎（5–6寸）許に達す。苞は倒卵狀楔形にして毛緣をなし．2箇の腺體を有す。子房は卵狀圓柱形にして細毛を密布し．花柱は2岐し．柱頭は更に2叉す。朔は圓柱形にして短毛を布き2裂し．7月頃成熟す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕5–6月。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州。

人生との關係　觀賞用として庭園の水濕地に栽植せらる。

5763. **たちやなぎ**（白圖-173） …… ヤナギ科
Salix amygdalina, *L.* var. nipponica, *Schneid.*

〔形態〕原野水濕の地に自生多き落葉喬木なれども．通常喬木狀を呈せず。葉は下面に短き毛茸を生じ．葉柄によりて互生す。葉身は廣披針形にして先端尖り．緣邊に細齒を具へ．長さ7·5糎（2·5寸）許に達し．托葉を伴ふ。4月頃殆んど葉と同時に．長さ4–5糎（1·3–1·4寸）許ある穗狀花序を雌雄異株に生じ．雄穗は長圓筒形にして長さ6糎（2寸）許．苞は黃色を呈し．雄蕊は3箇を具へ．雌穗も亦圓筒形にして淡綠色を呈す。朔は長柄を具へ．廣橢圓形にして花柱は之を缺く。柱頭は稍肥厚して凸頭をなす。果實は白色の綿絮によりて．他のヤナギ類と同じく飛散す。〔花色〕雄花は黃色·雌花は淡綠色。〔花候〕春。〔分布〕北海道·本州·九州。

5764. **みやまたちやなぎ** …… ヤナギ科
Salix paludicola, *Koidz.*

〔形態〕深山に自生する落葉小灌木にして全株無毛なり。葉は短柄によりて互生し．倒卵形にして鈍頭或は圓頭をなし．全邊なるか或は鈍細鋸齒緣を有し．長さ0·9–3糎（0·3–1寸）許に達す。花は單性にして．雌穗は花梗を具へ．基脚小形葉を伴ふ。苞は圓卵形にして黃褐色の絹毛を布き．花柱は短く．柱頭は2岐す。朔は披針形にして．絨毛を散生す。〔花色〕淡黃色。〔分布〕北海道。

5765. **しらねやなぎ** …… ヤナギ科
Salix Shiraii, *Seem.*

〔形態〕本種は落葉低灌木にして．若き枝條には稍灰白毛を密生す。葉は卵狀披針形にして葉柄を有し．先端尖り．圓脚或は心脚にして緣邊に銳鋸齒を有し．長さ6糎（2寸）許に達す。下面は初め灰白毛を密布すれども．後に至りて唯中肋にのみ殘存す。花は單性にして穗狀花序に排列し．花序は短柄を有し．基脚小形葉を伴ひ．通常葉と同時に抽出す。雄穗は圓柱形にして長さ4糎（1·3寸）許を有し．苞は黃色にして白色長毛を被り．2箇の雄蕊を具ふ。雌穗も亦雄穗と略同形·同長にして．花柱は朔より短く．柱頭は長橢圓形にして2岐し．擴開す。朔は廣橢圓形にして長柄を有し．且つ無毛なり。〔花色〕黃色。〔花候〕春–夏。〔分布〕本州北部及中部。

2. ケショウヤナギ屬 CHOSENIA.

5766. **けしょうやなぎ** …… ヤナギ科
Chosenia eucalyptoides, *Nakai.*

〔形態〕枝梢は斜上性を有する大喬木にして．高さ9米（30尺）．徑1·5米（5尺）以上に達し．樹皮は帶赤色或は帶黃色を呈す。葉は倒披針形或は披針形にして．銳尖頭·狹脚．概ね全緣にして長さ1·8–4·5糎（0·6–1·5寸）許に達し．短柄を具ふ。花は單性にして．雄穗は腋出或は單生し．長さ1·2–3糎（0·4–1寸）許．苞は倒卵狀圓形にして5脈を有し．雄蕊は5箇を具へ．基脚合生して苞に着生し．腺體は之を缺く。雌穗は短枝に頂生し．3葉を伴ふ。苞は卵狀長橢圓形にして5脈を有し．凋落性なり。〔分布〕樺太·本州中部。

3. デロ屬 POPULUS.

5767. **てろ**（28圖版-251） …… ヤナギ科
Populus Maximowiczii, *A. Henry.*

（異名）どろのき·きわた·ほとけぎ·どろぶ　〔形態〕山地又は河岸等に自生する落葉喬木にして．高さ15–18米（50–60尺）に達す。樹皮は暗灰色にして．初め平滑なれども．後に裂目を生ず。葉は廣卵形乃至長橢圓形にして先端尖り．鈍鋸齒緣を有し．長さ6–15糎（2–5寸）許に達す。4–5月頃．葉に先立ちて柔荑花序を生じ．雌雄異株なり。雄穗は稍彎曲せる圓筒形にして暗紅色を呈し．長さ2·4–5糎（0·8–1·7寸）許．花は花被を缺き．苞は圓腎臟形にして．不整なる剪裂をなし．花盤は漏斗狀にして．雄蕊は20箇を有す。雌穗も亦彎曲せる狹圓筒形にして短柄を有し．花は疎に着生す。子房は廣卵形·花柱は綠色にして3箇を具へ．柱頭は不齊に分裂す。蒴果は疎に花軸に着生し．熟して3–4裂し．白色の絨毛を有する細小なる種子を出す。〔花色〕暗紅色。〔花候〕春。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

人生との關係　材は「マツチの」軸木·輕木·總揚子等の料に供し．種子の毛は浦團の心に用ふる等用途多し。

5768. **ハクヤウ** 白楊（28圖版-252） …… ヤナギ科
Populus alba, L.

（異名）キンドロ·ウラジロハコヤナギ　〔形態〕原名ポプラと稱す。歐洲原產の落葉喬木にして．幹高さ36–39米（120–130尺）に達し．樹皮は灰白色を呈す。葉は長き葉柄によりて互生し．葉身は廣卵形或は圓形にして先端稍尖り．緣邊は不齊なる波狀に分裂し．裏面には白軟毛を生ず。花は單性にして花被を缺き．穗狀花序に排列し．雌雄異株なり。雄穗は稍長く．花下に有する苞は薄質にして．緣邊齒牙狀に細裂し．雄蕊は6–10箇を具へ．柱頭は絲狀に分枝す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　本植物は．觀賞用又は防風樹或は風致樹として．庭園·路傍等に栽植せられ．且つ材は白色軟滑なるを以て「マツチ」の軸木其他種々の用に供せらる。

5769. **コクヤウ**（28圖版-253）…… ヤナギ科
Populus nigra, L.

（異名）アメリカヤマナラシ　〔形態〕歐洲及西比利亞原產の尖頭形をなせる落葉喬木にして，幹高さ30米（100尺）餘に達し，樹皮は灰白色を呈し，若き枝梢には細毛を密生す。葉は互生して側扁せる葉柄を供へ，葉身は三角狀卵形にして先端尖り，緣邊に鋸齒を有す。花は單性にして花被を缺き，緣邊細裂せる苞を有し，穗狀花序をなして，雌雄異株に排列す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴·西比利亞。

人生との關係　多く觀賞用とし，又時に防風樹として栽植せらる。

5770. **セイヤウハコヤナギ**…… ヤナギ科
Populus nigra, L. var. *italica*, Du. Roi.

〔形態〕本種も亦歐洲原產の落葉喬木にして，全株無毛種に屬す。枝梢は圓錐狀をなして直生し，葉は菱狀卵形·短鋭尖頭·基脚楔形にして，鈍齒牙緣をなし，長柄を有す。〔原產地〕歐羅巴。

5771. **ヒロハハコヤナギ**…… ヤナギ科
Populus deltoides, Marsh.

〔形態〕北米原產の落葉喬木にして，葉は長き葉柄を有し，大形の三角狀卵形にして先端急に尖り，不齊齒牙緣を有す。花は長形なる穗狀花序に疎生し，鱗片は大きく先端擴大して絲狀に分裂す。雄蕊は40-60箇の多數を有し，3-4箇の柱頭を具ふ。〔原產地〕北亞米利加。

5772. **はこやなぎ**（28圖版-254）…… ヤナギ科
Populus Sieboldii, *Mig.*

（異名）やまならし·まるばやなぎ·よめふり·あをどろ　〔形態〕稍乾燥せる山地に自生する落葉喬木にして，高さ15-18米（50-60尺）に達す。葉は廣橢圓形にして稍菱形をなし，鈍頭或は鋭頭·稍心脚を呈し，緣邊に細鈍鋸齒を有し，長さ3-6糎（1-2寸）許にして，下面は灰白色を呈し，兩面無毛又は下面に長白毛を殘留す。此葉柄は左右より扁平にして，葉身と直角をなすを以て，風の爲めに動かされ易ければ，ヤマナラシの稱を得たるなるべし。4月頃，單性花を雌雄異株に生じ，雄穗は圓柱狀をなし紫紅色を呈して懸垂し，長さ4·5-10糎（1·5-3·5寸）許あり。雌穗は狹圓柱形にして彎曲し，6-7·5糎（2-2·5寸）許。花柱は2箇を有し，柱頭は鮮紅色にして，不齊分裂をなす。蒴は長橢圓狀紡錘形にして2裂し，種子は基脚に白軟毛を生じ，5月頃成熟す。〔花色〕紫紅色。〔花候〕春。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各部。

人生との關係　前種と同じく，觀賞樹·風致樹又防風樹或は街路樹として栽植せられ，又材は諸器具を造るに用ひらる。殊に舊時團扇を入るゝ箱を造るに多く使用せられたるを以てハコヤナギの稱あり。

5773. **えぞやまならし**…… ヤナギ科
Populus jesoensis, *Nakai*.

〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして，莖は枝を岐ち，高さ6米（20尺）餘，葉は長柄を具へ，廣卵形或は稍三角形にして先端鋭く，鈍細齒牙緣乃至內曲鋸齒緣をなし，長さ3-9糎（1-3寸）許に達す。〔分布〕北海道。

コセウ群

1. こせう（胡椒）科　PIPERACEÆ.

本科の植物は通常草本或は灌木，稀に喬木にして油細胞を有す。葉は單葉にして通常互生し，稀に對生或は輪生し，托葉は之を有するか或は之を缺く。花は兩性或は單性にして花被を缺き，雌花·雄花の別ありて，通常穗狀花序或は總狀花序に排列す。雄蕊は1-10箇を具へ，雌蕊は1-4箇の結合せる心皮より成り，子房は1室にして，1箇の直生せる卵子を含む。果實は漿果或は核果にして，種子は外胚乳及內胚乳を含む。

本科には9屬，凡1070種の多數の植物を含有すれども，多くは熱帶地方に產出し，本邦には僅かに2屬，10餘種を產するに過ぎず。

本科所載植物索引

キンマ……5777　シマアフヒサウ……5781　ビロウドゴセウ……5780
コセウ……5775　スナゴセウ……5779　フウトウカヅラ……5774
コセウモドキ……5776　ツルゴセウ……5774
サダサウ……5779　ヒツチョウカ……5778

1. フウトウカヅラ屬　PIPER.

5774. **ふうとうかづら**　風藤葛（29圖版-255）コセウ科
Piper Futokadsura, *Sieb.*

（異名）つるごせう　〔形態〕暖地の海邊に自生する蔓性の常綠灌木にして，質柔く節々より根を出す。產地により葉狀一樣ならざれども，概ね互生して長き葉柄を具へ，其質稍厚く，葉身は卵狀披針形乃至卵形にして先端尖り，全緣にして長さ7·5糎（2·5寸）許に達す。夏日單性花を雌雄異株に綴り，穗狀花序に排列し，花被は之を缺く。雄穗は葉と稍同長にして褐黃色を呈し，雌穗は稍短く，花は細小にして苞は楯形をなす。花後褐黃色にして球形をなせる漿果を結び，秋冬の候成熟す。〔花色〕褐黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

5775. **コセウ**　胡椒（29圖版-256）…… コセウ科
Piper nigrum, L.

〔形態〕元來熱帶原產にして，前印度西南地方·「マラッカ」海峽沿岸及北米の西部·南米等にも栽培せらるゝ藤本なり。莖は蔓狀を呈し，長さ6米（20尺）內外に達し，稍無毛なり。葉は葉柄を有し，廣卵狀長橢圓形或は卵形をなし，先端鋭尖にして5-9脈を具へ，雌雄異株又稀に雜株なり。5-6月頃，葉に對して花穗を出し，白質花を開き，花後豌豆大の漿果を結ぶ。果實は初め綠色なれども，次第に紅色となり，終に成熟して黃色に變ず。

〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔原產地〕熱帶地方。

人生との關係　本果實の稔熟前に採收せる漿果を黑胡椒と稱し，其果皮を除去したるものを白胡椒と稱す。古來世人の最も嗜好せる香味料にして，氣味は特異蛟烈なる芳香性にして灼くが如し。藥效としては，果實を粉末としたるものを間歇熱·健胃劑·「マラリヤ」·疝氣等に服用すれば效あり。

5776. **コセウモドキ**…… コセウ科
Piper retrofractum, Vahl.

〔形態〕印度原產の常綠灌木なり。葉は橢圓狀披針形にして，先端鋭尖·基脚鈍或は斜形をなし，長さ14糎（4·5寸）許，花は長き花梗によりて多數を穗狀に着生し，長さ3·6糎（1·2寸）許に達す。

5777. **キンマ**…… コセウ科
Piper Betle, L.

〔形態〕印度原產の歸化藤本にして，莖葉共に無毛なり。葉は葉柄を有し革質·斜卵狀長橢圓形乃至卵狀心臟形にして5-7條の行脈を具ふ。雄穗は長さ7·5-15糎（2·5-5寸）許，雌穗は稍短く長柄によりて懸垂す。

5778. **ヒッチョウカ**　華澄茄（29圖版-257）　コセウ科
Piper Cubeba, L. f.

〔形態〕印度·瓜哇其他東印度諸島に自生。若しくは栽培せらるゝ蔓性灌木にして，結節は稍肥大せる莖莖を有す。葉は廣橢圓形にして，基脚斜心臟形をなし，質剛く短き葉柄を有す。花は單性にしてコセウの如き小花を總狀に綴る。雄花は長き穗狀をなし，楯形の苞葉を有し，裏面に2-3箇の雄蕊を着生す。雌花も亦穗狀をなし，卵圓形の苞葉を伴ふ。果實は稍球形をなせる豌豆大の漿果にして，黑褐色を呈す。〔花色〕淡綠黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕印度。

人生との關係　本植物は日本藥局方所載の藥用植物にして，未熟の種子を服用するときは，痲痺·消渴に有效なり。氣味は灼くが如き芳香を有す。主成分は揮發油及「クベビン」にして，有效成分は「ヘペヒン」酸なる無晶樹脂樣の物質なり。

2. サダサウ屬　PEPEROMIA.

5779. **さださう**（白圖-174）…… コセウ科
Peperomia japonica, *Makino.*

（異名）すなごせう　〔形態〕暖地の海邊に自生する多年生にして，且つ多漿なる草本なり。莖高さ15-45糎（0·5-1·5尺）許に達し，莖葉共に短毛を密布す。葉は葉柄を具へ，對生若しくは3-5葉づゝ輪生し，葉身は橢圓形或は倒卵形にして，長さ1·5-4·5糎（0·5-1·5寸）許，全緣にして多肉性なり。花は花被を缺ける兩性の小花にして，肉穗花序に排列す。花序は細長なる圓柱形をなし，頂生或は腋出し，花下に接在せる小苞は，肉質にして廣橢圓形なり。雄蕊は2箇·子房は1箇を有し，花後稍球形をなせる細小なる瘦果を結ぶ。〔分布〕四國·九州·琉球。

174 さださう

175 びろうどごせう

5780. **びろうどごせう**（白圖-175）…… コセウ科
Peperomia dindygulensis, *Miq.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖葉共に短毛を密布し，多漿性なり。莖は概ね單生すれども又往々枝を分ち，高さ45糎（1·5尺）許に達す。葉は對生或は互生し，又稀に3葉づゝを輪生す。葉身は圓形或は橢圓形にして，長さ2·4-3·6糎（0·8-1·2寸）許を有す。春夏の候，枝梢葉腋に穗狀花序を頂生又は腋出し，花序は稍長にして，長さ3-7·5糎（1-2·5寸）許に達し，單生乃至圓錐狀をなす。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕臺灣。

5781. **シマアフヒサウ**（29圖版-258）…… コセウ科
Peperomia Sandersii, C. DC. var. *argyreia*, Hook. f.

〔形態〕我國にては，主に溫室內に小鉢仕立として栽培せらるゝ無莖の觀葉植物にして，「ブラジル」原產の多年生草本なり。葉柄は紫褐色を呈し，莖の上部に着生す。葉身は光澤ある多肉性にして長卵形をなし，長さ3-6糎（1-2寸）許に達し，葉柄と稍同長なり。葉脈は9條內外を具へ，葉脈の附近並に支脈の部分は綠色を呈し，他は總べて白色にして，其調和·對照の美は蓋し本植物の特徵たるべし。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀葉植物として，鉢栽培となし愛玩せらる。尙本植物は日光の直射を避け，四時溫室內に於て培養せらるれども，夏期は戶外の蔭簀下にて可なり。葉挿によりて繁殖す。冬期最低攝氏50度內外を要す。

2. ちゃらん（金粟蘭）科
CHLORANTHACEÆ.

本科の植物は草本·灌木又は小喬木にして，油細胞を有し，莖には明瞭なる節あり。葉は單葉，對生にして托葉を具ふ。花は小形，兩性或は單性にして，花被を缺くか，或は苞稼の花被を有し，穗狀或は聚繖花序に排列す。雄蕊は1箇或は3箇を有し，互に結合するか或は子房と結合す。雌蕊は1箇の心皮より成り，子房は1室にして1箇の下垂せる直生胚子を生ず。果實は核果にして，種子は外胚乳及內胚乳を含む。

本科には3屬，凡33種の植物を含有し，主に熱帶地方に生じ，本邦には1屬5種を產するに過ぎず。

176 チヤラン

1. チャラン屬　CHLORANTHUS.

5782. **チャラン**　金粟蘭（白圖-176）…… チャラン科
Chloranthus spicatus, Makino.

〔形態〕元來支那南部·「ジャバ」地方原產の常綠小灌木にして，琉球地方には自生品を見ることあれども，主に觀賞用として栽培せらる。莖には明瞭なる結節を具へ，且つよく枝を分ち，高さ0·6-1米（2-3尺）許に達す。葉は短柄によりて對生し，形は短橢圓形にして厚く，緣邊に鈍鋸齒を具へ，恰も茶の葉に似たるを以て，チャランの和名あり。夏日梢上に花軸を抽き，狹長にして黃綠色をなせる數箇の穗狀花を對生す。本花は芳香を有し，小形にして花被を缺く。點々と粒狀に點綴せるは，雄蕊にして花被にあらざるなり。果實は球形にして綠色を呈す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞細亞。

人生との關係　觀賞用として鉢栽培をなし，又切花として愛玩せらる。又花は一種の香氣を有するを以て，茶に香氣を付くるに用ひらる。本植物は元來暖國產なるを以て，寒氣を厭ふものなれば，內地にありては冬期は溫室內に保護するを要す。繁殖は株分法により，用土は腐植質多き土質を好むものなり。

5783. **せんりゃう**　草珊瑚（29圖版-259）…… チャラン科
Chloranthus glaber, *Makino.*

〔形態〕暖地の山林樹下に自生する多年生常綠の小灌木なり。莖は綠色にして通常叢生し，結節を具へ，高さ0·6-1米（2-3尺）に達す。葉は長卵形にして，微凸尖鋭鋸齒緣を有し，葉柄によりて莖に對生す。夏日梢頭に小梗を分ち，淡黃綠色の小花を揃簇し，圓錐狀穗狀花序を綴る。花後小球花を結び，熟して紅色を呈し，年を越へて落ちず。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　庭園或は鉢植として培養し，觀賞用に供せらる。又冬季の切花として需要多く愛玩せらる。繁殖法は實生により，概ね3年目に結實を見るを得べし。砂質壤土を好み，夏季の乾燥と强光には弱く，冬季は霜除を要す。栽培容易なり。

5784. **キミノセンリャウ**…… チャラン科
Chloranthus glaber, Makino. var. *flavus*, Makino.

〔形態〕前種センリャウの一園藝變種にして，果實の黃色に成熟するものなり。（栽培種）

人生との關係　前種に同じ。

5785. **ふたりしづか**　及已（29圖版-260）…… チャラン科
Chloranthus serratus, *Roem.* et *Sch.*

〔形態〕山林陰地を好みて自生する多年生草本にして，莖高さ30糎（1尺）餘に達し，枝を分たず。葉は莖の上部に2-3層をなして，ヒトリシヅカの輪狀をなせるに異り對生す。葉身は卵形或は橢圓形にして，先端鋭く尖り，緣邊に微凸尖鋸齒を有す。5-6月頃，莖頂に2岐或は多岐せる穗狀花序を出し，細花を點綴す。花は白色多肉にして，卵狀半月形の小苞に腋出し，花被は之

を缺き．恰も指を屈したる掌の如くにして莖に向ふ。雄蕊は白色にして肥厚し3裂す。子房は下位にして短倒卵形をなし，花後生ずる果實は綠色にして球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

5786. **えだうちふたりしづか**…… チャラン科
Chloranthus serratus, *Roem.* et *Sch.* forma prosperus, *Honda.*

〔形態〕前種フタリシヅカの一種にして，莖は多くの枝を分ち，葉亦多數を叢生する品種なり。〔分布〕本州中部。

5787. **ひとりしづか** (29圖版-261)…… チャラン科
Chloranthus japonicus, *Sieb.*

（異名）まゆはきさう　〔形態〕山林陰地に自生する多年生草本にして草高さ 21-24 糎（7-8 寸）より 30 糎（1 尺）内外に達し，明瞭なる結節を具へ，帶紫色を呈す。葉は莖頂に 4 葉接近して，輪生せるが如く對生す。5 月頃，莖頂に 1 小花莖，時に 2-3 花莖を抽き，小花を綴り穗狀花序をなす。花は白色にして穗軸上に對生し，鞭形苞に腋出し，花被は之を缺く。雄蕊は 3 箇，花絲は長く絲狀をなし，白色にして中央のものは葯を缺如す。子房は卵狀球形にして，柱頭は壓扁せられ頭狀をなし，果實は倒卵狀球形なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

5788. **たいわんふたりしづか**……チャラン科
Chloranthus Oldhami, *Solms.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖高さ 45-60 糎（1·5-2 尺）許に達す。葉は稍薄質・廣卵形にして先端鋭く尖り，緣邊に鈍齒牙を有し，長さ 15 糎（5 寸）許に達す。春日，莖頂に長大にして多くの枝を分ちたる花序を出し，白色にして花被を缺ける細小花を着生す。小苞は卵形にして，核果は梨狀形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

3. はんげしゃう (三白草) 科
SAURURACEÆ.

本科の植物は，草本にして油細胞を有す。葉は單葉にして互生し，托葉を具ふ。花は兩性にして花被を缺き，穗狀花序に排列す。雄蕊は 6 箇或は夫れより少數若しくは多數あり。雌蕊は通常 3-4 箇稀には 5-6 箇の分離或は結合せる心皮より成り，各心皮は 2 乃至多數の直生胚子を生じ，結合せる心皮より成れる雌蕊の子房は，3-6 室を有するか或は 1 室を有す。果實は蓇葖・蒴或は漿果にして，種子は外胚乳及內胚乳を含む。

本科には 3 屬，凡 4 種の植物を含有し，亞細亞・北米等に分布し，本邦には 2 屬，2 種を產出す。

1. ハンゲシャウ屬　SAURURUS.

5789. **はんげしゃう**　三白草 (29圖版-262)　ハンゲシャウ科
Saururus Loureiri, *Decne.*

（異名）かたしろぐさ・かたじろ・みつじろ・おしろいかけ
〔形態〕到る處の水邊・濕地に自生する 多年生草本にして，莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し，地下に根莖を有す。葉は長橢圓形にして先端尖り，基脚心臟形をなし，長さ 9-12 糎（3-4 寸）に達し，葉柄の基脚莖を包む。7-8 月の候，梢上に表面黃白色を呈する特異の 2-3 葉を生じ，其葉腋に穗狀なる總狀花序を抽出す。蓋し本植物は蟲媒花なるを以て，昆蟲を誘ふの手段なるべし。花は細小にして花被を缺き，淡黃色の苞を有す。雄蕊は 6 箇を有し，子房は 3-5 心皮の結合より成り，花後肉質の果實を結ぶ。〔花色〕淡黃色。〔花候〕盛夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　觀賞用として栽培し，又藥用に供す。藥效としては莖葉を煎服すれば，胃腸病・祛痰・脚氣・水腫等に有效なれども，人々の體質等により，往々吐逆するの副作用を起すことあれども，爲めに藥效を失ひたるにあらざるを承知すべきなり。

2. ドクダミ屬　HOUTTUYNIA.

5790. **どくだみ**　蕺菜・蕺草 (29圖版-263)　ハンゲシャウ科
Houttuynia cordata, *Thunb.*

（異名）じふやく　〔形態〕路傍其他稍陰濕の地を好みて自生する多年生草本にして，莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し，莖葉共に强き惡臭を有す。葉は葉柄を有し，形狀サツマイモに似たる葉を互生し，托葉は線狀長橢圓形・鈍頭にして，基脚葉柄に着生す。初夏の候，梢上小枝を分ち，各其頂に白色にして花瓣狀をなせる 4 片の苞を具へ，其上に穗狀花序をなして，花被を缺ける淡黃色の兩性の小花を攅簇す。雄蕊は 3 箇，子房は 1 箇を有し，花後生ずる蒴は稍球形を呈す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　本植物の地下部は食用に供し，全草を藥用に供す。藥效として重なるものを擧ぐれば，根・莖・葉を煎服するときは，痔疾・痲病・消湯・黴毒其他一般の毒下し，遺尿症一般，及蛔蟲・蟲下し等に效あり。又莖葉を鹽と共に揉みたる汁を「タムシ」・毒蟲に螫傷せられたる局部に塗布すれば之を治し，莖葉を煎じたる浴湯に入れば腰痛・疥癬・田蟲等に效あり，葉は焙りて練りたるものを腫物の局部に貼布すれば膿を吸ひ出し，生葉の蒸燒・黑燒・煎汁を以て腫物を洗ひ又局部に塗布すれば之を治し，女子の陰部の「タヾレ」を治すと云ふ。

PL. 29.

255 ふうとうかづら
256 コセウ
257 ヒツチヨカ
258 シマアフヒサウ
259 せんりやう
260 ふたりしづか
261 ひとりしづか
262 はんげしやう
263 どくだみ

輪　生　群

1. もくまわう(木麻黄)科 CASUARINACEÆ.

本科の植物は喬木或は灌木にして，木賊類の植物に類す。莖は明瞭なる節及縦稜を有し，且つ枝を輪生す。葉は小形にして鱗片狀をなし，通常輪生なり。花は單性にして，雌雄同株に生じ，雄花は2箇の苞様より成れる花被を具へ，穗狀花序に排列し，1箇の雄蕊を有す。雌花は花被を有せずして，頭狀花序をなし，雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り，2箇の絲狀をなせる柱頭を具ふ。子房は通常2室を有し，前方の室は2-4箇の直生胚子を含み，後方の室は胚子を生ぜず。果實は翅果にして，木質となれる苞にて被はれ，種子は胚乳を含まず。

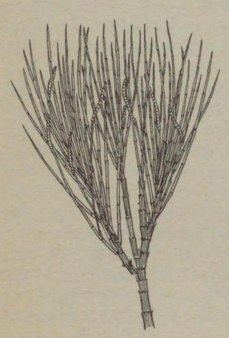
本科には1屬，凡25種の植物を含有し，主に濠洲に産す。我國に栽培せらるゝもの凡2種を有す。

1. モクマワウ屬 CASUARINA.

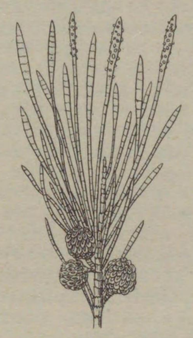
5791. **モクマワウ** 木麻黄 (白圖-177) …… モクマワウ科
Casuarina stricta, Ait.

(異名) ヲガサハラマツ　〔形態〕濠洲原産の喬木にして，高さ6-9米(20-30尺)に達す。枝條は直生して多くの結節を有し，六乃至八角をなし，鞘齒は概ね7齒を有し，卵狀披針形にして，葉は小形なる鱗片狀をなす。花は單性にして雌雄同株に生じ，雄花は頂生して疳長なる穗狀花序に排列し，雌穗は稍無梗にして腋出し，長橢圓形をなす。〔花色〕淡黄色。〔花候〕夏。〔原産地〕濠洲。

人生との關係　觀賞用として時に栽培せらるゝに過ぎず。



177 モクマワウ



178 トキハギヨリウ

5792. **トキハギョリウ** (白圖-178) …… モクマワウ科
Casuarina equisetifolia, Forst.

〔形態〕熱帶亞細亞の海岸砂地に自生する常綠喬木にして，幹高さ18米(60尺)以上に達す。枝條は絲狀をなし，六乃至八角にして，多くの節を具へ，淡綠色なり。鞘齒は6-8齒を有して披針形をなし，葉は小形にして鱗片狀をなす。花は單性にして雌雄同株に生じ，雄穗は圓柱形にして，雄花は1箇の雄蕊と4箇の鱗片とより成れる花被を有し，雌穗は短梗を具へ，橢圓形にして1箇の子房と，絲狀に2岐せる花柱とを有し，苞及小苞を伴ひ，花被を缺く。瘦果は壓扁せられ，有翼なり。〔原産地〕馬來半島。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植する外，木材は質硬きを以て一名鉄樹と稱し，種々の用に供し，樹皮は藥用に供せらる。

* * * * *

顯花植物部

裸子植物亞部

麻　黄　門

1. まわう(麻黄)科 GNETACEÆ.

本科の植物は，喬木・灌木或は藤本にして，幹は通常明瞭なる節を具へ，單一或は分岐して，樹脂道を有せず。後生木部には導管を有す。葉は單葉にして對生し，幅廣く種々の大さを有す。花は單性にして，雌花と雄花とは同株又は異株に生ず。花被は2-4箇の片より成り，雄花の有する2-8箇の雄蕊は，葯並に棒狀にして附屬物なき花絲のみより成る。雌花は1箇の直生胚子を具へ，管狀の花被を有し，種子は胚乳を含む。

本科には3屬，凡46種の植物を含み，主に熱帶及温帶地方に分布し，本邦に栽培せらるゝもの1屬，1種を有す。

1. マワウ屬 EPHEDRA.

5793. **マワウ** 麻黄 (30圖版-264) ……マワウ科
Ephedra sinica, Stapf.

(異名) カツネグサ・アマナ　〔形態〕支那原産の常綠小灌木にして，本邦には培養品を見る。莖葉の狀，木賊に類似し，莖は草質にして，高さ30-60糎(1-2尺)に達す。枝條は根生して稍扁く，多くの小枝を分ち，諸所に明瞭なる節を有す。葉は鱗片狀にして，上部は蒼白色，下部は褐紫色を呈し，綠色の莖節により對生す。6-7月頃，白色の單性花を穗狀花序に綴り，雌雄同株なり。花序は頂生或は上部の節に生ず。雄花は下部合着せる2-4箇の花被を有し，無柄にして2箇の花粉嚢より成れる雄蕊を具へ，雌花は下部に數多の苞を有し，其腋部より花被を生じ，合着して嚢狀をなす。花後苞は肉質となり，漿果狀を呈す。〔原産地〕支那。

人生との關係　本植物は有毒成分を含み，古來漢方醫は發汗劑として賞用したりしが，長井長義氏は「エフエドリン」なる散瞳性の「アルカロイド」を檢出せられたりと。

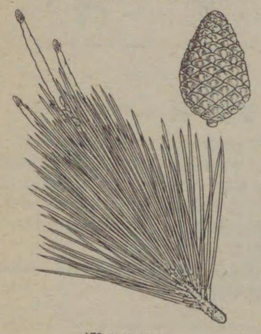
* * * * * *

これよりヒロポンを作る

毬　果　門

1. ま　つ(松)科 PINACEÆ.

本科の植物は喬木又は灌木にして，通常線葉を有し，葉の內部には必ず樹脂道を有す。幹の後生木部は導管を有せず。葉は單葉にして互生或は對生又は輪生し，針狀・線狀・鱗狀又は披針形をなす。花は單性にして，雌雄同株なり。雄花は多數の雄蕊より成りて毬果の如く，雄蕊は2乃至多數の葯胞を有す。雌花は數箇或は多數の心皮より成りて毬果狀を呈す。心皮は鱗片狀或は楯形にして各1箇乃至多數の胚子を含む。果實は毬果にして，通常乾燥し，稀に肉質をなし，種子は胚乳を含む。



179 あかまつ

本科には25屬，凡300種の植物を含有し，その大部は主に溫帶地方に產出す。本邦に自生せるもの或は栽培せらるゝものを合せて20屬，凡60種を有するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アヲシラベ……5819　ゴラウヒバ……5873
アヲトド……5816　コリウセン……5818
アヲトドマツ……5816　サハラ……5838
アヲボウモミ……5813　シコタンマツ……5811
アヲモリトドマツ……5815　シダレイトスギ……5853
アカエゾ……5830　シダレヒバ……5836
アカエゾマツ……5830　シナアカマツ……5796
アカトド……5817　シノブヒバ……5843
アカトドマツ……5817　シマテウセンマツ……5800
アカハリモミ……5822　シマナンヤウスギ……5854
アカマツ……5794　シモフリゴエフ……5501
アスナロ……5842　シモフリヒバ……5841
アスヒ……5842　シヤモヒバ……5835
アスロベ……5843　シロツガ……5819
アマミゴエフマツ……5799　シロビ……5842
アメリカスネショウ……5871　シロモミ……5821
アメリカハリモミ……5823　シラツカ……5818
アヤスギ……5841　シラネマツハダ……5827
イチネモドキ……5870　シラビソ……5818
イトヒバ……5839　シラベ……5818
イブキ……5858　シンコマツ……5830
イラモミ……5825　シンパク……5859
ウラジロモミ……5873　スキリユウヒバ……5836
エンコウスギ……5849　スギ……5843
エンピソノキ……5867　ソナレ……5804
エンピソヒヤクシン……5867　ソノテ……5872
エゾマツ……5823　タイワウマツ……5806
オキナハマツ……5802　タイワンアカマツ……5796
オシラビソ……5815　タイワンスギ……5856
オニトド……5817　タイワンヒノキ……5837
オニヒバ……5868　タイワンマツ……5796
オニマツ……5807　タウスギ……5851
オホシラベ……5815　タウヒ……5839
オホリウセン……5815　タウモミ……5812
フマツ……5795　タエダマツ……5809
オランダモミ……5857　タカネゴエフ……5800
カイガンショウ……5807　ダケモミ……5813
カウヤマキ……5804　チヤボヒバ……5832
カナアミヒバ……5835　チヤンマツ……5808
カナガバルサムノキ……5820　ツガ……5846
カヘクラヒノキ……5832　テウセンゴエフ……5797
カヘクラヒバ……5832　テウセンマツ……5797
カラフトマツ……5811　テガシハ……5872
カラマツ……5810　テシホマツ……5830
カラマツモミ……5855　デワダラモミ……5855
ゲイマツ……5811　ト　ガ……5846
クサリスギ……5852　トガマツ……5846
クジヤクヒバ……5834　トシヨウ……5800
クロエゾ……5828　トド……5816
クロエゾマツ……5828　トドマツ……5816
クロツガ……5847　トラノフモミ……5821
クロビ……5873　トラノフモミ……5829
クロベ……5873　ナガバマツ……5805
クロマツ……5795　ニツクワウモミ……5813
クワウエフザン……5857　ニレツバスキショウ……5871
ゴエフマツ……5798　ニレモミ……5813
コノテガシハ……5872　ネ　ズ……5805
コバノナンヤウスギ……5854　ネズコ……5873
コメツガ……5847　ネズサシ……5805
ネズミサシ……5865
ネズモミ……5855
ホムロトド……5817
ホムロトドマツ……5817
ハ　ト……5863
ハヒネズ……5863
ハヒビヤクシン……5796
ハヒマツ……5843
ハヒマツ……5804
バラモミ……5821
ハリギ……5872
ハリモミ……5821
ヒノキ……5831
ヒノキアスナロ……5843
ヒ　バ……5842
ヒマラヤシーダー……5855
ヒマラヤスギ……5855
ヒマラヤハリモミ……5824
ヒマラヤマツ……5805
ヒムロ……5841
ヒメアスナロ……5844
ヒメコマツ……5803
ヒメスギ……5851
ヒメツガ……5847
ヒメマツハダ……5826
ヒメムロ……5841
ヒヤクシン……5858
ヒヨクヒバ……5839
ヒリヨウヒバ……5836
フイリヒバ……5845
フジマツ……5810
フタオモチ……5872
ヘツモミ……5814
ベニヒ……5837
ホウワウヒバ……5833
マツハダ……5825
マルミノゴエフ……5802
ミツバマツ……5808
ミツミネモミ……5814
ミヤマトショウ……5801
ミヤマネズ……5802
ミヤマビヤクシン……5859
ムレスギ……5850
ム　ロ……5865
メマツ……5794
モ　ミ……5812
モミソ……5812
ヤチエゾ……5830
ヤハラスギ……5851
ヨレスギ……5852
ヨレネズ……5866
ラクウショ……5871
ラクエフショウ……5810
ラクエフスギ……5871
リウキウマツ……5802
リウセン……5818
リウヒガヤ……5857
リギダマツ……5808

1. マ　ツ　屬 PINUS.

5794. **あかまつ** 赤松・雌松 (白圖-179) …… マ　ツ　科
Pinus densiflora, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) めまつ　〔形態〕到る處の山野に自生する常綠喬木なり。松類中最も普通なる種類にして，樹皮の赤褐色を呈するを以て名付けらる。大樹にありては，幹高さ30米(100尺)，周圍6米(20尺)餘に達するものあり。葉は針狀を呈し，2本づゝ束生し，稍柔軟にして優しければ，ヲマツに對しメマツの稱あり。各葉は微細なる齒牙緣を有し，長さ7·5-12糎(2·5-4寸)に達し，斷面は半球形をなし，葉緣に接近して數箇の樹脂道を具ふ。葉鞘は10數箇の鱗片より成り，長さ6-9粍(2-3分)許，雌雄同株なり。5月頃俗に云ふ「ミドリ」即ち新芽の頂端に數箇の雌花叢を着生し，卵形にして紫色を呈す。心皮は圓卵形をなし，苞鱗は三角形にして，不齊齒牙緣を具へ，2卵子を抱く。雄花叢は雌花叢の下部に簇生し，黃色米粒狀にして，雄蕊は雄花軸に螺着し，葯は2室を有して縱裂し，葯隔は頂端鱗狀に擴大す。毬果は稍無柄にして，卵狀圓錐形をなし，先端尖り，暗灰黃色を呈し，其形ヲマツに比すれば稍小形なり。種鱗は卵狀長橢圓形にして，菱形の端面を有し，木質をなす。翌秋に至り成熟して，鱗片に被はれたる2箇の種子を結ぶ。種子は，種子體の約3倍長をなせる薄き翅を具へ，風力によりて遠く飛散す。

〔花色〕雄花は黃色・雌花は紫色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　觀賞用として栽植し，又盆栽として愛玩せらる。材は白質にして，堅重よく久しきに耐へ，腐朽せざるを以て，諸種の建築用材，器具用材に用ひられ又燃料として重用せらる。其他樹脂・樹根より「テレビン」油を採取す。即ち松脂より取れる松精油及松根の乾溜油を精製して得たる松根油之れなり。松根の乾溜は中國及東北地方の農家の副業として行はる。又針葉に含有する樹脂質を採り，石鹼製造の原料に供すと云ふ。

5795. **くろまつ** 黑松・雄松 (30圖版-265) …… マ　ツ　科
Pinus Thunbergii, *Parl.*

(異名) をまつ　〔形態〕海岸地方に多く繁茂する常綠喬木にして，大なるものは幹高さ30米(100尺)，周圍6米(20尺)以上に達す。概形アカマツに似たれども，樹皮は暗灰色を帶び，葉は2針葉を束生し，强剛にして太く，新芽は帶白色を呈するを異れりとす。各針葉は細鋸齒緣をなして，6-15糎(2-5寸)許を有し，斷面は半圓形にして，葉肉中に3箇の樹脂道を具ふ。葉鞘は20餘箇の鱗片より成り，長さ1·2糎(4分)に達す。枝には長枝と短枝とありて，長枝は幹に輪生す。短枝は長枝の周緣に密生し，唯2本の針葉と其基脚を苞める鱗狀葉とを具ふ。4月頃新芽を生じ，雌雄單性の花を着生す。雌花は新芽の頂端に着き，紫色を呈し，多數の種鱗相重りて球狀をなし，各種鱗は2箇の卵子を夫々其基部內面に裸出す。雄花は新芽の基部に着き，黃色にして多くの雄蕊を有し，成熟すれば無數の花粉を吐く所謂風媒花なり。種子は菱狀橢圓形にして，長さ4·2-6粍(1·4-2分)許を有し，翼は種子體の約3倍長にして披針形をなし，翌年10月頃成熟す。〔花色〕雄花は黃色・雌花は紫色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　歌人は昔時より十返花と稱し，千年に十回，百年に一回時ならぬ花を開くものとし，千歲を祝ふの語とし，邦俗此樹を以て慶賀の標徵とす。觀賞用として庭園又は盆栽となし廣く栽培。愛玩に供せらる。材も亦アカマツと同じく建築，建具の用材として重用せられ又薪炭の材に供せらる。又松脂を採取す。

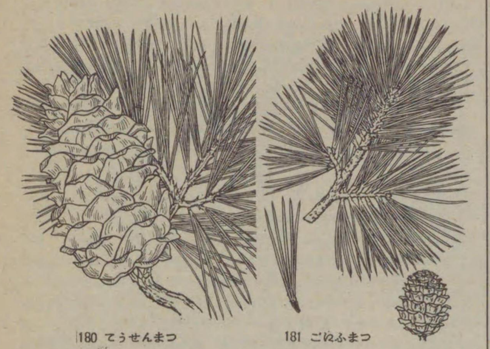
5796. **たいわんまつ** …… マ　ツ　科
Pinus Massoniana, *D. Don.*

(異名) しなあかまつ・たいわんあかまつ　〔形態〕山野に自生する喬木にして，枝條は稍疎長なり。葉は2針葉を束生し，各葉は纖弱にして，稍撚捩し，長さ15-18糎(5-6寸)許に達し，葉鞘は膜質なり。毬果は長橢圓狀卵形にして，暗褐色を呈し，種鱗は稍長方形をなし，紅褐色を呈す。〔分布〕臺灣。

5797. **てうせんまつ** 海松 (白圖-180) …… マ　ツ　科
Pinus koraiensis, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) てうせんごえふ　〔形態〕高山又は寒地に產する常綠喬木にして，幹高さ24-27米(80-90尺)に達し，幼條には赤褐色の軟毛を密布す。葉は5針葉を束生し，長さ12-15糎(4-5寸)許に達し，各葉は3稜柱形をなし，上緣には微齒牙を有し，上部2面には白色の氣孔線あり。斷面は三角形にして，葉肉中稜角近くに各1箇宛の樹脂道を具ふ。花は單性にして，雌雄同株に生じ，5月頃開花す。果實は大なる長卵形の毬果にして，碧褐色を呈し，長さ18-21糎(6-7寸)許あり。種鱗は菱狀倒卵形にして，端面は三角形をなし，帶碧淡褐色の線狀を有し，先端外反す。種子は倒卵形にして，大さ1·2-1·5糎(4-5分)許を有し，1箇の毬果より約0·09立(5勺)の種子を得べし。〔花候〕晩春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し，種子を食用に供し，又葉子掛を製す。材は建築・器具用材とし，又燃料に供すること赤松に同じ。



180 てうせんまつ　181 ごえふまつ

5798. **ごえふまつ** 五葉松・五鬚松 (白圖-181) マ　ツ　科
Pinus pentaphylla, *Mayr.*

〔形態〕北海道・本州東北部の山地に多き常綠喬木にして，幹高さ24米(80尺)，周圍2·1米(7尺)に達するものあり。樹皮は赤褐色にして，粗皮の鱗片は大きく質稍薄くして柔軟なり。葉は5針葉を束生し，上面暗綠色，下面には白條を伴ふ。各葉は3稜柱形にして稍彎曲し，上部は疎微齒牙緣をなし，上面に白色氣孔線を有す。斷面は三角形にして，背面表皮に沿ひて2箇の樹脂道を具ふ。6月頃，單性花を雌雄同株に着生す。雄花は新條の中部及下部に密生し，紫紅色を呈す。雌花は淡綠色にして，新條の先端に2箇若しくは3箇を着け，卵狀橢圓形にして，基部に鱗片瓦列し，心皮は腎臟形・苞は腎臟狀四角形をなす。毬果は初め卵狀橢圓形にして鮮紅色を呈すれども，旣して卵狀圓柱形となり，褐色を呈して白緣を伴ふ。種鱗は廣倒卵形にして，卵形の翼を具へ，翼と共に長さ約2·1糎(7分)許に達し，翌年10月頃成熟す。邊材は黃白色にして，心材は黃褐色を帶び，樹脂多し。〔花色〕雄花は紫紅色・雌花は淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し又盆栽となして愛玩せられ，殊に挿花用に多く用ひらる。材は建築用材或は船材に供せられ，奥羽地方にありては，本樹の木炭を鍛冶炭用として使用す。

盆栽となす場合には，多く產地の名によりて，宮島五葉・會津五葉等と呼ばれ，又霜降五葉・雜岩五葉・嚴五葉等の名稱あり。產地としては愛媛・山形・北海道より多く之を產す。

五葉松は，元來優雅なる性を帶ぶる植物なれば，盆栽としての樹姿には，直幹・雙幹等によろしく，又石附とするも頗る雅致に富む。又根上りとすることあれども，稍氣品に缺くるの嫌あるものなり。

移植は5-6年乃至7-8年に1回行へば可なり。移植の時季は春季よりも夏土用明け後20日頃を最も適期とす。施肥は新芽の葉の充分に伸張し終りし頃，油粕の腐汁を數回施し，早春餘りに肥料を與ふるときは，葉の徒長を促すべければ適度に施すこと肝要なり。

5799. **あまみごえふまつ** …… マ　ツ　科
Pinus amamiana, *Koidz.*

〔形態〕主に九州地方に產する常綠の大喬木にして，樹皮は稍黑色を帶び幼條は褐色を呈す。葉は5針葉を束生し，各葉は微尖頭をなして細鋸齒を有し，其質强剛にして，下面に粉白を裝ひ，長さ6糎(2寸)許を有す。毬果は葉腋に側出し，懸垂又は點頭す。種鱗は木質・剛硬にして，先端時に外反す。種子は長さ1·2糎(4分)許にして，廣橢圓形なり。〔分布〕九州(屋久島・種子島)。

5800. **たかねごえふ** …… マ　ツ　科
Pinus Armanbi, *Franch.*

(異名) しまてうせんまつ　〔形態〕高山に自生する大喬木にして，枝條は平滑，樹幹は直上し，徑1米(3尺)に達す。葉は5針葉を束生し，各葉は細鋸齒緣を有し，先端尖り，長さ9糎(3寸)許に達し，斷面は三角形をなす。毬果は卵狀圓筒形にして，長さ14糎(4·5寸)許を有し，直生す。種鱗は稍菱形をなし，先端外反す。〔分布〕臺灣。

5801. **しもふりごえふ** …… マ　ツ　科
Pinus cembra, *L.* var. manchurica, *Mast.*

(異名) しもふりまつ・ひねきりまつ　〔形態〕北海道の山地に多き5針葉の常綠喬木にして，葉は他に比して短く密生し，內面の粉白顯著なる種類なり。〔分布〕北海道。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し又盆栽となして愛玩せらる。

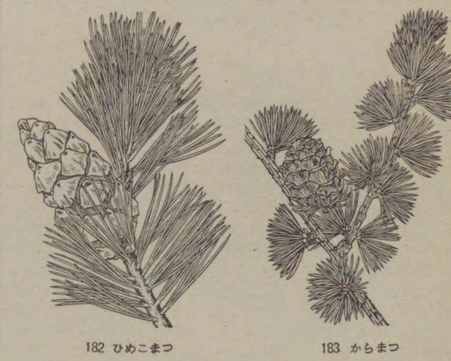
5802. **りうきうまつ** …… マ　ツ　科
Pinus luchuensis, *Mayr.*

(異名) おきなはまつ　〔形態〕琉球に自生する一種にして，樹皮はクロマツに似て暗灰色を帶び，葉はアカマツに似たれども，稍柔軟にして細長なる種類なり。

5803. **ひめこまつ** 姬小松 (白圖-182) …… マ　ツ　科
Pinus parviflora, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) まるみのごえふ　〔形態〕本邦の特產種にして，本州にては中央山脈900米(3000尺)以上の高山に生ずる常綠喬木にして，幹高さ24-27米(80-90尺)，周圍2·1米(7尺)に達し，粗皮の鱗片ゴエフ松より細小なり。葉は5針葉を束生し，暗綠色にして下面に白線を伴ふ。葉質柔軟にして屈撓し，形態殊に美なり。毬果は卵狀長橢圓形にして圓頭をなし，長さ9-12糎(3-4寸)許，赤褐色を呈す。種鱗は廣圓楔形にして稍小さく，種子翼は種子體より遙に短し。邊材は白色，心材は帶黃褐色，材質は緻密且つ柔軟にして，削り易けれども，彈力に乏しく割れ易し。〔分布〕北海道・本州南部・四國・九州。

人生との關係　本種には園藝的變種多く，庭園に栽植又は盆栽として，觀賞愛玩せらる。材は建築・家具の用材となり，其他小細工・彫刻用に供せられ又樂器殊に「オルガン」の鍵盤に賞用せらる。



182 ひめこまつ　183 からまつ

5804. **はひまつ** 偃松 (30圖版-266) …… マ　ツ　科
Pinus pumila, *Regel.*

〔形態〕主に本州中部以北の山地に生ずる小喬木にして，幼條には赤褐色の短毛を密布す。幹長く地上に偃臥し，直徑21-24糎(7-8寸)，長さ15-18米(50-60尺)に達す。樹性嚴寒に耐へ，他の樹木の生育せざる所にてもよく繁茂す。樹皮は黑褐色にして鱗甲を有す。葉は5針葉を束生し，3稜柱形にして，稍扭捩・彎曲す。緣邊に疎齒牙を有し，長さ3-9糎(1-3寸)許に達し，上部2面には白色の氣孔線を伴ひ，斷面は三角形にして，下部表面に沿ひて1-2箇の樹脂道あり。5-6月の候，單性花を着生し，雄花は新條の中部及下部に密生し，橢圓形にして暗紅色を呈し，基脚鱗片にて覆はれ，雌花は新條の上部に2-3箇を着生し，淡紫色にして，基脚赤鱗片を被る。毬果は褐色・卵形にして，長さ3·6-4·5糎(1·2-1·5寸)許，種鱗は圓倒卵形をなし，種子は翌年9-10月頃成熟し，翅を有せず。邊材は白色，心材は赤褐色を呈す。〔花色〕雄花は暗紅色・雌花は淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　本樹はよく高山の頂に生育繁茂するを以て，岩石の崩壞を防ぎ，水源涵養上其效少なからざるものとす。材は其質緻密なれども，樹幹直立するもの稀なれば，多く屈曲し且つ太からざるを以て用材には適せず。薪炭用として使用せられ，又「テレビン」油を採取し，果實は樺太土人の食料に供せらる。又觀賞用として庭園或は鉢植として愛玩せらる。

5805. **ヒマラヤマツ** …… マ　ツ　科
Pinus longifolia, Roxb.

(異名) ナガバマツ　〔形態〕喜馬拉原產の喬木にして，樹皮は肥厚して溝を有す。葉は針狀にして3稜を具へ，緣邊細鋸齒を有し，長さ21-30糎(0·7-1尺)許に達し，枝條に懸垂す。毬果は短柄を具へ，廣橢圓狀圓錐形にして，長さ15-18糎(5-6寸)許，種鱗は極めて厚質にして，長橢圓狀尖塔形

をなし.稍反捲す。

5806. **ダイワウマツ** ……マツ科
Pinus palustris, Mill.

〔形態〕北米原産の斜上生喬木にして.葉は枝條の末端に簇生し.長さ18–45糎(0·6–1·5尺)許に達す。毬果は長橢圓形にして長さ15–24糎(5–8寸)許を有し.稍無柄なり。種鱗は扁平にして.短鉤刺を伴ふ。

5807. **オニマツ** ……マツ科
Pinus pinaster, Ait.

(異名) カイガンショウ　〔形態〕歐洲原産の喬木にして.樹皮は鮮赤褐色を呈す。葉は剛硬にして.銳頭をなせる針狀葉をなし.長さ12–21糎(4–7寸)許に達す。毬果は簇生し.長橢圓狀圓錐形にして短柄を具へ.長さ9–15糎(3–5寸)許.種鱗は圓錐形にして背面銳三角狀に凸起す。

5808. **ミツバマツ** ……マツ科
Pinus rigida, Mill.

(異名) チャンマツ・リギダマツ　〔形態〕北米原産の喬木にして.葉は3針葉を束生し.各葉は剛硬にして.長さ4·5–12糎(1·5–4寸)許を有す。毬果は淡褐色を呈し.長さ4·5–9糎(1·5–3寸)許.種鱗は先端に鉤刺を有す。

5809. **タエダマツ** ……マツ科
Pinus taeda, L.

〔形態〕本種も亦北米原産の喬木なり。葉は剛硬にして長さ15–24糎(5–8寸)許を有し.淡綠色にして基部に長鞘を伴ふ。毬果は長橢圓形にして.長さ7·5–12糎(2·5–4寸)許.種鱗は短鉤刺を有す。

2. カラマツ屬 LARIX.

5810. **からまつ** 富士松·落葉松 (**白圖-183**)……マツ科
Larix kaempferi, *Sarg.*

(異名) ふじまつ·らくえふしょう　〔形態〕深山狹に富士山に多く自生する落葉喬木なるを以て.フジマツの稱あり。幼條には毛茸を密生し.幹高さ15–18米(50–60尺)に達す。葉は針狀にして軟く.淡綠色を呈し.新條には其周圍に不規則に簇出し.2年目よりは.15–16針の新葉を螺着し.長さ3糎(1寸)許に達す。5月頃.單性花を雌雄同株に着生し.雄花は長橢圓形にして單生し.多數の雄蕊を有す。雌穗は廣卵形にして葉を伴ひ.後梅頭大の卵形をなせる毬果を結ぶ。種鱗は短柄を有し.先端概ね反捲し.種子は倒卵狀楔形にして.種子體の約2倍長ある翼を具へ.翌年10月頃成熟す。材は淡褐色にして.樹脂に富めり。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

(附記)　本植物の天然の位置としては.海拔800米(2640尺)以上1200米(3960尺)以下にあり。故に高山寒冷の地にも尙よく生育繁茂し.富士山には其中腹に甚だ多く.立山·日光山之に次ぎ.高野山·木曾の諸峯にも亦良樹を産す。

人生との關係　觀賞用として栽培し.又盆栽として愛玩せらる。材は建築用材.器具其他の材に供し.且つ樹脂多きを以て.耐久性强ければ.鐵道用枕木として重用せらる。

5811. **しこたんまつ** ……マツ科
Larix dahurica, *Turcz.* var. japonica, *Maxim.*

(異名) ぐいまつ·からふとまつ　〔形態〕寒地に生ずる喬木にして.幼條には毛茸を密生す。葉は線狀披針形にして稍彎曲し.長さ0·9–3·6糎(0·3–1·2寸)許を有す。毬果は無柄にして.廣橢圓形或は卵圓形をなし.種鱗は卵圓形或は橢圓形なり。種子は種子體の2·5倍長の翼を有し.倒卵形にして.長さ3粍(1分)許を有す。〔分布〕樺太·千島。

3. モミ屬 ABIES.

5812. **もみ** 樅 (**30圖版-267**)……マツ科
Abies firma, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) もみそ·たうもみ　〔形態〕高燥なる山地を好み.深山には稀なる常綠喬木にして.幼條には暗灰色の細毛を密布す。幹高さ30米(100尺).周圍3米(10尺)以上に及び.枝條は粗大にして四方に伸張し.繁茂するを以て.遠望するも尙よく本樹たるを知るべきなり。樹皮は稍灰白色を呈し.且つ横に龜裂して脫落し.其趣杉樹等と異る。葉は線形·狹帶にして.先端缺裂して兩分せられ.暗綠色を呈す。上面にを溝を有し.下面は1稜をなして.稜側には初め白色氣孔を有すれども.後に消失す。樹脂道は2–4箇を有し.葉肉中若しくは葉緣に接在す。5–6月の候.單性花を雌雄同株に生ず。雄花は葉間に腋出し.時過ぐれば凋落す。形は長橢圓形にして.黃紫色を呈し.葯は廣倒卵形をなし.葯隔は伸張す。雌穗は枝上に直生し.廣橢圓形にして.心皮は黃綠色を呈し腎臟形をなす。苞は卵形にして.心皮より超出す。毬果は松毬に似たれども.稍長く圓柱形にして鈍頭·鈍脚をなし.其色灰青色を呈して美なり。種鱗は海質にして.半圓形·廣楔脚をなし.苞鱗は種鱗より超出す。種子は倒卵狀楔形にして.種子體の約2倍長を有する楔形の翼を具ふ。材は白色にして稍柔軟なり。〔花色〕雄花は黃紫色·雌花は黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

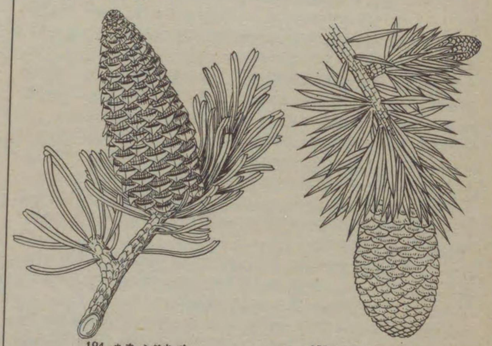
人生との關係　觀賞用として栽植せらる。材は木理疎にして狂ひ易き缺點を有し.良材とは稱し難きも.亦建築·器具用材として廣く用ひらる。殊に近年洋紙の原料「パルプ」を製するに用ひられ.大いに其價値を認めらるるに至れり。

5813. **うらじろもみ** ……マツ科
Abies homolepis, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) あをぼうもみ·だけもみ·にっくぅうもみ·にれもみ
〔形態〕高山に自生する常綠喬木にして.枝梢は平滑·無毛なり。葉は線形にして.上面滑澤.下面粉白を布く。樹脂道は2箇を有し.葉肉中若しくは葉緣に接在す。5–6月頃.單性花を雌雄同株に生じ.雄花は雌穗と共に圓柱形にして.長さ0·9–1·2糎(3–4分)許を有し.毬果も亦圓柱形にして.初め碧紫色を呈すれども.後に碧褐色に變ず。種鱗は腎臟形をなし.楔脚を有して.長さ1·5糎(5分)許.苞鱗は圓形·楔脚にして.先端3裂し.種鱗より短形なり。種子は倒卵狀楔形にして.扁狀をなせる翼を伴ひ.翌年10月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·四國。

5814. **へそもみ** ……マツ科
Abies homolepis, *Sieb.* et *Zucc.* var. umbellata, *Wils.*

(異名) みつみねもみ　〔形態〕ウラジロモミの一種にして.毬果は黃綠色をなし.先端臍形をなせるにより.本和名を有するものなり。〔分布〕邦內各地。



184 あをとどまつ　185 はりもみ

5815. **あをもりとどまつ** (**30圖版-269**)……マツ科
Abies Mariesii, *Mast.*

(異名) おほりうせん·おほしらびそ·おほしらべ　〔形態〕高山に自生する常綠喬木にして.幼條には黑褐色の短毛を密生す。葉は線狀長橢圓形にして.上面に溝を有し.下面に1稜を具へ.稜側に白色氣孔線を伴ふ。樹脂道は葉緣に接近して2條を有す。毬果は卵狀球形にして.碧紫色を呈し.無柄なり。種鱗は扇形をなし.全緣にして.1·8–2·1糎(6–7分)を有し.苞鱗は先端往々3裂し.種鱗より短形なり。種子は倒卵狀三角形にして.種子體より長き廣楔形の翼を有し.翌年10月頃成熟す。〔花候〕夏.〔分布〕本州北部及中部。

5816. **あをとどまつ** (**白圖-184**)……マツ科
Abies Mayriana, *Miyabe.* et *Kudo.*

(異名) あをとど·とどまつ·とど　〔形態〕高山に自生する常綠喬木にして.幹高さ30米(100尺)餘.周圍3米(10尺)以上に達す。樹皮は灰碧色を呈し.枝條は稍輪生す。小枝には暗褐色或は黑黃色の細毛を密生す。葉は枝條の周圍に着生し.線形にして.長さ2·4–2·7糎(8–9分)許.頂端は鈍く2裂し.狹脚にして.裏面に2白條を有す。花は單性にして.雌雄同株に生じ.雄花は前年生の枝條の下側に簇生し.橢圓形にして.紫紅色を呈し.雌穗は2年生の枝條の上側に直生·單立し.圓柱形·銳尖頭をなし.苞は不齊形にして不齊齒牙緣をなす。心皮は三角狀腎臟形にして紫色を呈す。毬果は無柄にして圓柱形をなし.綠黑色を呈す。種鱗は腎臟狀兩凸形にして.外面

PL. 30.

264 マワウ

265 くろまつ

266 からまつ

267 もみ

268 しらびそ

269 あをもりとど

270 カナダバルサムノキ

271 ねそまつ

272 たうひ

に細軟毛を布き、尾狀附屬體を具へ、包鱗は綠色にして種鱗より長く著しく反出、反捲す。種子は倒卵狀楔形にして、楔狀形或は扇形をなせる翼を有す。翌年9-10月頃成熟す。〔花色〕雄花は紫紅色・雌花は紫色。〔花候〕春。〔分布〕北海道。

5817. **あかとどまつ** ……マツ科
Abies sachalinensis, *Mast.*

（異名）あかとど・ねむろとどまつ・ねむろとど・おにとど

〔形態〕樺太の山地に生ずる常綠喬木にして、幼條には短剛毛を密布し、樹皮は紫褐色若しくは灰褐色を呈す。葉は線形にして鋭頭或は微凹頭をなし、上面滑澤・下面中肋に沿ひて2箇の白色氣孔を有し、且つ2條の樹脂道を具ふ。6月頃、單性花を雌雄異株に生じ、雄花は多數を攅簇し、紅色にして基部淡紫色を呈し、屢々相重れる膜質鱗を作ひ、雌穗は圓柱形をなし、基脚亦淡紫色にして、膜質鱗を被包す。苞は卵狀圓形にして尾頭をなし、心皮は腎臟形なり。毬果は圓柱形にして、長さ5-8·5糎（1·7-2·8寸）許、黑碧色を呈す。種鱗は上緣彎曲し、外面細毛を布く。苞鱗は倒心臟狀四角形にして、種鱗より短或は長く、先端鋭に稍反捲す。種子は倒卵狀楔形にして、扁狀梯形の翼を有し、翌年10月頃成熟す。〔花色〕雄花は紅色・雌花は淡紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5818. **しらびそ** 白檜曾·白檜（30圖版-268）……マツ科
Abies Veitchii, *Lindl.*

（異名）しらべ・りうせん・こりうせん・しらつか　〔形態〕深山に生ずる常綠喬木にして、幹高さ24-30米（80-100尺）、周圍2·4米（8尺）に達し、枝條は斜長にして短毛を被る。樹皮は帶黃褐色にして灰色の斑點を有し、平滑にして、老樹にても龜裂せず、所々に隆起せる脂線ありて疣狀をなし、之を壓し潰せば脂香を放つ。葉は多數枝上に密集·着生し、扁平なる線形にして、微凹頭或は截頭·狹脚をなし、長さ1·8-2·4糎（6-8分）許、上面は暗綠色にして溝を有し、下面は銀白色を呈して氣孔線を具へ、樹脂道は葉肉中に2箇を具ふ。花は單性にして、雄花は米粒大ありて小枝の葉腋に生じ、雌穗は長圓柱形にして淡紫色をなし、心皮は腎臟形、苞は梯形狀心臟形を呈し、尾頭なり。毬果は圓柱形にして碧綠色を呈し、種鱗は半月形、苞鱗は倒卵狀楔形にして、先端反捲す。種子は倒卵狀楔形にして、種子體より長き廣楔形の翼を有し、翌年10月頃、成熟して暗褐色を呈す。〔花色〕雌花は淡紫色。〔花候〕6月。〔分布〕本州各部。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植せらる。材は淡褐白色にして、木理よく通直するを以て、戸障子の框·箴の框等を作るに用ひ、又屋根板、葉子折を初め書棚·衣桁·額緣等を作るに用ひられ、又製紙の原料に供せらる。

5819. **あをしらべ** ……マツ科
Abies Veitchii, *Lindl.* var. olivacea, *Shirasawa.*

〔形態〕高山に生ずる常綠喬木なり。前種シラビソの一種にして、毬果は暗綠色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

5820. **カナダバルサムノキ**（30圖版-270）……マツ科
Abies balsamea, Mill.

〔形態〕北米原産の常綠喬木にして、「カナダ」·合衆國等に産す。幹高さ15-24米（50-80尺）に達するものあれども、通常夫れより小さく、殊に山頂又は北極地方に産するものにありては、時に灌木狀を呈すと云ふ。葉は上面暗綠色にして、下面蒼白色なり。葉及花形共頗るモミに似たり。毬果は圓柱狀長橢圓形にして、紫色を呈し、6-11糎（2-3·5寸）許ありて直立す。果實よりは多量の樹脂を排泄す。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　觀賞用として栽植す。樹脂は「カナダバルサム」と稱し、顯微鏡用の標本を作るに用ふ。

4. ハリモミ屬 PICEA.

5821. **はりもみ** 針樅（白圖-185）……マツ科
Picea polita, *Carr.*

（異名）ばらもみ・とらのをもみ・しろもみ　〔形態〕主に高山の山麓等に自生する常綠喬木にして、幹高さ18米（60尺）、周圍2·4米（8尺）許に達す。樹皮は帶黃黑褐色にして小鱗をなし、白斑を呈し、剝脫し易し。葉枕は枝條に直角をなし、葉は針狀にして、稍鎌狀に彎曲し、其質堅剛且つ鋭く手を觸れ難し。斷面は四角形をなし、下面皮層に接近して2條の樹脂道を有す。花は單性にして、雌雄同株に生ず。毬果は卵狀橢圓形乃至卵形にして、長さ6-10糎（2-3·3寸）許を有し、初は綠色を呈すれども、後に褐色に變ず。種鱗は圓狀倒卵形にして、緣邊に不齊齒牙を有し、苞鱗は細小なり。種子は長さ6粍（2分）許を有し、倒卵狀橢圓形にして、種子體の約4倍の長さを有する倒卵形の翼を有し、翌年10月頃成熟し、淡褐色を呈す。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植せらる。材は建築用材及机·箱·戸等の諸器具製作の用に供せられ、又曲物を作るに適するが故に、薄片となして、飾·栃杓·蒸籠·漬桶等の外圍を張り又人力車等の車輪泥除等を作るに重用せらる。

186 あかはりもみ

187 いらもみ

5822. **アカハリモミ**（白圖-186）……マツ科
Picea excelsa, Lk.

〔形態〕歐洲の中部及北部に自生する常綠喬木にして、幹高さ45米（150尺）以上に達す。枝は開展して小枝は下垂し、樹皮は赤褐色を帶ぶ。葉は針狀にして先端尖る。花は單性にして、雌雄同株に生じ、雌雄花共に鮮紫色を呈す。毬果は圓柱狀長稍圓形にして、淡褐色を呈し、種鱗は倒卵形をなす。〔花色〕鮮紫色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植せらる。木材は建築及諸器具を造るに用ひらる。

5823. **アメリカハリモミ** ……マツ科
Picea pungens, Engelm.

〔形態〕北米原産の喬木にして、葉は針形·銳尖頭をなして稍彎曲し、其質剛硬なり。毬果は長稍圓形にして、長さ6-9糎（2-3寸）許、種鱗は菱形にして、不齊齒牙緣を有す。

5824. **ヒマラヤハリモミ** ……マツ科
Picea Smithiana, Boiss.

〔形態〕喜馬拉原産の喬木にして、疳長なる枝條は擴開懸垂す。葉は針形にして先端銳尖頭をなし、扁四角柱形にして平面滑澤、長さ1·8-4·5糎（0·6-1·5寸）許に達す。花は單性にして、雌穗は紫色を呈す。毬果は卵狀長稍圓形にして、長さ12-15糎（4-5寸）を有し、種鱗は硬質にして稍圓形をなし、全緣なり。

5825. **いらもみ** 刺樅（白圖-187）……マツ科
Picea bicolor, *Mayr.*

（異名）まつはだ　〔形態〕富士山及北海道に産し、樺太·蒙古地方にも自生する常綠喬木にして、幹高さ21-24米（70-80尺）、周圍3米（10尺）以上に達す。葉は剛質·線形にして、長さ1·2-1·8糎（4-6分）許を有し、先端鋭く稍彎曲す。斷面は菱形をなし、下側兩緣に接近して2箇の樹脂道を有す。毬果は大きく卵狀圓錐形をなし、長さ6-9糎（2-3寸）、下方に屈曲し、10月頃成熟して汚褐色を呈す。種鱗は扁圓にして、頂端に皺波狀齒牙緣を有す。苞鱗は微小、種子は長橢圓狀倒卵形にして翼を有す。〔分布〕樺太·北海道·本州北部及中部。

5826. **ひめまつはだ** ……マツ科
Picea bicolor, *Mayr.* var. acicularis, *Shirasawa.* et *Koyama.*

〔形態〕高山に生ずるイラモミの一種にして、毬果は圓柱形をなし、長さ6-10糎（2-3·3寸）許を有し、種鱗は倒卵形にして、稍全緣をなすものなり。〔分布〕本州中部。

5827. **しらねまつはだ** ……マツ科
Picea bicolor, *Mayr.* var. reflexa, *Shirasawa.* et *Koyama.*

〔形態〕本種も亦高山に産するイラモミの一種にして、毬果は稍小さく長

さ4·5-7·5糎(1·5-2·5寸)に過ぎず。種鱗は全縁にして、先端は舌狀に延長し、外反するものなり。〔分布〕本州中部。

5828. **えぞまつ**（30圖版-271）……マツ科
Picea jezoensis, *Carr.*

（異名）くろえぞまつ・くろえぞ　〔形態〕本州北部及中部の高山地帶より北海道の深山、千島・樺太乃至支那・西比利亞等に產する常綠喬木にして、幹高さ30-45米(100-150尺)、周圍3米(10尺)以上に達し、圓錐形にして高く雲上に林立せる狀、實に雄大なり。樹皮は黑褐色にして、灰白鱗片狀をなし剝脫す。葉枕は直出し、高さ1·2-2·1糎(4-7分)許、葉は互生し、線形にして尖り、彎曲或は直立し、上面暗綠色にして滑澤、下面は淡綠色又は灰白色にして、中肋の兩側に白色氣孔線あり。斷面は楕圓形にして、中央より葉緣に近く2箇の樹脂道を具ふ。6月頃單性花を枝端に着生し、雌雄同株なり。雄穗は長楕圓狀圓筒形の小穗花を單生し、黃褐色鱗を被る。雄蕊は先端に扇形にして紫紅色を呈する附屬體を伴ひ、雌穗は卵狀圓柱形にして紫紅色を呈し、長さ3·6糎(1·2寸)許を有す。毬果は大きく、長さ5-8·4糎(1·7-2·8寸)許を有して下垂し、黃綠色を呈す。種鱗は倒卵形にして、不齊疎齒牙緣を有し、苞鱗は長方形なり。種子は倒卵狀楔形にして、不齊なる長楕圓形の翼を具へ、翌年9-10月頃成熟し、茶褐色を呈す。材は白質にして中心茶褐色を帶び、肌理稍緻密柔軟にして彈力を有し脂氣に富み、水濕に壞ふ。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として栽植し、又盆栽用として愛玩せらる。木材は建築用材・船材・帆檣材・器具材として用ひられ、又製紙の原料に供せらる。北海道にては門松或は「アーチ」に使用せらる。

5829. **たうひ** 唐檜（30圖版-272）……マツ科
Picea jezoensis, *Carr.* var. hondoensis, *Rehd.*

（異名）しろつが・とらのをもみ　〔形態〕深山の山嶺又は高地に自生する常綠喬木にして、高さ15-18米(50-60尺)に達し、幹は淡赤褐色を呈す。葉枕は枝に稍並行し、葉は針狀にして短く、下面稍白色を帶ぶ。6月頃、單性花を雌雄同株に着生し、花後圓錐形の毬果を結び、翌年10月頃成熟す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植せらる。材は曲物製造の材料に適するを以て、薄片となし、飾・蒸籠・蒸桶等の外圍に作り、其他建築・器具の材に供せらる。

5830. **あかえぞまつ**……マツ科
Picea Glehnii, *Mast.*

（異名）あかえぞ・てしほまつ・やちえぞ・しんとまつ　〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして、樹皮はエゾマツの黑褐色なるに比し、赤褐色を呈するを以て、「アカエゾ」の名あり。葉は有果枝にありては厚質にして短く、且つ稍彎曲し、無果枝にありては細長なり。斷面は菱形にして、2箇の樹脂道は角隅に近く、下面の表皮に接在す。毬果は暗紫色にして、長楕圓形をなして下垂し、種鱗は稍圓形にして楔脚をなし、苞鱗は細小なり。種子は倒卵狀楔形にして翼を有し、翌年9-10月頃成熟す。〔花候〕夏。

〔分布〕樺太・千島・北海道。

人生との關係　觀賞用として栽培し、又盆栽用として愛玩せらる。木材の利用エゾマツに同じ。

5. ヒノキ屬 CHAMAECYPARIS.

5831. **ひのき** 扁柏・檜（31圖版-273）……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして、其發育の迅速なること凡20年にしてよく柱材となすを得べし。されば老大樹にありては、幹高さ45-48米(150-160尺)以上、周圍6米(20尺)に達するものあり。上古火燧の具は此の木を以て造りしにより、「火の木」の稱あり。葉はアスナロに似て、鱗片狀をなして交互に對生し、形稍小さく、全く枝に密着して殆んど開出せず。4月下旬頃、單性花を雌雄同株に着生す。雄花は卵形にして、枝端に頂生單立し、雄蕊は4列をなして交互に對生す。葯は3-5室を具へ、花絲の先端は圓楯形の小片をなす。雌穗は球形にして、赤枝端に頂生單立し、苞は之を缺く。毬果は頗る小形にして濃褐色を呈し、徑約2·7糎(9分)許を有し、數箇宛を着生す。種鱗は8-9箇を有し、中央の1箇及左右兩側の之に接する2箇は端面長方形にして、他は概ね五乃至六角形を呈し、中心に臍點を具ふ。種子は卵形にして、左右に翼を有し、翌年10月頃成熟す。〔花候〕春。

〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

（附記）　本植物は、各地の山中に自生するもの多かれども、木曾の御料林を以て、最も著名なりとす。材は黃白色を帶び、中央僅かに赤色を呈し、其質緻密にして美しく、一種高尙なる香を有し、且つ脂氣ありて腐朽の憂少きを以て、諸種の白木細工に用ひ、品格甚だ高尙にして、諸材中最も貴重なるものとす。

人生との關係　觀賞用として庭園等に栽植せられ、又盆栽用として愛玩せらる。材は前述の特徵等を有するを以て、宮殿・家屋・橋梁・船艦・器具等を造るに重用せられ、又剝ぎて附木となし、又編笠を作りて檜笠と稱せらる。其の他樹皮は「ヒハダ」苔と稱して、股令等の家根を葺き、或は繩に綯ひ、又は船「ハダ」となす。材心は「ヒデ」と稱し、脂氣に富むを以てよく燃燒す。俗間に傳ふ。本樹を以て楊枝を作りて之を使用すれば齒を養ふと。

5832. **かまくらひば**……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.* var. breviramea, *Mast.*

（異名）ちゃぼひば・かまくらひのき　〔形態〕前種ヒノキの栽培變種にして栽植種に屬す。樹容は狹尖塔形をなし、枝條は短形にして、小枝は叢生するものなり。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し、又鉢植・盆栽等に仕立てゝ愛玩せらる。

5833. **ほうわうひば**……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.* var. ericoides, *Boehm.*

〔形態〕本種も亦ヒノキの栽培變種なり。樹姿稍球形に繁茂し、葉は線形にして、碧灰色をなし、上面に綠線を有する種類にして、亦栽植種に屬するものなり。

人生との關係　カマクラヒバに同じ。

5834. **くじゃくひば**……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.* var. filisoides, *Mast.*

〔形態〕本種も亦ヒノキの栽培變種にして常綠の小木なり。枝條は短形にして密簇し、稍葉狀を呈するものなり。

人生との關係　前種カマクラヒバに同じ。

5835. **かなあみひば**……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.* var. lycopodioides, *Carr.*

（異名）しゃもひば　〔形態〕本種も亦ヒノキの栽培變種にして、樹幹は小形、枝條は剛硬にして肥厚し、稍方柱形をなし、暗綠色を呈す。

人生との關係　前種に同じ。

5836. **するりゅうひば**……マツ科
Chamaecyparis obtusa, *Sieb.* et *Zucc.* var. pendula, *Mast.*

（異名）しだれひば・ひりょうひば　〔形態〕本種も亦ヒノキの栽培變種にして、概形彼に酷似し、枝は細長くして下垂するものなり。

人生との關係　前種に同じ。

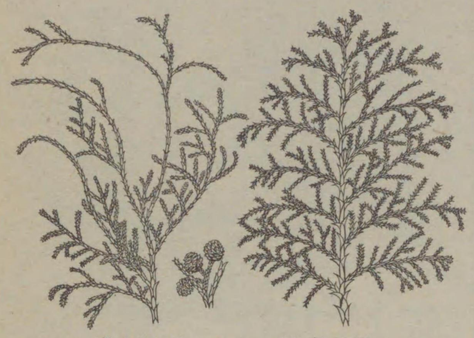
5837. **たいわんひのき** 臺灣扁柏・紅檜……マツ科
Chamaecyparis formosensis, (31圖版-274) *Matsum.*

（異名）べにひ　〔形態〕臺灣の山地に自生する常綠喬木にして、其巨大なるものは、幹高さ60米(200尺)に達し、幹は暗綠色を呈す。葉は枝條の側面に瓦列し、形は小形・鱗狀にして、ヒノキの葉に類似すれども、之より薄く、且つ稍尖り、淡褐色を呈す。雄穗は廣橢圓形をなし、苞は卵狀圓形にして細鈍齒牙緣を有す。毬果は稍直生し、種鱗は10-11箇を具へ木質をなし、苞鱗は廣橢圓形・短凸頭をなす。

5838. **さはら** 花柏・椹（31圖版-275）……マツ科
Chamaecyparis pisifera, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地殊に稍陰濕の地を好み、溪谷等に自生する常綠喬木にして、幹高さ40米(130尺)、周圍3·6米(12尺)に達す。概形よくヒノキに酷似すれども、其の識別すべき點は、鱗狀をなせる葉の尖端ヒノキよりも遙かに尖銳なること、葉裏の白色彼に比して一層顯著なること、樹冠のヒノキよりも銳き圓錐狀をなせること等にして、尙ヒノキは山岳地方に於ては、概ね峯頭に生育すれども、本種は溪谷等の陰濕の地に生ずるを以て、之を區別することを得べし。花は單性にして、雌雄同株に生じ、毬果は球形・黃褐色にして、ヒノキよりも小さく、直徑6-9粍(2-3分)に過ぎず。種鱗は8-12箇を具へ、端面は五又は六角形をなす。種子は種子體より遙かに長き兩翼を有し、長楕圓狀兩凸形をなす。邊材は白色にして、心材は赤褐色に黃色を帶ぶ。〔分布〕本州各部。

人生との關係　觀賞用として、庭園又は鉢植となし栽培せらる。材はヒノキ材に比すれば、輕く且つ軟くして、肌理甚だ疎なるが故に、光澤を發し難し。されど工作を施し易きと、よく水濕に耐ふるとを以て、手桶・盥・風呂桶・飯櫃等を作るに用ひられ、又剝板材・建築材として廣く使用せらるれども、品位ヒノキ材に比し大に劣る。



188 ひよくひば　189 しのぶひば

5839. **ひよくひば**（白圖-188）……マツ科
Chamaecyparis pisifera, *Sieb.* et *Zucc.* var. filifera, *Mast.*

（異名）いとひば・ゑんかうひば　〔形態〕サハラの栽培變種にして、枝條は細く且つ下垂して疎なり。葉は離生して三角狀針形をなすものなり。

人生との關係　專ら觀賞用として庭園又は鉢植用に供せらる。白斑・黃斑・霜降斑等の諸品種あり。

5840. **しのぶひば**（白圖-189）……マツ科
Chamaecyparis pisifera, *Sieb.* et *Zucc.* var. plumosa, *Mast.*

〔形態〕サハラの變種にして、栽培せらるゝ常綠木本なり。枝條は稍直生して、小枝は羽狀に排列し、葉は疎にして離生し、鑿狀線形をなし、先端尖る。毬果は球狀をなして小形なり。

人生との關係　專ら觀賞用として栽培せらる。黃斑を有する品種をホタルヒバと稱せらる。

5841. **ひむろ**（31圖版-276）……マツ科
Chamaecyparis pisifera, *Sieb.* et *Zucc.* var. squarrosa, *Mast.*

（異名）ひめむろ・あやすぎ・しもふりひば　〔形態〕サハラの一種にして、高さ3米(10尺)以上に達する灌木なり。枝條は羽狀に排列し、葉は柔軟にして且つ疎に開張し、線形にして上面粉白を布く。

人生との關係　觀賞用として栽植し、木材は種々の用に供せらる。

5843. **ひのきあすなろ**……マツ科
Thujopsis dolabrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. Hondai, *Makino.*

（異名）あすろべ　〔形態〕アスナロの一種にして、毬果は卵狀球形をなし、長さ1·5-1·8糎(5-6分)を有し、種鱗は圓形或は楔形なり。

〔花候〕4月。〔分布〕北海道・本州北部。

5844. **ひめあすなろ**……マツ科
Thujopsis dolabrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. nana, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕本種も亦アスナロの一變種にして、樹勢矮小・枝條は細長く、樹皮は淡綠色を呈す。

人生との關係　觀賞用として庭園等に栽植し、又往々鉢植或は盆栽として愛玩せらる。

5845. **ふいりひば**……マツ科
Thujopsis dolabrata, *Sieb.* et *Zucc.* var. variegata, *Gord.*

〔形態〕本種も亦アスナロの栽培變種にして、枝條の先端黃白色の斑條を有するものなり。

人生との關係　前種に同じ。

7. ツガ屬 TSUGA.

5846. **つが** 栂（31圖版-278）……マツ科
Tsuga Sieboldii, *Carr.*

（異名）とが・とがまつ　〔形態〕深山に自生する常綠喬木にして、幹高さ9-12米(30-40尺)に達し、幼條は無毛にして滑澤なり。概形モミに酷似すれども、枝條はモミより軟弱にして下垂し、針葉の頂端は鈍圓にして2叉し、稍矢筈狀をなし、且つ短柄を有すること等によりてモミと區別することを得べし。4月頃、單性花を雌雄同株に開き、雄花は葉間に腋出し、雌穗は卵狀橢圓形にして頂生し、紫色を呈す。毬果は卵形・滑澤にして、淡褐色をなし、長さ1·8-3糎(0·6-1寸)許を有す。種鱗は圓形にして、全緣或は細鋸齒緣を有し、苞鱗は細小なり。種子は種子體と略同長なる翼を有し、倒卵狀圓形にして、翌年10月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係　往々庭園に栽植せらる。木材は柱或は土臺等に用ひ、或は屋根板となすに適し、又薪とするに火力旺盛なり。樹皮は「タンニン」を含有すること多きが故に、漁網等を染むるに重用せらる。

5847. **こめつが**（31圖版-279）……マツ科
Tsuga diversifolia, *Mast.*

（異名）くろつが・ひめつが　〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして木曾の御嶽・富士山等には最も普通なり。幹高さ18-24米(60-80尺)に達し、新梢には細毛を密布す。葉は短く線形にして、長さ9粍(3分)許を有し、先端淺く2裂して微凹頭をなし、下面に2條の白線を有す。6月頃雌雄花を同株に生じ、雄花は卵狀球形にして、上部は紫色を呈し、枝端に着生す。雌穗も亦卵狀球形にして紫色を呈す。果實は卵形の小毬果にして、橢圓形をなし、短柄を有す。種鱗は稍圓形にして、苞鱗は短小なり。〔花候〕初夏。

〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植す。材質はツガより輕軟なれども、建築・諸器具の材に供し、樹皮は染料に供せらる。

8. スギ屬 CRYPTOMERIA.

5848. **すぎ** 杉（白圖-190）……マツ科
Cryptomeria japonica, *D. Don.*

〔形態〕山野に多き常綠喬木にして、之を遠望するときは恰も森の如く所謂杉形をなして、一種特有の狀態を呈す。本樹は平地に生じて普く陽光に照射せらるゝものは、寧ろ成育好良ならずして、山間谿谷の如き陰濕なる地に生ずるものは、成育良好にして其幹直立し、高さ往々60米(200尺)、周圍9-12米(30-40尺)以上に達するものあり。葉は小形の針狀鑿形にして、眞直或は稍彎曲し、小枝に集りて生ず。嫩葉にありては、其兩側に白色氣孔線を具へ、斷面は平菱形をなし、樹脂道は中央維管束に接在して、小形なる1條を有す。3月頃、單性花を雌雄同株に生じ、雄花は米粒形をなして黃褐色を呈し、數箇づゝ集りて枝端に簇生す。雄蕊は花軸に螺着し、葯は4-5室を有して縱裂す。雌穗は紫色にして稍球形をなし、枝端に頂生す。心皮は苞と合着し、4-5箇の卵子を藏す。毬果は球形にして黃褐色をなし、種鱗は倒

卵狀楔形にして，粗齒牙緣を有し，苞鱗の末端は其背面菱形をなす。種子は兩凸長橢圓形にして，狹翼により圍繞せらる。〔花候〕早春。〔分布〕九州（屋久島）。

人生との關係　觀賞用として庭園其他に栽培し，又盆栽として愛玩せらる。材は其質粗密の中庸を得て，加工し易ければ，建築用材・器具用材として其用途極めて廣く，樹皮は屋根を葺き，葉は線香を作る原料となし，又材には脂香氣を有するを以て，清酒に香氣をつくるに用ひらる。其他本植物の藥效としては，未知の人多かるべけれども，葉の煎汁を以て筋肉・關節等の挫傷・腫物・「クサ」・濕疹・疥癬等の患部を洗滌すれば頗る效果あり。又樹脂を煎服すれば，痲病・消渴・脚氣等を治するに效あり。

（附記）　元來スギの名稱は其幹の「直グ」なるより轉訛したるものなりと稱せらるれども，上海・廣東・福州等に於ては Sung と稱すれば，蓋し之より出でたる語なるべく，尙本植物は本邦及支那の一部に限り產する植物なりと云ふ。

本樹は山中自生品なきにあらざれども，多くは栽植して，森林をなすものにして，吉野の人造林は古來其名高く，又本邦最南に於ける杉の自然林として有名なる薩州屋久島に產する杉材は，年輪頗る緻密にして，板目には雅致ある木理を表はし，裝飾用として貴ばる。

190 すぎ

191 ねんこうすぎ

5849. **えんこうすぎ**（白圖-191）…… マ　ツ　科
Cryptomeria japonica, *D. Don.* var. araucarioides, *Hort.*

〔形態〕スギの栽培變種にして，幹は長大ならず。枝條は長く延びて小枝は下垂し，或は太く或は細く，其狀恰も猿猴の手を延ばせるに似たるを以て此名ありと云ふ。花は通常之を着生せざるものとす。

人生との關係　專ら庭園等に栽植して觀賞に供し，又盆栽に仕立てゝ愛玩せらる。（栽培種）

5850. **ひれすぎ** …… マ　ツ　科
Cryptomeria japonica, *D. Don.* var. caespitosa, *Makino.*

〔形態〕邦內各地に自生するスギの一種にして，幹は基脚數條に分れ，枝條は直生して，撒開生を有する品種なり。

5851. **やはらすぎ**（白圖-192）…… マ　ツ　科
Cryptomeria japonica, *D. Don.* var. elegans, *Mast.*

（異名）たうすぎ・ひめすぎ　〔形態〕本種も亦スギの一栽培變種にして，幹枝はスギの如く長大ならず，小枝條を密生して稍灌木狀をなす。葉は線形にして普通のスギより長く且つ柔軟なり。

人生との關係　エンコウスギに同じ。

5852. **よれすぎ**（白圖-193）…… マ　ツ　科
Cryptomeria japonica, *D. Don.* var. torta, *Maxim.*

（異名）くさりすぎ　〔形態〕本種も亦スギの栽培變種にして，幹枝亦長大ならず。通常其枝葉の捩れ合ふを以て一種の雅致を有する品種なり。花戶は之をクサリスギと呼稱せり。

人生との關係　エンコウスギに同じ。

192 やはらすぎ

193 よれすぎ

9. シダレイトスギ屬　CUPRESSUS.

5853. シダレイトスギ …… マ　ツ　科
Cupressus funebris, Endl.

〔形態〕支那原產の常綠喬木にして，枝條は稍水平に開きて懸垂す。葉は細くして短く先端尖り密接す。雌雄同株なり。花は何れも枝端に頂生・單立し，雄花は長橢圓形にして，雌穗は球形を呈す。毬果は短柄を具へ，球形にして，長さ 7·5-12 粍（2·5-4 分）許を有し，種鱗は楯形にして 8 箇を具へ，背面に銳頭をなせる小瘤起を有す。〔原產地〕支那。

10. ナンヤウスギ屬　ARAUCARIA.

5854. **シマナンヤウスギ**（31 圖版-280）…… マ　ツ　科
Araucaria excelsa, R. Br.

（異名）コバノナンヤウスギ　〔形態〕濠洲原產の常綠喬木にして，枝條は水平に擴開若しくは下垂す。葉は枝上に密生し，3 稜狀針形をなして先端反捲す。果實は毬果にして，種鱗は先端銳尖をなして反捲し，廣き翼を具ふ。〔原產地〕濠洲。

11. ヒマラヤスギ屬　CEDRUS.

5855. ヒマラヤスギ …… マ　ツ　科
Cedrus Libani, Barr. var. *Deodara*, Hook. f.

（異名）ヒマラヤシーダ・デワダラモミ・ネズモミ・カラマツモミ
〔形態〕喜馬拉原產の常綠喬木にして，樹皮は厚く縱溝を具へ，枝條は懸垂す。葉は暗碧綠色にして針狀をなし，先端尖り，長さ 2·4-3·6 糎（0·8-1·2 寸）許に達し，雌雄同株なり。果實は長橢圓形の毬果にして，赤褐色を呈し，種鱗は廣扇狀三角形にして緣邊薄く，種子は翼を有す。

12. タイワンスギ屬　TAIWANIA.

5856. たいわんすぎ …… マ　ツ　科
Taiwania cryptomerioides, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の山地に自生する常綠喬木にして，幹高さ 40 米（130 尺），周圍 7 米（24 尺）に及ぶ。葉は 3 形をなし，嫩葉上の葉は線形にして先端尖り，長さ 1·5 糎（5 分）許。頂枝上の葉は錐形をなして延着し，長さ 6 粍（2 分）許にして，相互に密接瓦列す。老枝上の葉は稍疎生して，鱗狀三角形をなし，先端尖り，龍骨を有して，長さ 5 粍（1·6 分）許を有す。果實は稍球形乃至長卵形をなせる毬果にして，枝端に頂生し，種鱗は倒圓錐形にして木質をなし，緣邊薄く先端凸頭をなす。〔分布〕臺灣。

13. クゥウエフザン屬　CUNNINGHAMIA.

5857. **くゎうえふざん**（白圖-194）…… マ　ツ　科
Cunninghamia sinensis, *R. Br.*

（異名）りうひがや・おらんだもみ　〔形態〕臺灣に自生する常綠喬木なり。葉は線狀披針形にして先端尖り，長さ 4 糎（1·3 寸）許を有す。4-5 月の候，單性花を雌雄同株に生じ，雄花は枝端に簇生して長橢圓形をなし，雌

PL. 31.

273 ひのき

274 たいわんひのき

275 さはら

276 ひむろ

277 あすなろ

278 やはらすぎ

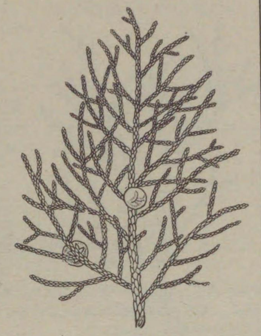
279 シマナンヤウスギ

280 ヒマラヤスギ

281 さしよう

穂は球形にして，枝端に單生す。果實は圓卵形をなせる毬果にして，10月頃成熟す。種鱗は革質にして，卵狀・鋭尖頭をなし，緣邊に細齒牙を有す。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

194 くわうねふざん



195 びやくしん

14. ビャクシン屬 JUNIPERUS.

5858. **びゃくしん**　柏槇・柏心・白身・白心・檜柏　マツ科
Juniperus chinensis, *L.*（白圖-195）

（異名）いぶき　〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして，高さ18米（60尺），周圍1·5-1·8米（5-6尺）に達す。葉には2形ありて，新梢の葉はスギの如く針狀にして上面凹み，2條の白色氣孔線と雄管束の下部に1樹脂道を有し，交互對生或は3片を輪生して平開す。老梢の葉はヒノキとスギの葉とを交へたるが如くにして，交互に對生して相密簇す。4月頃，單性の小花を雌雄同株に生じ，雄花は廣卵形をなし，雌穗は球形にして，何れも舊枝端に頂生す。果實は肉質・球形の毬果にして，紫黑色を呈し，種子は褐色・卵圓形にして2-3箇を藏す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部・九州（屋久島）。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し，能く日蔭の處に生育す。又挿花用としての需要頗る多し。材は建築・器具の料に供し，又鉛筆の軸木に使用せらる。

5859. **みやまびゃくしん**　……　マツ科
Juniperus chinensis, *L.* var. sargentii, *Henry.*

（異名）しんばく　〔形態〕高山又は深山に自生多き常綠の木本にして，葉は伏臥生をなし，側枝は短し。葉はビャクシンに似て鱗形葉と針形葉との2形を有す。〔分布〕樺太・北海道・本州北部。

5860. **としょう**　杜松（31圖版-281）……　マツ科
Juniperus communis, *L.*

〔形態〕樺太に自生多き常綠灌木或は喬木にして，幹高さ9-12米（30-40尺）に達す。葉は針狀或は針狀披針形にして，先端刺狀に尖り，3箇づゝ輪生し，上面凹み，長さ1·2-1·8糎（4-6分）許を有す。果實は肉質にして暗碧色をなし，外面粉白を布く。〔分布〕樺太。

人生との關係　果實を利尿藥・亢奮劑に用ひ，或は肉類・酒類に香氣を附するに使用す。又果實及材より杜松子油・杜松木油を採りて，醫藥・香油の原料となし，果實より一種の酒を醸す。

5861. **みやまとしょう**　……　マツ科
Juniperus communis, *L.* var. montana, *Ait.*

〔形態〕本種も亦樺太の深山に生ずる伏臥生の低灌木にして，高さ僅に60糎（2尺）許に過ぎず。枝條は撒開生にして，葉は長橢圓狀線形をなし，先端急に尖り，長さ0·6-1·2糎（2-4分）許を有す。〔分布〕樺太。

5862. **みやまねず**　……　マツ科
Juniperus communis, *L.* var. nipponica, *Wils.*

〔形態〕山地に自生する伏臥生の灌木にして，枝條は密生す。葉は3片の輪生にして，3稜狀披針形・銳頭をなし，稍舟形に彎曲す。果實は球形にして，黒碧色を呈し，葉の上面と共に粉白を布く。〔分布〕本州北部及中部。

5863. **はひねず**　這杜松（白圖-196）……　マツ科
Juniperus conferta, *Parl.*

（異名）はと　〔形態〕主に各地の山地及海岸等に自生する常綠灌木にして，莖は多くの枝を出し，地上を匍匐して數尺の間に蔓延す。葉は針形にして硬刺端を有し，各節より3箇づゝ輪生する狀ネズに似たれども，短くして且つ太し。果實は漿果樣の毬果にして，黒碧色を呈し，粉白を布き，8月頃

196 はひねず

197 はひびやくしん

成熟す。〔花候〕5-6月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州・琉球。

人生との關係　庭園等に栽植し，觀賞に供せらる。

5864. **はひびゃくしん**　矮檜（白圖-197）……　マツ科
Juniperus procumbens, *Sieb.*

（異名）そなれ　〔形態〕海濱又時に山地に自生する稍蔓性狀をなせる常綠の密生低灌木にして，ビャクシンの一變種なり。莖は匍匐して數尺の間に蔓延し，葉は1形なれども，幼條の葉はビャクシンに比するに一層長くして，且つ剛硬なり。〔分布〕（壹岐・對馬）・琉球。

人生との關係　庭園等に栽植して觀賞用に供し，又挿花用に用ひらる。

5865. **ねず**　杜松（白圖-198）……　マツ科
Juniperus rigida, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）むろ・ねずみさし・ねずさし　〔形態〕山野に自生する常綠喬木にして，幹高さ15-18米（50-60尺），周圍1·5米（5尺）許に達し，樹皮は帶灰赤黒色を呈す。小枝は針狀三角形をなして節多く，各節より3箇づゝの針狀葉を輪生す。葉は狹線形にして先端銳尖をなし，剛硬にして長さ1·2-2·4糎（4-8分）許，斷面は倒三角形をなし，上面中央に一條の白色氣孔線並に雄管束の下部に一條の樹脂道とを具ふ。4月頃，小形なる單性花を雌雄異株に生じ，雄花・雌穗共に腋出單生す。雌穗は3心皮を有し，每心皮に2卵子を生ず。果實は球形・肉質の毬果にして，暗紫紅色を呈し，種子は卵形にして3稜を具へ，10月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州各部。

人生との關係　庭園等に栽植して觀賞に供し，又生垣として栽植せらる。材は黄色にして和白檀と稱し，建築・器具の料に供し，又之を焚きて蚊遣となすことあれども，クスノキ・カヤ等に劣る。果實よりは油を製す。

5866. **よれねず**（白圖-199）……　マツ科
Juniperus rigida, *Sieb.* et *Zucc.* var. filiformis, *Maxim.*

〔形態〕ネズの栽培變種にして，葉梢は細く，且つ絲狀をなせるものなり。

人生との關係　庭園又は鉢植等となし，觀賞に供せらる。

5867. **エンピツノキ**　鉛筆木（32圖版-282）……　マツ科
Juniperus virginiana, L.

〔形態〕北米原産の常綠喬木にして，幹高さ30米（100尺）內外に達す。葉は鱗片狀菱形にして先端尖り，瓦列するか或は針狀にして刺端をなし，密に對生す。果實は廣卵形若しくは球形の毬果にして，熟すれば肉質となり，茶褐色を呈す。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　木材は鉛筆の軸木に用ひられ，又之を蒸溜して，「セーデルンホルツ」油を採り，顯微鏡の浸液裝置及其他に用ふ。

15. オニヒバ屬 LIBOCEDRUS.

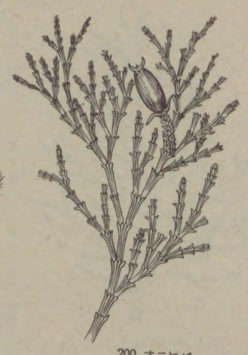
5868. **オニヒバ**（白圖-200）……　マツ科
Libocedrus decurrens, Torr.

〔形態〕北亞米利加原産の常綠喬木にして，樹皮は鮮赤色を呈し，枝條は稍偏扁せらる。葉は長稍圓狀卵形をなし，先端尖銳，基脚は概ね接着すれども，上部に至りて離開す。花は單性にして雌雄同株に生じ，雄花は稍圓柱形

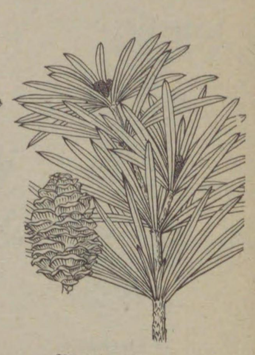
をなし．雌穂は球形にして．何れも枝頭に頂生す。果實は長橢圓形の毬果にして淡赤色を呈し．長さ1·8-2·4糎（6-8分）許を有し．鱗片は木質にして．先端微凸頭をなす。〔原産地〕北亞米利加。

198 ねず

199 よれねず



200 オニヒバ



201 カウヤマキ

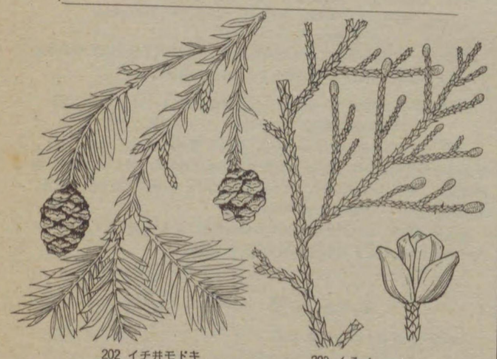
16. カウヤマキ屬　SCIADOPITYS.

5869. **かうやまき**　金松　（白圖-201）……マツ科
Sciadopitys verticillata, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）からかさまつ　〔形態〕本邦中部以南の山地に自生する本邦特産の常綠喬木にして．紀州高野山に最も多し。幹高さ45-48米（150-160尺），周圍3米（10尺）以上に達するものあり。葉は線狀茶褐色にして．上面は濃綠色を呈して滑澤．下面は淡黃綠色にして．兩面共に中央に各1溝を具へ．微凹頭をなし．樹脂道は緣邊に接在す。通常2葉づゝ癒合して6-7片を叢生し．車輪狀をなして四方に開展せる樣．恰も傘を擴げたるに似たるを以て．カラカサマツの一名あり。4月頃．單性花を雌雄同株に生じ．雄花は橢圓狀球形にして黃褐色を呈し．枝頭に多く散簇して球形の一團をなす。雄蕊は花軸に螺着し．葯は2室を具へて縱裂す。雌穗は長橢圓形にして．枝端に頂生し．數多の鱗片より成り．7-9箇の胚子を有し．苞は長圓錐形をなす。果實は橢圓狀圓柱形をなせる毬果にして．長さ6糎（2寸）許．種鱗は肥厚して廣圓形をなし．苞鱗は種鱗と全く合着して．約種鱗の半長なり。種子は兩凸圓形にして．狹翼によりて圍繞せられ．10月頃成熟す。〔花色〕雄花は黃褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

人生との關係　材は耐水性強きを以て．水桶·橋杭等に重用せられ．其他建築·器具等を作るに用ひ．樹皮を以てマキハダ（槇皺）を製すべし。又觀賞用として往々庭園等に栽植せらる。

因に東京府荒川區の荒川に架設せられたる千住大橋は．永祿年中．北條氏の架設せる所なりしが．明治十八九年頃の洪水にて墜落し．其際橋杭を檢せしに．木材を使用しありたりと云ふ。



202 イチイモドキ

203 くろべ

17. イチヰモドキ屬　SEQUOIA.

5870. **イチヰモドキ**　（白圖-202）……マツ科
Sequoia sempervirens, Endl.

（異名）アメリカスギ　〔形態〕高山に生ずる北米原產の常綠大喬木なり。葉は線形にして先端尖り．長さ1·2-2·4糎（4-8分）許あり。花は單性にして雌雄同株に生じ．雄花は細柄によりて枝端に單生し．球形にして．鱗狀葉を以て覆はる。雌穗も亦頂生し．數多の鱗片より成り．各鱗7-8箇の胚子を藏す。果實は球形或は卵形をなせる毬果にして．種鱗は楔形をなす。〔原產地〕北亞米利加。

18. スヰショウ屬　TAXODIUM.

5871. **ラクウショウ**　（32圖版-283）……マツ科
Taxodium distichum, Rich.

（異名）アメリカスヰショウ·ラクエフスギ·ニレツバスヰショウ　〔形態〕北米原產の落葉喬木にして．枝條は概ね2岐す。葉は薄質にして淡綠色を呈し．狹線形·銳頭をなして2列に排列す。花は單性にして．雌雄同株に生じ．雄花は枝端に頂生し．螺列せる葯を圓錐狀に綴り．雌穗も亦枝端に單生或は双生し．數多の瓦列せる鱗片より成る。果實は稍球形をなせる毬果にして．徑2·4糎（8分）許を有し．種鱗は暗褐色をなして肥厚す。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　庭園の風致樹として栽植し．又盆栽としても愛玩せらるるものなり。

19. コノテガシハ屬　THUJA.

5872. **コノテガシハ**　側柏·兒手柏　（32圖版-284）……マツ科
Thuja orientalis, L.

（異名）ハリギ·テガシハ·ソノテ·フタオモテ　〔形態〕北部支那原產の常綠小喬木にして．高さ1·8-2·1米（6-7尺）許に達す。葉は稍ヒノキの葉に似て．小形の鱗狀をなし．面背の區別明瞭ならずして峙立し．恰も人の掌を擴げたるが如きを以て此名あり。花は單性にして．雌雄同株に生じ．何れも小球形をなして枝端に頂生す。果實は球狀卵形の毬果にして．種鱗は概ね6箇を有し．鱗片の尖端卷曲す。〔原產地〕支那。

人生との關係　庭園等に栽植し．觀賞用に供せらる。

5873. **くろべ**　黑檜·凪子　（白圖-203）……マツ科
Thuja Standishii, *Carr.*

（異名）ねづこ·くろび·ごらうひば　〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして．陸奥·陸中·羽前·岩代·越中·加賀及日光·木曾等に多し。幹高さ12米（40尺），周圍1·2米（4尺）に達し．樹皮は帶黃赤褐色を呈す。葉はアスナロに似て小形なり。5月頃．單性花を雌雄同株に生じ．雄花は球形にして．雄蕊は交互に對生し．葯は2-4室を有し．先端に圓楯形の小片を具へ．雌穗は卵圓形或は長橢圓形にして．共に枝端に頂生·單立す。心皮は4對を有して交互に對生し．中部2對の心皮は2箇の胚子を含む。果實は長さ1糎（3分）許を有し．卵圓形をなせる毬果にして．種鱗は倒卵形をなして反捲し．種子は線狀披針形にして．兩側に狹翼を有し．10月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植す。材はスギよりも軟にして．木理通直なるを以て工作し易く．且つ材質優美なるを以て．欄間·天井板·机·本箱·下駄等を作るに用ひらる。

*　　*　　*
*　　*　　*

2. いちゐ（一位）科　TAXACEÆ.

本科の植物は喬木又は灌木にして．通常葉肉内に樹脂管を含み．莖の後生木部は導管を有せず。葉は常綠にして．全緣．通常互生稀に對生し．線狀·針狀稀に長形の線狀披針形をなし．多くの枝を分岐す。花は單性にして．雌花と雄花とは異株又は同株に生ず。雄花は葉腋に單出又は小穗狀をなし．多數の雄蕊を具へ．毬果狀をなし．各雄蕊は2-8箇の葯胞を有す。雌花は葉腋に小形の苞狀の心皮となり．頂端に1箇の胚子を具へ．基部は鱗葉を以て圍繞せらる。種子は核果或は堅果にして．胚乳を含み．乾果の場合は肉質の假種皮或は肉質の附屬物を有す。

204 いちゐ

本科は9屬．凡70種の植物を含み．主に溫帶及亞熱帶地方に分布す。本邦に自生するもの5屬．凡20種あり。

本科所載植物索引

アブラガヤ……5881　クサマキ……5885　ヒダリマキガヤ……5880
アラヲギ……5874　スハウヲキ……5874　ヒヨウヒ……5881
イチヰ……5874　タウガヤ……5882　ベベガヤ……5881
イヌガヤ……5881　チカラシバ……5886　ヘボガヤ……5881
イヌマキ……5885　チヤボガヤ……5878　ホソバイヌガヤ……5883
ウスユキナギ……5888　ツナギガヤ……5877　ホソバナギ……5887
オンコ……5874　テウセンガヤ……5882　ホンマキ……5885
カヘ……5876　テウセンマキ……5882　マヤ……5884
カヤ……5876　ナギ……5886　ラカンマキ……5884
キヤラボク……5875　ハダカガヤ……5879

1. イチヰ屬　TAXUS.

5874. **いちゐ**　一位　（白圖-204）……イチヰ科
Taxus cuspidata, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）すはうのき·あららぎ·おんこ　〔形態〕深山に自生する常綠喬木にして．飛驒位山に産するもの古來有名なり。幹高さ15-18米（50-60尺），周圍1·5-1·8米（5-6尺）に達し．樹皮は比較的薄くして黑褐色を呈す。葉は短柄によりて互生し．2縱列をなす。葉身は線形·尖頭にして銳刺をなし．長さ1·8-2·1糎（6-7分）許を有し．上面は深綠色．下面は中肋の兩側に帶白暗綠色の氣孔線を有す。4月頃．單性花を雌雄異株に生じ．雄花は枝椏葉腋に攅簇し．稍球形にして．基脚には卵形をなせる鱗片重疊し．雄蕊は9-15箇を具へ．葯は5-6室を有す。雌花は腋出せる短枝に獨立して着生し．短枝は數片の卵形鱗を被る。種子は卵形銳頭にして．堅果狀をなし．滑澤にして紫褐色を呈し．濃紅色の假種皮を伴ひ．9月頃成熟す。〔花候〕春。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·臺灣。

人生との關係　古來本材を以て笏を作るの材料とせしにより．一位の名ありと云ふ。尙材は淡褐赤色にして紅色を帶び．肌理堅密にして彈力に富めるを以て．建築用材·床柱或は諸器具を作るに用ひ．其他楊枝·枝折·箸·根附·杖·箱·櫛類等の小器具を製す。俗に一位細工と稱せらる。

5875. **きゃらぼく**　（32圖版-285）……イチヰ科
Taxus cuspidata, *Sieb.* et *Zucc.* var. ambraculifera, *Makino.*

〔形態〕本州中部の山地に自生する前種イチヰの一種なり。枝條は伏臥生にして短く．葉も亦短形なれども．彼の如く2列に排列せざるものとす。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

2. カヤ屬　TORREYA.

5876. **かや**　榧　（32圖版-286）……イチヰ科
Torreya nucifera, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）かへ　〔形態〕深山に自生する常綠喬木にして．幹高さ21米（70尺），周圍2·5米（7·5尺）に達し．樹皮は灰白色なり。葉は葉柄を具へ．革質·線形にして扁く．先端尖り．長さ1·8-3糎（0·6-1寸）許に達し．一種の臭氣を帶ぶ。上面は滑澤にして下面中肋兩側に沿ひ．黃白色の氣孔線を有す。4月頃．單性花を雌雄異株に生じ．雄花は腋出·單生し．卵形にして基脚に鱗片重疊す。雄蕊は花軸上に4輪列し．葯は4室を有す。雌花は腋出せる短枝の上に雙生し．各花は苞腋に生じ．對生せる4箇の小苞を以て2花を圍む。種子は2花中1箇成熟し．核果狀をなし．長橢圓形にして兩端尖り．外皮は赭褐色にして．多脂の果肉を藏し．肉皮は堅き殼をなす。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植す。木材は其質堅敭中庸を得．木理緻密にして彈力に富み．脂氣を含有し．香芬ありて久しく腐朽せず．よく水溫に耐へ．且つ保存期長く．乾裂·乾縮の虞なきを以て．建築·造船の最良材となし．其他碁盤·算盤珠等を造るに用ひらる。果實は外皮を去り．炒りて食すべく．又油を搾りて．食用·理髮用·燈火用に供す。之を榧油と稱し．植物油中最上位を占むるものなり。

5877. **つなぎがや**　……イチヰ科
Torreya nucifera, *Sieb.* et *Zucc.* var. articulata, *Miyoshi.*

〔形態〕本州中部の山地に生ずるカヤの一種にして．表面葉枝及背面葉枝は交互に相接續せるものなり。〔分布〕本州中部。

5878. **ちゃぼがや**　……イチヰ科
Torreya nucifera, *Sieb.* et *Zucc.* var. radicans, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦本州中部地方の山地に自生するカヤの一種にして．幹高さ2·4米（8尺）に及ばず。且つ基脚に斜上生をなせる多くの枝條を分岐し．稍灌木狀の觀を呈する種類なり。〔分布〕本州中部。

5879. **はだかがや**　……イチヰ科
Torreya nuda, *Miyoshi.*

〔形態〕本種も亦カヤの一種にして．彼に比するに．種子は堅き殼を有せずして．直に綠色の肉質種皮に包被せらるゝ種類なり。〔分布〕本州中部。

5880. **ひだりまきがや**　……イチヰ科
Torreya macrosperma, *Miyoshi.*

〔形態〕本種はカヤの一栽培變種にして．種子は大きく．長さ3-4糎（1-1·3寸），徑1·2-1·5糎（3-4分）を有し．內殼に右旋又は左旋の隆起を有するものなり。

3. イヌガヤ屬　CEPHALOTAXUS.

5881. **いぬがや**　粗榧　（32圖版-287）……イチヰ科
Cephalotaxus drupacea, *Sieb.* et *Zucc.*

（異名）へぼがや·あぶらがや·ベベがや·ひょうび　〔形態〕山地に自生する常綠の小喬木にして．幹高さ9米（30尺）以上に達し．通常單幹をなさずして．多くの幹を叢生す。葉は短き葉柄によりて．左右に列をなして對生し．線形にして鎌狀に曲り．カヤの葉よりも長大なれども．先端柔にして．カヤの如く人を刺さず。上面は淡綠色．下面は白色蠟質をなし．其中肋は顯著にして．其兩側に白色の氣孔線を有す。花は小形の單性花にして．雌雄異株に生じ．數尺の小木にても花實あり。雄穗は球形にして6-9花を着生し．雌穗は球形或は橢圓形にして．苞は廣卵形·銳尖頭をなす。秋末橢圓形をなせる果實を結び．外種皮は肉質にして．初め紅色を呈すれども．後紫色に變じ．內種皮は灰褐色なり。味苦くして食ふべからず。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·四國·九州。

人生との關係　觀賞用として栽植す。又果實の肉を去り．核を搾りて油を採取す。之を「へボ」の油と稱す。色白くして濁なし。種子油と和して燈

油とするときは，光明他の油に勝る。又「ペンキ」の油に用ひらる。

5882. **てうせんがや**（32圖版-288）……イチヰ科
Cephalotaxus drupacea, *Sieb.* et *Zucc.* forma fastigiata, *Pilg.*

（異名）たうがや・てうせんまき　〔形態〕前種イヌガヤの栽培變種にして，葉は莖上多面に排列する種類なり。

5883. **ほそばいぬがや**……イチヰ科
Cephalotaxus drupacea, *Sieb.* et *Zucc.* forma angustifolia, *Makino.*

〔形態〕本種も亦イヌガヤの栽培變種なり。葉は狹線形にして先端鋭尖をなし，長さ1·5-3糎（0·5-1寸）許に達する種類なり。

4. マ キ 屬 PODOCARPUS.

5884. **マ　キ** 羅漢松（32圖版-289）……イチヰ科
Podocarpus chinensis, Blume.

（異名）ラカンマキ　〔形態〕温帶及亞熱帶に自生する支那原産の常綠喬木にして，幹高さ18-21米（60-70尺），周圍2·1-2·4米（7-8尺）に達す。樹皮は灰白色を呈し，淺く縱裂す。葉は枝の周圍に互生し，線形にして先端稍尖り，革質にして厚く，表面綠色，下面青白色を呈す。花は單性にして5月頃開き，雄花は集りて穗狀をなす。果實は10月頃成熟す。該果は2部より成り，上部は種子にして稍球形·綠色を呈し，下部は肉質の花被にして紅色を呈し，其狀恰も羅漢の袈裟を着けたるが如しとて，羅漢松の漢名あり。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として庭園に栽植し，又は生垣となす。材は建築及諸器具の材に供し，果實の紅色肉質の部分を採りて食すれば味甘し。

5885. **いぬまき**……イチヰ科
Podocarpus macrophyllus, *D. Don.*

（異名）ほんまき・くさまき　〔形態〕本州中部以南の山地に自生する常綠喬木なり。葉は厚質·狹披針形にして銳頭或は鈍頭をなし，長さ6-12糎（2-4寸）許に達す。5月頃，單性花を雌雄異株に生じ，雄花は短梗に3-5花を簇生し，圓柱形にして，基脚に鱗片を有す。葯は橢圓形にして2室を具へ縱裂し，先端に三角形小片を伴ふ。雌花も短梗に單生し，基脚に線形の4鱗片を有する花托を有す。種子は球形にして綠色を呈し，粉白を裝ひ，花托は肥大して橢圓形となり，初め濃紅色を呈すれども，後に紫色に變ず。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。

5886. **な　ぎ**　竹柏·椰（32圖版-290）……イチヰ科
Podocarpus nagi, *Pilg.*

（異名）ちからしば　〔形態〕暖國に自生する常綠喬木にして，幹高さ6-9米（20-30尺）に達す。葉は竹に似て厚く，橢圓形にして對生し，平行脈を有して先端尖り，光澤ありて強靱なり。試に之を縱に引くも容易に切斷することなければ，チカラシバの一名あり。5月下旬頃，單性花を雌雄異株に生じ，雄花は短梗上に數箇を簇生し，圓柱形にして基脚に鱗片を被り，葯は長橢圓形にして2室を具へ，先端に小片を伴ふ。雌花も亦短梗上に着生し，基脚數片の苞を被り，花托は之を缺く。種子は球形をなし，外種皮は肉質·碧色にして粉白を布く。內種皮は骨質にして白色を呈し，10月頃成熟す。〔花候〕春-夏。〔分布〕四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　ナギ類は庭園木として一般に風致あるものなり。材は質緻密にして用途廣し。

5887. **ほそばなぎ**……イチヰ科
Podocarpus nagi, *Pilg.* var. angustifolia, *Makino.*

〔形態〕臺灣に自生する前種ナギの一種にして，葉は線形或は線狀披針形をなし，稍鎌狀にして，狹長形なる一種なり。〔分布〕臺灣。

5888. **うすゆきなぎ**……イチヰ科
Podocarpus nagi, *Pilg.* var. caesia, *Makino.*

〔形態〕前種ナギの一栽培變種にして，全株碧白色を呈し，葉は厚質にして圓形或は圓橢圓形をなし，先端尖り，基脚圓形をなす種類なり。

*　　*
*　　*　　*

イ テ フ 門

1. いてふ（公孫樹）科 GINKGOACEÆ.

本科の植物は落葉喬木にして，幹は多數枝を分ち，幹の後生木部には導管を有せず。幹には長短2種の枝條を有し，長條は尋常葉を互生し，其葉腋より短條を生じ，數箇の尋常葉を叢生す。葉は扇形にして通常2裂し，叉狀に分岐せる葉脈を有し，互生す。花は單性にして花被を有せず。雌雄異株なり。雄花は短條の葉腋に生じ，柔荑花序にして，多くの雄蕊を具へ，花絲の頂端に膨大せる部分ありて，其下面の1側部より2箇の葯胞を下垂す。雌花も亦短條の葉腋に生じ2箇の心皮より成り，各心皮は1箇の直立せる卵子を生ず。卵子は珠心の上部に花粉室を具ふ。卵子內に生ずる雌性植物は綠色にして通常2箇の有頸雌器を生じ，漸次生長して終に珠心の全部を破壞す。花粉粒は，風媒によりて卵子に達し，花粉室に入り，分岐せる花粉管を出す。花粉管內の雄器に相當する細胞は，2箇の精蟲を生ず。此の精蟲は螺旋狀に排列せる多數の纖毛を具へ，花粉管即ち雌性植物の膜壁の溶解せる所より脫出游走して，有頸雌器內の卵球に達す。種子は核果樣にして胚乳を含み，胚は2箇の子葉を具ふ。

204 イテフ

本科には1屬，1種を有し，支那原産にして，本邦には廣く庭園等に栽培せらる。

1. イテフ屬 GINKGO.

5889. **イテフ**　銀杏·公孫樹（白圖-205）……イテフ科
Ginkgo biloba, *L.*

（異名）ギンナンノキ・チチノキ　〔形態〕本種は支那の原産にして，古代歐洲にも繁殖したるものなりしが，現今にては化石となりて地層中より出で，其現存せるは獨り我國と支那の一部とのみに限らる。從つて夙に歐米諸國に知られ，現時にありては傳はりて，庭園等に栽植せられつゝあり。落葉喬木にして，幹の直徑すること18-21米（60-70尺），周圍6米（20尺）以上に達し，年を經るに從ひ，氣根狀の枝を生ず。俗に之をイテフのチチと稱す。神社·佛閣等の境內に於て，多く老樹の聳立するを見るは頗る壯觀なり。葉は3-5片短枝端に叢生し，長柄を具へ，開扇狀にして概ね2裂し，頂に缺刻緣を有するものと又之なきものとあり。數多の平行脈を有し，上面は綠色，下面は淡色なり。降霜後黃變し，其美觀は頗る秋色を助く。4月頃，單性花を雌雄異株に生じ，雄花は矮小なる穗狀花序をなし，有梗にして短枝端に腋出し，多數の雄蕊を有す。雌花は短枝端に腋出せる長梗上に2箇以上を着生し，2卵子を對生す。花後，球形にして核果狀をなせる果實を結び，熟すれば黃色となり，稍臭氣ありて中に核を藏す。核は兩端尖りて2稜或は3稜を有す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕春。〔原産地〕南部支那。

人生との關係　觀賞用として栽植し，木材は器具·建築の用に供し，核果の仁は食用に供せらる。銀杏は脂肪に富み，「プロピオン」酸を含有するを以て，若し生食するときは中毒することあり。

5890. **ヲハツキイテフ**……イテフ科
Ginkgo biloba, L. var. *epiphylla*, Makino.

〔形態〕前種イテフの栽培變種にして，本種は其葉に屢ば果實を着生することあり，故にこの和名を有す。

5891. **フイリイテフ**……イテフ科
Ginkgo biloba, L. var. *variegata*, Henry.

〔形態〕本種も亦イテフの栽培變種にして，葉に斑紋を有するものなり。

*　　*　　*

PL. 32.

282 エンピツノキ

283 ラクエフシヨウ

284 コノテガシハ

285 きやらぼく

286 か　や

287 いぬがや

288 てうせんがや

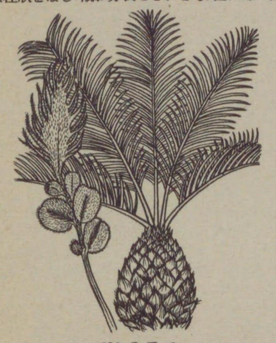
289 マ　キ

290 な　ぎ

ソ テ ツ 門

1. そ て つ(蘇鐵)科 CYCADACEÆ.

本科の植物は常綠木本にして，外觀稍木生羊齒に類似す。幹は塊莖狀又は柱狀をなし，概ね分枝せざれども，甚だ稀に偶か分枝することあり。樹皮には粘液道を有し，後生木部は導管を有せず。葉は互生し，通常革質にして2形を有し，1は褐色鱗片狀にして，幹の上面を密に被ひ，他は綠色にして羽狀に分裂し，幹頂に叢生して鮮麗なる葉冠を形成す。花は單性にして常に幹頂に生じ，花被を有せず。雌花と雄花とは異株に生ず。雄花は松毬狀に集り，多數の雄蕊を有し，各雄蕊は鱗片狀或は楯形をなし，下面に多數の花粉嚢を伴ふ。雌花は扁平なる無數の實葉より成り，各實葉の左右に各1箇，稀に2-4箇の直生卵子を裸出して着生す。花粉管内に2箇の精蟲を形成し，1箇は卵細胞核と癒合す。種子は核果にして，胚乳を含む。


206 そ て つ

本科は9屬，凡90種の植物を含み，主に熱帶・亞熱帶地方に産す。本邦には1屬，3種を産するに過ぎず。

1. ソテツ屬 CYCAS.

5892. **そ て つ** 蘇鐵・鳳尾松 (白圖-206)‥‥ソ テ ツ 科
Cycas revoluta, *Thunb.*

〔形態〕本州南部の暖地に自生する常綠の椶櫚狀木本にして，莖高さ3米(10尺)以上に達するものあり。葉は莖の頂に叢生し，大形の羽狀複葉にして，細長き多數の小葉より成り，長さ往々3米(10尺)に達するものあり。小葉は線形・剛硬にして刺端を有し，緣邊反捲す。花は單性にして花被を缺き，雌雄異株なり。雄花は莖端に頂生し，多數の雄蕊を中軸の周圍に螺着し，下面に無數の葯胞を具へ，之より精蟲を出す。之れ先年池野博士の發見せる所にして，植物分類學上に至大の影響を與へたり。雌花も亦莖端に頂生し，頗る巨大なる扁平形をなし，雌蕊は羽裂せる葉狀體にして，褐色綿毛を密布し，緣邊に裸出せる數箇の卵子を生ず。種子は角質・卵形にして側扁せられ，赤色を呈す。〔分布〕九州・琉球。

人生との關係 本植物を乾燥して黒燒となし，之を飯粒にて練り合せたるものを鮫肌或は底豆に貼布すれば效あり。又早期に採集したる葉を3-4枚，黒燒として飯粒にて練り合せたるものを，釘の踏抜きに貼布すれば即效ありと云ふ。

2. オニソテツ屬 ENCEPHALARTOS.

5893. オニソテツ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ソ テ ツ 科
Encephalartos villosus, Lem.

〔形態〕南部亞弗利加原産の常綠木本にして，莖幹は肥厚して短く，綿毛鱗片を滿布す。葉は毛茸を密生せる葉柄により，莖頂に簇生し，羽狀複葉にして，長さ1-8米(6尺)許を有し，各小葉は線狀披針形・鋭尖頭をなし，刺齒緣を有す。雌雄異株にして，雄花は長橢圓形をなし，雄蕊は肥厚して瓦列し，下面に葯胞を具ふ。雌花も亦長橢圓形にして，雌蕊は橢圓形をなし，下面に卵子を生ず。〔原産地〕南部亞弗利加。

* * * * *

內外植物原色大圖鑑 第八卷 終

第八卷總索引

ア

アヽヰ……68
アイギョクシイタビ……102
アヰタデ……59
アヲカラムシ……90
アヲカンアフヒ……76
アヲキ……96
アヲシラベ……145
アヲタデ……59
アヲトド……142
アヲトドマツ……142
アヲドロ……134
アヲナツタデ……63
アヲハコベ……16
アヲバナツメクサ……28
アヲバモヤウビユ……40
アヲビユ……40
アヲボウモミ……142
アヲミヅ……86
アヲモリトドマツ……142
アカウ……102
アカエゾ……146
アカエゾマツ……146
アカガシ……110
アカカンバ……118
アカギ……95
アカザ……44
アカザカツラ……28
アカシデ……123
アカソ……91
アカダモ……106
アカヂクマルバヤナギ……129
アカヅラ……54
アカトド……145
アカトドマツ……145
アカノママ……54
アカバナヒツジグサ……3
アカバモヤウビユ……40
アカハリモミ……145
アカビユ……39
アカマツ……140
アカミヤドリギ……78
アカメイヌビハ……101
アカメヤナギ……129
アキニレ……106
アキノウナギヅカミ……64
アキノウナギヅル……64
アキノミチヤナギ……55
アコウクハクサ……90
アコノキ……102
アヽサ……105
アサダ……123
アサヒカヅラ……68
アザブタデ……59
アシナシハコベ……15
アスナロ……147
アスヒ……147
アスロベ……147
アツゲシサウ……50
アヅサ……119
アツシ……107
アツニ……107
アヅマグサ……91
アブラガヤ……153
アフリカスヽキレン……3
アベクヌギ……113
アベマキ……113
アマギカンアフヒ……76
アマグリ……109
アマヅラ……106
アマナ……139
アマミゴエフマツ……141
アミノメ……13
アメリカゴムノキ……105
アメリカスヽキシヨウ……152
アメリカスギ……152
アメリカセンニチサウ……43
アメリカセンノウ……19
アメリカナデシコ……9
アメリカハリモミ……145
アメリカヤマゴバウ……35
アメリカヤマナラシ……134
アヤスギ……147
アラアカ……110
アラガシ……110
アララギ……153
アリエヒメマヲ……92
アリサンアラガシ……113
アリサンニレ……107
アリタサウ……49
アルターナンセラ……40
アレチギシギシ……71
アンジヤベル・カーネーション…9

イ・ヰ

イカダカヅラ……36
イサバカンアフヒ……76
イシゲヤキ……106
イシナラ……114
イシミカハ……63
イシヤナギ……129
イセタデ……60
イセナデシコ……10
イソハハキギ……50
イソミヅナ……35
イタイタグサ……85
イタドリ……64
イタビ……101
イタビカヅラ……101
イタヤミネバリ……119
イチヰ……153
イチヰガシ……110
イチヰ科……153
イチヰモドキ……152
イチガシ……110
イチジク……97
イチベイ……95
イツモナ……50
イテフ……154
イテフ科……154
イトタデ……59
イトナデシコ……10
イトハコベ……15
イトヒバ……147
イトヤナギ……128
イヌガシ……110
イヌガヤ……153
イヌゴバウ……35
イヌコリヤナギ……130
イヌシデ……120
イヌタデ……54
イヌタブ……101
イヌハマアカザ……49
イヌビハ……101
イヌビユ……40
イヌブシ……118
イヌブナ……109
イヌマキ……154
キノコヅチ……43
キノコヅチモドキ……44
イハアカザ……49
イハガネ……92
イハシデ……123
イハタデ……56
イハツメクサ……15
イハヤナギ……130
イバラバス……4
イブキ……151
イブキトラノヲ……55
イボブナ……109
イマメガシ……113
イラクサ……85
イラクサ科……85
イラモミ……145
イロハサウ……67
キンゲンナ……50
インドゴムノキ……102
インドソバ……68
インドボダイジユ……102

ウ

ヴアージニア・クライトニア……31
ウシハコベ……15
ウシホツメクサ……28
ウスク……102
ウスバサイシン……76
ウスベニツメクサ……28
ウスユキナギ……154
ウダイカンバ……119
ウチハカツラ……1
ウヅダイコン……50
ウヅタデ……54
ウドキ……39
ウドノキ……39
ウドンゲ……98
ウナギヅカミ……63
ウナギヅル……63
ウバシバ……113
ウハバミサウ……89
ウバメガシ……113
ウマノスカナ……71
ウマノスヅカケ……75

第八卷總索引

ウマノスズクサ ……75
ウマノスズクサ科 ……75
ウライサウ ……92
ウラジロアカザ ……49
ウラジロイタドリ ……67
ウラジロエノキ ……107
ウラジロガシ ……113
ウラジロカンバ ……119
ウラジログリ ……109
ウラジロサナヘタデ ……60
ウラジロタデ ……67
ウラジロハコヤナギ ……133
ウラジロモミ ……142
ウラジロヤナギ ……129
ウラジロヤナギ ……130
ウロコヤナギ ……129
ウンモンカンアフヒ ……76

エ・ヱ

エ ……107
エゾイヌタデ ……60
エゾイラクサ ……85
エゾエノキ ……107
エゾオホヤマハコベ ……16
エゾカハホネ ……7
エゾカハラナデシコ ……8
エゾセンノウ ……20
エゾタデ ……56
エゾノカハヤナギ ……129
エゾノギシギシ ……71
エゾノミヅタデ ……55
エゾノミヤマハコベ ……15
エゾハコベ ……15
エゾハシバミ ……123
エゾハマアカザ ……49
エゾヒツジグサ ……3
エゾフスマ ……16
エゾフスマ ……24
エゾマツ ……146
エゾマンテマ ……24
エゾミヅナラ ……114
エゾミヤマツメクサ ……27
エゾヤマナラシ ……134
エゾヤマモモ ……127
エダウチニハヤナギ ……55
エダウチフタリシヅカ ……136
エドタデ ……59
エノキ ……107
エンカウヒバ ……147
エンコウスギ ……148
エンビセン ……20
エンビセンノウ ……20
エンビツノキ ……151
エンメイリンカ ……117

オ・ヲ

ヲガサハライヌビハ ……101
ヲガサハラグハ ……97
ヲガサハラマツ ……139
ヲガサハラモクマヲ ……91
ヲカヒジキ ……50
ヲカミル ……50
オキナハアヲキ ……39
オキナハキノコヅチ ……43
オキナハウラジロガシ ……117
オキナハマツ ……141
オクエノキ ……107
オクジリエノキ ……107
ヲグラセンノウ ……20
ヲグルミ ……124
ヲケバナ ……76
オシロイカケ ……136
オシロイバナ ……36
オタフクグルミ ……124
ヲトコスキレン ……3
ヲナガグハ ……97
オニガシ ……110
オニグルミ ……124
オニソテツ ……157
オニトド ……145
オニバス ……4
オニヒバ ……151
オニマツ ……142
オニヤブマヲ ……90
オニヤブマヲ ……91
ヲノヲレ ……119
ヲノヲレカンバ ……119
ヲノヘイタドリ ……64
ヲノヘナデシコ ……9
ヲノヘヤナギ ……130
オハグロバナ ……75
ヲハツキイテフ ……154
オヒヨウ ……107
オブチ ……97
オホイタドリ ……64
オホイタビ ……102
オホイヌタデ ……54
オホイハガネ ……92
オホオニバス ……4
オホガシ ……110
オホガシハ ……114
オホギ ……102
オホキツネヤナギ ……129
オホキミヅ ……90
オホクサボク ……39
オホクマシデ ……120
オホクリガシ ……109
オホケタデ ……63
オホサカサウ ……20
オホサルコヤギ ……128
オホサンセウサウ ……89
オホシ ……71
オホシダレ ……128
オホシバヤナギ ……129
オホシラビソ ……142
オホシラベ ……142
オホシラタマサウ ……24
オホスベリヒユ ……31
オホタチヤナギ ……130
オホタデ ……63
オホツクバネガシ ……113
オホツノハシバミ ……123
オホツメクサ ……27
オホツルイタドリ ……67
オホナラ ……117
オホニハヤナギ ……55
オホネコヤナギ ……128
オホネバリタデ ……63
オホバイヌビハ ……101
オホバイラクサ ……85
オホバウマノスズクサ ……75
オホバガシ ……110
オホバカハヤナギ ……128
オホバコヅサ ……50
オホハコベ ……15
オホバコリヤナギ ……130
オホバシラカンバ ……118
オホバスイバ ……72
オオバツノハシバミ ……123
オホバツメクサ ……15
オホバツメクサ ……27
オホバツルマヲ ……92
オホバナミミナグサ ……14
オホバナラ ……117
オホバノシラカンバ ……118
オホバブナノキ ……109
オホバミネバリ ……119
オホバミネバリ ……120
オホバムカゴイラクサ ……86
オホバヤシヤブシ ……120
オホバヤドリギ ……78
オホバヤナギ ……133
オホビランヂ ……24
オホボウソ ……114
オホマンテマ ……24
オホミゾソバ ……54
オホミチヤナギ ……55
オホミヅナラ ……114
オホモチノキ ……1
オホヤマハコベ ……15
オホヤマハコベ ……24
オホヤマフスマ ……24
オホリウセン ……142
ヲマツ ……140
ヲムク ……107
オヤマソバ ……63
オランダセキチク ……9
オランダナデシコ ……9
オランダミヅ ……89
オランダモミ ……148
ヲ リ ……91
オルドイヌビハ ……101
オンコ ……153
オンタデ ……56

カ

カイガンシヨウ ……142
カイリヤウワセジフモンジ ……95
カウゾ ……97
カウホネ ……7
カウヤクザイシン ……76
カウヤマキ ……152
カウヤマンサク ……1
カウライヤナギ ……129
カクド科 ……108
カクワツガユ ……106
ガケノアフヒ ……76
カサクサ ……23
カ シ ……110
カシウ ……68
カシハ ……114
カシハナラ ……114
カシハバゴムノキ ……105
カシハハハソ ……114
ガジマル ……102
ガジユマル ……102
カ ズ ……97
カ ゾ ……97
カタギ ……113
カタジロ ……136
カタシログサ ……136
カヂノキ ……97
カツサバ ……98
カツネグサ ……139
カツラ ……1
カツラ科 ……1
カテンサウ ……89
カトウハコベ ……13
カナアミヒバ ……146
カナシデ ……123
カナダバルサムノキ ……145
カナビキサウ ……77
カナムグラ ……105
カナリー・ウオーターリリー ……3
カーネーシヨン ……9
カハグルミ ……124
カハシヤシヤブ ……92
カハタデ ……59
カバノキ科 ……118
カハホネ ……7
カハマメ ……77
カハヤナギ ……130
カハラアカザ ……49
カハラケシ ……23
カハラゴマ ……23
カハラナデシコ ……8
カハラハンノキ ……120
カハラブナ ……119
カ ヘ ……153
カマウド ……82
カマクラヒノキ ……146
カマクラヒバ ……146
カマツカノハナ ……40
カマノキ ……82
カマヤリサウ ……77
カミギ ……97
カミノキ ……97
カモアフヒ ……76
カモカツラ ……1
カヤ ……158
カラキ ……43
カラカサマツ ……152
カラスノアブラ ……72
カラダイワウ ……71
カラナデシコ ……9
カラハナサウ ……106
カラフトガシハ ……117
カラフトシラカンバ ……118
カラフトツメクサ ……13
カラフトマツ ……142
カラフトマンテマ ……27
カラフトヤナギ ……130
カラマツ ……142
カラマツモミ ……148
カラムシ ……90
カラヤマグハ ……95
カランドリニア・ウンベラタ ……31
ガランビイヌビハ ……101
カリホルニア・ブラック ……98
カリミルナ ……98
カルクサ ……40
カンアフヒ ……76
カンキチク ……68
カンテンイタビ ……102
カンナデシコ ……9
ガンピ ……20
ガンピ ……118
ガンピセンノウ ……20
カンメイチク ……68
ガンライコウ ……40

キ

キアカソ ……91
キイバモヤウビユ ……40
キイレツチトリモチ ……81
キクザキハコベ ……15
キクバ ……96
キクボタン ……32
キクレンゲ ……32
ギシギシ ……71
キダチマヲ ……91
キツネヤナギ ……129
キヌガシハ ……82
キヌタデ ……55
キヌヤナギ ……130
キビサクラタデ ……60
キミヅ ……89
キミノセンリヤウ ……135
キヤラボク ……153
ギヨクシユクサウ ……86
キリエノキ ……108
キレハダケカンバ ……118
キワタ ……133
ギンエフジユ ……82
キンギヨモ ……2
キンギヨモ科 ……2
キンチヤウモ ……2
キンドロ ……133
ギンナンノキ ……154
ギンノキ ……82
キンマ ……134
キンマヂ ……101

ク

グイマツ ……142
クサグリ ……109
クサマヲ ……90
クサマキ ……154
クサリスギ ……148
クジヤクガシハ ……114
クジヤクヒバ ……146
クシロワチガヒサウ ……19
クチナハジヤウゴ ……89
クニギ ……113
クヌギ ……113
ク ハ ……97
クハクサ ……105
クハ科 ……95
クマシデ ……120
クモキナデシコ ……9
クモンリウ ……96
ク リ ……108
クリンユキフデ ……67
クルマガンピ ……20
クルマバガンピ ……20
クルミ ……124
クルミ科 ……124
グレナデイン・カーネーション ……9
グローヴ・ピンク ……9
クロエゾ ……146
クロエゾマツ ……146
クロガシ ……110
クロソネ ……120
クロツガ ……147
クロビ ……152
クロプナ ……109
クロベ ……152
クロマツ ……140
クロムギ ……68
クロヤナギ ……128
クワウエフザン ……148
クワシグルミ ……124

ケ

ケイトウ ……40
ケイヌビハ ……101
ケキノコヅチ ……43
ケイハタデ ……67
ケエンビセンノウ ……20
ケカンアフヒ ……76
ケグハ ……97
ケシヤウビユ ……40
ケシヨウヤナギ ……133
ケタデ ……60
ケツメクサ ……31
ケフシグロ ……23
ケヤキ ……108

コ

コアカザ ……49
コアカソ ……91
コイチジク ……101
コイハタデ ……63

第八卷總索引

コウトウシヨサクラタデ……56
コウボウアハ……10
コウマノスズクサ……75
ゴエフマツ……141
コギシギシ……71
コギノキ……77
コクヤウ……134
コケツルマヲ……91
コケミヅ……86
ココノヘカヅラ……36
コゴメギシギシ……72
コゴメナデシコ……10
コサクラタデ……63
コシデ……123
コジヒ……117
コセウ……134
コセウ科……134
コセウボク……92
コセウモドキ……134
コゾノキ……97
コヅタ……102
コツノハシバミ……123
コツバミネバリ……119
コナガハヤナギ……130
コナラ……114
コノテガシハ……152
コバガシハ……117
コハコベ……14
コハダケカンバ……118
コバノイハタデ……56
コバノイラクサ……85
コバノエノキ……107
コバノカンアフヒ……76
コバノダケカンバ……118
コバノツメクサ……27
コバノナンヤウスギ……147
コバノミミナグサ……14
コバノミヤマハコベ……15
コバフンギ……108
コハマアカザ……49
ゴハリキンギヨモ……2
コバンボダイジユ……102
コブニレ……106
コブヤナギ……130
コマキ……95
コマミガシ……110
ゴムイチジク……102
コムギセンノウ……20
ゴムノキ……102
ゴムビハ……102
コメツガ……147
コモチトラノヲ……67
コモチナデシコ……10
コヤナギタデ……60
ゴラウヒバ……152
コリウセン……145
コリヤナギ……130
コルクガシ……114
コルククヌギ……113
コルクノキ……114
コロモグサ……90

サ

サイコクヌカボ……63
サイタツマ……64
サイハダカンバ……119
ザイライシユ……98
サウジガシ……110
サウシカンバ……118
サカハサイシン……76
サクラタデ……60
ザクロガンピ……20
ザクロサウ……32
ササガシ……110
サダサウ……135
サツマガシ……110
サツマシビ……117
サツマタデ……59
サツマナデシコ……10
サツマニンジン……23
サデクサ……63
サトウダイコン……50
サトウヂサ……50
サナヘタデ……60
サハグハ……1
サハグルミ……124
サハシバ……123
サハハコベ……15
サハマキ……123
サハラ……146
サボテンギク……32
サボテンマツバギク……32
サボンサウ……24
サルソラ・カリ……50
サルヤナギ……128
サワシデ……123
サンキライ……89
サンゴジユ……50
サンシキマツバギク……32
サンセウサウ……86
サンセウヅル……86

シ

シキンドウ……91
シコタンハコベ……16
シコタンマツ……142
シダレイトスギ……148
シダレエノキ……107
シダレカツラ……1
シダレグハ……97
シダレグリ……109
シダレヒバ……146
シダレヤナギ……128
シチメンサウ……50
シトタゴ……77
シナアカマツ……140
シナノナデシコ……10
シノブノキ……82
シノブヒバ……147
シバ……120
シハイスキレン……3
シバカキドホシ……89
シバシデ……123
シバツメクサ……28
シバヤナギ……129
シヒ……117
シヒガシ……117
シヒノキ……117
シブクサ……71
シブモンジ……96
ジフヤク……136
シホツメクサ……27
シマアフヒサウ……135
シマイヌビハ……101
シマキノコヅチ……43
シマガシ……110
シマグハ……96
シマグハ……97
シマジヒ……117
シマテウセンマツ……141
シマナンヤウスギ……148
シマノミノツヅリ……13
シマハママツナ……50
シマヒメタデ……59
シマビランヂ……24
シママンテマ……24
シマミヅ……86
シマミヅ……89
シモフリゴエフ……141
シモフリヒバ……147
シモフリマツ……141
シヤウジヤウタケ……81
ジヤカウナデシコ……9
シヤムロダイコン……50
シヤモヒバ……146
ジユズサンゴ……35
ジユンサイ……4
シラキヤナギ……133
シラオヒハコベ……16
シラガシ……110
シラカバ……118
シラカンバ……118
シラツカ……145
シラネガンピ……23
シラネマツハダ……145
シラビソ……145
シラベ……145
シリブカ……117
シリブカガシ……117
シルクオーク……82
シロイヌタデ……60
シロキノコヅチ……43
シロウ……90
シロカツラ……1
シロコヤマモモ……127
シロソネ……120
シロタデ……55
シロツガ……146
シロバナウマノスズクサ……75
シロバナサクラタデ……60
シロバナマンテマ……24
シロバナヤノネグサ……55
シロビ……147
シロビユ……40
シロブナ……109
シロミミナグサ……14
シロミヤクカンアフヒ……76
シロモミ……145

シロモモ……127
シロワセ……95
ジンエフスイバ……72
シンコマツ……146
シンパク……151
シンミヅヒキ……67

ス

スキセンノウ……19
スキート・センテツド・ウオーター リリー……2
スキート・センテツド・ウオーター リリー……3
スイバ……71
スキリユウヒバ……145
スキレン……2
スカーレツト・シルクオーク……82
スカンポ……71
スギ……147
スギナリゲイトウ……43
スギモリゲイトウ……40
ススクサ……23
スズメグサ……27
スズメノアミ……13
スダジヒ……117
スナゴセウ……135
スハウノキ……153
スベリヒユ……31

セ

セイヤウハコヤナギ……134
セイヤウミミナグサ……14
セキチク……9
ゼニバザイシン……76
セルフ・カーネーション……9
セレスト……98
ゼンエンミヅ……86
センジユガンピ……23
センダン……77
センニチコウ……43
センニチサウ……43
センニンコク……40
センノウ……19
センノウゲ……19
センリヤウ……135

ソ

ソテツ……157
ソテツ科……157
ソナレ……151
ソネ……120
ソノテ……152
ソバ……68
ソバカヅラ……56
ソバグルミ……109
ソバタデ……54
ゾヽギ……68
ソロ……120
ソロノキ……123

タ

タイコジヒ……117
タイトウカノコサウ……39
タイリンミミナグサ……14
ダイワウ……71
ダイワウマツ……142
タイワンアカマツ……140
タイワンイヌビハ……101
タイワンウラジロガシ……113
タイワンカハホネ……7
タイワングハ……97
タイワングリ……109
タイワンケヤキ……108
タイワンコアカソ……91
タイワンコナラ……117
タイワンスギ……148
タイワンツチモチ……81
タイワンツルソバ……56
タイワンノブノキ……124
タイワンノミノツヅリ……13
タイワンハンノキ……120
タイワンヒノキ……146
タイワンフタリシヅカ……136
タイワンブナノキ……110
タイワンマツ……102
タイワンマツ……140
タイワンヤマグルミ……124
タイワンヤマモガシ……82
タウガキ……98
タウガヤ……154
タウグハ……96
ダウクワンサウ……23
タウゴバウ……35
タウサイシン……76
タウスギ……148
タウヂサ……49
タウヒ……146
タウモミ……142
タエダマツ……142
タカサゴイヌビハ……101
タガンデサウ……14
タカネゴエフ……141
タカネスイバ……72
タカネツメクサ……27
タカネナデシコ……9
タカネナンバンハコベ……16
タカネマンテマ……23
タカネミミナグサ……14
タカノツメ……27
タカラマン……77
ダケカンバ……118
ダケモミ……142
タゴワセ……95
タソバ……54
タチスベリヒユ……31
タチニハヤナギ……55
タチヌカボ……60
タチハコベ……24
タヂビ……64
タチヤナギ……133
ダツタンソバ……68
タデアキ……68
タデ科……53
タニガハヤナギ……128
タニグハ……1
タニソバ……54
ダヤス……71
ダンゴモモ……127
ダンセイゴムノキ……102
タンバグリ……109

チ

チカラシバ……154
ヂザウカンバ……118
チシマイハツメクサ……15
チシマイラクサ……85
チシマツメクサ……27
チシママンテマ……27
チシマヤナギ……130
チチノキ……154
チチノミ……101
チヂミスイバ……71
チヤボヒバ……146
チヤウジヤノカマ……76
チヤガノキ……76
チヤボガヤ……153
チヤボヒロハマンテマ……24
ヂヤーマン・キヤツチ・フライ……27
チヤヤドリギ……78
チヤラン……135
チヤラン科……135
チヤンマツ……142
チリメンガシ……113

ツ

ツガ……147
ツクバネ……77
ツクバネガシ……113
ツクバネノキ……77
ツシマハコベ……15
ツチトリモチ……81
ツチトリモチ科……81
ツチモチ……81
ツチヤマモチ……81
ツナギガヤ……153
ツノハシバミ……123
ツブネグサ……76
ツブラジヒ……117
ツボハシバミ……123
ツメクサ……27
ツルイタドリ……56
ツルイチジク……101
ツルイハガネ……91

第八卷總索引

ツルカウゾ ……97
ツルゴセウ ……134
ツルセンノウ ……16
ツルソバ ……56
ツルタ ……96
ツルタデ ……56
ツルドクダミ ……68
ツルナ ……32
ツルノゲイトウ ……43
ツルハコベ ……15
ツルマヲ ……91
ツルミヅ ……89
ツルムラサキ ……28

テ

テウカイフスマ ……13
テウセンガヤ ……154
テウセングルミ ……124
テウセンゴエフ ……140
テウセンナ ……50
テウセンマキ ……154
テウセンマツ ……140
テウチグルミ ……124
テガシハ ……152
テシホマツ ……146
テバコマンテマ ……23
デ ロ ……133
デワダラモミ ……148
テンヂクボダイジユ ……102

ト

ト ガ ……147
トガマツ ……147
トキハイヌビハ ……101
トキハギヨリウ ……139
トキハナ ……50
トキホコリ ……90
ドクダミ ……136
トゲジヒ ……117
トゲソバ ……64
トゲナシキンギヨモ ……2
トゲナシグリ ……109
トコナツ ……10
トコナデシコ ……10
ドシヤ ……106
トシヨウ ……151
ト ド ……142
トドマツ ……142
トビヅタ ……78
トベラニンギヤウ ……81
トラノヲモミ ……145
トラノヲモミ ……146
トリモチノキ ……1
ドロノキ ……133
ドロブ ……133
ドングイ ……64
ドングリ ……113
ドンゴ ……64
トンボサウ ……31

ナ

ナガグルミ ……124
ナガバキノコヅチ ……43
ナガバイラクサ ……85
ナガバウマノスヅクサ ……75
ナガバオシロイバナ ……36
ナガバギシギシ ……71
ナガバナビランヂ ……24
ナガバノイヌシデ ……123
ナガバノウナギヅカミ ……64
ナガバノウナギヅル ……64
ナガバノウマノスヅクサ ……75
ナガバノヲノヲレ ……119
ナガバノシマキノコヅチ ……44
ナガバノヤノネグサ ……55
ナガバノヤマグルマ ……1
ナガバノヤマブキマヲ ……90
ナガバマツ ……141
ナガバヤナギ ……130
ナガバヤブマヲ ……91
ナガミバンノキ ……105
ナ ギ ……154
ナギハコベ ……16
ナツタデ ……60
ナツノウナギヅカミ ……64
ナツノウナギヅル ……64
ナデシコ ……8
ナデシコ科 ……8
ナハカノコサウ ……39
ナ ラ ……114
ナラガシハ ……114
ナラキギ ……114
ナラバガシ ……110
ナンテンキノコヅチ ……43
ナンバンガキ ……98
ナンバンハコベ ……16
ナンバンルウダ ……49
ナンブトラノヲ ……67

ニ

ニガソバ ……68
ニガニレ ……106
ニシキイタドリ ……64
ニシキゲイトウ ……40
ニツクワウアツニ ……107
ニツクワウモミ ……142
ニトベカヅラ ……68
ニハクサ ……50
ニハヤナギ ……55
ニヒタカセキチク ……10
ニヒタカツメクサ ……27
ニホヒタデ ……63
ニホヒヒツジグサ ……2
ニホヒヒツジグサ ……3
ニ レ ……106
ニレ科 ……106
ニレツバスキシヨウ ……152
ニレモミ ……142
ニンフエア・アルバ ……2
ニンフエア・カペンシス ……3
ニンフエア・ザンジバリエンシス ……3
ニンフエア・チユベローサ ……2

ヌ

ヌカボタデ ……63
ヌナワ ……4
ヌプリボツメクサ ……13
ヌマキヌヤナギ ……133

ネ

ネコシダレ ……128
ネコシデ ……119
ネコヤナギ ……128
ネ ズ ……151
ネズサシ ……151
ネズミガヘシ ……96
ネズミサシ ……151
ネズモミ ……148
ネズコ ……152
ネバリジナ ……107
ネバリタデ ……63
ネバリタニソバ ……54
ネバリハコベ ……19
ネムロカハホネ ……7
ネムロトド ……145
ネムロトドマツ ……145

ノ

ノイシナラ ……114
ノゲハ ……96
ノグハ ……97
ノグルミ ……124
ノゲイトウ ……43
ノコギリスイバ ……72
ノコバアカガシ ……110
ノダイワウ ……72
ノナデシコ ……8
ノビユ ……40
ノブノキ ……124
ノホソ ……114
ノマヲ ……91
ノミノツヅリ ……13
ノミノフスマ ……16
ノミノフネ ……71
ノヤナギ ……133

ハ

ハウレン ……50
ハウレンサウ ……50
ハクヤウ ……133
ハゲイトウ ……40
ハコグリ ……109
ハゴノキ ……77
ハコベ ……14
ハコベモドキ ……35
ハコベラ ……14
ハコヤナギ ……134
ハゴロモガシハ ……114
ハゴロモノキ ……82
ハシバミ ……123
ハシヤボ ……68
ハ ス ……4
ハゼグリ ……109
ハゼラン ……31
ハダカガヤ ……153
ハダカグリ ……109
ハダラ ……92
ハチス ……4
ハチヂヤウイタドリ ……67
ハチヂヤウグハ ……96
ハチヂヤウナデシコ ……10
バツコヤナギ ……129
ハ ト ……151
ハドノキ ……92
ハトバノキ ……92
ハナイトナデシコ ……13
ハナガガシ ……110
ハナサクラタデ ……60
ハナタデ ……56
ハナヅルサウ ……32
ハナビサウ ……89
ハナビユ ……39
ハナマツナ ……31
ハハキギ ……50
ハハキグサ ……50
ハヒキノコヅチ ……43
ハヒカナビキサウ ……77
ハヒギ ……113
ハヒネコヤナギ ……129
ハヒネズ ……151
ハヒビヤクシン ……151
ハヒマツ ……141
ハヒミヅ ……86
ハヘトリナデシコ ……24
ハマアカザ ……49
ハマスベリヒユ ……35
ハマタカノツメ ……27
ハマタデ ……60
ハマヂシヤ ……32
ハマツメクサ ……27
ハマナ ……32
ハマナデシコ ……10
ハマニハヤナギ ……55
ハマハコベ ……16
ハマハハキギ ……50
ハマハハキギ ……55
ハマフダンサウ ……50
ハママツナ ……50
ハマミチヤナギ ……55
ハママミヅナ ……35
バ メ ……113
バメガシ ……113
ハラミツ ……105
バラモミ ……145
ハリギ ……152
ハリグハ ……106
ハリセンボン ……49
ハリタデ ……56
ハリナデシコ ……13
ハリノキ ……119
ハリビユ ……40
ハリモミ ……145
ハルカハタデ ……60
ハルタデ ……63
ハルトラノヲ ……67
ハルニレ ……106
ハンゲシヤウ ……136
ハンゲシヤウ科 ……136
バンノキ ……105
ハンノキ ……119
バンヤンジユ ……102

ヒ

ヒウジ ……90
ヒカゲミヅ ……86
ピグミー・ウオーターリリー ……3
ヒゲタデ ……60
ヒゲナデシコ ……9
ヒゲネワチガヒ ……19
ピコチー・カーネシヨン ……9
ヒゴヅタ ……101
ビザーレ・カーネーシヨン ……9
ヒジキアカザ ……53
ヒシバカキドホシ ……89
ヒシミガシ ……110
ビジンスキレン ……3
ヒスカハイヌビハ ……101
ヒダリマキガヤ ……153
ヒツジグサ ……2
ヒツジグサ科 ……2
ヒツチヨウカ ……134
ヒトリシヅカ ……136
ヒナワチガヒ ……19
ヒネキリマツ ……141
ヒノキ ……146
ヒノキアスナロ ……147
ヒノキバヤドリギ ……78
ヒ バ ……147
ビハバガシ ……113
ヒマラヤシーダ ……148
ヒマラヤスギ ……148
ヒマラヤハリモミ ……145
ヒマラヤマツ ……141
ヒムロ ……147
ヒメアカザ ……49
ヒメアスナロ ……147
ヒメイタビ ……101
ヒメウハバミサウ ……89
ヒメウハミヅサウ ……89
ヒメカウゾ ……97
ヒメカハホネ ……7
ヒメカンバ ……118
ヒメグルミ ……124
ヒメケフシグロ ……23
ヒメコマツ ……141
ヒメサクラタデ ……63
ヒメジヒ ……117
ヒメスイバ ……72
ヒメスキレン ……3
ヒメスギ ……148
ヒメタガソデ ……24
ヒメタデ ……56
ヒメツガ ……147
ヒメナデシコ ……10
ヒメニシキゲイトウ ……40
ヒメハコベ ……15
ヒメハマナデシコ ……10
ヒメハンノキ ……120
ヒメビタイ ……101
ヒメフヂナデシコ ……10
ヒメマツバギク ……32
ヒメマツハダ ……145
ヒメマツバボタン ……31
ヒメミチヤナギ ……55
ヒメミヅ ……89
ヒメムロ ……147
ヒメヤシヤブシ ……120
ヒメヤナギ ……133
ヒメワダサウ ……19
ヒモゲイトウ ……40
ビヤクシン ……151
ビヤクダン ……77
ビヤクダン科 ……77
ヒ ユ ……39
ヒユ科 ……39
ヒユナ ……40
ヒヨウナ・コビユ ……39
ヒヨウビ ……153
ヒヨクヒバ ……147
ヒラギジヒ ……117
ビランヂ ……24
ヒリユウガシ ……110
ヒリヨウヒバ ……146
ビロウドカラムシ ……91
ビロウドゴセウ ……135
ビロウドサウ ……91
ヒロハウバメガシ ……113
ヒロハエゾオホヤマハコベ ……16
ヒロハカツラ ……1
ヒロハカハラナデシコ ……8
ヒロハギシギシ ……71
ヒロハコリヤナギ ……130
ヒロハノキミヅ ……90
ヒロハノマンテマ ……20
ヒロハハコヤナギ ……134
ヒロハハンノキ ……120
ヒロハマツバボタン ……31

フ

フアベルガシ ……114
フイリイタドリ ……64
フイリイテフ ……154
フイリカンアフヒ ……76
フイリゴムノキ ……102

第八巻總索引

フイリヒバ …… 147
フウトウカヅラ …… 134
フオアー・オクロック …… 36
フクロナデシコ …… 24
ブーゲンヴキレヤ …… 36
ブーゲンカヅラ …… 39
フサザクラ …… 1
フサザクラ科 …… 1
フシグロ …… 20
フシグロ …… 23
フシグロセンノウ …… 20
フシダカ …… 43
フシマキ …… 113
フジマツ …… 142
フタオモテ …… 152
フタバアフヒ …… 76
フタマガミ …… 76
フタマタコゴメナデシコ …… 13
フタリシヅカ …… 135
フダンサウ …… 50
フダンナ …… 50
フヂゲイトウ …… 40
フヂナデシコ …… 10
フヂワチガヒ …… 19
フデノキ …… 124
ブ ナ …… 109
ブナゾロ …… 123
ブナノキ …… 109
ブラウン・ターキー …… 98
ブラツク・ゼノア …… 98
フラネルサウ …… 19
フリソデヤナギ …… 130
フレーク・カーネーシヨン …… 9
フンキコミヅ …… 86

ヘ

ヘソモミ …… 142
ヘツピリヤナギ …… 129
ペニカハホネ …… 7
ペニハゴロモ …… 82
ペニバナアキセンノウ …… 23
ペニヒ …… 145
ペニブーゲンカヅラ …… 39
ペピース・ブリース …… 10
ペペガヤ …… 153
ヘボガヤ …… 153
ヘルトカールス …… 24
ベンガルボダイジユ …… 102

ホ

ホウテンクワ …… 20
ホウソウヒバ …… 146
ホザキヤドリギ …… 78
ホシノゲイトウ …… 43
ホ ソ …… 114
ホソエ …… 96
ホソバアカザ …… 49
ホソバイヌガヤ …… 154
ホソバイヌタデ …… 60
ホソバイヌビハ …… 101
ホソバイラクサ …… 85
ホソバウマノスヅクサ …… 75
ホソバウラジロエノキ …… 108
ホソバウラジロガシ …… 113
ホソバエドタデ …… 59
ホソバヲノヲレ …… 119
ホソバオンタデ …… 56
ホソバガシ …… 110
ホソバシラカンバ …… 118
ホソバタデ …… 59
ホソバツメクサ …… 27
ホソバツルノゲイトウ …… 43
ホソバナギ …… 154
ホソバノウナギヅカミ …… 64
ホソバノウナギヅル …… 64
ホソバノキミヅ …… 90
ホソバノハマアカザ …… 49
ホソバノヤノネグサ …… 55
ホソバハナタデ …… 56
ホソバハルトラノヲ …… 67
ホソバヤナギタデ …… 60
ホソバワチガヒサウ …… 19
ホツブ …… 105
ホトケギ …… 133
ホ ヤ …… 78
ボロボロノキ …… 77
ボロボロノキ科 …… 77
ホワイト・サン・ペドロ …… 98
ホワイト・ゼノア …… 98
ホワイト・マルセーユ …… 98
ボンシング・ベツト …… 24
ホンソネ …… 123
ボントクタデ …… 59
ホンブナ …… 109
ホンマキ …… 154

マ

マ ヲ …… 90
マカンバ …… 119
マ キ …… 114
マ キ …… 154
マキクサ …… 50
マグハ …… 95
マダイワウ …… 72
マタジヒ …… 117
マツグミ …… 78
マツ科 …… 140
マツナ …… 50
マツバギク …… 32
マツハダ …… 145
マツバボタン …… 31
マツモ …… 2
マツモト …… 23
マツモトセンノウ …… 23
マツヨヒセンノウ …… 19
マデイラカツラ …… 28
マテガシ …… 117
マテバシヒ …… 117
マナラ …… 114
ママコノシリヌグヒ …… 64
マムシカヅ …… 97
マムシグサ …… 85
マユハキサウ …… 136
マルバアカザ …… 49
マルバイヌタデ …… 54
マルバウマノスヅクサ …… 75
マルバカンアフヒ …… 76
マルバギシギシ …… 72
マルバコナラ …… 117
マルハコベ …… 15
マルバダイワウ …… 71
マルバハコベ …… 15
マルバハンノキ …… 119
マルバビユ …… 40
マルバミネヤナギ …… 129
マルバヤナギ …… 129
マルバヤナギ …… 134
マルミノゴエフ …… 141
マルミノヤマゴバウ …… 35
マルミバンノキ …… 105
マワウ …… 139
マワウ科 …… 139
マンテマ …… 24

ミ

ミゾソバ …… 54
ミチヤナギ …… 55
ミチノクキツネヤナギ …… 129
ミ ヅ …… 86
ミヅクサ …… 19
ミツジロ …… 136
ミヅタデ …… 59
ミヅナ …… 89
ミヅナラ …… 114
ミヅネ …… 119
ミツバマツ …… 142
ミヅヒキ …… 67
ミヅヒキグサ …… 67
ミヅブキ …… 4
ミツミネモミ …… 142
ミヅメ …… 119
ミネバリ …… 119
ミネバリ …… 120
ミネヤナギ …… 129
ミミナグサ …… 13
ミヤマイタドリ …… 56
ミヤマイラクサ …… 85
ミヤマギシギシ …… 72
ミヤマキツネヤナギ …… 129
ミヤマスイバ …… 72
ミヤマタチヤナギ …… 133
ミヤマタデ …… 63
ミヤマタニソバ …… 54
ミヤマツチトリモチ …… 81
ミヤマツメクサ …… 27
ミヤマトシヨウ …… 151
ミヤマナデシコ …… 10
ミヤマネズ …… 151
ミヤマハコベ …… 15
ミヤマハンノキ …… 120

ミヤマビヤクシン …… 151
ミヤマミゾソバ …… 54
ミヤマミヅ …… 86
ミヤマミミナグサ …… 14
ミヤマヤナギ …… 129
ミリカ・カロリネンシス …… 127
ミンブトキ …… 31
ミルスベリヒユ …… 35
ミルナ …… 50
ミルマツナ …… 50

ム

ムカゴイラクサ …… 86
ムカゴトラノヲ …… 67
ムカゴミヅ …… 89
ムギセンノウ …… 20
ムギナデシコ …… 20
ムキミカヅラ …… 97
ムクイヌビハ …… 101
ムクエノキ …… 107
ムクノキ …… 107
ムシトリナデシコ …… 24
ムシトリビランヂ …… 27
ムラサキアキタデ …… 59
ムラサキアカザ …… 44
ムラサキタデ …… 59
ムラサキハシバミ …… 123
ムラサキヒツジグサ …… 3
ムラサキビユ …… 40
ムラサキマツバギク …… 32
ム レ …… 50
ムレスギ …… 148
ムレナデシコ …… 13
ム ロ …… 151

メ

メアカンフスマ …… 13
メイゲツサウ …… 64
メグルミ …… 124
メゲヤキ …… 108
メダカ …… 97
メマツ …… 140
メヤブマヲ …… 90
メンガシ …… 113

モ

モウコガシハ …… 117
モクマヲ …… 91
モクマワウ …… 139
モクマワウ科 …… 139
モチガシハ …… 114
モ ミ …… 142
モミソ …… 142
モミヂバダイワウ …… 71
モモノミイヌビハ …… 101
モヤウガラクサ …… 89
モヤウビユ …… 40
モンゴリナラ …… 117
モンバキノコヅチ …… 44

ヤ

ヤウシユヤマゴバウ …… 35
ヤオゼンタデ …… 59
ヤギリ …… 106
ヤグルマセンノウ …… 19
ヤ シ …… 124
ヤジナ …… 107
ヤシヤハンノキ …… 120
ヤシヤブシ …… 120
ヤチエゾ …… 145
ヤチハンノキ …… 119
ヤチヤナギ …… 127
ヤツブサグリ …… 109
ヤドリギ …… 78
ヤドリギ科 …… 78
ヤナギ …… 128
ヤナギイチゴ …… 92
ヤナギイヌタデ …… 60
ヤナギキノコヅチ …… 43
ヤナギガシ …… 113
ヤナギ科 …… 128
ヤナギサクラタデ …… 63
ヤナギシラガシ …… 113
ヤナギタ …… 95
ヤナギタデ …… 59
ヤナギヌカボ …… 60
ヤナギバヤブマヲ …… 91
ヤノネグサ …… 55
ヤノネヅル …… 55
ヤハズカラムシ …… 91
ヤハズハンノキ …… 120
ヤハラスギ …… 148
ヤブマヲ …… 90
ヤヘヤマカテンサウ …… 89
ヤヘヤマツチモチ …… 81
ヤマグハ …… 1
ヤマグハ …… 96
ヤマグハ …… 97
ヤマグルマ …… 1
ヤマグルミ …… 124
ヤマゴバウ …… 35
ヤマソ …… 90
ヤマデラバウズ …… 81
ヤマトキホコリ …… 90
ヤマトグサ …… 36
ヤマトリモチ …… 81
ヤマナカタカスケ …… 96
ヤマナデシコ …… 8
ヤマナラシ …… 134
ヤマニレ …… 106
ヤマネコヤナギ …… 128
ヤマハコベ …… 16
ヤマハリノキ …… 119
ヤマハンノキ …… 119
ヤマビハ …… 101
ヤマホウ …… 114
ヤマミカン …… 106
ヤマミゾソバ …… 54
ヤマミヅ …… 89
ヤマモガシ …… 82
ヤマモガシ科 …… 82
ヤマモモ …… 127
ヤマモモ科 …… 127
ヤマヤナギ …… 128
ヤマヤナギ …… 130
ヤマリウガン …… 82
ヤリゲイトウ …… 43
ヤンバルハコベ …… 16
ヤンバルミチヤナギ …… 55

ヨ

ヨグソアヅサ …… 119
ヨグソカンバ …… 119
ヨグソミネバリ …… 119
ヨコメガシ …… 110
ヨツバリキンギヨモ …… 2
ヨメフリ …… 134
ヨレスギ …… 148
ヨレネズ …… 151

ラ

ラカンマキ …… 154
ラクウシヨウ …… 152
ラクエフシヨウ …… 142
ラクエフスギ …… 152
ラセイタサウ …… 91
ラバー・プラント …… 102
ラミー …… 90
ランエフカンアフヒ …… 76

リ

リウキウガシ …… 117
リウキウツチトリモチ …… 81
リウキウマツ …… 141
リウキウマツナ …… 53
リウセン …… 145
リウヒガヤ …… 148
リギダマツ …… 142

ル

ルウダサウ …… 49

レ

レンゲエ …… 4

第八卷總索引

ロ

ロクカクヤナギ …… 128
ローズ・オブ・ヘブン …… 20
ローズ・キヤンピオン …… 19
ロソー …… 95
ローヤル・ウオーターリリー …… 4

ワ

ワウゴンガシハ …… 114
ワタクヌギ …… 113
ワダサウ …… 19
ワタマキ …… 113
ワチガヒサウ …… 19

第八卷五十音總索引終

内外植物原色大圖鑑

許複製　不模寫

著者檢印證

619

内外植物原色大圖鑑

第八卷

豫約頒布

昭和九年六月二十五日發行
昭和九年六月二十日印刷

發行所　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　植物原色大圖鑑刊行會　振替東京四六〇一六番

責任製本所　東京市神田區美土代町三丁目拾四番地　合資會社　山口製本所

印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社

圖版製版技師　橋本敏夫

寫眞調製者　光映社寫眞部

製版所　東京市本郷區駒込曙町拾三番地　本文及彩色圖　照文社製版部

印刷者　東京市京橋區築地四丁目四番地　鈴木茂

發行者　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　宮下軍平

著作者　東京市本郷區駒込曙町拾三番地　村越三千男

638-81
1200501565651
638
81